

5. 液状化危険度の想定

液状化とは、地下水を豊富に含んだ砂質地盤が、地震動によって高くなった地下水位により、砂の粒子間の結合と摩擦力が低下し、液体のように緩んで動く現象のことであり、流動化現象とも呼ばれる。このため、水・砂・泥を高く吹き上げる噴砂、噴泥によって地盤が盛り上がり、不同沈下、陥没を生じたりするので建物や土木構造物の転倒、沈下、傾斜につながる。

液状化により、次のような被害が生じる。

- ①地中のガス管・上下水道管・地下埋設物等、軽量構造物の浮上
- ②杭等の深い基礎で支えていない建物、橋梁等の重量構造物の沈下・傾斜
- ③堤防等、盛土の基礎地盤の液状化に伴う構造物沈下やすべり破壊の発生
- ④護岸や擁壁の側方流動、押し出し 等

5.1 液状化危険度の想定手法

5.1.1 液状化危険度の想定の流れ

液状化危険度の想定の流れを図 2-5-1 示す。

まず、浅部地盤モデルを用いて、深さ 20m までに未固結堆積物がある地盤モデルを抽出し、地形区分を考慮して液状化の可能性がある地盤（液状化用地盤）モデルを設定した。次に、収集したボーリング資料について個別に液状化計算を行い、地表加速度と液状化危険度指数（PL 値）との関係式を算出した上で、各ボーリング地点が含まれる液状化用地盤ごとに平均的な関係式を設定した。PL 値については、日本道路協会（2002）の手法に基づき液状化抵抗率 FL を求め、深さ方向に重み付けした PL 法により求めている。

それらに基づき、想定地震ごとにメッシュの地表加速度により各地の液状化危険度を想定した。

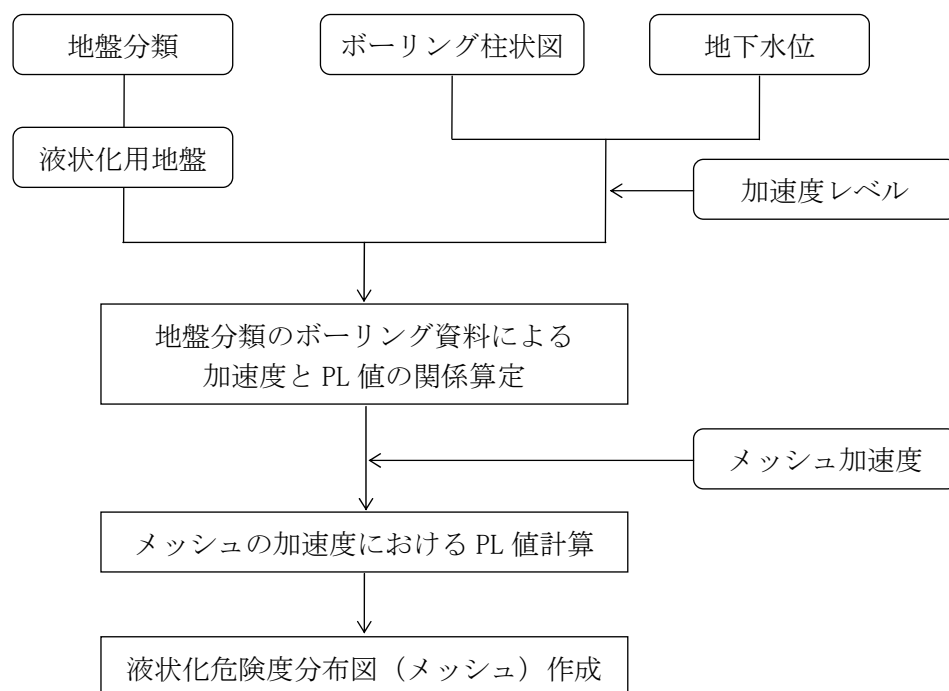


図 2-5-1 液状化危険度の想定の流れ

5.1.2 液状化危険度の評価対象

(1) 評価対象範囲

対象とする範囲は、地形区分における山地及び丘陵地、台地以外の低地（山地の谷底低地を含む）とした。

(2) 評価対象土層

前回調査では、沖積砂質土、礫質土、洪積砂質土層に限定していたが、今回調査では、これらの層以外でも、強い揺れとなる地域では、液状化が起こる可能性があると考え、評価対象として取り扱っている。

(3) 地下水位

地下水位は、その場所の特性によって異なり、また降雨・潮汐の影響により時間的にも変化する。ここでは、前回調査と同様に、地震被害想定調査の趣旨から安全側に判定するという意味で、一律に地表面下 1m とした。

(4) PL 値と地表加速度の関係の設定

液状化の可能性がある地盤（液状化用地盤）は、浅部地盤モデルを用いて、深さ 20 m までに未固結堆積物がある地盤モデルを抽出し、地形区分を考慮して設定した。

収集したボーリング資料について、5.1.3 に示す液状化計算を入力加速度レベルごとに個別に行い、地表最大加速度値と PL 値との関係式を設定した。収集したボーリングデータは 7,294 本（図 2-2-4 参照）あり、N 値が記載されていないもの、掘削深度が基盤に到達せずかつ 20m に達していないものを除いた 3,782 本（図 2-5-2 参照）を利用した。

各ボーリング地点が含まれる液状化用地盤ごとに、PL 値と加速度値の平均的な関係式を設定（図 2-5-3 参照）し、想定地震ごとにメッシュの地表加速度により各地の液状化危険度を求めた。

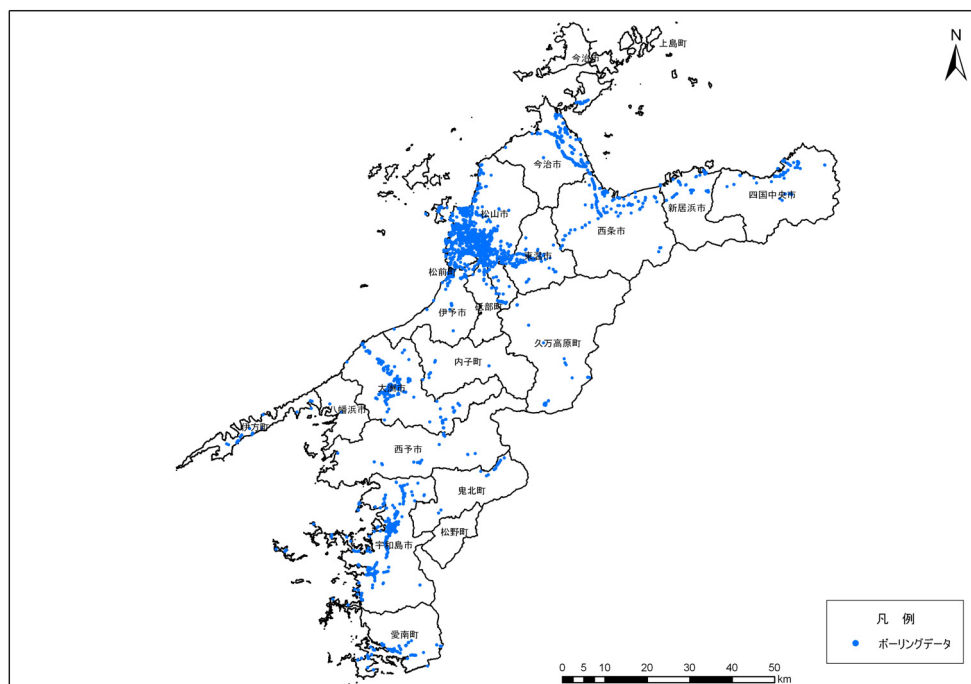


図 2-5-2 収集ボーリングデータの分布

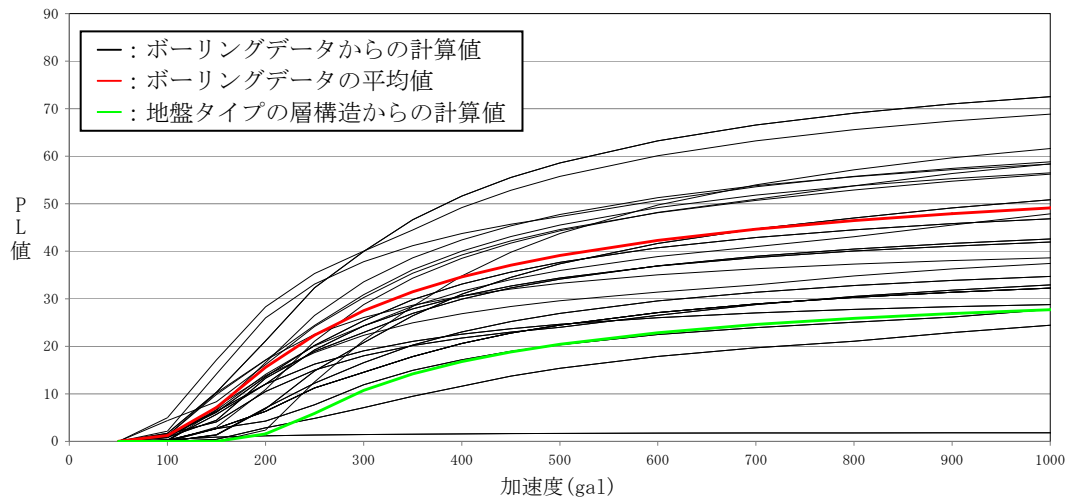


図 2-5-3 PL 値と地表加速度の関係の例

5.1.3 液状化危険度の想定手法

液状化危険度の想定手法は、道路橋示方書の手法を用いることとした。本手法は前回調査と同様である。

(1) 液状化に対する抵抗率 FL の算出

地盤内の各深度における液状化に対する抵抗率 FL 値は、地層が有する動的せん断強度比 R と作用する地震時せん断応力比 L によって定義し、この値が 1.0 以下の土層については液状化するものとみなすものである。

$$FL = R / L$$

地震時せん断応力比 L は、地表最大加速度から次式で表される。

$$L = (\alpha / g) \cdot (\sigma_v / \sigma_v') \cdot \gamma d$$

ここに、 α : 地表最大加速度 (gal)

g : 重力加速度 (=980gal)

σ_v : 全上載圧 (kgf/cm²)

σ_v' : 有効上載圧 (kgf/cm²)

γd : 低減係数 (=1.0-0.015z、z : 地表面からの深さ (m))

地層が有する動的せん断強度比 R は、地盤の繰返し三軸強度比 RL を用いて次の補正式により求めた。

$$R = C_w \cdot RL$$

地震動特性による補正係数 C_w は次のように定められている。

(プレート境界型の大地震の場合)

$$C_w = 1.0$$

(内陸直下型地震の場合)

$$C_w = \begin{cases} 1.0 & (RL \leq 0.1) \\ 3.3RL + 0.67 & (0.1 < RL \leq 0.4) \\ 2.0 & (0.4 < RL) \end{cases}$$

繰返し三軸強度比 RL は、以下の式により算出した。

$$RL = \begin{cases} 0.0882\sqrt{Na/1.7} & (Na < 14) \\ 0.0882\sqrt{Na/1.7} + 1.6 \times 10^{-6} \cdot (Na - 14)^{4.5} & (Na \geq 14) \end{cases}$$

粒度の影響を考慮した補正 N 値 (Na) は、次のように求める。

(砂質土の場合)

$$Na = C_1 \cdot N_1 + C_2$$

$$N_1 = 1.7 \cdot N / (\sigma'_{v'} + 0.7)$$

$$C_1 = \begin{cases} 1.0 & (0\% \leq F_c < 10\%) \\ (F_c + 40) / 50 & (10\% \leq F_c < 60\%) \\ F_c / 20 - 1 & (60\% \leq F_c) \end{cases}$$

$$C_2 = \begin{cases} 0 & (0\% \leq F_c < 10\%) \\ (F_c - 10) / 18 & (10\% \leq F_c) \end{cases}$$

(礫質土の場合)

$$Na = \{1 - 0.36 \cdot \log_{10}(D_{50}/2)\} \cdot N_1$$

ここに、 N ：標準貫入試験から得られる N 値

N_1 ：有効上載圧 1kgf/cm^2 相当に換算した N 値

C_1 、 C_2 ：細粒分含有率による N 値の補正係数

(2) 液状化指数 PL の算出

液状化抵抗率 (FL) は、ある深度における液状化の発生の可能性を評価するものであるため、地盤全体を評価する指標として液状化指数 PL を岩崎ら (1980) の手法により次のように求めた。

$$PL = \int_0^{20} (1 - FL) \cdot (10 - 0.5z) \, dz$$

FL : 液状化に対する抵抗率 (FL ≥ 1.0 の場合には FL = 1)

Z : 地表面からの深さ (m)

また、地震動と同様に、算出した PL 値を同じ震源域の地震の破壊開始点の位置（南海トラフ巨大地震では強震動生成域の位置や計算手法）の違いによる全ケースの計算結果を重ね合わせ、その震源域におけるメッシュ単位の最大 PL 値を算出した。

5.2 液状化危険度の想定結果

(1) 最大クラス

各想定地震における最大クラス（各ケースを重ね合わせた最大）の液状化危険度の想定結果を表2-5-1～2-5-2、図2-5-4に示す。PLと液状化危険度の関係は概ね以下のとおりである。

30.0 < PL : 液状化危険度は極めて高い

15.0 < PL ≤ 30.0 : 液状化危険度はかなり高い

5.0 < PL ≤ 15.0 : 液状化危険度は高い

0.0 < PL ≤ 5.0 : 液状化危険度は低い

PL = 0.0 : 液状化危険度はかなり低い

液状化危険性が考えられるのは、総じて県内の海岸低地部ならびに埋立地、盆地状の平野部及び河川沿いの低地部で、地表の地盤がやわらかい土（特に砂質土）からできている地域である。なお、液状化の危険度はメッシュ単位で評価しているが、危険度が高くなったメッシュ内のすべてが液状化するというものではなく、また危険度が低く評価されているメッシュでも、局地的な地盤特性によって液状化する場所が発生することが考えられることに留意する必要がある。

今回の調査で想定した地震での液状化危険度が高い地域は次のとおりである。

① 南海トラフ巨大地震

県内の低地部では大きな地震動が想定されており、松山市、今治市、宇和島市、八幡浜市、新居浜市、西条市、大洲市、伊予市、四国中央市、西予市、東温市、上島町、松前町、砥部町、伊方町、愛南町の平野部及び海岸低地部において、液状化危険度が極めて高い地域があると想定される。

② 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（北側ケース）

今治市、新居浜市、西条市の海岸平野の一部、松山市、宇和島市、大洲市、松前町の平野の一部で、液状化危険度が極めて高い地域があると想定される。また、八幡浜市、伊予市、西予市、砥部町、伊方町の一部で液状化危険度がかなり高くなることが想定される。

②' 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（南側ケース）

松山市の海岸部の一部、大洲市の平野の一部、宇和島市、八幡浜市、西予市、松前町、伊方町、愛南町の海岸低地の一部で液状化危険度が極めて高い地域があると想定される。また、今治市、西条市、伊予市の一部でも液状化危険度がかなり高くなることが想定される。

③ 讃岐山脈南縁－石鎚山脈北縁東部の地震

松山市の海岸の一部、今治市、新居浜市、西条市、四国中央市、上島町の一部で液状化危険度が極めて高い地域があると想定される。また、松前町の一部でも液状化危険度がかなり高くなることが想定される。

④ 石鎚山脈北縁の地震

今治市、新居浜市、西条市、四国中央市の平野部で液状化危険度が極めて高い地域があると想定される。また、松山市、上島町の一部でも液状化危険度がかなり高くなることが想定される。

⑤石鎚山脈北縁西部－伊予灘の地震

松山市、今治市、宇和島市、新居浜市、西条市、大洲市、伊予市、松前町、伊方町の平野部や海岸低地の一部において、液状化危険度が極めて高い地域があると想定される。また、八幡浜市、四国中央市、西予市、東温市、上島町、砥部町、内子町の一部でも液状化危険度がかなり高くなることが想定される。

表 2-5-1 想定地震における液状化危険度(最大 PL 値)及び PL 値面積割合

想定地震		最大値	液状化(PL値) 面積割合 (%)				
			30.0<PL	15.0<PL≤30.0	5.0<PL≤15.0	0.0<PL≤5.0	PL=0.0
①南海トラフ巨大地震		81.8	4.3%	3.9%	2.7%	0.7%	88.4%
安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震	②北側	72.9	0.8%	2.3%	2.9%	4.8%	89.3%
	②'南側	51.2	0.1%	1.0%	1.9%	6.4%	90.6%
③讃岐山脈南縁－石鎚山脈北縁東部の地震		82.8	1.2%	1.4%	2.0%	3.6%	91.7%
④石鎚山脈北縁の地震		80.1	0.9%	1.1%	2.0%	3.8%	92.1%
⑤石鎚山脈北縁西部－伊予灘の地震		71.8	1.5%	2.8%	3.1%	3.2%	89.3%

※四捨五入の関係で値が表示されない(0.0%)、合計が100%にならない場合がある。

表 2-5-2 想定地震における市町別液状化危険度(最大 PL 値)

市町名	①南海トラフ 巨大地震	安芸灘～伊予灘～豊後水道の プレート内地震		③讃岐山脈南縁 －石鎚山脈北 縁東部の地震	④石鎚山脈北縁 の地震	⑤石鎚山脈北縁 西部－伊予灘 の地震
		②北側	②' 南側			
松山市	81.8	72.9	51.2	45.1	25.4	66.2
今治市	60.9	44.5	16.2	44.1	39.4	49.6
宇和島市	57.4	38.1	46.2	1.2	1.0	32.6
八幡浜市	38.4	28.9	33.8	0.1	0.1	29.4
新居浜市	80.8	38.1	12.1	82.8	80.1	71.8
西条市	76.7	41.4	26.1	63.5	68.7	66.5
大洲市	68.5	43.0	48.0	0.7	0.5	47.2
伊予市	50.6	25.6	19.0	5.8	5.2	40.5
四国中央市	72.1	11.0	2.7	49.5	31.1	20.0
西予市	41.4	25.5	33.6	0.1	0.1	20.2
東温市	41.5	14.7	6.0	2.5	3.7	25.6
上島町	48.5	11.1	1.4	41.5	21.1	15.2
久万高原町	15.4	4.0	1.9	1.1	1.7	5.9
松前町	71.8	50.2	43.9	16.9	8.4	59.4
砥部町	35.6	19.2	11.0	2.7	3.5	23.2
内子町	26.9	11.8	10.3	0.2	0.1	20.9
伊方町	39.5	27.9	36.3	0.1	0.1	34.5
松野町	16.6	0.4	1.8	0.0	0.0	0.1
鬼北町	16.6	0.8	2.8	0.0	0.0	0.3
愛南町	60.1	13.4	38.8	0.6	0.5	3.5

【PL値と液状化危険度の関係】

30.0 < PL : 液状化危険度は極めて高い 0.0 < PL ≤ 5.0 : 液状化危険度は低い

15.0 < PL ≤ 30.0 : 液状化危険度はかなり高い PL = 0.0 : 液状化危険度はかなり低い

5.0 < PL ≤ 15.0 : 液状化危険度は高い

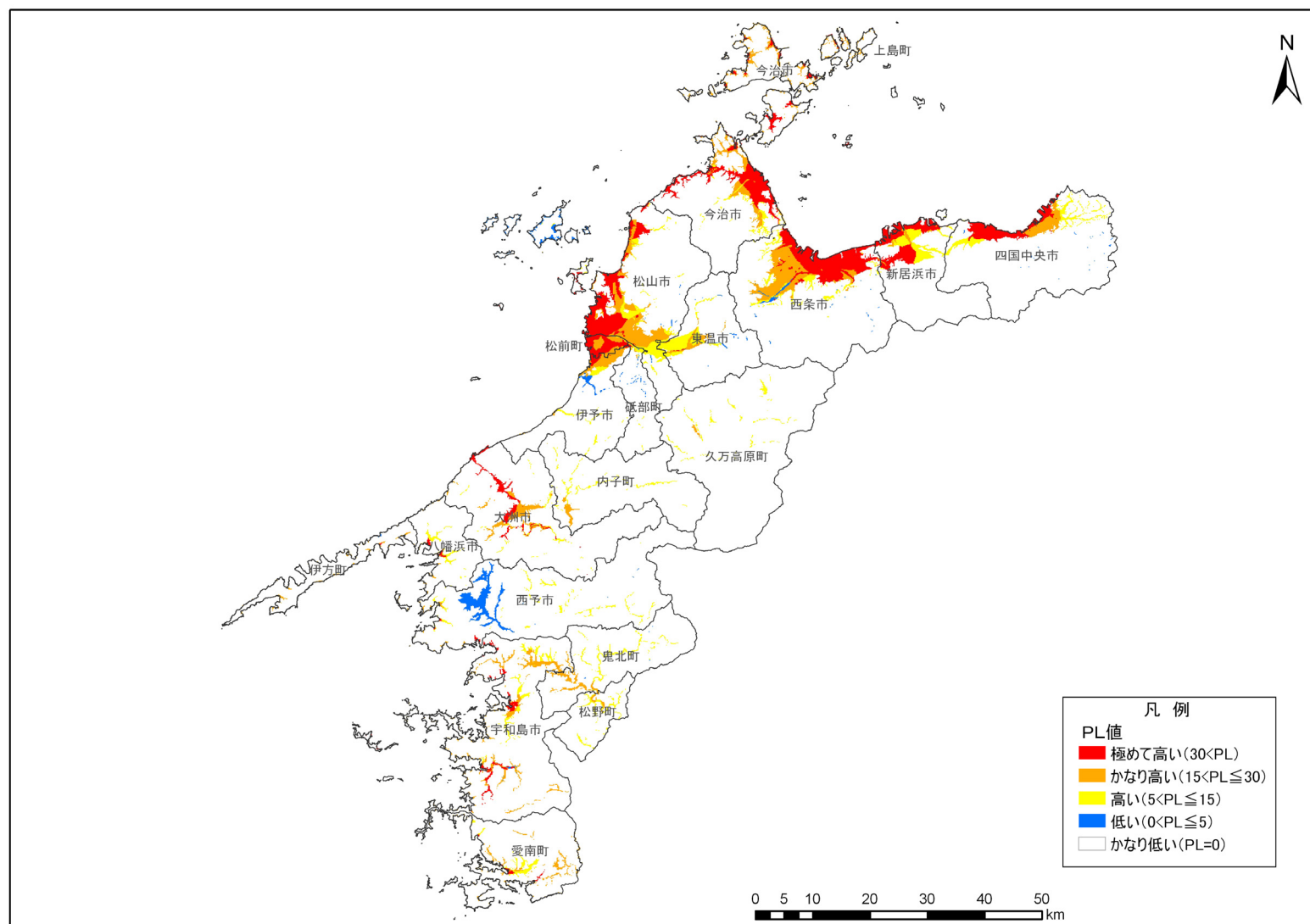


図 2-5-4(1) ①南海トラフ巨大地震の液状化危険度 (PL 値) 分布 (5 ケースの重ね合わせ)

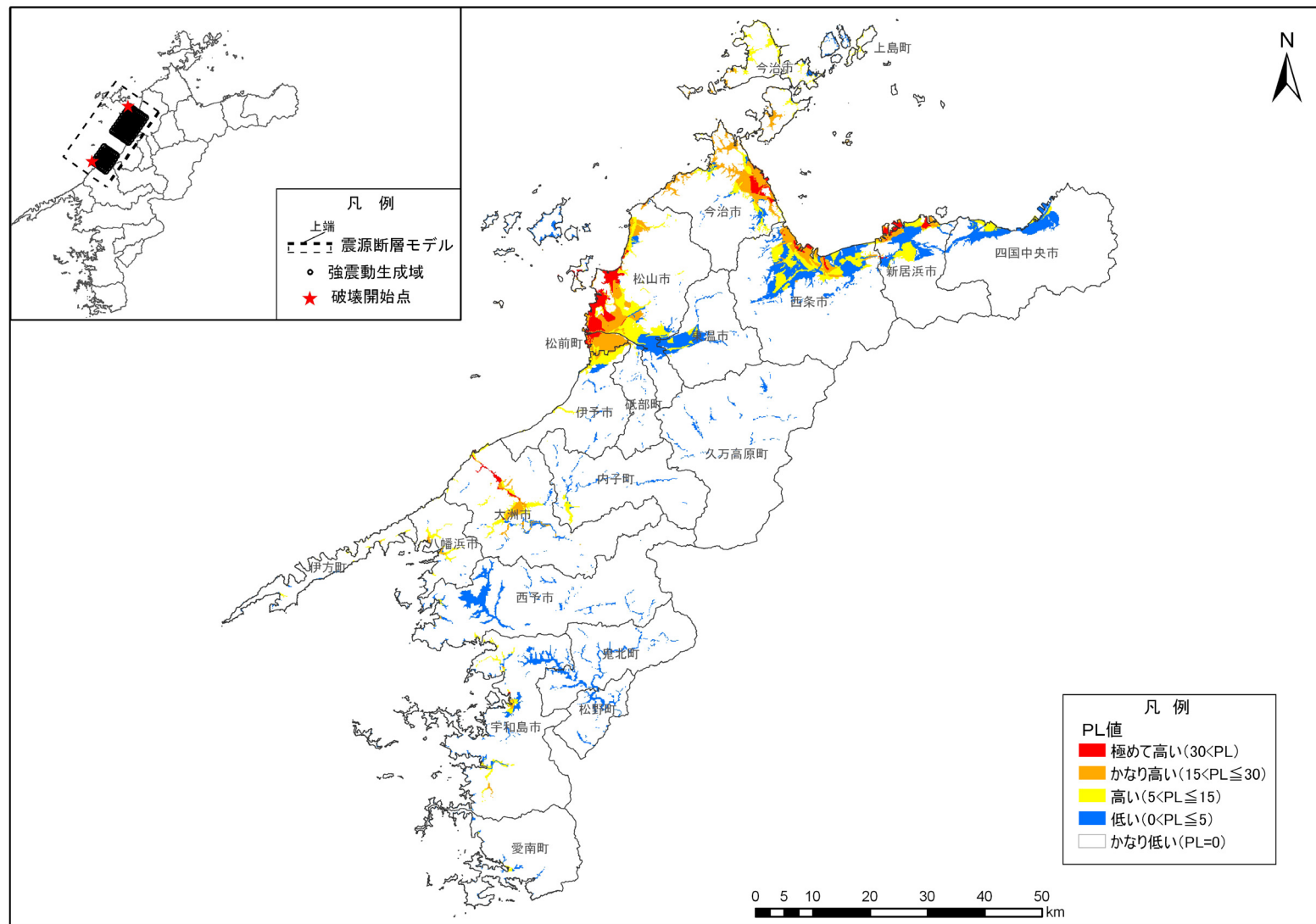


図 2-5-4(2) ②安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（北側）の液状化危険度（PL 値）分布（2 ケースの重ね合わせ）

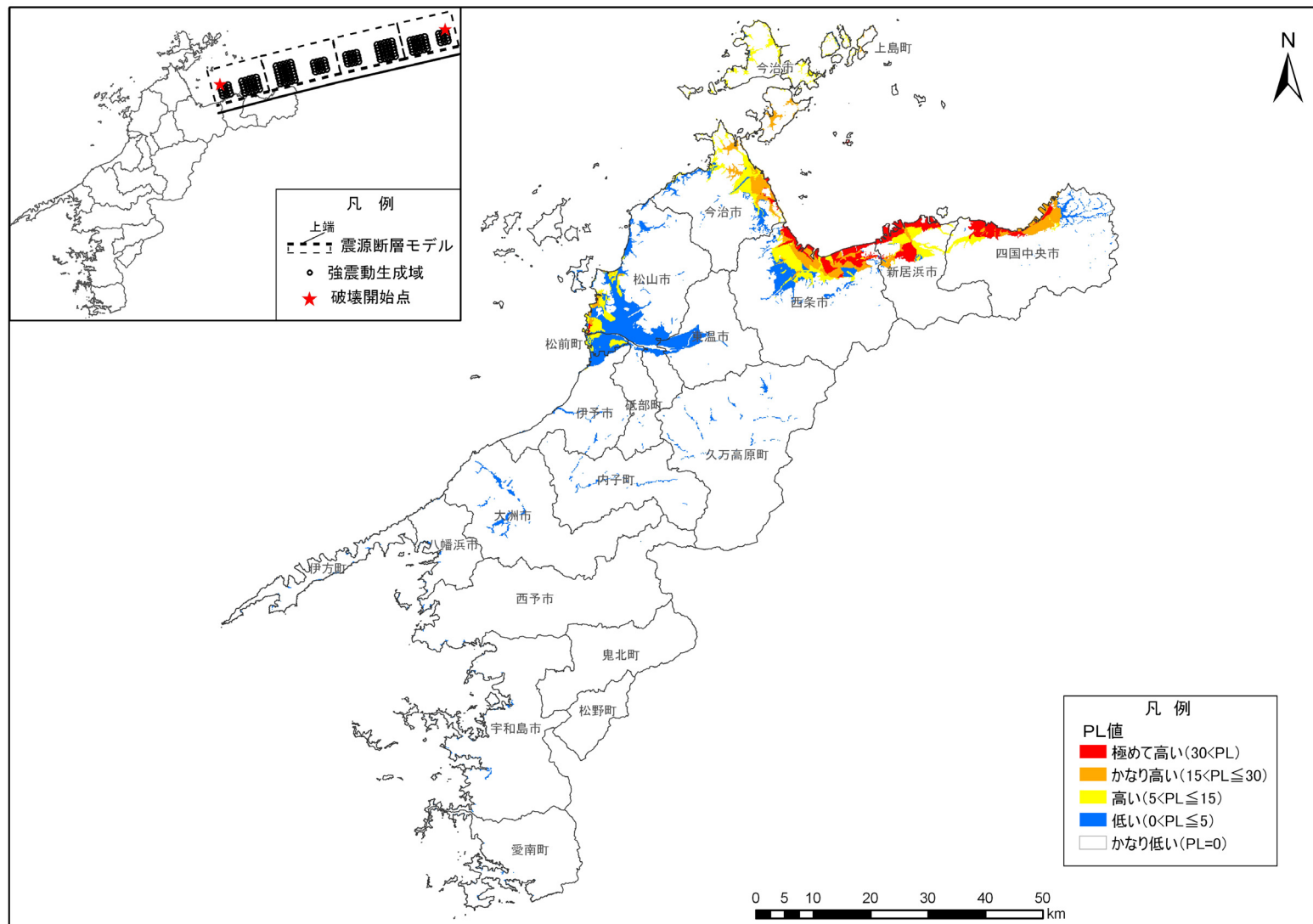


図 2-5-4(3) ②' 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（南側）の液状化危険度（PL 値）分布（2 ケースの重ね合わせ）

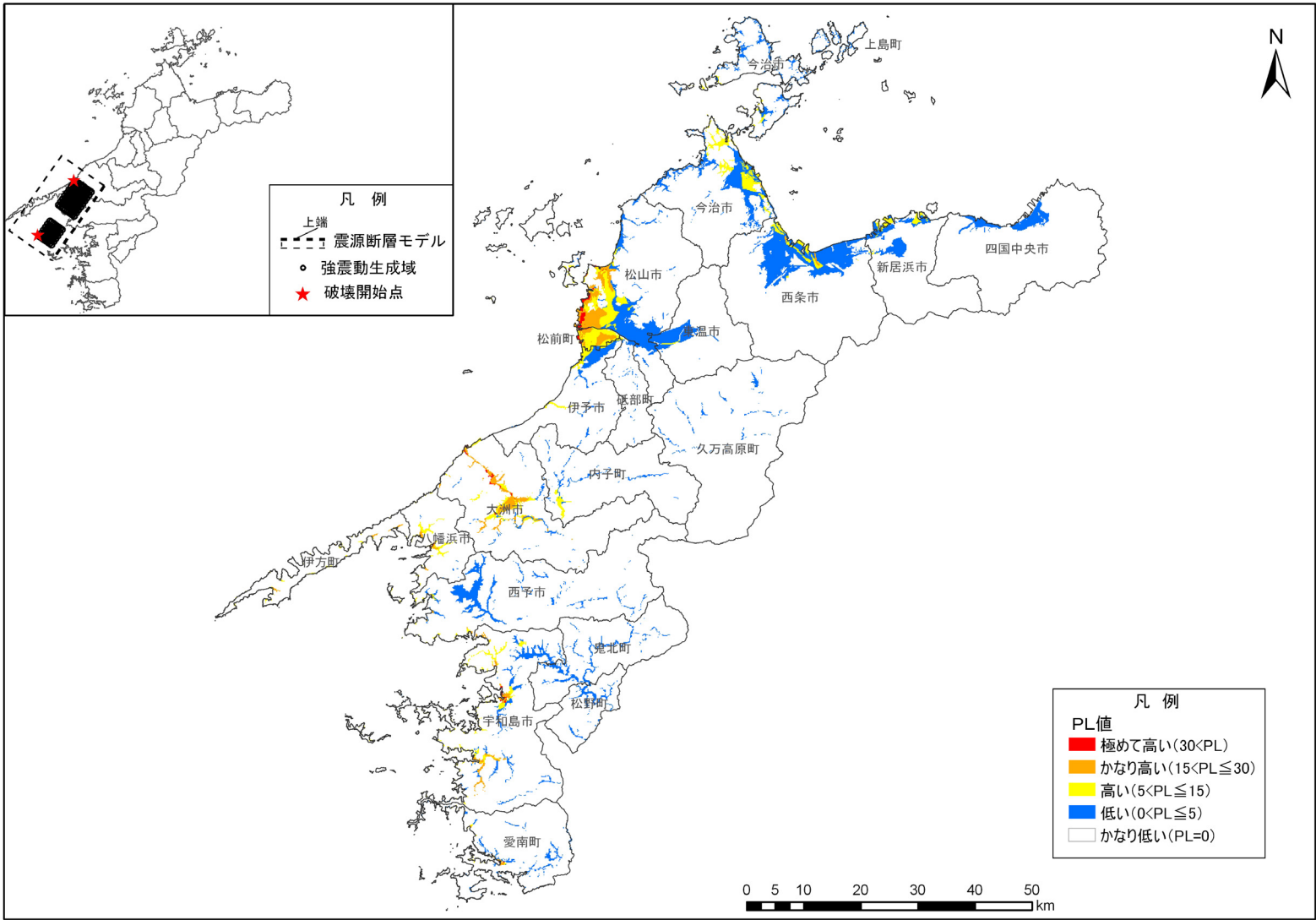


図 2-5-4 (4) ③讃岐山脈南縁－石鎚山脈北縁東部の地震の液状化危険度 (PL 値) 分布 (2 ケースの重ね合わせ)

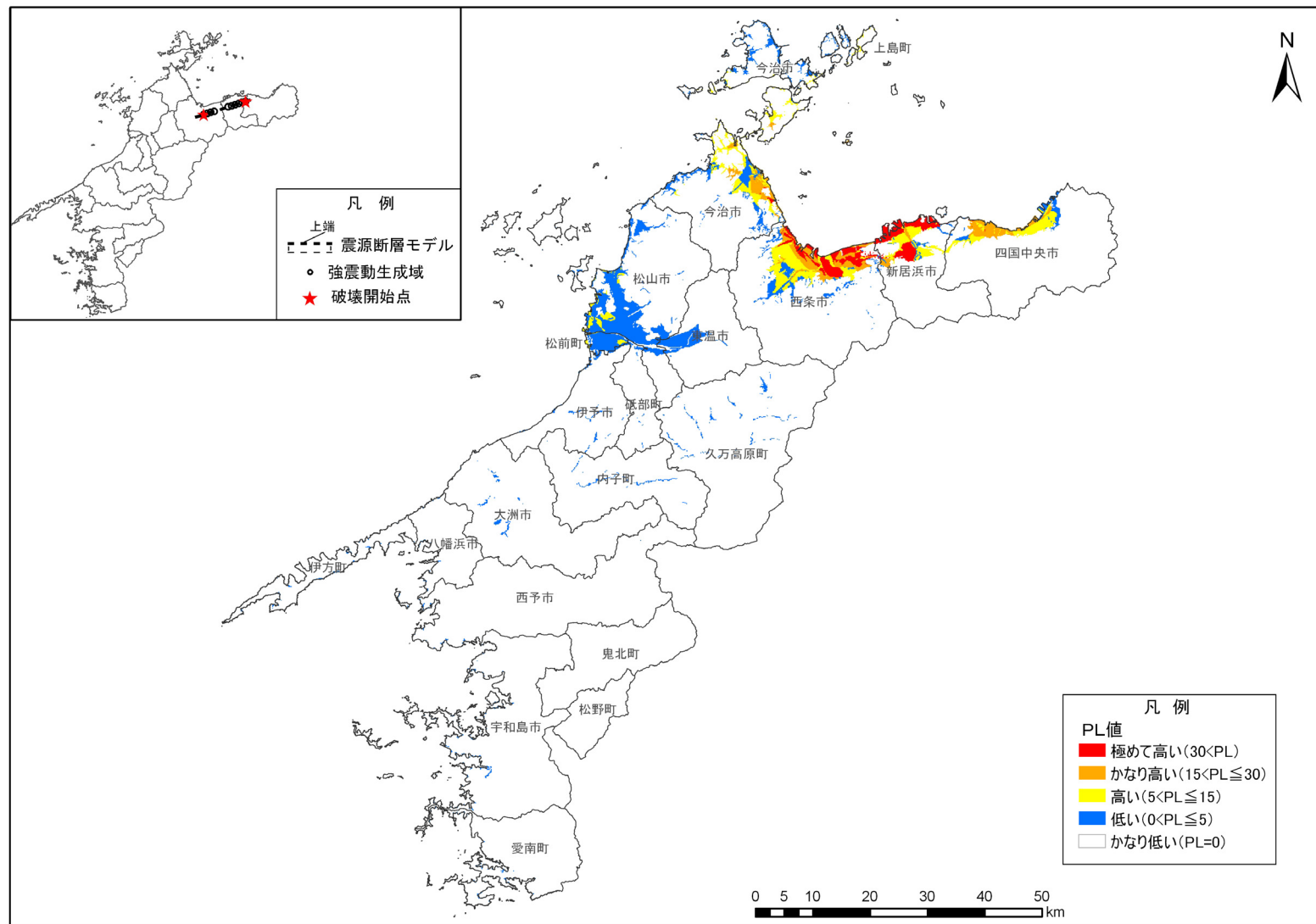


図 2-5-4 (5) ④石鎚山脈北縁の地震の液状化危険度 (PL 値) 分布 (2 ケースの重ね合わせ)

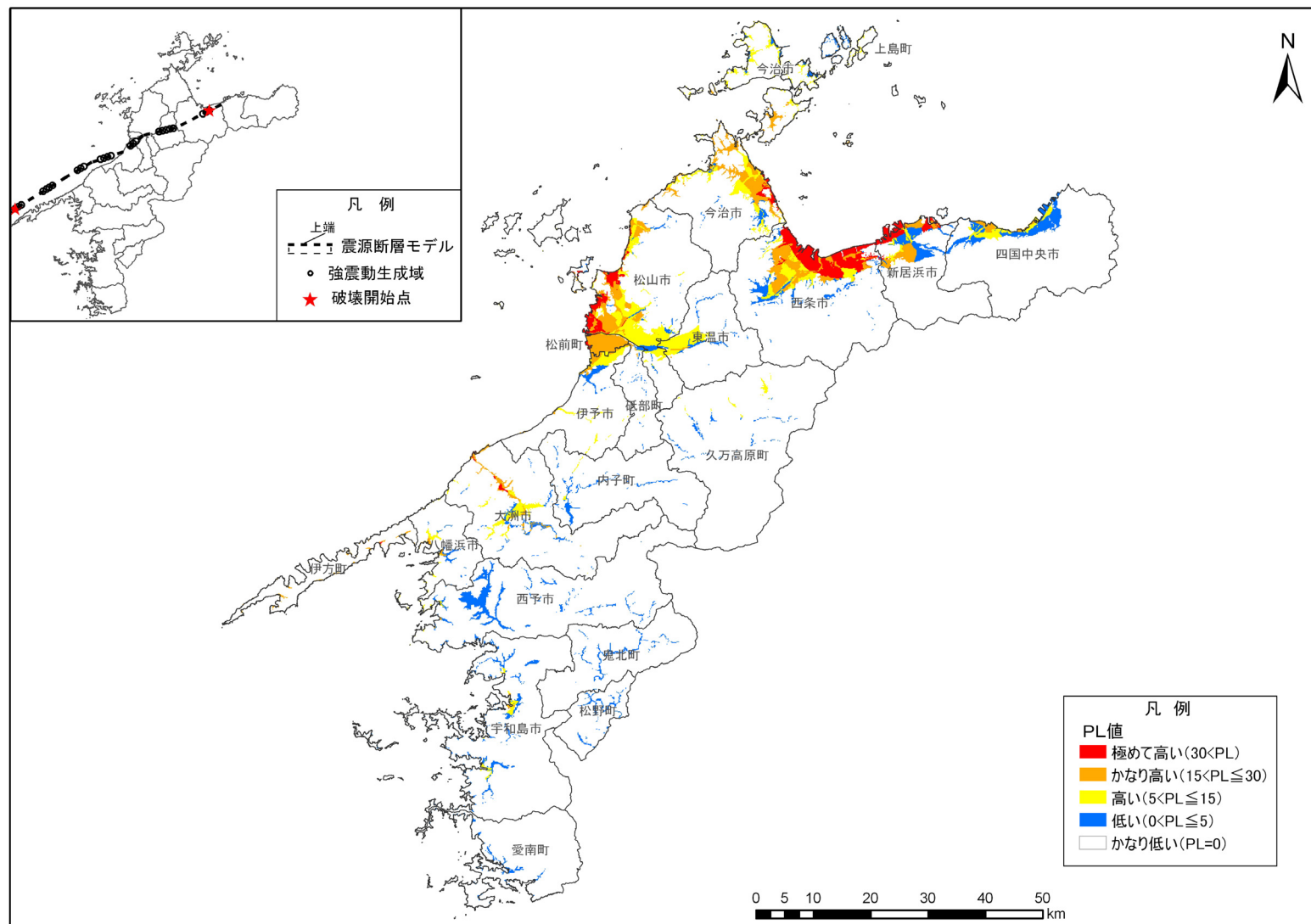


図 2-5-4 (6) ⑤石鎚山脈北縁西部－伊予灘の地震の液状化危険度 (PL 値) 分布 (2 ケースの重ね合わせ)

(2) 各ケース

各想定地震における各ケースの液状化危険度の想定結果を表 2-5-3～2-5-4、図 2-5-5 に示す。

表 2-5-3 想定地震（ケース毎）における液状化危険度（最大 PL 値）及び PL 値面積割合

想定地震		想定ケース等	最大値	液状化(PL値) 面積割合 (%)				
				30.0<PL	15.0<PL≤30.0	5.0<PL≤15.0	0.0<PL≤5.0	PL=0.0
①南海トラフ巨大地震		基本ケース	68.1	1.7%	3.3%	3.3%	3.1%	88.6%
		陸側ケース	81.8	4.1%	4.1%	2.7%	0.7%	88.4%
		東側ケース	66.8	1.8%	3.3%	3.5%	2.9%	88.6%
		西側ケース	66.3	1.5%	3.6%	3.9%	2.5%	88.5%
		経験的手法	80.3	3.8%	3.5%	3.6%	0.7%	88.4%
安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震	②北側	ケース1 (北から破壊)	72.9	0.7%	2.2%	2.9%	4.8%	89.4%
		ケース2 (南から破壊)	71.5	0.5%	1.6%	2.9%	5.5%	89.6%
	②'南側	ケース1 (北から破壊)	51.2	0.1%	0.9%	1.9%	6.4%	90.7%
		ケース2 (南から破壊)	48.0	0.0%	0.5%	1.2%	6.2%	92.0%
③讃岐山脈南縁－石鎚山脈北縁東部の地震		ケース1 (東から破壊)	76.3	1.0%	1.1%	1.7%	4.0%	92.3%
		ケース2 (西から破壊)	82.8	1.2%	1.5%	2.0%	3.6%	91.7%
		ケース1 (東から破壊)	80.1	0.7%	1.1%	1.6%	4.2%	92.4%
④石鎚山脈北縁の地震		ケース2 (西から破壊)	74.5	0.9%	1.0%	1.9%	4.0%	92.2%
		ケース1 (東から破壊)	71.8	1.5%	2.8%	3.0%	3.4%	89.4%
⑤石鎚山脈北縁西部－伊予灘の地震		ケース2 (西から破壊)	66.0	1.1%	2.4%	3.3%	3.6%	89.6%

※四捨五入の関係で値が表示されない(0.0%)、合計が 100%にならない場合がある。

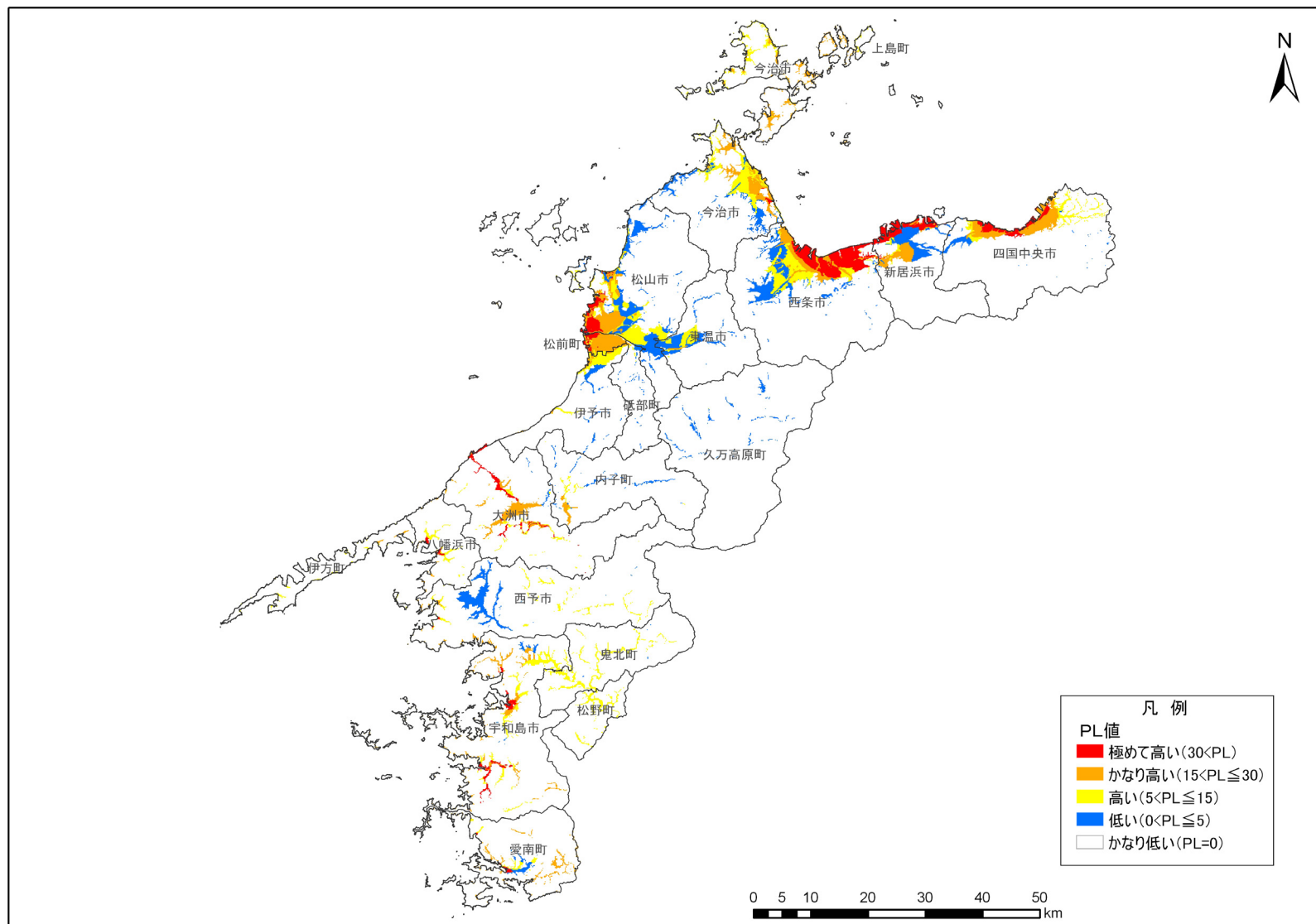


図 2-5-5(1) ①南海トラフ巨大地震（基本ケース）の液状化危険度（PL 値）分布

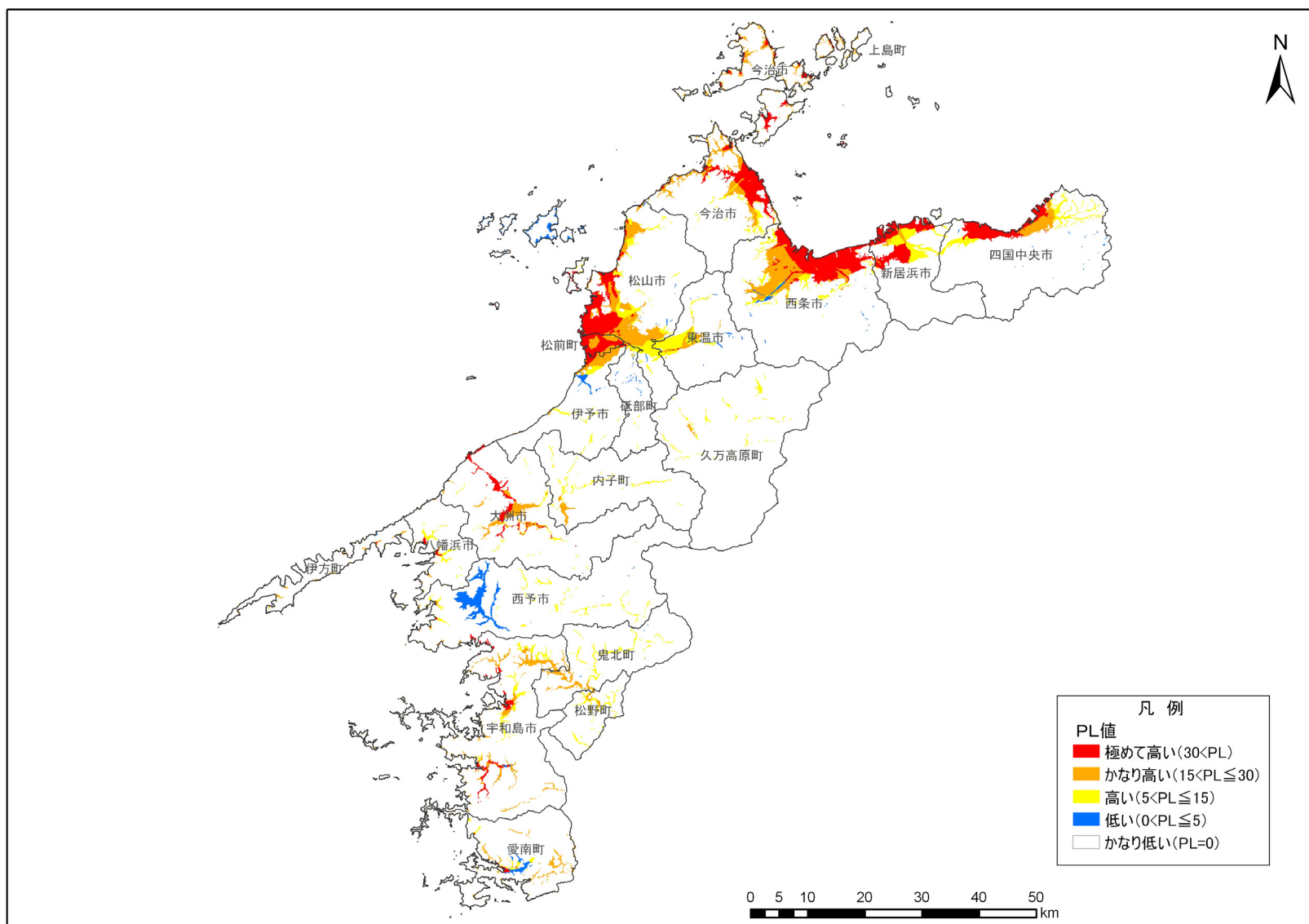


図 2-5-5(2) ①南海トラフ巨大地震（陸側ケース）の液状化危険度（PL 値）分布

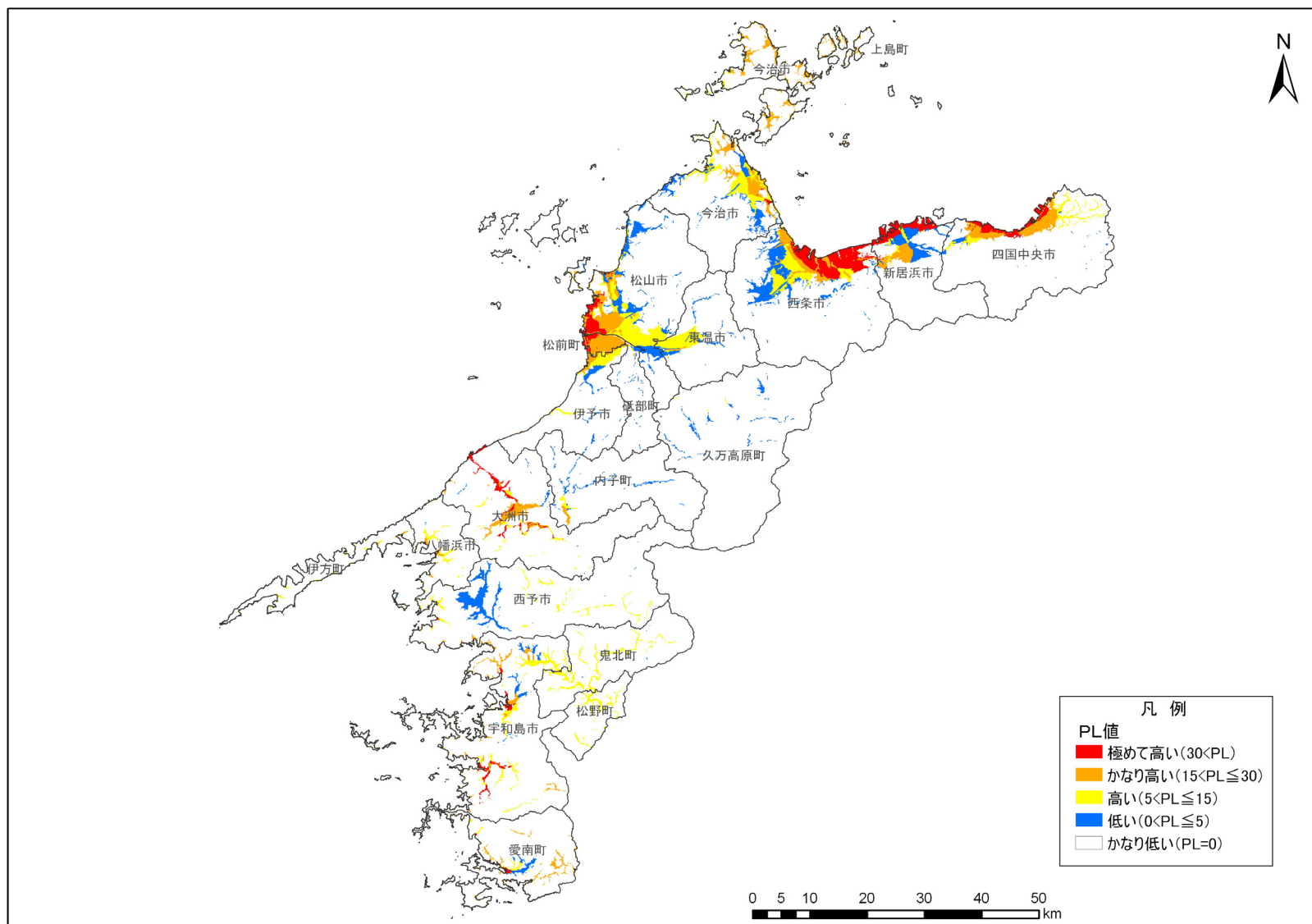


図 2-5-5(3) ①南海トラフ巨大地震（東側ケース）の液状化危険度（PL 値）分布

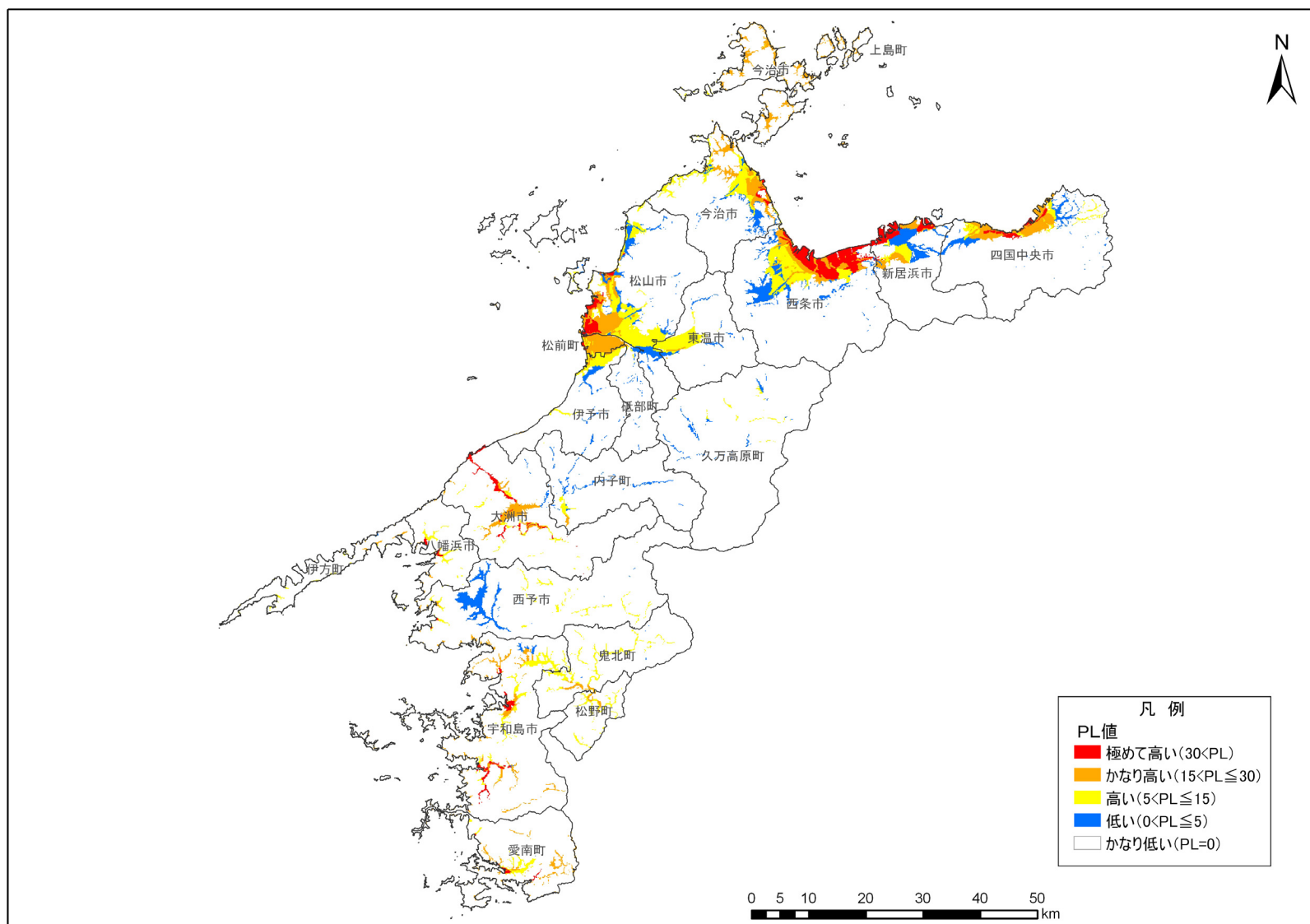


図 2-5-5(4) ①南海トラフ巨大地震（西側ケース）の液状化危険度（PL 値）分布

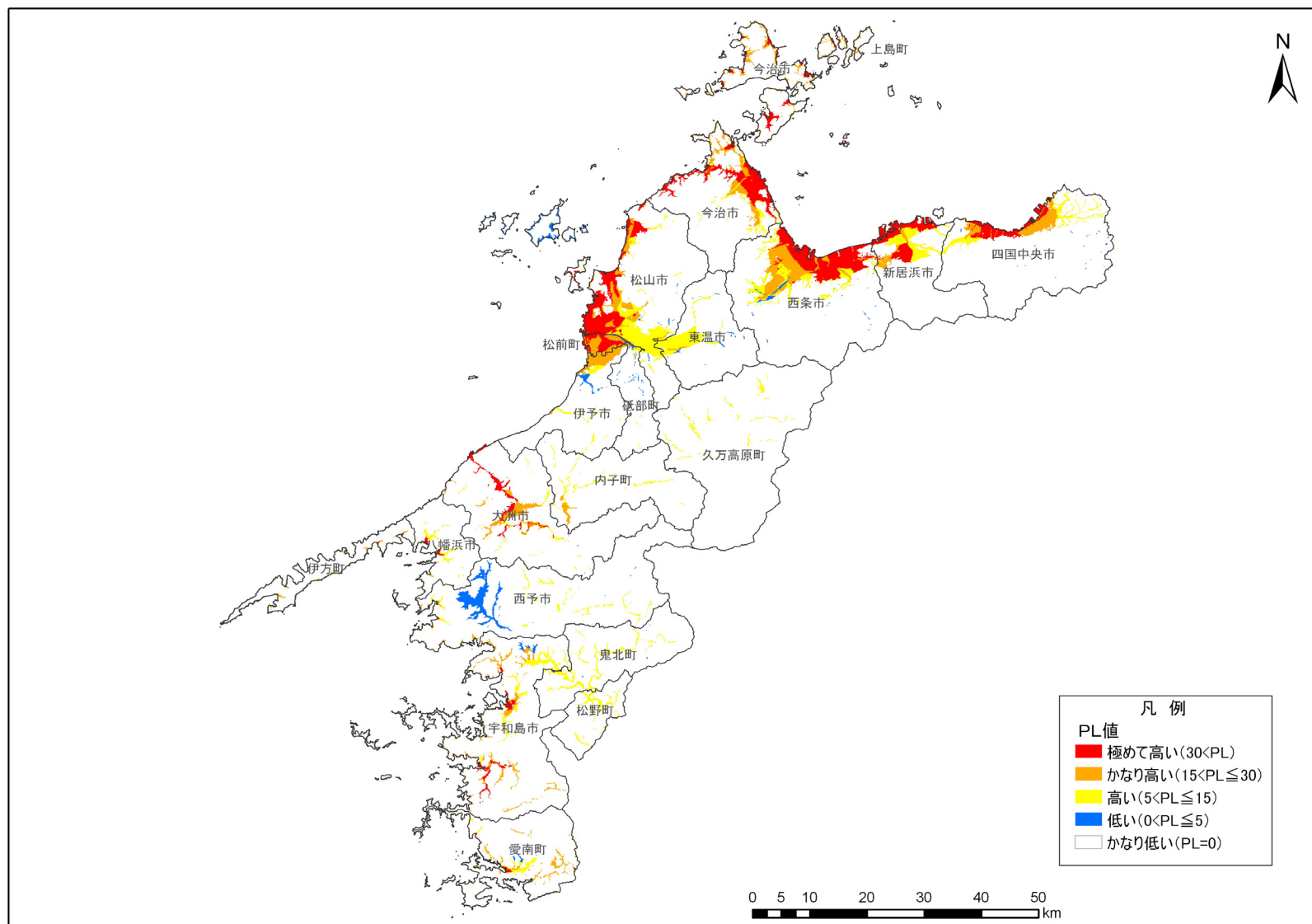


図 2-5-5(5) ①南海トラフ巨大地震（経験的手法）の液状化危険度（PL 値）分布

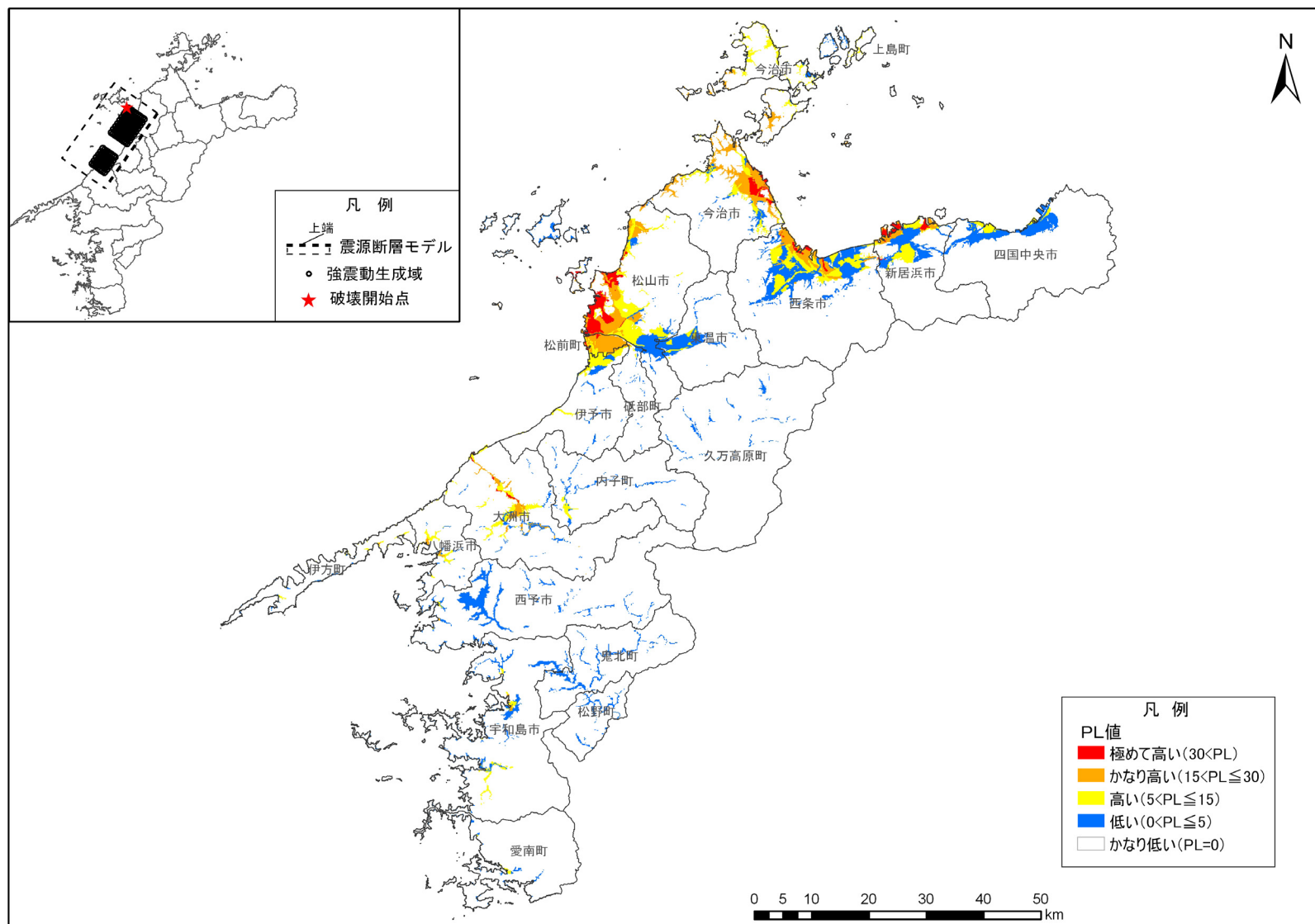


図 2-5-5 (6) ②安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（北側ケース 1）の液状化危険度（PL 値）分布

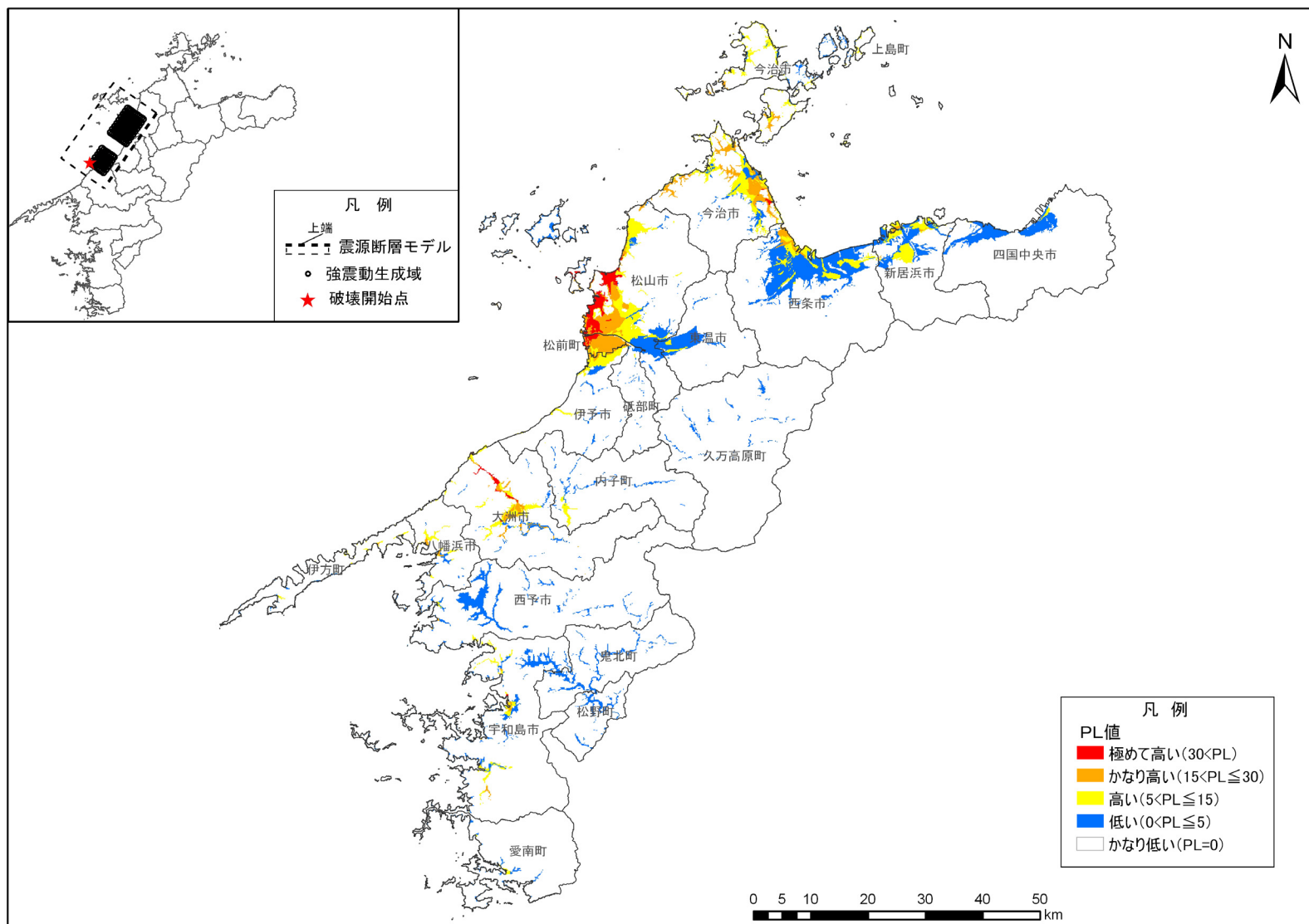


図 2-5-5 (7) ②安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（北側ケース 2）の液状化危険度（PL 値）分布

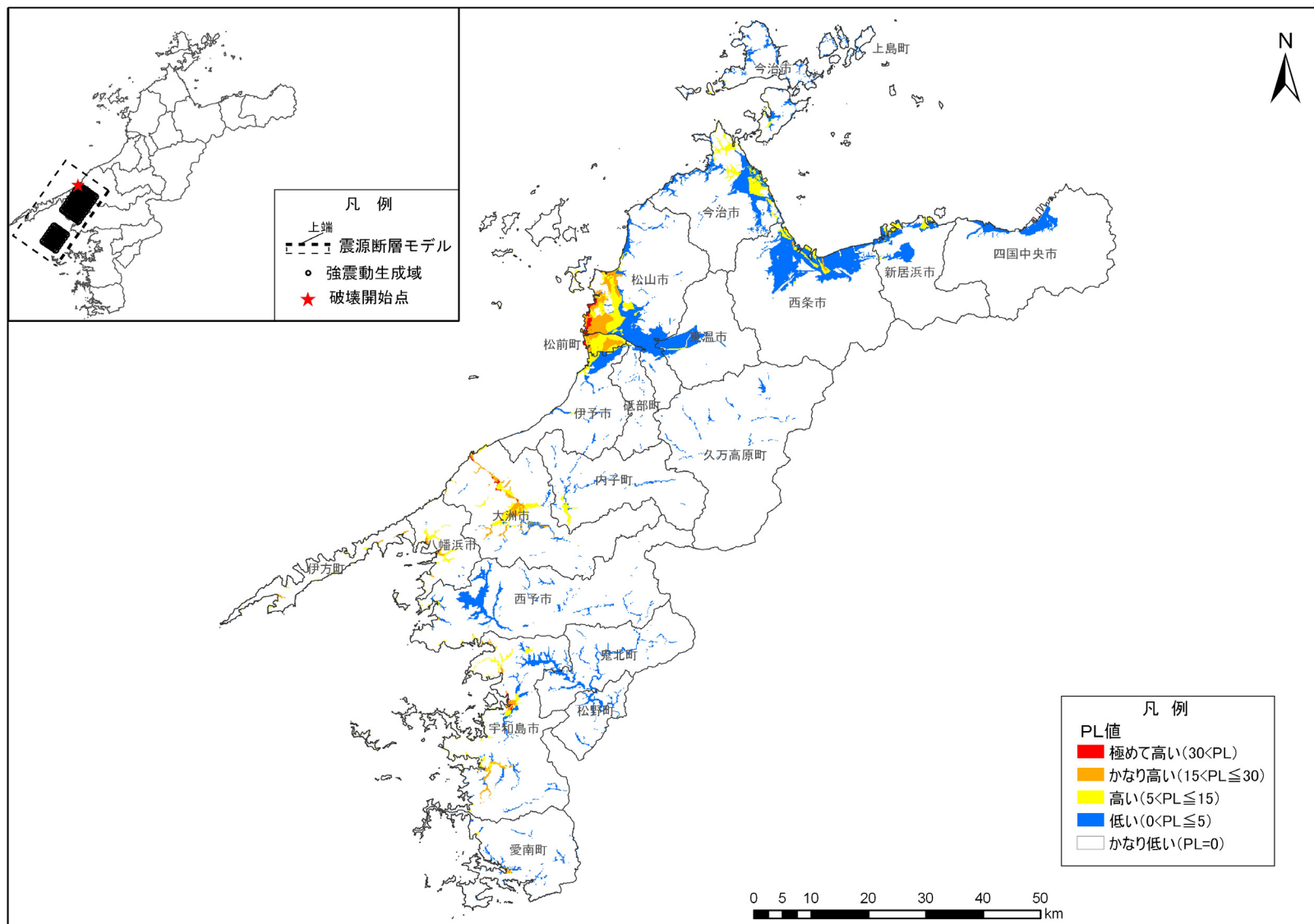


図 2-5-5(8) ②' 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（南側ケース 1）の液状化危険度（PL 値）分布

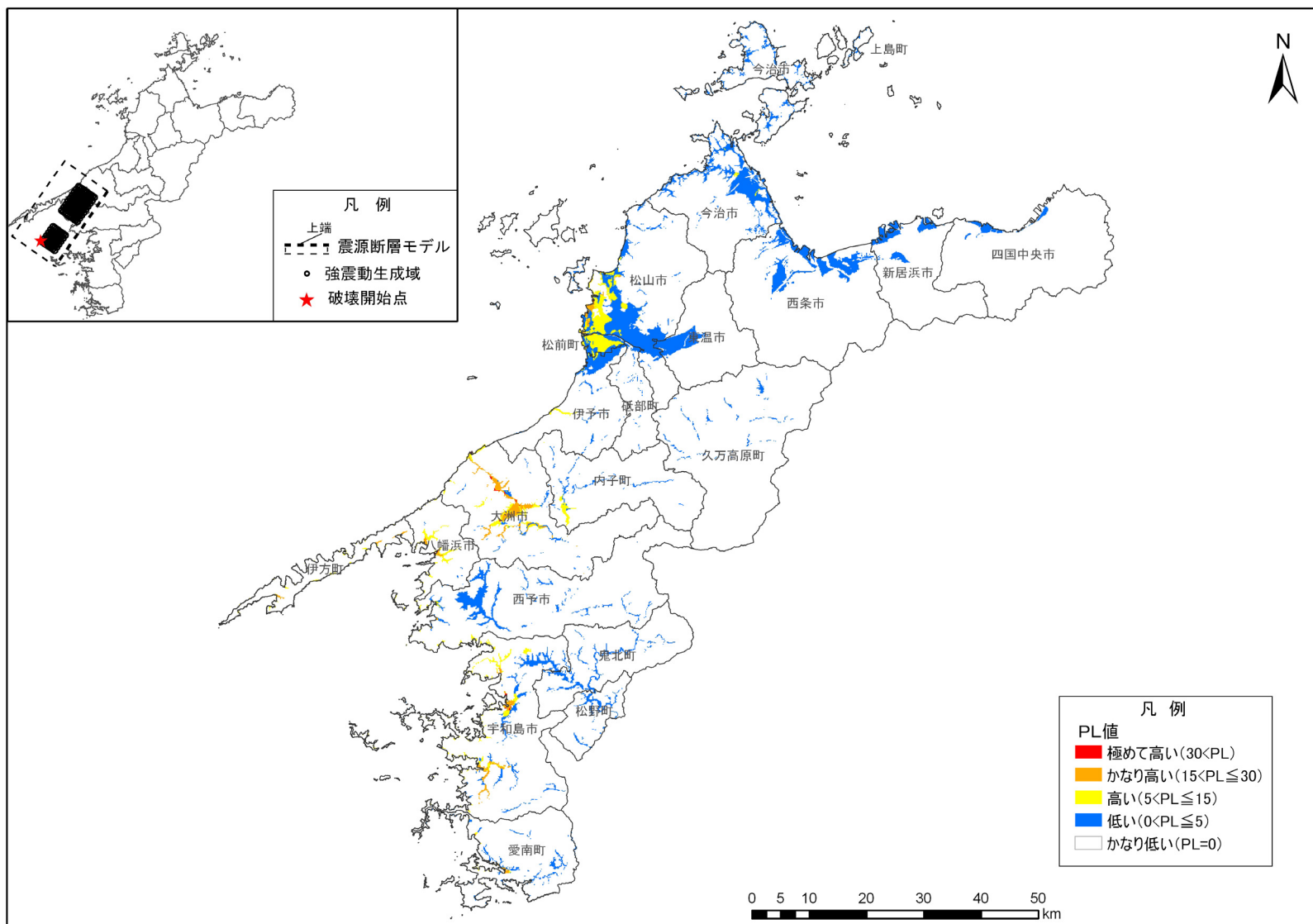


図 2-5-5 (9) ②' 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（南側ケース 2）の液状化危険度（PL 値）分布

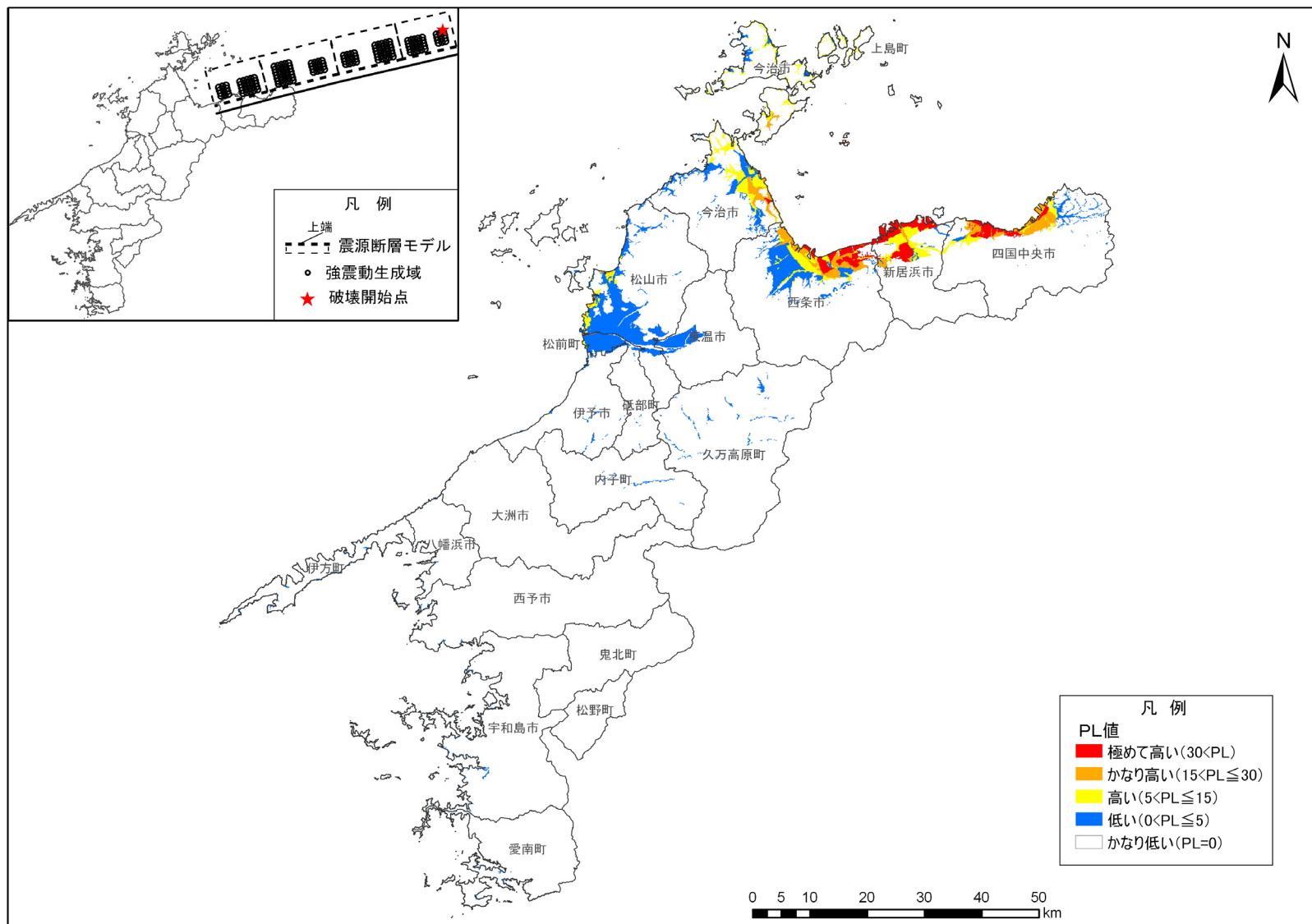


図 2-5-5(10) ③讃岐山脈南縁－石鎚山脈北縁東部（ケース 1）の地震の液状化危険度（PL 値）分布

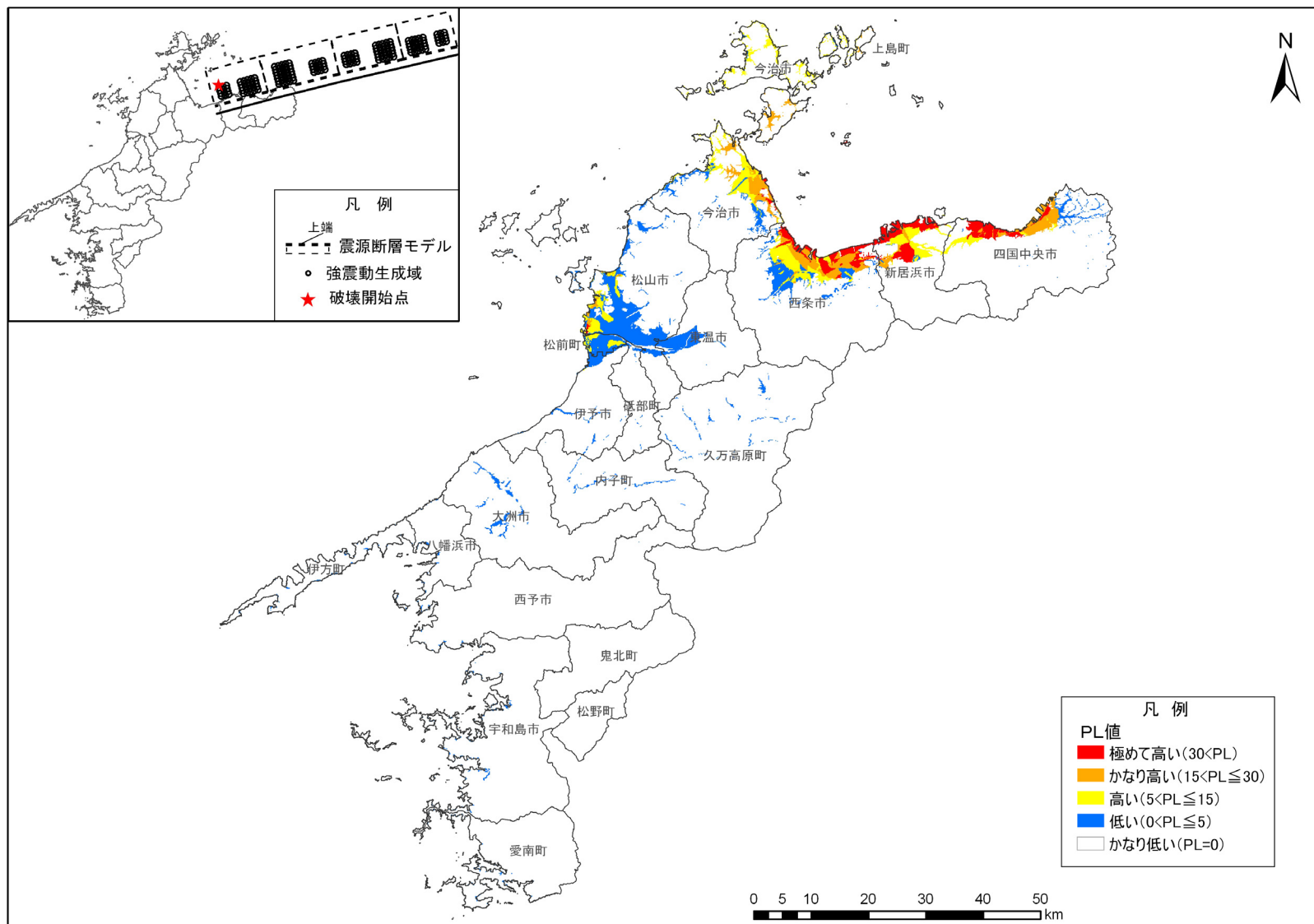


図 2-5-5(11) ③讃岐山脈南縁－石鎚山脈北縁東部（ケース 2）の地震の液状化危険度（PL 値）分布

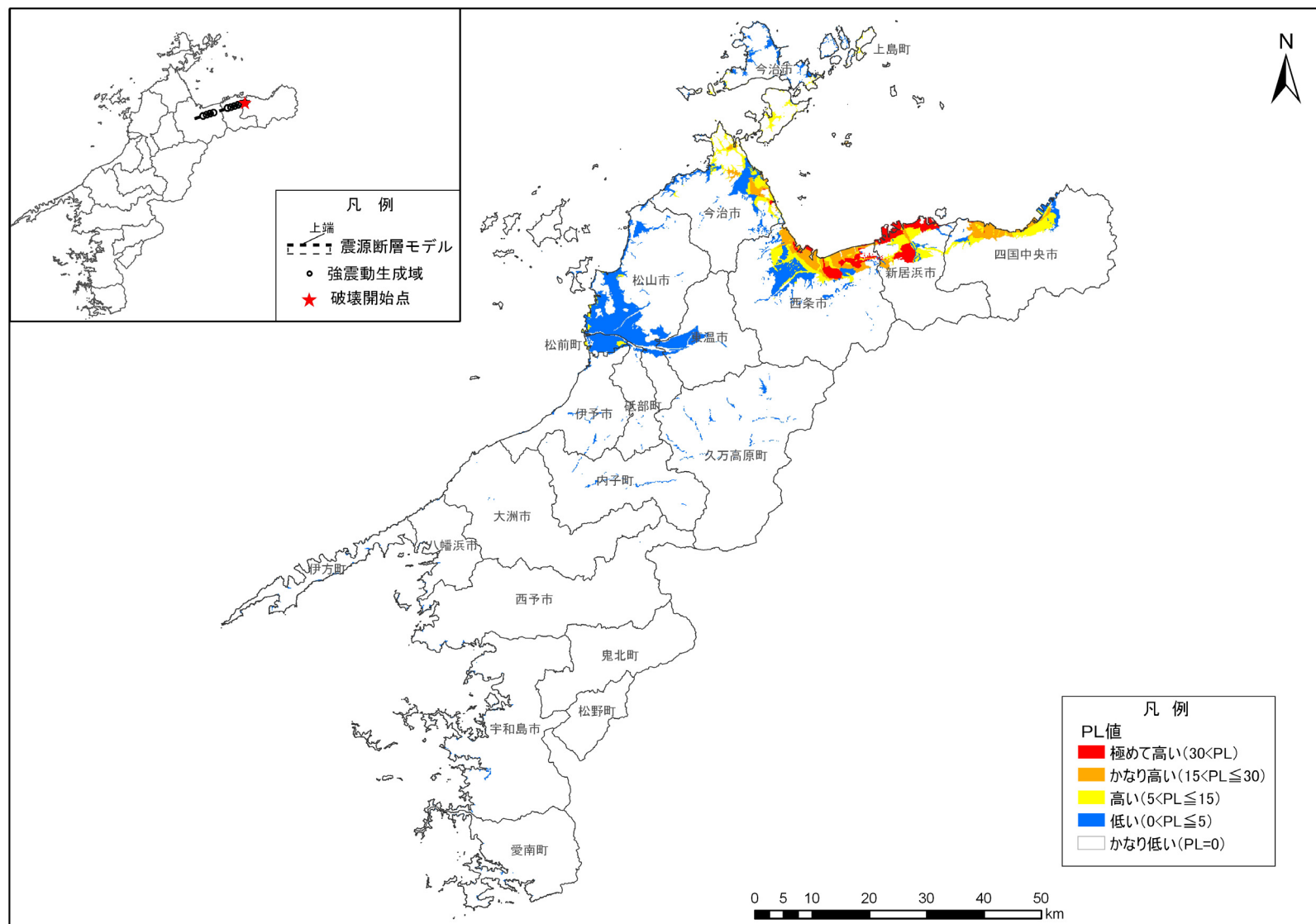


図 2-5-5(12) ④石鎚山脈北縁（ケース 1）の地震の液状化危険度（PL 値）分布

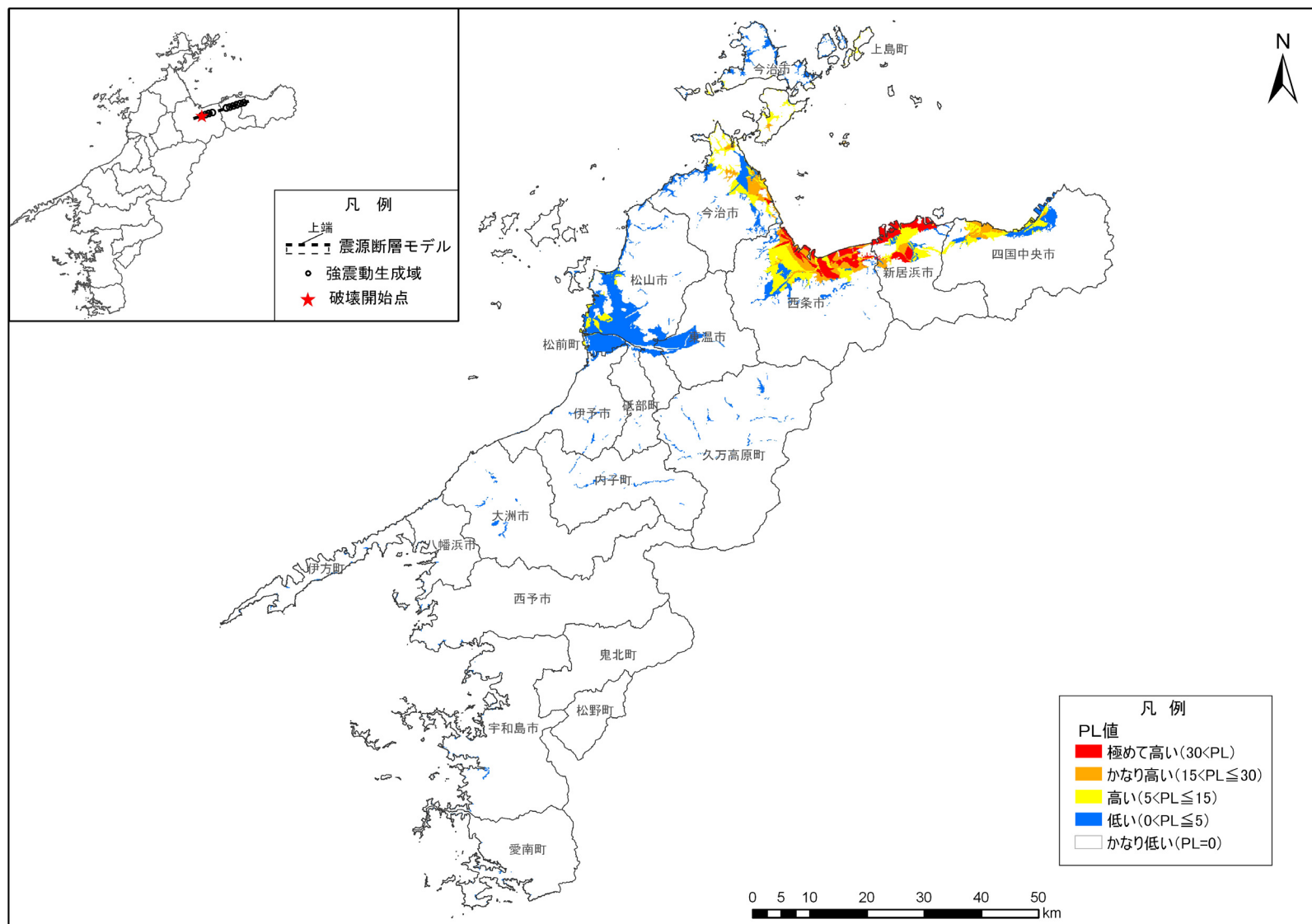


図 2-5-5(13) ④石鎚山脈北縁（ケース 2）の地震の液状化危険度（PL 値）分布

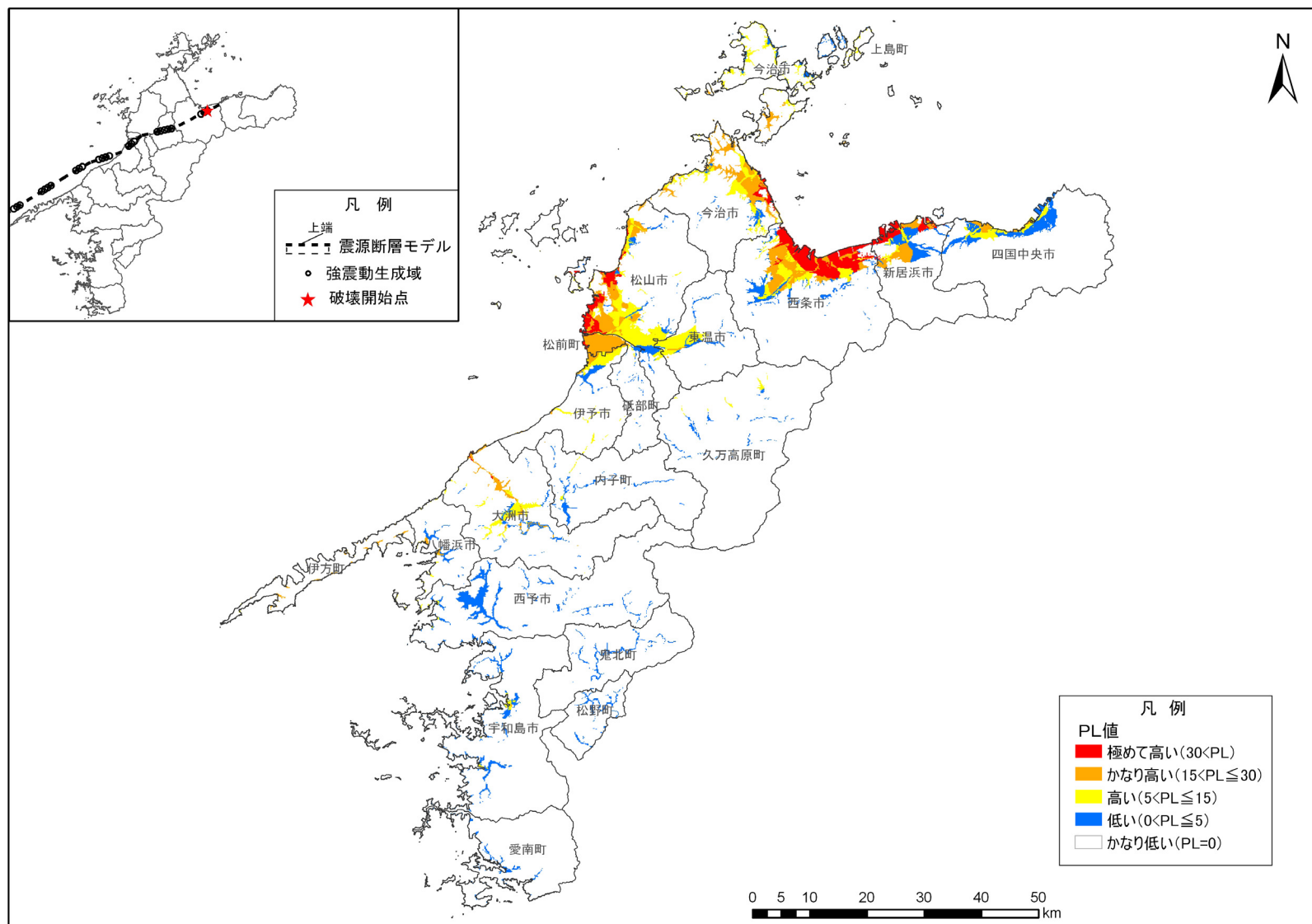


図 2-5-5(14) ⑤石鎚山脈北縁西部－伊予灘（ケース 1）の地震の液状化危険度（PL 値）分布

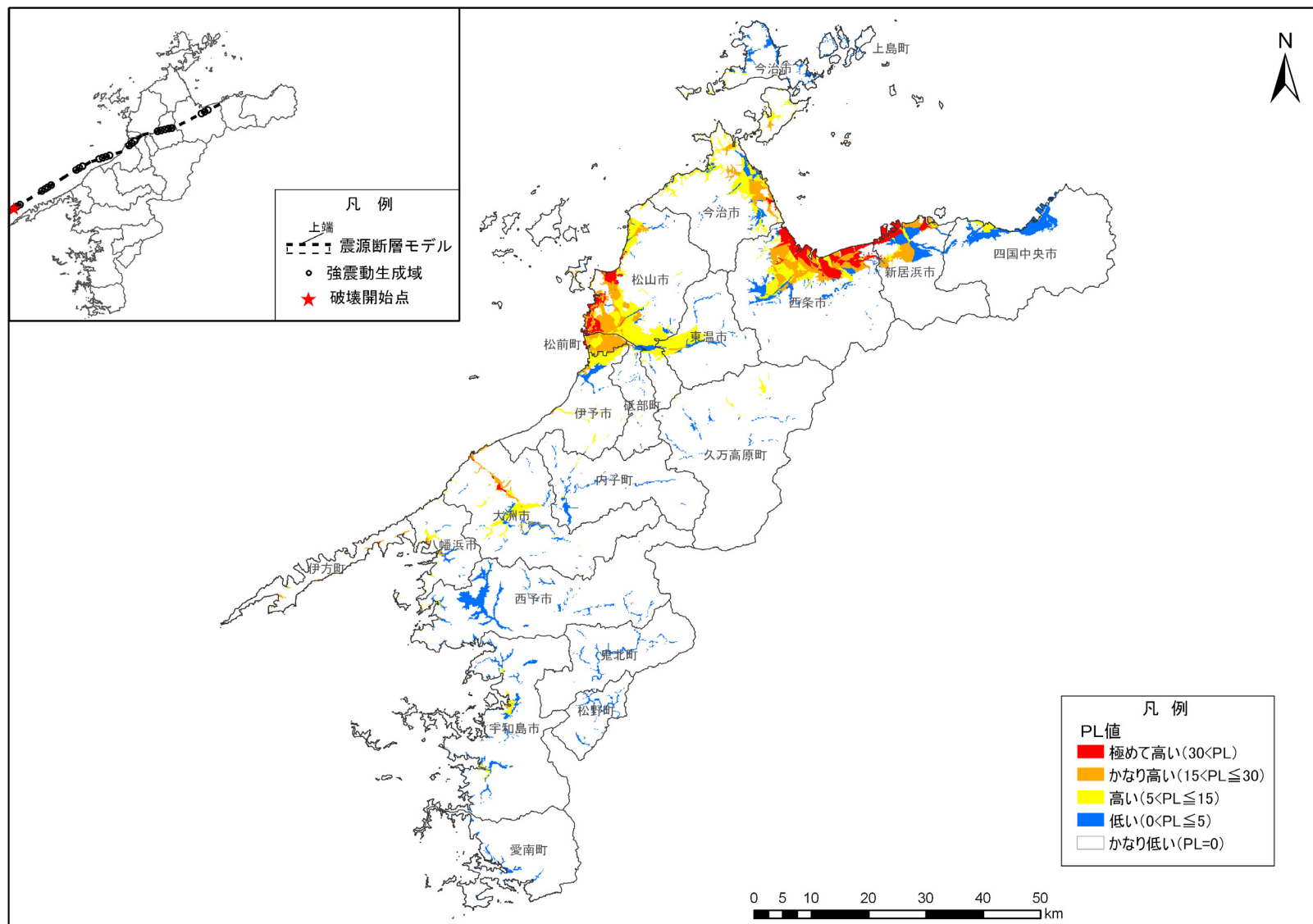


図 2-5-5 (15) ⑤石鎚山脈北縁西部ー伊予灘（ケース 2）の地震の液状化危険度（PL 値）分布

表 2-5-4 (1) ①南海トラフ巨大地震（基本ケース）の液状化危険度想定結果（市町別）

市町名	最大値	最小値	平均値	液状化(PL値)			面積割合	
				30<PL	15<PL≤30	5<PL≤15	0<PL≤5	PL=0
松山市	65.5	0.0	3.0	2.3%	5.8%	6.7%	9.2%	76.0%
今治市	39.3	0.0	2.8	0.2%	8.1%	8.0%	3.6%	80.2%
宇和島市	55.9	0.0	1.8	1.5%	3.5%	3.4%	0.4%	91.2%
八幡浜市	35.5	0.0	0.8	1.0%	0.7%	3.4%	0.0%	95.0%
新居浜市	63.0	0.0	5.0	6.3%	5.5%	0.8%	8.1%	79.3%
西条市	68.1	0.0	5.2	7.8%	3.8%	5.6%	6.4%	76.4%
大洲市	54.3	0.0	1.6	1.9%	3.7%	1.2%	0.2%	93.0%
伊予市	31.7	0.0	0.9	0.0%	1.6%	5.8%	3.1%	89.5%
四国中央市	46.3	0.0	2.5	2.4%	6.3%	2.8%	1.2%	87.3%
西予市	37.4	0.0	0.3	0.0%	0.4%	1.6%	4.4%	93.6%
東温市	19.6	0.0	0.5	0.0%	0.3%	3.9%	7.2%	88.6%
上島町	21.8	0.0	3.0	0.0%	11.6%	3.3%	0.0%	85.2%
久万高原町	5.0	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%	98.7%
松前町	42.7	0.0	20.8	15.4%	72.2%	10.8%	0.0%	1.6%
砥部町	18.2	0.0	0.1	0.0%	0.3%	0.4%	2.4%	96.8%
内子町	16.0	0.0	0.2	0.0%	1.0%	0.7%	1.3%	96.9%
伊方町	33.8	0.0	0.4	0.0%	0.7%	2.3%	0.0%	97.0%
松野町	14.1	0.0	0.6	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%	92.9%
鬼北町	14.4	0.0	0.6	0.0%	0.0%	5.7%	0.1%	94.2%
愛南町	56.4	0.0	1.2	0.4%	3.7%	1.3%	1.4%	93.2%
愛媛県	68.1	0.0	1.9	1.7%	3.3%	3.3%	3.1%	88.6%

※四捨五入の関係で値が表示されない(0.0%)、合計が100%にならない場合がある。

表 2-5-4 (2) ①南海トラフ巨大地震（陸側ケース）の液状化危険度想定結果（市町別）

市町名	最大値	最小値	平均値	液状化(PL値)			面積割合	
				30<PL	15<PL≤30	5<PL≤15	0<PL≤5	PL=0
松山市	81.8	0.0	7.1	9.4%	10.1%	5.1%	1.5%	73.8%
今治市	60.6	0.0	6.5	9.4%	8.7%	1.7%	0.0%	80.2%
宇和島市	57.4	0.0	2.1	1.7%	5.1%	1.9%	0.1%	91.1%
八幡浜市	38.4	0.0	1.1	1.0%	0.8%	3.3%	0.0%	95.0%
新居浜市	80.8	0.0	8.1	12.3%	1.1%	7.3%	0.0%	79.3%
西条市	76.7	0.0	8.5	11.8%	8.7%	2.6%	0.5%	76.4%
大洲市	68.5	0.0	2.1	2.9%	3.1%	1.0%	0.0%	93.0%
伊予市	50.6	0.0	2.1	1.3%	5.4%	2.7%	1.3%	89.2%
四国中央市	72.1	0.0	4.0	5.9%	3.2%	3.4%	0.2%	87.3%
西予市	41.4	0.0	0.4	0.1%	0.3%	1.6%	4.4%	93.6%
東温市	41.5	0.0	1.4	0.1%	2.7%	8.2%	0.4%	88.6%
上島町	48.5	0.0	5.3	1.7%	13.2%	0.0%	0.0%	85.2%
久万高原町	15.4	0.0	0.1	0.0%	0.1%	1.1%	0.0%	98.7%
松前町	71.8	4.7	34.6	64.1%	34.3%	1.3%	0.3%	0.0%
砥部町	35.6	0.0	0.4	0.3%	0.4%	1.9%	1.1%	96.3%
内子町	26.9	0.0	0.4	0.0%	1.1%	2.0%	0.0%	96.9%
伊方町	37.8	0.0	0.8	0.1%	2.9%	0.0%	0.1%	96.8%
松野町	16.6	0.0	0.7	0.0%	1.4%	5.8%	0.0%	92.9%
鬼北町	16.6	0.0	0.7	0.0%	2.7%	3.1%	0.1%	94.2%
愛南町	57.1	0.0	1.2	0.4%	3.9%	1.1%	1.5%	93.2%
愛媛県	81.8	0.0	3.3	4.1%	4.1%	2.7%	0.7%	88.4%

※四捨五入の関係で値が表示されない(0.0%)、合計が100%にならない場合がある。

表 2-5-4 (3) ①南海トラフ巨大地震（東側ケース）の液状化危険度想定結果（市町別）

市町名	最大値	最小値	平均値	液状化(PL値)			面積割合	
				30<PL	15<PL≤30	5<PL≤15	0<PL≤5	PL=0
松山市	66.8	0.0	3.4	2.6%	5.7%	8.7%	7.0%	76.0%
今治市	36.5	0.0	2.8	0.2%	9.2%	6.4%	4.1%	80.2%
宇和島市	52.7	0.0	1.6	1.3%	2.9%	3.5%	1.1%	91.2%
八幡浜市	33.9	0.0	0.7	0.0%	1.1%	3.7%	0.1%	95.0%
新居浜市	62.7	0.0	5.1	6.8%	4.9%	1.5%	7.5%	79.3%
西条市	66.5	0.0	4.8	7.7%	3.7%	5.0%	7.2%	76.4%
大洲市	55.0	0.0	1.6	2.3%	3.2%	1.2%	0.3%	93.0%
伊予市	31.7	0.0	1.2	0.0%	2.5%	4.9%	3.1%	89.5%
四国中央市	46.7	0.0	2.8	3.0%	6.1%	2.9%	0.7%	87.3%
西予市	35.7	0.0	0.3	0.0%	0.2%	1.7%	4.4%	93.6%
東温市	22.3	0.0	0.6	0.0%	0.4%	8.0%	3.1%	88.6%
上島町	26.9	0.0	3.6	0.0%	14.8%	0.0%	0.0%	85.2%
久万高原町	5.2	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.1%	1.2%	98.7%
松前町	51.8	0.0	25.4	15.6%	79.0%	3.7%	0.0%	1.6%
砥部町	22.8	0.0	0.2	0.0%	0.4%	0.3%	2.5%	96.7%
内子町	16.5	0.0	0.2	0.0%	0.6%	0.5%	2.0%	96.9%
伊方町	32.0	0.0	0.4	0.0%	0.5%	2.5%	0.1%	97.0%
松野町	12.9	0.0	0.6	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%	92.9%
鬼北町	12.8	0.0	0.5	0.0%	0.0%	5.7%	0.1%	94.2%
愛南町	55.2	0.0	1.0	0.4%	3.6%	1.1%	1.7%	93.2%
愛媛県	66.8	0.0	27.1	1.8%	3.3%	3.5%	2.9%	88.6%

※四捨五入の関係で値が表示されない(0.0%)、合計が100%にならない場合がある。

表 2-5-4 (4) ①南海トラフ巨大地震（西側ケース）の液状化危険度想定結果（市町別）

市町名	最大値	最小値	平均値	液状化(PL値)			面積割合	
				30<PL	15<PL≤30	5<PL≤15	0<PL≤5	PL=0
松山市	64.2	0.0	3.4	2.2%	6.2%	11.1%	5.1%	75.3%
今治市	41.0	0.0	3.1	0.5%	10.6%	6.3%	2.4%	80.2%
宇和島市	55.9	0.0	1.9	1.5%	4.0%	3.1%	0.4%	91.1%
八幡浜市	35.3	0.0	0.8	1.0%	0.7%	3.4%	0.0%	95.0%
新居浜市	58.2	0.0	4.3	5.2%	4.1%	3.1%	7.9%	79.6%
西条市	66.3	0.0	5.0	7.4%	4.1%	6.8%	5.3%	76.4%
大洲市	57.5	0.0	1.6	1.9%	3.5%	1.3%	0.3%	93.0%
伊予市	26.5	0.0	0.8	0.0%	1.3%	6.1%	3.1%	89.5%
四国中央市	37.2	0.0	2.2	1.2%	6.1%	2.3%	3.0%	87.3%
西予市	36.9	0.0	0.3	0.0%	0.4%	1.6%	4.4%	93.6%
東温市	27.3	0.0	0.9	0.0%	0.4%	9.2%	1.9%	88.6%
上島町	26.5	0.0	3.5	0.0%	14.8%	0.0%	0.0%	85.2%
久万高原町	6.2	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.4%	0.8%	98.7%
松前町	39.2	0.0	20.5	3.8%	83.5%	11.1%	0.0%	1.6%
砥部町	21.0	0.0	0.2	0.0%	0.3%	0.4%	2.5%	96.7%
内子町	15.5	0.0	0.2	0.0%	0.3%	0.8%	2.0%	96.9%
伊方町	35.5	0.0	0.5	0.0%	1.1%	1.9%	0.1%	96.8%
松野町	16.0	0.0	0.7	0.0%	1.4%	5.8%	0.0%	92.9%
鬼北町	15.5	0.0	0.6	0.0%	1.1%	4.7%	0.1%	94.2%
愛南町	60.1	0.0	1.4	0.6%	3.8%	2.4%	0.0%	93.2%
愛媛県	66.3	0.0	1.9	1.5%	3.6%	3.9%	2.5%	88.5%

※四捨五入の関係で値が表示されない(0.0%)、合計が100%にならない場合がある。

表 2-5-4 (5) ①南海トラフ巨大地震（経験的手法）の液状化危険度予測結果（市町別）

市町名	最大値	最小値	平均値	液状化(PL値) 面積割合				
				30<PL	15<PL≤30	5<PL≤15	0<PL≤5	PL=0
松山市	80.3	0.0	7.1	10.5%	4.9%	9.3%	1.5%	73.8%
今治市	60.9	0.0	6.4	10.3%	7.8%	1.7%	0.0%	80.2%
宇和島市	55.2	0.0	1.9	1.5%	4.2%	2.8%	0.3%	91.2%
八幡浜市	37.3	0.0	1.0	1.0%	0.8%	3.3%	0.0%	95.0%
新居浜市	75.8	0.0	7.1	10.4%	2.5%	7.8%	0.0%	79.3%
西条市	72.7	0.0	7.4	10.6%	7.3%	5.2%	0.5%	76.4%
大洲市	62.7	0.0	1.9	2.7%	3.2%	1.1%	0.0%	93.0%
伊予市	46.0	0.0	1.8	0.0%	6.8%	2.7%	1.3%	89.2%
四国中央市	55.6	0.0	3.2	4.1%	5.0%	3.4%	0.2%	87.3%
西予市	40.0	0.0	0.4	0.0%	0.4%	1.6%	4.4%	93.6%
東温市	30.1	0.0	1.1	0.0%	0.4%	10.5%	0.6%	88.6%
上島町	44.4	0.0	4.8	1.7%	13.2%	0.0%	0.0%	85.2%
久万高原町	12.2	0.0	0.1	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	98.7%
松前町	66.8	1.7	31.7	46.9%	51.5%	0.0%	1.6%	0.0%
砥部町	28.9	0.0	0.3	0.0%	0.8%	1.4%	1.5%	96.3%
内子町	24.2	0.0	0.3	0.0%	1.0%	2.0%	0.0%	96.9%
伊方町	39.5	0.0	0.8	0.1%	2.9%	0.0%	0.1%	96.8%
松野町	13.3	0.0	0.6	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%	92.9%
鬼北町	13.2	0.0	0.5	0.0%	0.0%	5.7%	0.1%	94.2%
愛南町	59.2	0.0	1.3	0.4%	4.0%	2.1%	0.3%	93.2%
愛媛県	80.3	0.0	3.0	3.8%	3.5%	3.6%	0.7%	88.4%

※四捨五入の関係で値が表示されない(0.0%)、合計が100%にならない場合がある。

表 2-5-4 (6) ②安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（北側ケース 1）の液状化危険度想定結果（市町別）

市町名	最大値	最小値	平均値	液状化(PL値) 面積割合				
				30<PL	15<PL≤30	5<PL≤15	0<PL≤5	PL=0
松山市	72.9	0.0	4.6	5.0%	7.1%	8.1%	5.7%	73.9%
今治市	44.5	0.0	3.4	1.6%	9.7%	6.7%	1.9%	80.2%
宇和島市	28.8	0.0	0.1	0.0%	0.2%	1.1%	4.1%	94.6%
八幡浜市	28.6	0.0	0.4	0.0%	1.0%	2.9%	1.2%	95.0%
新居浜市	38.1	0.0	2.2	1.9%	3.1%	5.6%	9.5%	79.8%
西条市	41.4	0.0	1.8	0.5%	3.8%	7.0%	10.9%	77.7%
大洲市	41.2	0.0	0.8	0.3%	2.2%	2.9%	1.7%	93.0%
伊予市	25.6	0.0	0.7	0.0%	0.7%	6.0%	3.4%	89.9%
四国中央市	11.0	0.0	0.2	0.0%	0.0%	1.4%	7.5%	91.1%
西予市	22.8	0.0	0.1	0.0%	0.0%	0.1%	6.3%	93.6%
東温市	14.7	0.0	0.3	0.0%	0.0%	1.8%	9.5%	88.8%
上島町	11.1	0.0	1.0	0.0%	0.0%	6.1%	7.9%	86.1%
久万高原町	4.0	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%	98.7%
松前町	41.6	0.0	20.1	4.8%	75.7%	17.8%	0.0%	1.6%
砥部町	19.2	0.0	0.1	0.0%	0.3%	0.4%	2.4%	96.8%
内子町	10.7	0.0	0.1	0.0%	0.0%	0.9%	2.2%	96.9%
伊方町	27.9	0.0	0.2	0.0%	0.1%	1.7%	1.2%	97.0%
松野町	0.1	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	5.8%	94.2%
鬼北町	0.6	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	5.5%	94.5%
愛南町	12.4	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.3%	1.4%	98.3%
愛媛県	72.9	0.0	1.1	0.7%	2.2%	2.9%	4.8%	89.4%

※四捨五入の関係で値が表示されない(0.0%)、合計が100%にならない場合がある。

表 2-5-4 (7) ②安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（北側ケース 2）の液状化危険度想定結果（市町別）

市町名	最大値	最小値	平均値	液状化(PL値) 面積割合				
				30<PL	15<PL≤30	5<PL≤15	0<PL≤5	PL=0
松山市	71.5	0.0	4.3	4.7%	6.0%	8.6%	6.8%	73.9%
今治市	36.9	0.0	2.6	0.2%	6.5%	9.7%	3.2%	80.5%
宇和島市	38.1	0.0	0.3	0.0%	0.4%	1.7%	4.5%	93.4%
八幡浜市	28.9	0.0	0.5	0.0%	1.0%	2.5%	1.5%	95.0%
新居浜市	20.4	0.0	0.9	0.0%	0.6%	7.2%	9.8%	82.5%
西条市	26.8	0.0	0.8	0.0%	1.1%	4.0%	16.3%	78.6%
大洲市	43.0	0.0	0.9	0.7%	2.2%	2.7%	1.5%	93.0%
伊予市	24.2	0.0	0.8	0.0%	1.2%	6.1%	2.8%	89.9%
四国中央市	9.7	0.0	0.1	0.0%	0.0%	0.2%	7.2%	92.5%
西予市	25.5	0.0	0.1	0.0%	0.0%	0.2%	6.2%	93.6%
東温市	14.1	0.0	0.3	0.0%	0.0%	0.9%	9.8%	89.3%
上島町	9.3	0.0	0.5	0.0%	0.0%	3.9%	9.4%	86.7%
久万高原町	3.3	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%	98.7%
松前町	50.2	0.0	21.3	13.4%	74.1%	10.9%	0.0%	1.6%
砥部町	16.5	0.0	0.1	0.0%	0.2%	0.3%	2.6%	96.9%
内子町	11.8	0.0	0.1	0.0%	0.0%	1.0%	2.0%	97.0%
伊方町	26.8	0.0	0.2	0.0%	0.1%	1.9%	1.0%	97.0%
松野町	0.4	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	92.9%
鬼北町	0.8	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	5.7%	94.3%
愛南町	13.4	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.3%	1.5%	98.1%
愛媛県	71.5	0.0	0.9	0.5%	1.6%	2.9%	5.5%	89.6%

※四捨五入の関係で値が表示されない(0.0%)、合計が100%にならない場合がある。

表 2-5-4 (8) ②' 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（南側ケース 1）の液状化危険度想定結果（市町別）

市町名	最大値	最小値	平均値	液状化(PL値) 面積割合				
				30<PL	15<PL≤30	5<PL≤15	0<PL≤5	PL=0
松山市	51.2	0.0	2.1	0.8%	5.0%	5.4%	11.4%	77.3%
今治市	16.2	0.0	0.6	0.0%	0.0%	5.0%	13.1%	81.9%
宇和島市	46.2	0.0	0.6	0.1%	1.4%	2.5%	4.6%	91.4%
八幡浜市	33.8	0.0	0.6	0.0%	1.1%	3.6%	0.2%	95.0%
新居浜市	12.1	0.0	0.3	0.0%	0.0%	2.2%	8.0%	89.9%
西条市	26.1	0.0	0.3	0.0%	0.2%	1.5%	15.2%	83.1%
大洲市	46.8	0.0	0.9	0.3%	2.8%	2.6%	1.4%	93.0%
伊予市	19.0	0.0	0.4	0.0%	0.0%	2.7%	7.6%	89.7%
四国中央市	2.7	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%	95.2%
西予市	33.6	0.0	0.2	0.0%	0.1%	0.3%	6.0%	93.6%
東温市	6.0	0.0	0.1	0.0%	0.0%	0.3%	9.4%	90.2%
上島町	1.4	0.0	0.1	0.0%	0.0%	0.0%	13.2%	86.8%
久万高原町	1.3	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	98.9%
松前町	43.9	0.0	14.5	3.8%	31.5%	59.3%	3.7%	1.6%
砥部町	11.0	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.3%	2.7%	96.9%
内子町	10.3	0.0	0.1	0.0%	0.0%	1.0%	2.1%	96.9%
伊方町	36.3	0.0	0.5	0.0%	1.0%	1.9%	0.0%	97.0%
松野町	1.8	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	92.9%
鬼北町	2.8	0.0	0.1	0.0%	0.0%	0.0%	5.8%	94.2%
愛南町	38.8	0.0	0.1	0.0%	0.3%	0.2%	3.2%	96.3%
愛媛県	51.2	0.0	0.5	0.1%	0.9%	1.9%	6.4%	90.7%

※四捨五入の関係で値が表示されない(0.0%)、合計が 100%にならない場合がある。

表 2-5-4 (9) ②' 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（南側ケース 2）の液状化危険度想定結果（市町別）

市町名	最大値	最小値	平均値	液状化(PL値) 面積割合				
				30<PL	15<PL≤30	5<PL≤15	0<PL≤5	PL=0
松山市	34.0	0.0	0.8	0.0%	0.8%	5.3%	16.4%	77.6%
今治市	6.3	0.0	0.1	0.0%	0.0%	0.2%	15.7%	84.1%
宇和島市	40.5	0.0	0.6	0.1%	1.4%	2.5%	4.5%	91.6%
八幡浜市	31.2	0.0	0.6	0.1%	0.9%	3.8%	0.2%	95.0%
新居浜市	5.4	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	6.9%	93.1%
西条市	4.2	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	8.7%	91.3%
大洲市	48.0	0.0	0.9	0.2%	3.5%	1.9%	1.4%	93.0%
伊予市	12.9	0.0	0.1	0.0%	0.0%	1.1%	8.9%	90.0%
四国中央市	1.2	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	98.2%
西予市	29.3	0.0	0.2	0.0%	0.0%	0.4%	6.0%	93.6%
東温市	4.3	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	9.5%	90.5%
上島町	0.3	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%	95.2%
久万高原町	1.9	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	98.9%
松前町	16.3	0.0	6.3	0.0%	1.0%	57.0%	40.3%	1.6%
砥部町	2.5	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	3.1%	96.9%
内子町	7.3	0.0	0.1	0.0%	0.0%	1.0%	2.0%	97.0%
伊方町	31.4	0.0	0.5	0.0%	1.0%	2.0%	0.0%	97.0%
松野町	1.6	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	92.9%
鬼北町	2.2	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	5.7%	94.3%
愛南町	25.8	0.0	0.1	0.0%	0.3%	0.4%	3.8%	95.5%
愛媛県	48.0	0.0	0.3	0.0%	0.5%	1.2%	6.2%	92.0%

※四捨五入の関係で値が表示されない(0.0%)、合計が 100%にならない場合がある。

表 2-5-4 (10) ③讃岐山脈南縁－石鎚山脈北縁東部（ケース 1）の地震の液状化危険度
想定結果（市町別）

市町名	最大値	最小値	平均値	液状化(PL値) 面積割合				
				30<PL	15<PL≤30	5<PL≤15	0<PL≤5	PL=0
松山市	35.7	0.0	0.4	0.0%	0.2%	1.8%	18.4%	79.6%
今治市	41.5	0.0	1.6	0.2%	3.0%	8.8%	7.5%	80.5%
宇和島市	0.9	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	99.2%
八幡浜市	0.1	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	99.5%
新居浜市	76.3	0.0	6.3	10.2%	1.9%	7.3%	1.2%	79.3%
西条市	55.0	0.0	2.8	3.7%	4.2%	3.6%	9.1%	79.5%
大洲市	0.1	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
伊予市	2.4	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	2.2%	97.8%
四国中央市	49.5	0.0	2.6	3.1%	5.0%	2.2%	2.4%	87.4%
西予市	0.1	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	99.8%
東温市	0.8	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	8.0%	92.0%
上島町	33.7	0.0	1.5	0.1%	0.0%	13.2%	1.6%	85.2%
久万高原町	0.7	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	98.9%
松前町	16.9	0.0	1.8	0.0%	1.7%	2.2%	88.9%	7.3%
砥部町	1.5	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	98.4%
内子町	0.1	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	99.4%
伊方町	0.1	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	1.9%	98.1%
松野町	0.0	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
鬼北町	0.0	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
愛南町	0.4	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	99.3%
愛媛県	76.3	0.0	0.9	1.0%	1.1%	1.7%	4.0%	92.3%

※四捨五入の関係で値が表示されない(0.0%)、合計が100%にならない場合がある。

表 2-5-4 (11) ③讃岐山脈南縁－石鎚山脈北縁東部（ケース 2）の地震の液状化危険度
想定結果（市町別）

市町名	最大値	最小値	平均値	液状化(PL値) 面積割合				
				30<PL	15<PL≤30	5<PL≤15	0<PL≤5	PL=0
松山市	45.1	0.0	0.7	0.2%	0.7%	3.3%	17.3%	78.5%
今治市	44.1	0.0	2.6	0.5%	6.1%	9.4%	3.5%	80.4%
宇和島市	1.2	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	99.1%
八幡浜市	0.1	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	99.1%
新居浜市	82.8	0.0	7.0	10.4%	2.4%	7.5%	0.5%	79.3%
西条市	63.5	0.0	3.8	4.7%	5.4%	5.2%	5.8%	78.9%
大洲市	0.7	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%	97.9%
伊予市	5.8	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	5.0%	95.0%
四国中央市	42.9	0.0	2.7	4.1%	4.7%	1.8%	2.2%	87.3%
西予市	0.1	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	99.8%
東温市	2.5	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	9.0%	91.0%
上島町	41.5	0.0	2.0	0.1%	2.8%	10.7%	1.2%	85.2%
久万高原町	1.1	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	98.9%
松前町	15.2	0.0	3.6	0.0%	0.3%	26.8%	71.1%	1.8%
砥部町	2.7	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	98.2%
内子町	0.2	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	98.8%
伊方町	0.1	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%	98.0%
松野町	0.0	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
鬼北町	0.0	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
愛南町	0.6	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	99.3%
愛媛県	82.8	0.0	1.1	1.2%	1.5%	2.0%	3.6%	91.7%

※四捨五入の関係で値が表示されない(0.0%)、合計が100%にならない場合がある。

表 2-5-4 (12) ④石鎚山脈北縁（ケース 1）の地震の液状化危険度想定結果（市町別）

市町名	最大値	最小値	平均値	液状化(PL値) 面積割合				
				30<PL	15<PL≤30	5<PL≤15	0<PL≤5	PL=0
松山市	18.7	0.0	0.2	0.0%	0.0%	0.5%	20.2%	79.3%
今治市	31.6	0.0	1.4	0.1%	2.2%	6.8%	9.7%	81.2%
宇和島市	0.9	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	99.2%
八幡浜市	0.1	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	99.5%
新居浜市	80.1	0.0	6.0	10.2%	1.8%	6.9%	1.7%	79.3%
西条市	48.0	0.0	2.9	2.9%	6.2%	4.4%	7.4%	79.1%
大洲市	0.1	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
伊予市	5.2	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%	97.7%
四国中央市	31.1	0.0	1.3	0.0%	4.0%	4.5%	1.9%	89.5%
西予市	0.1	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	99.8%
東温市	3.7	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	8.2%	91.8%
上島町	15.8	0.0	0.6	0.0%	0.1%	3.9%	9.3%	86.7%
久万高原町	1.5	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	98.9%
松前町	8.1	0.0	2.0	0.0%	0.0%	6.8%	79.6%	13.6%
砥部町	3.5	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%	98.3%
内子町	0.1	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	99.0%
伊方町	0.1	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	1.9%	98.1%
松野町	0.0	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
鬼北町	0.0	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
愛南町	0.5	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	99.3%
愛媛県	80.1	0.0	0.8	0.7%	1.1%	1.6%	4.2%	92.4%

※四捨五入の関係で値が表示されない(0.0%)、合計が 100%にならない場合がある。

表 2-5-4 (13) ④石鎚山脈北縁（ケース 2）の地震の液状化危険度想定結果（市町別）

市町名	最大値	最小値	平均値	液状化(PL値) 面積割合				
				30<PL	15<PL≤30	5<PL≤15	0<PL≤5	PL=0
松山市	25.4	0.0	0.3	0.0%	0.0%	1.8%	18.4%	79.8%
今治市	39.4	0.0	1.6	0.2%	3.5%	5.9%	9.4%	81.0%
宇和島市	1.0	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	99.2%
八幡浜市	0.1	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	99.5%
新居浜市	74.5	0.0	5.7	9.3%	2.3%	7.0%	2.2%	79.3%
西条市	68.7	0.0	3.9	5.3%	5.4%	7.4%	4.0%	78.0%
大洲市	0.5	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	99.2%
伊予市	4.4	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	2.6%	97.4%
四国中央市	28.3	0.0	0.9	0.0%	2.2%	4.0%	4.1%	89.7%
西予市	0.1	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	99.8%
東温市	2.9	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	8.9%	91.1%
上島町	21.1	0.0	0.7	0.0%	0.1%	4.7%	8.9%	86.3%
久万高原町	1.7	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	98.9%
松前町	8.4	0.0	2.0	0.0%	0.0%	3.8%	85.6%	10.6%
砥部町	2.7	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	98.2%
内子町	0.1	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	98.9%
伊方町	0.1	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	1.9%	98.1%
松野町	0.0	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
鬼北町	0.0	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
愛南町	0.5	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	99.3%
愛媛県	74.5	0.0	0.8	0.9%	1.0%	1.9%	4.0%	92.2%

※四捨五入の関係で値が表示されない(0.0%)、合計が 100%にならない場合がある。

表 2-5-4 (14) ⑤石鎚山脈北縁西部－伊予灘（ケース 1）の地震の液状化危険度想定結果（市町別）

市町名	最大値	最小値	平均値	液状化(PL値) 面積割合				
				30<PL	15<PL≤30	5<PL≤15	0<PL≤5	PL=0
松山市	66.2	0.0	4.5	4.0%	7.3%	10.7%	2.8%	75.2%
今治市	49.6	0.0	3.2	1.0%	8.6%	8.1%	1.9%	80.3%
宇和島市	28.5	0.0	0.1	0.0%	0.1%	0.4%	3.8%	95.7%
八幡浜市	27.4	0.0	0.4	0.0%	1.0%	0.8%	3.3%	95.0%
新居浜市	71.8	0.0	5.0	5.1%	6.5%	1.9%	7.3%	79.3%
西条市	66.5	0.0	5.8	9.4%	6.7%	4.1%	3.4%	76.4%
大洲市	47.2	0.0	0.8	0.1%	2.1%	2.9%	1.8%	93.0%
伊予市	40.5	0.0	1.2	0.0%	2.1%	6.1%	2.6%	89.2%
四国中央市	20.0	0.0	0.6	0.0%	1.0%	2.8%	6.6%	89.6%
西予市	18.8	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.2%	6.2%	93.6%
東温市	25.6	0.0	0.8	0.0%	0.4%	8.5%	2.6%	88.6%
上島町	15.2	0.0	0.9	0.0%	0.0%	5.6%	9.0%	85.4%
久万高原町	5.8	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.3%	1.0%	98.7%
松前町	59.4	0.0	23.7	4.2%	89.3%	4.9%	0.0%	1.6%
砥部町	23.1	0.0	0.2	0.0%	0.4%	0.4%	2.5%	96.7%
内子町	20.3	0.0	0.1	0.0%	0.0%	0.2%	2.7%	97.1%
伊方町	34.5	0.0	0.7	0.0%	2.9%	0.1%	0.0%	97.0%
松野町	0.1	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	5.8%	94.2%
鬼北町	0.3	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	3.0%	97.0%
愛南町	3.3	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%	97.7%
愛媛県	71.8	0.0	1.7	1.5%	2.8%	3.0%	3.4%	89.4%

※四捨五入の関係で値が表示されない(0.0%)、合計が100%にならない場合がある。

表 2-5-4 (15) ⑤石鎚山脈北縁西部－伊予灘（ケース 2）の地震の液状化危険度想定結果（市町別）

市町名	最大値	最小値	平均値	液状化(PL値) 面積割合				
				30<PL	15<PL≤30	5<PL≤15	0<PL≤5	PL=0
松山市	66.0	0.0	4.2	3.1%	7.6%	12.3%	1.8%	75.2%
今治市	42.9	0.0	2.0	0.2%	4.3%	9.5%	5.5%	80.5%
宇和島市	32.6	0.0	0.1	0.0%	0.1%	0.9%	3.8%	95.1%
八幡浜市	29.4	0.0	0.5	0.0%	1.1%	1.9%	2.1%	95.0%
新居浜市	55.0	0.0	4.0	4.5%	6.7%	1.8%	7.4%	79.6%
西条市	53.8	0.0	4.7	7.1%	7.5%	5.3%	3.8%	76.4%
大洲市	43.9	0.0	0.8	0.3%	1.7%	3.1%	1.8%	93.0%
伊予市	37.9	0.0	1.0	0.0%	1.5%	6.6%	2.7%	89.2%
四国中央市	11.1	0.0	0.1	0.0%	0.0%	0.9%	7.1%	91.9%
西予市	20.2	0.0	0.1	0.0%	0.0%	0.2%	6.1%	93.6%
東温市	24.8	0.0	0.9	0.0%	0.4%	8.7%	2.3%	88.6%
上島町	4.6	0.0	0.3	0.0%	0.0%	0.0%	13.3%	86.7%
久万高原町	5.9	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.4%	0.9%	98.8%
松前町	53.2	0.0	21.2	3.8%	68.2%	26.3%	0.0%	1.6%
砥部町	23.2	0.0	0.2	0.0%	0.7%	0.2%	2.3%	96.7%
内子町	20.9	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.1%	2.8%	97.1%
伊方町	34.3	0.0	0.7	0.1%	2.9%	0.0%	0.0%	97.0%
松野町	0.1	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	5.8%	94.2%
鬼北町	0.3	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	3.0%	97.0%
愛南町	3.5	0.0	0.0	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%	97.7%
愛媛県	66.0	0.0	1.4	1.1%	2.4%	3.3%	3.6%	89.6%

※四捨五入の関係で値が表示されない(0.0%)、合計が100%にならない場合がある。

6. 土砂災害危険度の想定

大規模地震では、地震動の影響により斜面崩壊や地すべりといった土砂移動現象が引き起こされ、人命や建物等に被害が生じることが考えられる。本調査では、愛媛県内の土砂災害危険箇所等について、想定地震における危険性を把握した。

6.1 対象とする現象・箇所

対象とする現象は、地震による発生危険性が高い斜面崩壊及び地すべりとし、それぞれ愛媛県の関連部署が所管する危険箇所等を対象とした。

なお、土石流現象については、地震後の降雨に伴い危険性が増す可能性があるが、直接的に被害に至る可能性は斜面崩壊等に比べて低いため対象外とした。また、斜面の表層よりも深い場所から発生する深層崩壊についても、発生メカニズムが明確に解明されておらず、地震に伴う発生の評価手法も確立されていないことから、今回の調査では対象から除外している。

表 2-6-1 対象とする土砂災害危険箇所等

現象	危険箇所	所管	箇所数	調査年月
斜面崩壊	急傾斜地崩壊危険箇所	砂防課	8,807	平成 13 年
	山腹崩壊危険地区	森林整備課	2,262	平成 25 年 2 月
地すべり	地すべり危険箇所	砂防課	506	平成 10 年
	地すべり危険地区	森林整備課	61	平成 15 年 3 月
	地すべり危険地	農地整備課	571	平成 14 年

6.1.1 斜面崩壊

斜面崩壊は、がけ崩れや山崩れと称される現象であり、降雨によってしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱めて斜面が崩れ落ちたり、地震動による衝撃で突然崩れ落ちたりするので、逃げ遅れる人も多く、死者の割合も高いという特徴がある。

愛媛県内で把握されている危険箇所としては、砂防課所管の急傾斜地崩壊危険箇所と、森林整備課所管の山腹崩壊危険地区が該当する。

(1) 急傾斜地崩壊危険箇所

国土交通省が発行する「急傾斜地崩壊危険箇所等点検要領」により、愛媛県砂防課が調査を行った危険箇所である。傾斜度 30° 以上、高さ 5メートル以上の急傾斜地（人工斜面を含むすべての急傾斜地）と定義されている。

(2) 山腹崩壊危険地区

林野庁が発行する「山地災害危険地区要領」により、愛媛県森林整備課が調査を行った危険箇所である。山腹崩壊（落石を含む）による災害が発生するおそれがある地区と定義されている。

6.1.2 地すべり

地すべりは、比較的緩やかな山地等において、斜面が大きく動き出す現象であり、ひとたび発生すると住宅、道路、鉄道、耕地などに大きな被害を及ぼし、川をせき止めて洪水等を引き起こすことがあるという特徴がある。

愛媛県内で把握されている危険箇所としては、砂防課所管の地すべり危険箇所、森林整備課所管の地すべり危険地区及び農地整備課所管の地すべり危険地が該当する。

(1) 地すべり危険箇所

国土交通省が発行する「地すべり危険箇所調査要領」により、愛媛県砂防課が調査を行った危険箇所である。地すべりの発生するおそれのある箇所で、地すべり等防止法第 51 条に基づく国土交通大臣所管になりうるものと定義されている。地すべり危険箇所調査では、地形図や空中写真の判読により、地すべり地形を呈する地域の面積が 5ha（市街化区域等にあつては 2ha）以上で、人家や公共施設等に被害を及ぼすおそれがある箇所を抽出している。

(2) 地すべり危険地区

林野庁が発行する「山地災害危険地区要領」により、愛媛県森林整備課が調査を行った危険地区である。地すべりによる災害が発生するおそれがある地区と定義されている。山地保全に影響を及ぼすおそれがある箇所を抽出している。

(3) 地すべり危険地

中国四国農政局が発行する「地すべり等崩壊災害危険地調査」により、愛媛県農地整備課が調査を行った危険箇所である。この基準において地すべりとは、土地の一部が地下水等に起因してすべる現象又はこれに伴って移動する現象と定義されている。農地保全に影響を及ぼすおそれがある箇所を抽出している。

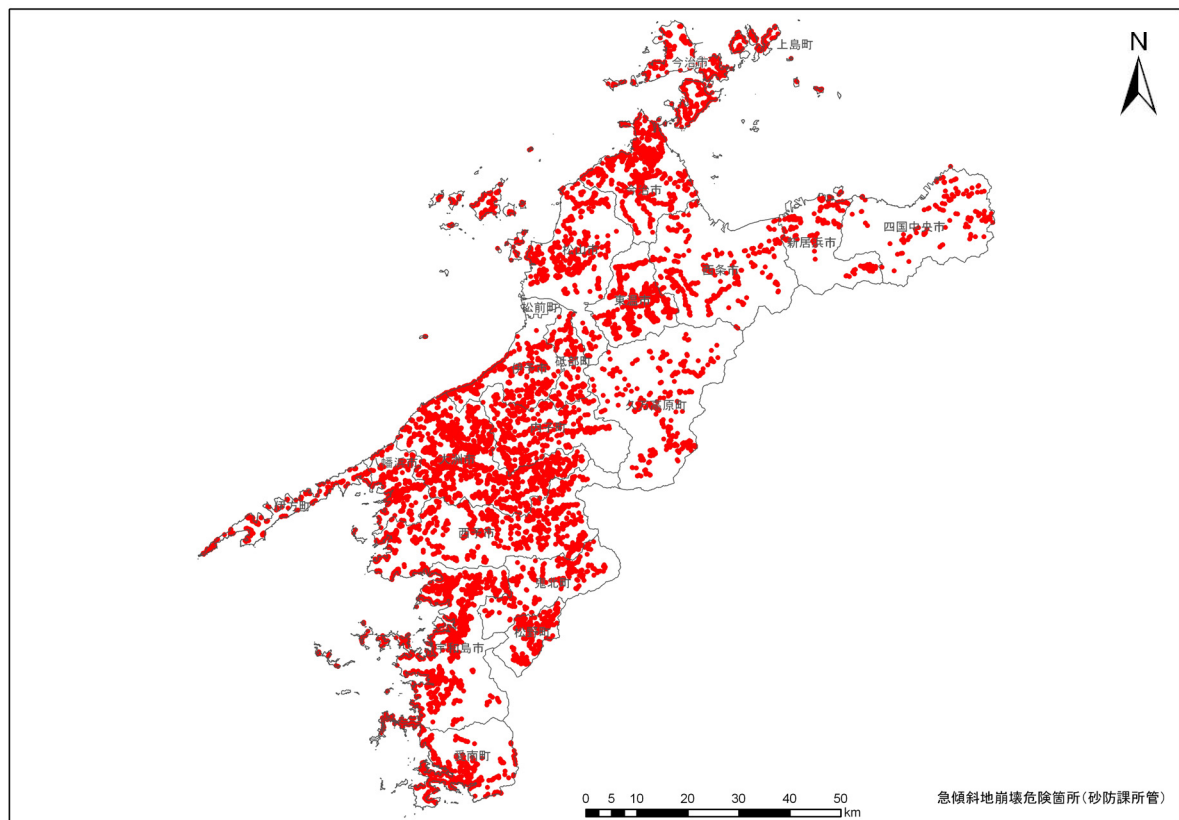


図 2-6-1 急傾斜地崩壊危険箇所（砂防課所管）の分布状況

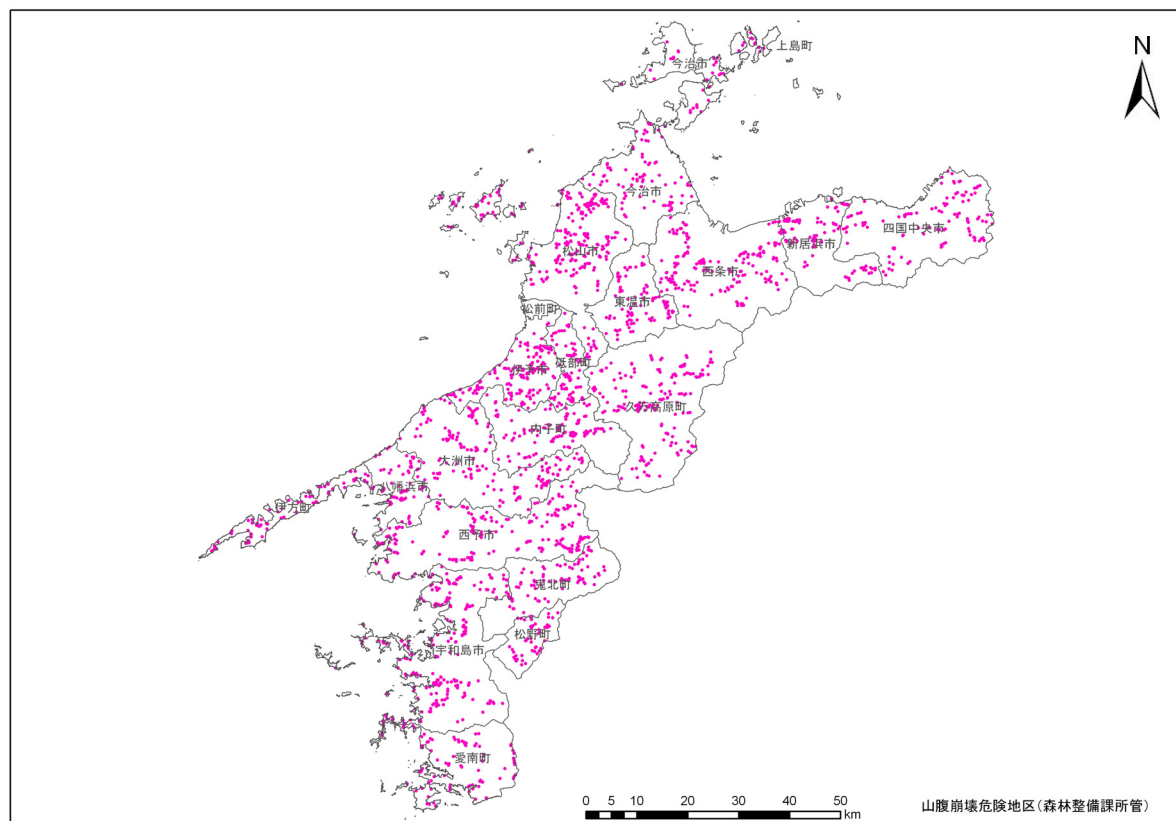


図 2-6-2 山腹崩壊危険地区（森林整備課所管）の分布状況

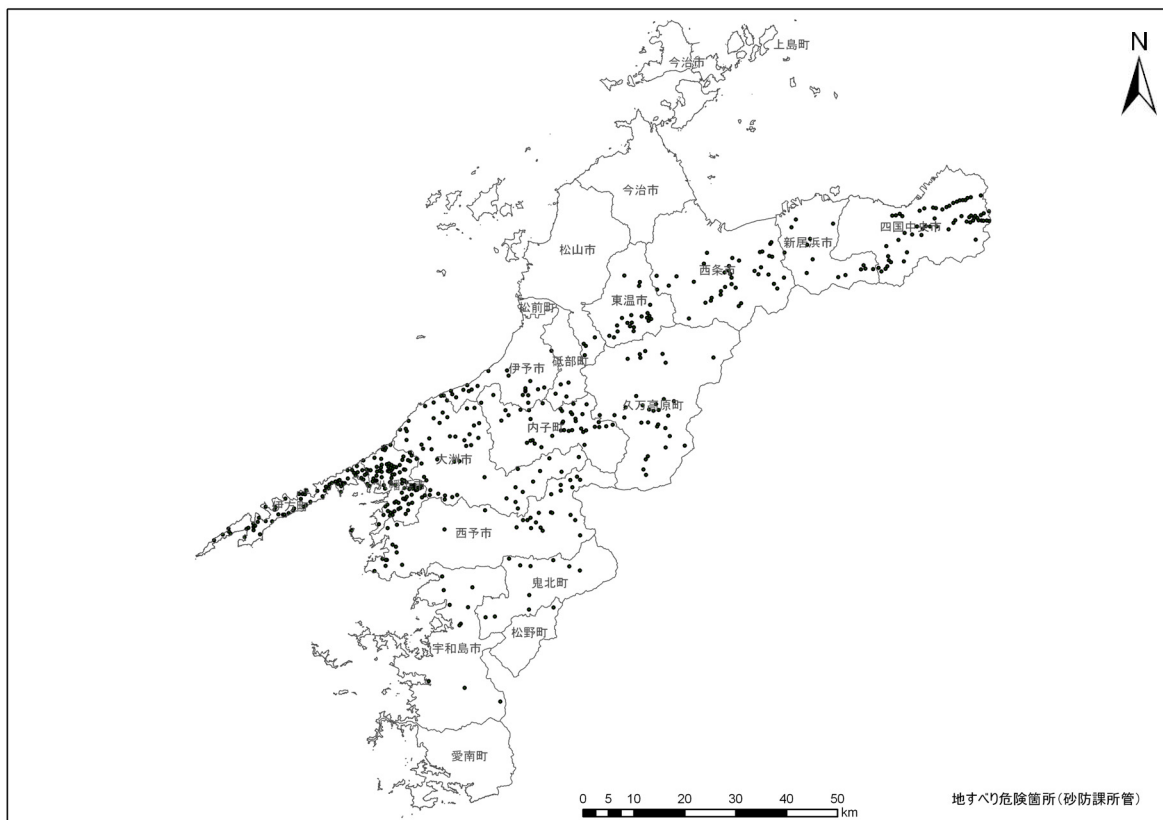


図 2-6-3 地すべり危険箇所（砂防課所管）の分布状況

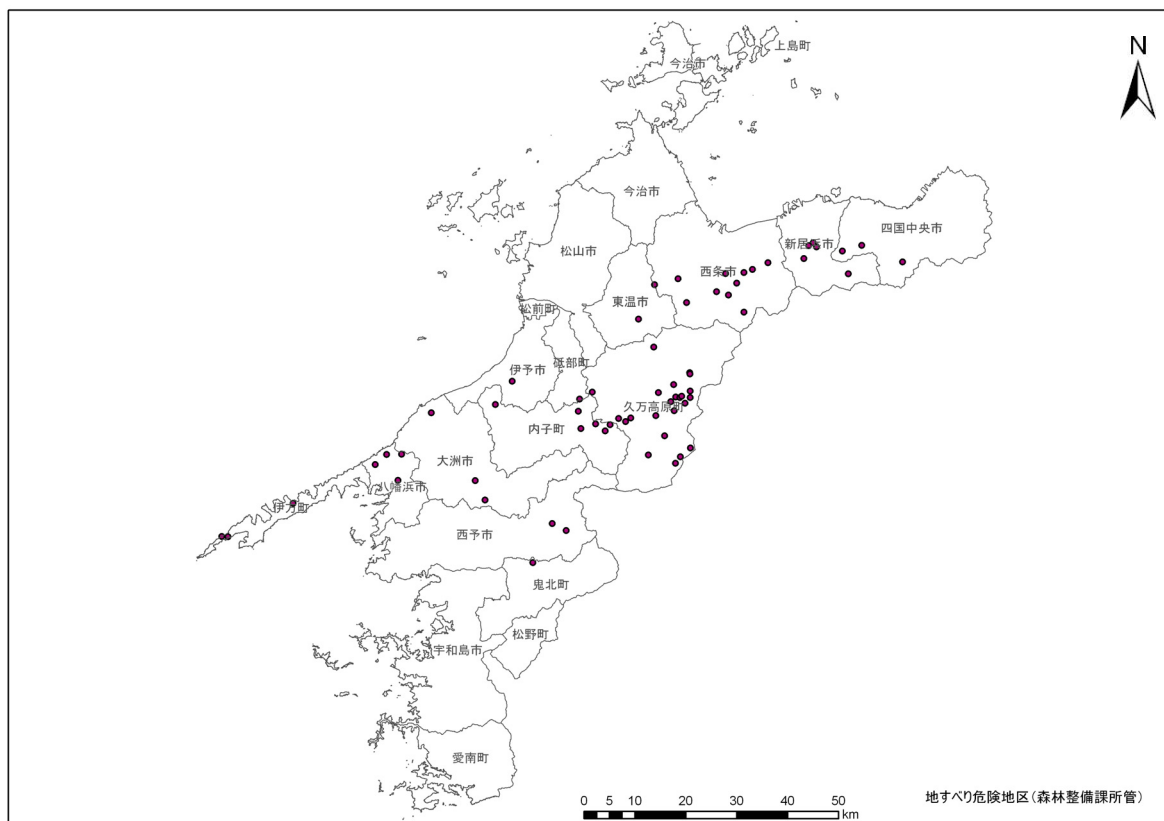


図 2-6-4 地すべり危険地区（森林整備課所管）の分布状況

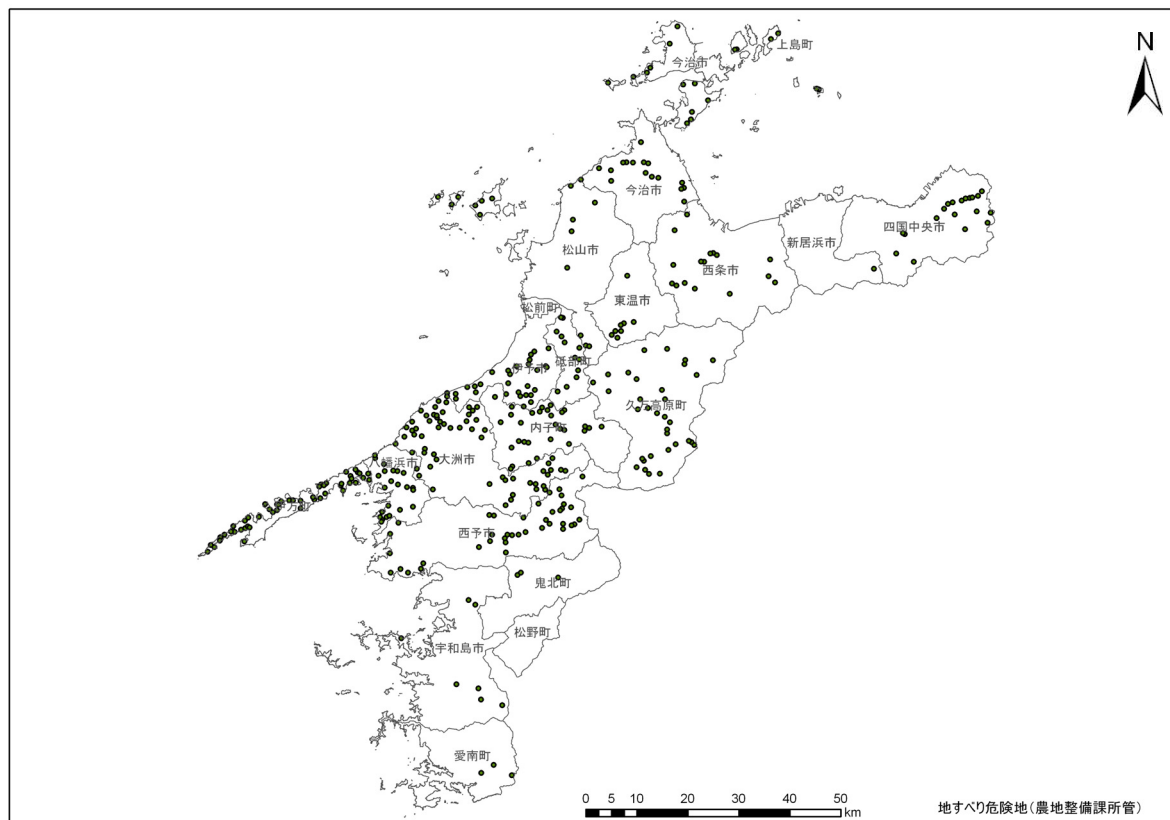


図 2-6-5 地すべり危険地（農地整備課所管）の分布状況

6.2 土砂災害危険度の想定手法

6.2.1 急傾斜地崩壊危険箇所の想定手法

(1) 対象と資料

被害の想定には、「急傾斜地崩壊危険箇所調査（砂防課）」を用い、当該資料による急傾斜地崩壊危険箇所を対象とした。

(2) 判定方法

前回調査同様、日本道路協会道路耐震対策委員会(1986)の判定基準(表 2-6-2(1))によって一次判定(a、b、c)を行い、さらに表 2-6-2(2)の対策工の有無による重み付けにより耐震ランク(a'、b'、c')を設定し、当該急傾斜地崩壊危険箇所の位置の震度から危険度ランクを判定した(表 2-6-2(3))。

※急傾斜地崩壊危険箇所の対策工については、平成 13 年以前のデータのみ反映している。

表 2-6-2(1) 耐震ランクの第一次判定基準

大項目	小項目	点数	備考
斜面の高さ	$50\text{m} \leq H$	10	
	$30\text{m} \leq H < 50\text{m}$	8	
	$10\text{m} \leq H < 30\text{m}$	7	
	$H < 10\text{m}$	3	
斜面勾配 (θ)	$59^\circ \leq \theta$	7	
	$30^\circ (45^\circ) \leq \theta < 59^\circ$	4	
	$\theta < 30^\circ (45^\circ)$	1	
オーバーハング 遷急線 横断形状	オーバーハングあり、遷急線が非常に明瞭	7	斜面形状の要素としてオーバーハング以外に遷急線、斜面縦断形状を考慮
	遷急線が明瞭 凸型斜面	4	
	遷急線は不明瞭 直線型、凹型斜面	0	
斜面の地盤	亀裂が発達、開口しており、転石、浮石が点する	10	上位のものを用いる。 例えば、土砂で表面に軽石・浮石が多いものは10点とする。
	風化、亀裂が発達した岩である	6	
	礫混じり土、砂質土	5	
	粘性土	1	
表土の暑さ	風化、亀裂が発達していない岩である	0	
湧水	0.5m 以上	3	
	0.5m 未満	0	
湧水	有	2	常時見られる湧水を示す
	無	0	
落石・崩壊頻度	当該斜面に新しい崩壊地がある	5	
	当該斜面に古い崩壊地がある	3	
	崩壊値は認められない	0	
合 計			
耐震ランク（第一次判定）			
合計点数と評価ランク		24～	a
		14～23	b
		～13	c

表 2-6-2(2) 耐震ランクの二次判定基準

二次判定	一次判定ランク		
	a	b	c
対策工なし、未完成	a'	b'	c'
対策工既成	c'	c'	c'

表 2-6-2(3) 地震時の相対的な危険度

耐震ランク (二次判定)	震度階級				
	～4	5 弱	5 強	6 弱	6 強～
a'	C	B	A		
b'	C		B	A	
c'	C			B	

A：危険度が高い、B：危険度がやや高い、C：危険度は低い

6.2.2 山腹崩壊危険地区の想定手法

(1) 対象と資料

被害の想定には、「山地災害危険地区調査（森林整備課）」を用い、当該資料による山腹崩壊危険地区を対象とした。

(2) 判定方法

本調査では、既往調査結果の危険度ランク（危険度 A、B、C）を一次判定結果と読み替えて、その結果に対し、急傾斜地崩壊危険箇所と同様、対策工の有無による二次判定を行い耐震ランク（a'、b'、c'）とした。耐震ランクとメッシュ震度から急傾斜地崩壊危険箇所と同様に危険度を判定した。

※危険度ランクの算出方法

「山地災害危険地区調査」のうち、「山腹崩壊危険地区調査実施要領」の山腹崩壊危険地区の危険度判定表により危険度を判定。地質、地形及び林況による山腹崩壊危険度（傾斜、縦断面形、横断面形、土層深、樹種、齢級と地質のマトリクス表による点数付け：表 2-6-3(1)）と地震による山腹崩壊危険度（震央又は活断層からの距離、斜面傾斜、斜面横断面形、斜面長等による点数付け：表 2-6-3(2)）、落石による山腹崩壊危険度（発生源の傾斜角、落下の高さ、岩石等の安定状況等による点数付け：表 2-6-3(3)）から判定した危険度（表 2-6-3(4)）と公共施設等の数量による被災危険度（表 2-6-3(5)）の組み合わせにより危険度 A、B、C を判定する（表 2-6-3(6)）。危険度は A が高く、B、C と低くなる。

表 2-6-3(1) 地質、地形及び林況による山腹崩壊危険度点数表

調査項目		単位	区分	地質					
				第1類	第2類	第3類	第4類	第5類	第6類
1	傾斜 (等高線 本数)	%	0～30(3以下)	0	0	0	0	0	0
			31～50(4～5)	14	28	28	28	37	14
			51～70(6～7)	43	85	62	71	77	43
			71～90(8～9)	71	85	74	85	85	71
			91～(10以上)	85	71	85	71	71	85
2	縦断面 面形		凹形	28	28	28	14	14	28
			平滑	14	14	6	9	0	14
			複合	9	0	0	0	28	0
			凸形	0	14	14	28	6	0
3	横断面 面形	度	～150	14	28	28	28	28	28
			151～210	28	14	0	28	9	0
			211～	0	0	14	0	0	6
4	土層深	m	0.5m以下	0	0	0	0	0	0
			0.5～1.0m以下	9	6	6	6	6	9
			1.0～2.0m以下	14	14	14	14	14	14
			2.0m超	28	28	28	28	28	28
5	樹種		N	6	43	14	43	43	14
			L・NL	0	0	0	0	0	43
			その他	43	28	43	28	14	0
6	齡級		～2	28	71	71	62	57	71
			～4	0	71	57	71	71	48
			～8	23	11	11	14	28	14
			9～10	28	0	0	0	14	0
			11以上	71	14	6	0	0	14

注1 地質の区分は次による。

第1類第四紀堆積物（シラス、火山堆積物、その他第四紀堆積物）

第2類新第三紀層の堆積岩

第3類古第三紀以前の堆積岩（古第三紀層、中生層、古生層）

第4類火山岩（流紋岩、石英粗面岩、安山岩、玄武岩及びそれらの溶岩）

第5類半深成岩・深成岩（花崗斑岩、石英斑岩、玢岩、輝緑岩、花崗岩、閃緑岩、斑糲岩等）

第6類変成岩（動力及び接触変成岩、片岩類、蛇紋岩等）

注2 第1類の傾斜について、メッシュ内に急崖がある場合は、等高線本数にかかわらず本数を10以上とする。

注3 樹種の区分は次による。

N：針葉樹の混交歩合が75パーセント以上

L・NL：針葉樹の混交歩合が25パーセント未満及び広葉樹

ただし、竹林はL・NLに含めるものとする。

注4 竹林の齡級はメッシュ内又はその周辺の他の樹種の齡級とする。

注5 無立木の齡級は、1齡級とする。

表 2-6-3(2) 地震による山腹崩壊危険度点数

調査項目	単位	区分	点数
震央又は活断層からの距離	km	5km 未満	9
		5km 以上 10km 未満	5
		10km 以上	1
斜面傾斜 (等高線本数)	%(本)	0～40(0～4)	0
		41～60(5～6)	1
		61～80(7～8)	4
		81 以上(9 以上)	8
斜面横断面形	度	0～150	2
		151～270	3
		271 以上	0
斜面長	m	0～100	5
		101～200	4
		201～300	2
		301 以上	0
メッシュの斜面位置	%	0～30	3
		31～50	0
		51 以上	3
斜面の状況		火山性(噴出岩)の地質 オーバーハングが有る 表面に転石・浮石が多い 風化・変質・亀裂が発達した岩	3
		風化・変質した岩 亀裂の発達した岩 土砂・粘質土	2
		上記以外	1
土層深	m	0.5以上	4
		0.5未満	1

注1 下記のa～d及びfについては、調査項目「震央又は活断層からの距離」を5km未満として採点する。

・地震により山腹崩壊が発生するおそれがある地区の市町村

a 大規模地震対策特別措置法（昭和53年法律第73号）第3条第1項の規定に基づく地震防災対策強化地域

b 東南海・南海地震に係る地震防災対策推進に関する特別措置法（平成14年法律第92号）第3条第1項の東南海・東海地震対策推進地域の市町村

c 日本海溝・千島海溝周辺型地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法（平成16年法律第27号）第3条第1項の地域の日本海溝・千島海溝周辺型地震防災対策推進地域の市町村

d 地震防災対策特別措置法（平成7年法律第111号）に基づく地震調査推進本部の地震調査委員会で公表した「全国を概観した地震動予測地図」による今後30年以内に震度6弱の揺れに見舞われる可能性の確率が高い地域（3.0%以上）

e 活断層から15キロメートル以内の地域

f 過去発生した地震により、公共施設等到大規模な被害が発生した市町村

注2 活断層の位置は、東京大学出版協会発行「日本の活断層」（1995年4月15日発行）に記載されているもの及びその他その存在が確認されているものとし、計測はこれを5千分の1の地図に移記したものをを用いる。

表 2-6-3 (3) 落石による山腹崩壊危険度点数表

調査項目	区分		点数
	剥離型	転石型	
発生源の傾斜角 (等高線本数)	60 度以上 (17 本以上)	60 度以上 (17 本以上)	2
	60 度未満 (17 本未満)	60 度未満 (17 本未満)	1
落下の高さ	40メートル以上		2
	40メートル未満		1
岩石等の安定状況	容易に岩目から欠ける。 下方に落下しているもの が多い。	落石の頻度大。 地上から浮き上がっている。 叩くと動揺する。	2
	上記以外	上記以外	1
落下斜面の植生状況	無立木地、崩壊地、幼齢林、草生地、老齢疎林		2
	上記以外		1
地震の強さ	地域別補正係数の地域区分表 (表 2-6-3 (7)) から判定する	A	2
		B, C	1

注 「地震の強さ」については、表2-6-3 (7)の補正係数に関わらず下記のa～dの地区及び活断層から15キロメートル以内はAとする。

- ・地震により山腹崩壊が発生するおそれがある地区の市町村
 - a 大規模地震対策特別措置法（昭和53年法律第73号）第3条第1項の規定に基づく地震防災対策強化地域
 - b 東南海・南海地震に係る地震防災対策推進に関する特別措置法（平成14年法律第92号）第3条第1項の東南海・東海地震対策推進地域の市町村
 - c 日本海溝・千島海溝周辺型地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法（平成16年法律第27号）第3条第1項の地域の日本海溝・千島海溝周辺型地震防災対策推進地域の市町村
 - d 地震防災対策特別措置法（平成7年法律第111号）に基づく地震調査推進本部の地震調査委員会で公表した「全国を概観した地震動予測地図」による今後30年以内に震度6弱の揺れに見舞われる可能性の確率が高い地域（3.0%以上）
 - e 活断層から15キロメートル以内の地域
 - f 過去発生した地震により、公共施設等到大規模な被害が発生した市町村

表 2-6-3(4) 山腹崩壊危険度判定表

危険度	危険度点数が最高点のメッシュの点数
a1	180 点以上
b1	140 点以上 180 点未満
c1	100 点以上 140 点未満

表 2-6-3(5) 被災危険度判定表

危険度	公共施設等の種類及び数量
a2	公用若しくは公共用施設（道路を除く。） 又は10戸以上の人家がある場合
b2	5 戸以上 10 戸未満の人家がある場合
c2	5 戸未満の人家又は道路がある場合

表 2-6-3(6) 山腹崩壊危険地区の危険度判定表

危険度	危険度点数
A	a1－a2、a1－b2、b1－a2
B	a1－c2、b1－b2、c1－a2
C	b1－c2、c1－b2、c1－c2

表 2-6-3(7) 山腹崩壊危険地区の危険度判定表

地域区分	対象地域
A	北海道のうち釧路市、帯広市、根室市、沙流郡、新冠郡、静内郡、三石郡、浦河郡、様似郡、幌泉郡、河東郡、上川郡（十勝支庁）、河西郡、広尾郡、中側郡、足寄郡、十勝郡、釧路郡、厚岸郡、川上郡、阿寒郡、白糠郡、野付郡、標津郡、目梨郡、青森県のうち三沢市、十和田市、八戸市、上北郡、三戸郡、岩手県、宮城県、福島県のうち福島市、二本松市、相馬市、原町市、いわき市、伊達郡、相馬郡、安達郡、田村郡、双葉郡、石川郡、東白川郡、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、長野県、山梨県、富山県のうち富山市、高岡市、氷見市、小矢部市、砺波市、新湊市、中新川郡、上新川郡、射水郡、婦負郡、東礪波郡、西礪波郡、石川県のうち金沢市、小松市、七尾市、羽咋市、松任市、加賀市、鹿島郡、羽咋郡、河北郡、能美郡、石川郡、江沼郡、静岡県、愛知県、岐阜県、三重県、福井県、滋賀県、京都府、大阪府、奈良県、和歌山県、兵庫県、鳥取県のうち鳥取市、岩美郡、八頭郡、気高郡、徳島県のうち徳島市、鳴門市、小松島市、阿南市、板野郡、阿波郡、麻植郡、名西郡、名東郡、那珂郡、勝浦郡、海部郡、香川県のうち大川郡、木田郡、鹿児島県のうち名瀬市、大島郡
B	北海道のうち札幌市、函館市、小樽市、室蘭市、北見市、夕張市、岩見沢市、網走市、苫小牧市、美唄市、芦別市、江別市、赤平市、三笠市、千歳市、滝川市、砂川市、歌志内市、深川市、富良野市、登別市、恵庭市、伊達市、札幌市、石狩郡、厚田郡、浜益郡、松前郡、上磯郡、亀田郡、茅部郡、山越郡、檜山郡、爾志郡、久遠郡、奥尻郡、瀬棚郡、島牧郡、寿都郡、磯谷郡、虻田郡、岩内郡、古宇郡、積丹郡、古平郡、余市郡、空知郡、夕張郡、樺戸郡、雨竜郡、上川郡（上川支庁）のうち東神楽町、上川町、東川町及び美瑛町、勇払郡、網走郡、斜里郡、常呂郡、有珠郡、白老郡、青森県のうち青森市、弘前市、黒石市、五所川原市、むつ市、東津軽郡、西津軽郡、中津軽郡、南津軽郡、北津軽郡、下北郡 秋田県、山形県、福島県のうち会津若松市、郡山市、白河市、須賀川市、喜多方市、岩瀬郡、南会津郡、北会津郡、耶麻郡、河沼郡、大沼郡、西白河郡、新潟県、富山県のうち魚津市、滑川市、黒部市、下新川郡、石川県のうち輪島市、珠州市、鳳至郡、珠洲郡、鳥取県のうち米子市、倉吉市、境港市、東伯郡、西伯郡、日野郡、島根県、岡山県、広島県、徳島県のうち美馬郡、三好郡、香川県のうち高松市、丸亀市、坂出市、善通寺市、観音寺市、小豆郡、香川郡、綾歌郡、仲多度郡、三豊郡、愛媛県、高知県、熊本県のうち熊本市、菊池市、人吉市、阿蘇郡、菊池郡、上益城郡、下益城郡、八代郡、球磨郡、大分県のうち大分市、別府市、臼杵市、津久見市、佐伯市、竹田市、日田郡、玖珠郡、大分郡、直入郡、大野郡、北海部郡、南海部郡、宮崎県
C	北海道のうち旭川市、留萌市、稚内市、士別市、名寄市、上川郡（上川支庁）のうち鷹栖町、当麻町、比布町、愛別町、和寒町、剣淵町、朝日町、風連町及び下川町、中川郡（上川支庁）、増毛郡、留萌郡、苫前郡、天塩郡、宗谷郡、枝幸郡、礼文郡、利尻郡、紋別郡、山口県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県のうち八代市、荒尾市、水俣市、玉名市、本渡市、山鹿市、牛深市、宇土市、飽託郡、宇土郡、玉名郡、鹿本郡、葦北郡、天草郡、大分県のうち中津市、日田市、豊後高田市、杵築市、宇佐市、西国東郡、東国東郡、速見郡、下毛郡、宇佐郡、鹿児島県（名瀬市及び大島郡を除く）、沖縄県

出典）（表 2-6-3(1)～(7)）山地災害危険地区調査要領 別記 1 山腹崩壊危険地区調査実施要領 平成 18 年 7 月 林野庁

6.2.3 地すべり危険箇所の想定手法

(1) 対象と資料

被害の想定には、「地すべり危険箇所調査（砂防課）」「山地災害危険地区調査（森林整備課）」「地すべり等崩壊災害危険地調査（農業整備課）」を用い、当該資料による地すべり危険箇所を対象とした。

(2) 判定方法

地すべり危険箇所の危険性については、地質条件、地形的変状、活動履歴等を考慮した手法によって個別に判定されている。地震時の地すべりの危険性をあらかず要因は、落石や崩壊と比較して不明瞭であり、個別に詳細な安定解析を行うか、既往調査結果を判断指標に用いる他ない。

本調査では、既往調査結果の危険度ランク（危険度 A、B、C）を、急傾斜地崩壊危険箇所と同様、一次判定結果と読み替えて、対策工の有無による二次判定を行い耐震ランク（a'、b'、c'）とした。耐震ランクとメッシュ震度から前回調査と同様に危険度を判定した（表 2-6-4）。

なお、地すべり危険箇所（砂防課）については、対策工に関する詳細な情報が得られなかったため、対策工による評価は行っていない。

表 2-6-4 地震時の相対的な危険度

耐震ランク (二次判定)	震度				
	～4	5 弱	5 強	6 弱	6 強～
a'	C	B	A	A	A
b'	C	C	B	A	A
c'	C	C	C	B	A

※危険度ランクの算出方法

①地すべり危険箇所(砂防課)

「地すべり危険箇所調査要領」の地すべり危険度判定表に基づき危険度を判定。地すべり徴候、地すべり地形、地質構造、地質年代及び岩質、湧水の有無、地すべり履歴等の調査項目の配点を合計し、得点が 40 点以上：A、40 点～20 点まで：B、20 点以下：C とする（表 2-6-5）。点数が高いほど危険度が高い。

表 2-6-5 地すべり危険箇所判定表

項目		着眼点	配点	得点	
地すべり 徴候		斜面に連続する亀裂、隆起や陥没、あるいは斜面安定工に異常・変状がみられる。路面に隆起、亀裂等の異常が認められる。	20		
		小崩壊や斜面に部分的な地形の異常・変状などが認められる。	10		
		徴候なし	0		
地すべり地形		滑落崖、丘状地形、緩傾斜地、等高線の乱れ、河川などへの押し出し等の地すべり地形が認められる。	明瞭	10	
			やや明瞭	6	
			不明瞭	2	
地質 等	地質 構造 等	断層・破砕帯		5	
		火山変質帯、温泉余土		5	
		流れ盤		4	
		受け盤		2	
		貫入岩またはキャップロック構造の周辺斜面		1	
		その他		0	
	年代 及び 岩質	中・古生層（結晶片岩、堆積岩）		2	
		第三紀層（堆積岩）		2	
		緑色岩・蛇紋岩の分布地域		2	
		第四紀層（堆積岩）		1	
		その他（火山岩、深成岩等）		0	
	常時 湧水	あり		3	
		なし		0	
地すべり 履歴		過去の災害、地すべりの記録や確かな伝承等	あり	20	
			なし	0	
合計点					
		合計点			判定
判定区分		40 点以上	A		
		20 点以上～40 点未満	B		
		20 点未満	C		

出典)地すべり危険箇所調査要領 平成 8 年 10 月 建設省河川局砂防部傾斜地保全課

②地すべり危険地区（森林整備課）

「山地災害危険地区調査」のうち、「地すべり危険地区調査実施要領」の地すべり危険地区の危険度判定表に基づき危険度を判定。地質、地況、植生、地すべり状況による危険度（表 2-6-6(1)、(2)）と公共施設等の数量による被災危険度(表 2-6-6(3))の組み合わせにより危険度 A、B、C を判定する（表 2-6-6(4)）。危険度は A が高く、B、C と低くなる。

表 2-6-6(1) 危険度ランク表判定表

調査項目	判定項目	危険度ランク			
		a	b	c	d
地質	地層の走向				流れ盤
	岩石の変質又は風化の状況			著しい	ある
	断層及び破碎帯			破碎帯がある	断層がある
	表層土の土質			粘性土	
地況	滑落崖、亀裂、陥没又は隆起		3種類ある	3種類ある	1種類ある
	沼地、湿地の規則的な配列、異常な地下水の湧出		3種類ある	2種類ある	1種類ある
植生	立木の傾倒等の異常	著しい		ある	
地すべり状況	地すべり活動	移動している	過去に移動した		

表 2-6-6(2) 地すべり危険度判定表

危険度	表 2-6-13 による危険度ランク数
a1	①aがある場合 ②bが2項目以上ある場合 ③bが1項目及びcが3項目以上ある場合
b1	a1 及び c1 以外の場合
c1	d のみの場合

表 2-6-6(3) 被災危険度判定表

危険度	公共施設等の種類及び数量
a2	公共若しくは公共用施設(道路を除く。)又は10戸以上の人家がある場合
b2	5戸以上 10戸未満の人家がある場合
c2	5戸未満の人家又は道路がある場合

表 2-6-6(4) 地すべり危険地区の危険度判定表

危険度	地すべり危険度と被災危険度の組合せ
A	a1-a2、a1-b2、b1-a2
B	a1-c2、b1-b2、c1-a2
C	b1-c2、c1-b2、c1-c2

出典) (表 2-6-6(1)～(4)) 山地災害危険地区調査要領 別記 2 地すべり危険地区調査実施要領 平成 18 年 7 月 林野庁

③地すべり危険地（農地整備課）

「地すべり等崩壊災害危険地調査」の危険度判定基準配点(表2-6-7)に基づき総合評定として危険度を判定。地形・地質、地すべり状況、水理条件、社会条件の4項目について調査項目の配点の合計により危険度A, B, Cを判定。さらに4項目の危険度Aの数により総合評点としてA、B、Cとしている。

表2-6-7 危険度判定基準配点

	従来の調査		今 回 調 査								
項目	危険度	判定目安	傾斜と地層 20	地すべり地形 30	岩相 5	断層 10	褶曲 10	変質 5	キャップ ロック 5	崩土性質 15	各項目 計 100 点
地形地質	A	軟弱層 流れ盤	流れ盤 15 走向方向 5	3 つ以上 15 2 つ以上 10 1 つ該当 5	火山岩 以外 5	ある 10	ある 10	ある 5	あり 5	粘土質 10 砂質 5	A－計 40 点 以上
	B	軟弱主体 風下層厚い									B－20 以上 40 未満
	C	風下層薄い									C－20 未満
地すべり 現況	A	崩壊地 多い	地すべり 履歴 40	最近の 変状 60							総合標定 4 項目の うち 2 つ以上 A →A 1 つ A あり →B 3 つ以上 C →C それ以外 →B
	B	崩壊地 あり	最近記録 あり 30 伝承等 であり 10	多い・大 10×4 少ない・小 5×4							
	C	崩壊地 少ない									
水理条件	A	地下水位高 排水不良	湧水 20	池沼 15	湿地 15	地表水 15	河川海岸 15	斜面形状 20			
	B	A, C 以外	有 20	有 15	有 15	流入易 15	洗掘あり 15	集水斜面 10 凹型斜面 10			
	C	地下水位低 排水量									
社会条件			被害の対象欄の記載を勘案し、A～C を判定する。								

出典) 農地保全基礎調査(地すべり等崩壊災害危険地調査) 委託調査業務実施の手引き 平成 6 年 6 月 中国
四国農政局計画部資源課

6.3 土砂災害危険度の想定結果

(1) 最大クラス

上述の方法により、想定地震時における土砂災害危険度を評価した。

斜面崩壊や地すべりの現象は、個々の箇所における詳細な土質条件や斜面への入力地震動などによって発生の可能性は大きく左右されるものであり、また斜面における水文条件等によって安定性も変化する。すなわちここで示した危険度ランクは、相対的な土砂災害危険性をあらわしたもので、崩壊・地すべりの発生の有無を直接的に評価したものではない。ただし、全国で発生した既往地震において、震度5以上になるといずれかの斜面で崩壊が発生することもわかっており、特に危険度がAランクとなる箇所については崩壊に至る可能性が高く、また危険度Bランクの箇所についても崩壊に至る可能性があると考えておくべきである。

なお、愛媛県においては山地部の地質が脆弱なことが多く、斜面崩壊や地すべり地が多く分布しており、震度が大きくなる想定地震では、広域に危険度Aとなる箇所が現れている。

各想定地震の土砂災害危険度の評価結果を表 2-6-8～2-6-13、図 2-6-6～2-6-8 に示す。

(ア) 急傾斜地崩壊危険箇所

① 南海トラフ巨大地震

県全域で、危険度がAランクの箇所が多く分布すると想定される。

② 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（北側ケース）

松山市、今治市、宇和島市、八幡浜市、新居浜市、西条市、大洲市、伊予市、西予市、東温市、久万高原町、砥部町、内子町、伊方町で、危険度がAランクの箇所が分布すると想定される。

③ 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（南側ケース）

松山市、宇和島市、八幡浜市、大洲市、伊予市、西予市、内子町、伊方町、愛南町で、危険度がAランクの箇所が分布すると想定される。

④ 讃岐山脈南縁～石鎚山脈北縁東部の地震

松山市、今治市、新居浜市、西条市、四国中央市、上島町で、危険度がAランクの箇所が分布すると想定される。

⑤ 石鎚山脈北縁の地震

今治市、新居浜市、西条市、四国中央市、上島町で、危険度がAランクの箇所が分布すると想定される。

⑥ 石鎚山脈北縁西部～伊予灘の地震

松山市、今治市、八幡浜市、新居浜市、西条市、大洲市、伊予市、西予市、東温市、上島町、久万高原町、砥部町、内子町、伊方町で、危険度がAランクの箇所が分布すると想定される。

(イ) 山腹崩壊危険地区

① 南海トラフ巨大地震

県全域で、危険度がAランクの箇所が多く分布すると想定される。

② 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（北側ケース）

松山市、今治市、大洲市、久万高原町で、危険度がAランクの箇所が分布すると想定される。

③ 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（南側ケース）

八幡浜市、大洲市、伊方町で、危険度がAランクの箇所が分布すると想定される。

③讃岐山脈南縁－石鎚山脈北縁東部の地震

今治市、新居浜市、西条市、四国中央市で、危険度が A ランクの箇所が分布すると想定される。

④石鎚山脈北縁の地震

今治市、新居浜市、西条市、四国中央市で、危険度が A ランクの箇所が分布すると想定される。

⑤石鎚山脈北縁西部－伊予灘の地震

松山市、今治市、八幡浜市、新居浜市、西条市、大洲市、伊予市、四国中央市、東温市、久万高原町、砥部町、内子町、伊方町で、危険度が A ランクの箇所が分布すると想定される。

(ウ) 地すべり危険箇所（砂防）

①南海トラフ巨大地震

県全域で、危険度が A ランクの箇所が多く分布すると想定される。

②安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（北側ケース）

久万高原町で、危険度が A ランクの箇所が分布すると想定される。

②'安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（南側ケース）

八幡浜市、伊方町で、危険度が A ランクの箇所が分布すると想定される。

③讃岐山脈南縁－石鎚山脈北縁東部の地震

新居浜市、西条市、四国中央市で、危険度が A ランクの箇所が分布すると想定される。

④石鎚山脈北縁の地震

新居浜市、西条市で、危険度が A ランクの箇所が分布すると想定される。

⑤石鎚山脈北縁西部－伊予灘の地震

松山市、八幡浜市、新居浜市、西条市、大洲市、伊予市、東温市、久万高原町、砥部町、内子町、伊方町で、危険度が A ランクの箇所が分布すると想定される。

(エ) 地すべり危険地区（森林）

①南海トラフ巨大地震

八幡浜市、新居浜市、西条市、大洲市、伊予市、四国中央市、西予市、東温市、久万高原町、砥部町、内子町、鬼北町で、危険度が A ランクの箇所が多く分布すると想定される。

②安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（北側ケース）

危険度が A ランクの箇所はみられず、B ランク以下となると想定される。

②'安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（南側ケース）

危険度が A ランクの箇所はみられず、B ランク以下となると想定される。

③讃岐山脈南縁－石鎚山脈北縁東部の地震

新居浜市、西条市で、危険度が A ランクの箇所が分布すると想定される。

④石鎚山脈北縁の地震

新居浜市、西条市で、危険度が A ランクの箇所が分布すると想定される。

⑤石鎚山脈北縁西部－伊予灘の地震

新居浜市、西条市、伊予市、久万高原町、砥部町、内子町で、危険度が A ランクの箇所が分布すると想定される。

(オ) 地すべり危険地区（農地）

①南海トラフ巨大地震

- 県全域で、危険度が A ランクの箇所が多く分布すると想定される。
- ②安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（北側ケース）
危険度が A ランクの箇所はみられず、B ランク以下となると想定される。
- ②'安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（南側ケース）
八幡浜市、伊方町で、危険度が A ランクの箇所が分布すると想定される。
- ③讃岐山脈南縁－石鎚山脈北縁東部の地震
西条市、四国中央市、上島町で、危険度が A ランクの箇所が分布すると想定される。
- ④石鎚山脈北縁の地震
西条市で、危険度が A ランクの箇所が分布すると想定される。
- ⑤石鎚山脈北縁西部－伊予灘の地震
松山市、八幡浜市、西条市、大洲市、伊予市、東温市、久万高原町、砥部町、内子町、伊方町で、危険度が A ランクの箇所が分布すると想定される。

表 2-6-8 想定地震における土砂災害危険度ランク数

想定地震		急傾斜地崩壊危険箇所 (砂防課所管) 箇所数			山腹崩壊危険地区（森林整備 課所管）箇所数			地すべり危険箇所（砂防課所 管）箇所数			地すべり危険地区（森林整備 課所管）箇所数			地すべり危険地（農地整備課 所管）箇所数		
		A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C
①南海トラフ巨大地震		7,371	1,409	27	1,169	1,027	66	477	29	0	47	12	2	356	202	13
安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート 内地震	②北側	622	3,535	4,650	9	415	1,838	1	259	246	0	37	24	0	87	484
	②'南側	273	3,633	4,901	11	351	1,900	36	222	248	0	31	30	10	82	479
③讃岐山脈南縁－石鎚山脈北縁東部の地震		420	1,029	7,358	103	203	1,956	62	52	392	6	16	39	6	26	539
④石鎚山脈北縁の地震		199	1,065	7,543	76	193	1,993	22	77	407	7	18	36	2	13	556
⑤石鎚山脈北縁西部－伊予灘の地震		2,253	3,246	3,308	264	597	1,401	144	210	152	17	29	15	66	168	337

危険度 ランク	
A	危険度が高い
B	危険度がやや高い
C	危険度が低い

表 2-6-9 想定地震における市町別急傾斜地崩壊危険箇所(砂防課所管)危険度ランク数

市町名	箇所数	①南海トラフ巨大地震			②安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（北側）			②' 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（南側）			③讃岐山脈南縁～石鎚山脈北縁東部の地震			④石鎚山脈北縁の地震			⑤石鎚山脈北縁西部～伊予灘の地震		
		A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C
松山市	703	596	105	2	262	296	145	17	331	355	5	255	443	0	247	456	427	199	77
今治市	1,048	759	266	23	202	357	489	0	295	753	182	370	496	50	381	617	314	350	384
宇和島市	1,116	710	406	0	1	434	681	56	426	634	0	0	1,116	0	0	1,116	0	355	761
八幡浜市	267	259	8	0	8	126	133	34	125	108	0	0	267	0	0	267	42	128	97
新居浜市	160	131	29	0	2	46	112	0	17	143	113	45	2	99	55	6	43	78	39
西条市	254	204	50	0	5	62	187	0	33	221	30	79	145	42	94	118	122	106	26
大洲市	1,420	1,410	10	0	64	764	592	85	752	583	0	15	1,405	0	0	1,420	326	809	285
伊予市	320	313	7	0	27	208	85	10	217	93	0	1	319	0	1	319	236	82	2
四国中央市	125	102	23	0	0	8	117	0	2	123	72	40	13	7	45	73	0	26	99
西予市	780	643	137	0	3	280	497	21	280	479	0	0	780	0	0	780	6	278	496
東温市	594	441	153	0	5	137	452	0	128	466	0	118	476	0	129	465	334	209	51
上島町	131	70	61	0	0	31	100	0	8	123	18	38	75	1	30	100	4	29	98
久万高原町	259	243	16	0	3	132	124	0	128	131	0	57	202	0	69	190	66	107	86
松前町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
砥部町	161	160	1	0	13	91	57	0	99	62	0	4	157	0	4	157	91	68	2
内子町	416	415	1	0	25	225	166	15	234	167	0	7	409	0	10	406	122	197	97
伊方町	206	162	42	2	2	66	138	34	122	50	0	0	206	0	0	206	120	78	8
松野町	263	235	28	0	0	118	145	0	158	105	0	0	263	0	0	263	0	35	228
鬼北町	201	162	39	0	0	103	98	0	104	97	0	0	201	0	0	201	0	80	121
愛南町	383	356	27	0	0	51	332	1	174	208	0	0	383	0	0	383	0	32	351
愛媛県	8,807	7,371	1,409	27	622	3,535	4,650	273	3,633	4,901	420	1,029	7,358	199	1,065	7,543	2,253	3,246	3,308

表 2-6-10 想定地震における市町別山腹崩壊危険地区(森林整備課所管)危険度ランク数

市町名	箇所数	①南海トラフ巨大地震			②安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（北側）			②' 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（南側）			③讃岐山脈南縁～石鎚山脈北縁東部の地震			④石鎚山脈北縁の地震			⑤石鎚山脈北縁西部～伊予灘の地震		
		A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C
松山市	256	57	151	48	4	42	210	0	21	235	0	16	240	0	14	242	33	95	128
今治市	114	38	67	9	2	17	95	0	6	108	1	13	100	1	11	102	7	23	84
宇和島市	218	99	119	0	0	20	198	0	22	196	0	0	218	0	0	218	0	11	207
八幡浜市	70	38	32	0	0	11	59	1	11	58	0	0	70	0	0	70	1	17	52
新居浜市	98	61	37	0	0	23	75	0	0	98	53	41	4	45	41	12	14	44	40
西条市	176	102	74	0	0	35	141	0	20	156	15	49	112	21	63	92	71	64	41
大洲市	152	97	55	0	1	45	106	1	46	105	0	0	152	0	0	152	15	50	87
伊予市	154	72	80	2	0	31	123	0	30	124	0	0	154	0	0	154	30	45	79
四国中央市	110	65	45	0	0	7	103	0	0	110	34	51	25	9	26	75	1	12	97
西予市	192	111	81	0	0	44	148	0	44	148	0	0	192	0	0	192	0	44	148
東温市	87	34	53	0	0	18	69	0	18	69	0	14	73	0	16	71	27	40	20
上島町	11	5	6	0	0	1	10	0	0	11	0	2	9	0	1	10	0	1	10
久万高原町	163	116	47	0	2	42	119	0	44	119	0	17	146	0	21	142	26	51	86
松前町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
砥部町	74	49	25	0	0	18	56	0	15	59	0	0	74	0	0	74	14	31	29
内子町	106	68	38	0	0	24	82	0	24	82	0	0	106	0	0	106	8	25	73
伊方町	69	33	29	7	0	15	54	9	21	39	0	0	69	0	0	69	17	30	22
松野町	45	29	16	0	0	2	43	0	3	42	0	0	45	0	0	45	0	0	45
鬼北町	76	65	11	0	0	15	61	0	15	61	0	0	76	0	0	76	0	14	62
愛南町	91	30	61	0	0	5	86	0	11	80	0	0	91	0	0	91	0	0	91
愛媛県	2,262	1,169	1,027	66	9	415	1,838	11	351	1,900	103	203	1,956	76	193	1,993	264	597	1,401

表 2-6-11 想定地震における市町別地すべり危険箇所(砂防課所管)危険度ランク数

市町名	箇所数	①南海トラフ巨大地震			②安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（北側）			②' 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（南側）			③讃岐山脈南縁－石鎚山脈北縁東部の地震			④石鎚山脈北縁の地震			⑤石鎚山脈北縁西部－伊予灘の地震		
		A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C
松山市	4	4	0	0	0	1	3	0	1	3	0	0	4	0	0	4	1	3	0
今治市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宇和島市	10	9	1	0	0	4	6	0	4	6	0	0	10	0	0	10	0	4	6
八幡浜市	100	100	0	0	0	78	22	5	74	21	0	0	100	0	0	100	26	56	18
新居浜市	14	14	0	0	0	6	8	0	0	14	9	5	0	8	6	0	3	6	5
西条市	38	38	0	0	0	14	24	0	10	28	10	14	14	14	14	10	21	17	0
大洲市	54	41	13	0	0	21	33	0	21	33	0	0	54	0	0	54	11	18	25
伊予市	21	17	4	0	0	9	12	0	9	12	0	0	21	0	0	21	9	8	4
四国中央市	60	59	1	0	0	2	58	0	0	60	43	16	1	0	34	26	0	13	47
西予市	34	34	0	0	0	14	20	0	14	20	0	0	34	0	0	34	0	14	20
東温市	21	21	0	0	0	10	11	0	9	12	0	10	11	0	10	11	11	10	0
上島町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
久万高原町	32	31	1	0	1	24	7	0	25	7	0	7	25	0	13	19	7	19	6
松前町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
砥部町	4	4	0	0	0	3	1	0	3	1	0	0	4	0	0	4	2	2	0
内子町	39	34	5	0	0	24	15	0	24	15	0	0	39	0	0	39	4	23	12
伊方町	64	60	4	0	0	47	17	31	26	7	0	0	64	0	0	64	49	15	0
松野町	1	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1
鬼北町	10	10	0	0	0	2	8	0	2	8	0	0	10	0	0	10	0	2	8
愛南町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
愛媛県	506	477	29	0	1	259	246	36	222	248	62	52	392	22	77	407	144	210	152

表 2-6-12 想定地震における市町別地すべり危険地区(森林整備課所管)危険度ランク数

市町名	箇所数	①南海トラフ巨大地震			②安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（北側）			②' 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（南側）			③讃岐山脈南縁－石鎚山脈北縁東部の地震			④石鎚山脈北縁の地震			⑤石鎚山脈北縁西部－伊予灘の地震		
		A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C
松山市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
今治市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宇和島市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
八幡浜市	4	1	3	0	0	0	4	0	0	4	0	0	4	0	0	4	0	1	3
新居浜市	5	4	1	0	0	4	1	0	0	5	4	1	0	4	1	0	3	1	1
西条市	11	8	3	0	0	5	6	0	3	8	2	4	5	3	4	4	6	5	0
大洲市	3	3	0	0	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	1	2
伊予市	1	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0
四国中央市	3	1	2	0	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3
西予市	2	2	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0	2	0	0	2	0	2	0
東温市	1	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0
上島町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
久万高原町	23	21	2	0	0	21	2	0	21	2	0	11	12	0	13	10	5	16	2
松前町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
砥部町	1	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0
内子町	3	3	0	0	0	3	0	0	3	0	0	0	3	0	0	3	1	2	0
伊方町	3	0	1	2	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3
松野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鬼北町	1	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1
愛南町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
愛媛県	61	47	12	2	0	37	24	0	31	30	6	16	39	7	18	36	17	29	15

表 2-6-13 想定地震における市町別地すべり危険地(農地整備課所管)危険度ランク数

市町名	箇所数	①南海トラフ巨大地震			②安芸灘～伊予灘～豊後水道 のプレート内地震(北側)			②' 安芸灘～伊予灘～豊後水 道のプレート内地震(南側)			③讃岐山脈南縁～石鎚山脈北 縁東部の地震			④石鎚山脈北縁の地震			⑤石鎚山脈北縁西部～伊予灘 の地震		
		A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C
松山市	16	6	2	8	0	3	13	0	0	16	0	0	16	0	0	16	2	4	10
今治市	30	13	16	1	0	8	22	0	0	30	0	4	26	0	0	30	0	10	20
宇和島市	7	7	0	0	0	0	7	0	0	7	0	0	7	0	0	7	0	0	7
八幡浜市	45	26	19	0	0	6	39	1	7	37	0	0	45	0	0	45	3	9	33
新居浜市	2	2	0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2
西条市	23	12	11	0	0	3	20	0	1	22	2	5	16	2	6	15	10	7	6
大洲市	73	60	13	0	0	9	64	0	9	64	0	0	73	0	0	73	5	34	34
伊予市	52	27	25	0	0	9	43	0	9	43	0	0	52	0	0	52	9	19	24
四国中央市	23	22	1	0	0	0	23	0	0	23	3	12	8	0	2	21	0	0	23
西予市	49	36	13	0	0	3	46	0	3	46	0	0	49	0	0	49	0	3	46
東温市	10	8	2	0	0	1	9	0	1	9	0	1	9	0	1	9	2	7	1
上島町	6	1	5	0	0	0	6	0	0	6	1	1	4	0	0	6	0	0	6
久万高原町	71	44	27	0	0	17	54	0	15	56	0	3	68	0	4	67	5	21	45
松前町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
砥部町	26	12	14	0	0	2	24	0	2	24	0	0	26	0	0	26	2	10	14
内子町	65	31	34	0	0	6	59	0	6	59	0	0	65	0	0	65	3	12	50
伊方町	65	43	18	4	0	20	45	9	29	27	0	0	65	0	0	65	25	32	8
松野町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鬼北町	4	4	0	0	0	0	4	0	0	4	0	0	4	0	0	4	0	0	4
愛南町	4	2	2	0	0	0	4	0	0	4	0	0	4	0	0	4	0	0	4
愛媛県	571	356	202	13	0	87	484	10	82	479	6	26	539	2	13	556	66	168	337

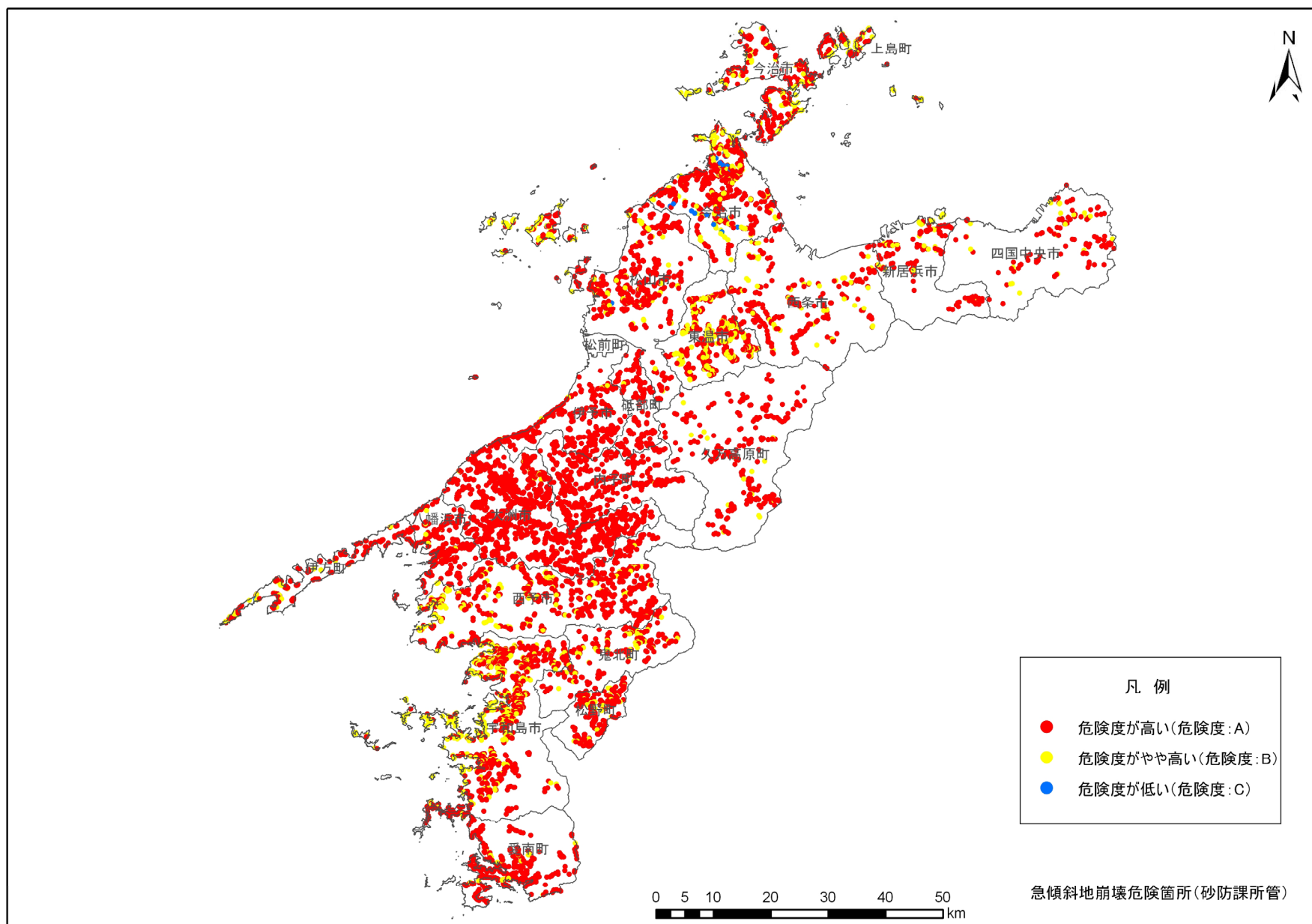


図 2-6-6(1) ①南海トラフ巨大地震の急傾斜地崩壊危険箇所危険度ランク分布 (5 ケース重ね合わせ)

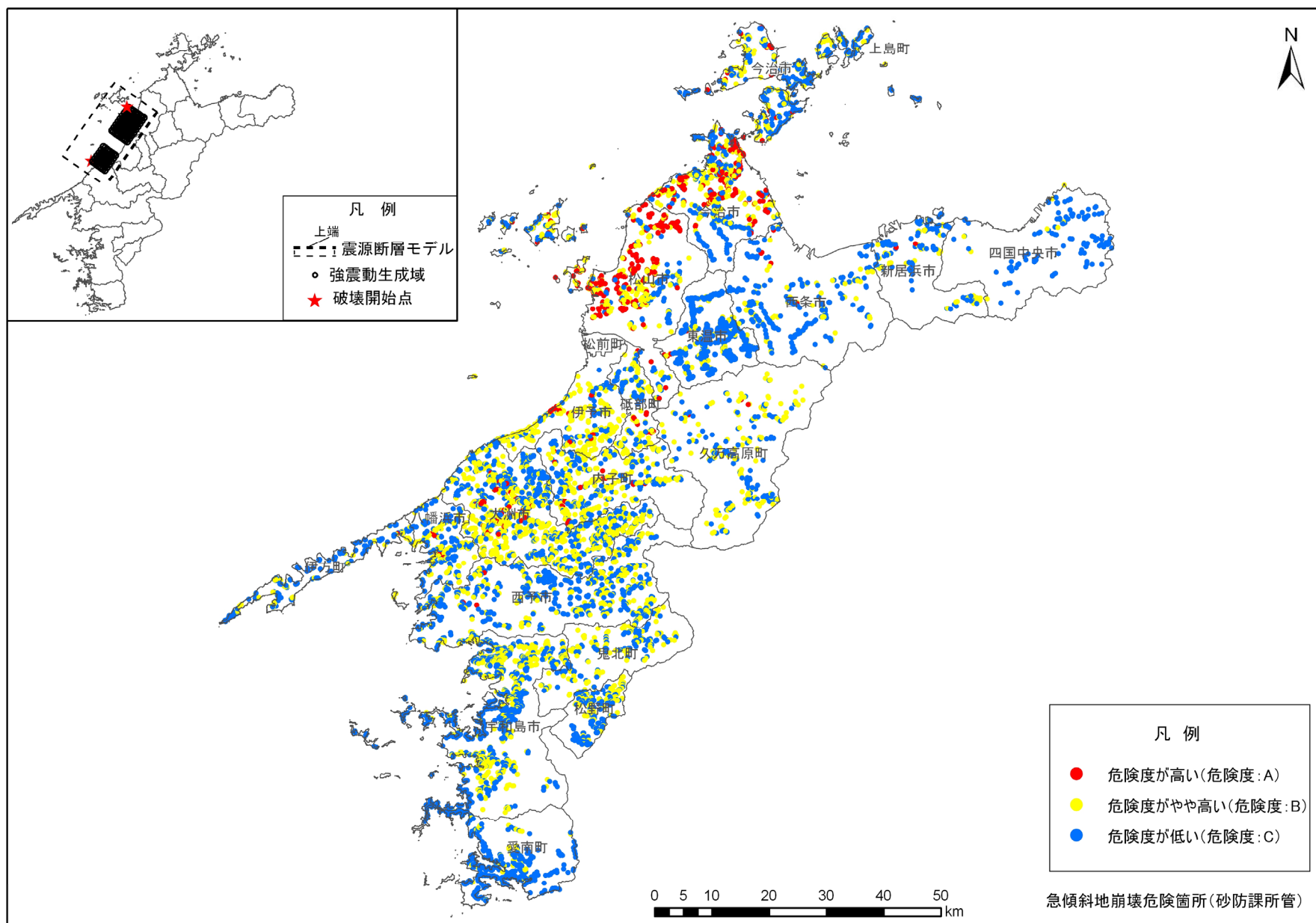


図 2-6-6(2) ②安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（北側）の急傾斜地崩壊危険箇所危険度ランク分布（2 ケース重ね合わせ）

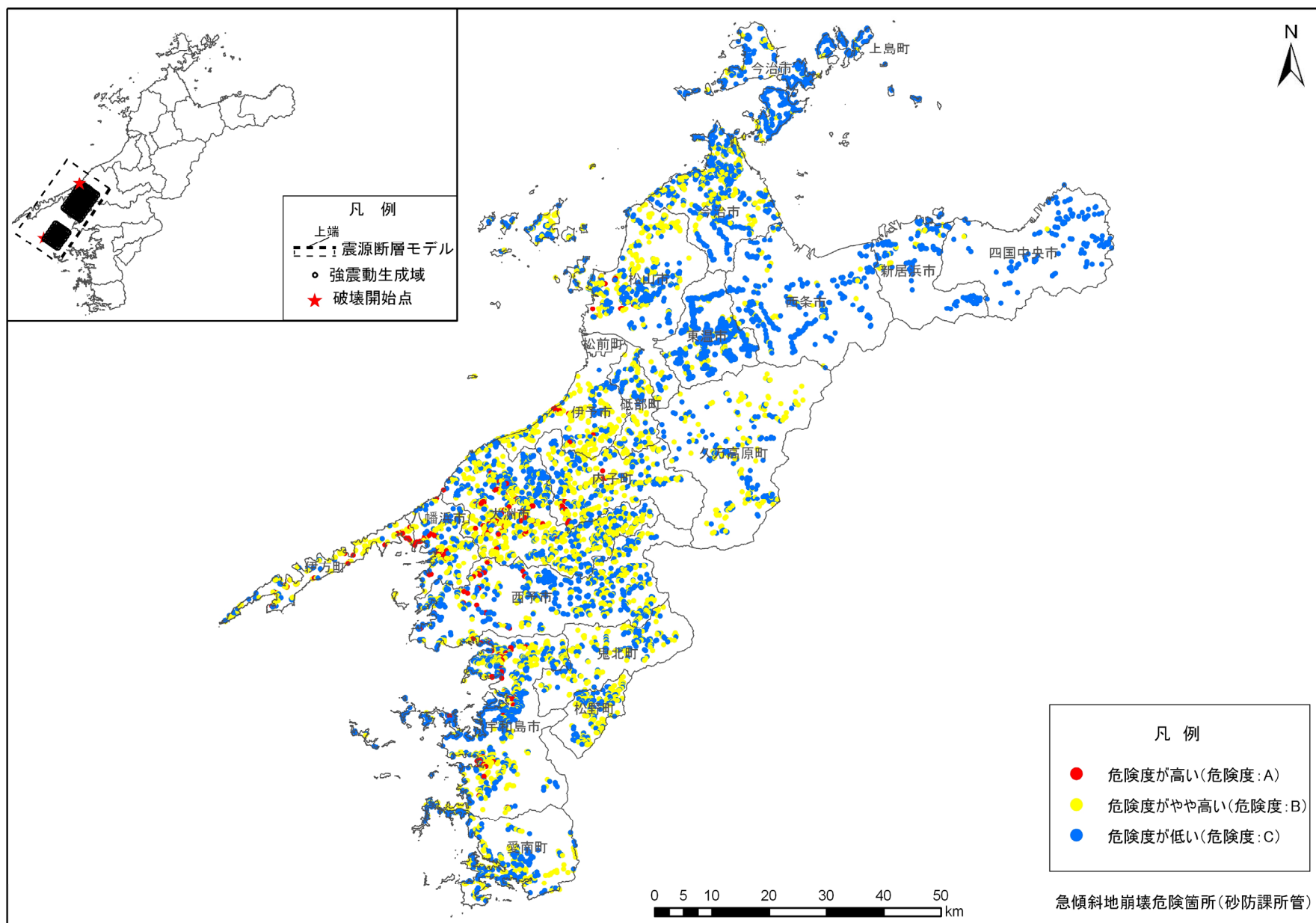


図 2-6-6(3) ②' 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（南側）の急傾斜地崩壊危険箇所危険度ランク分布（2 ケース重ね合わせ）

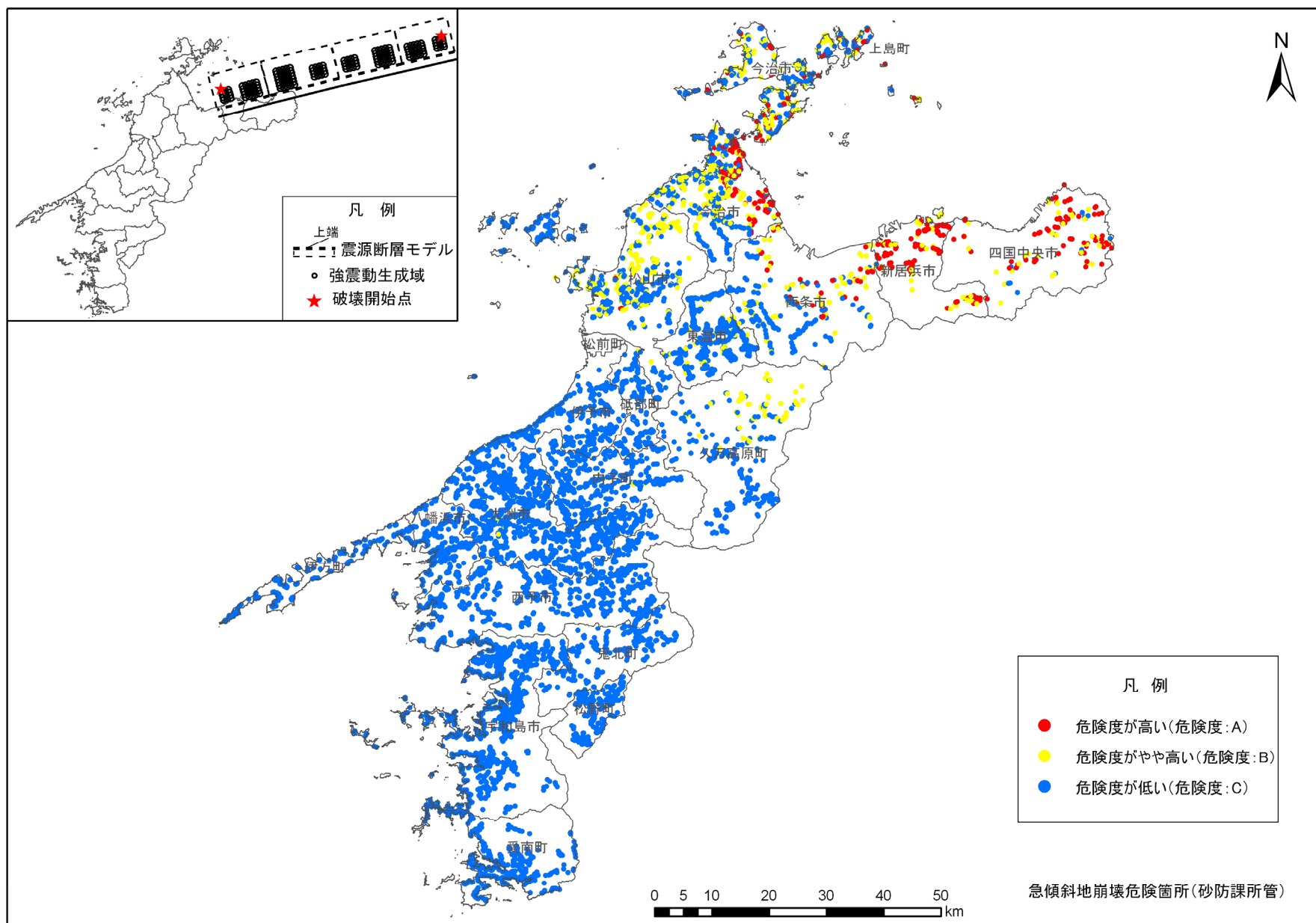


図 2-6-6(4) ③讃岐山脈南縁－石鎚山脈北縁東部の地震の急傾斜地崩壊危険箇所危険度ランク分布（2 ケース重ね合わせ）

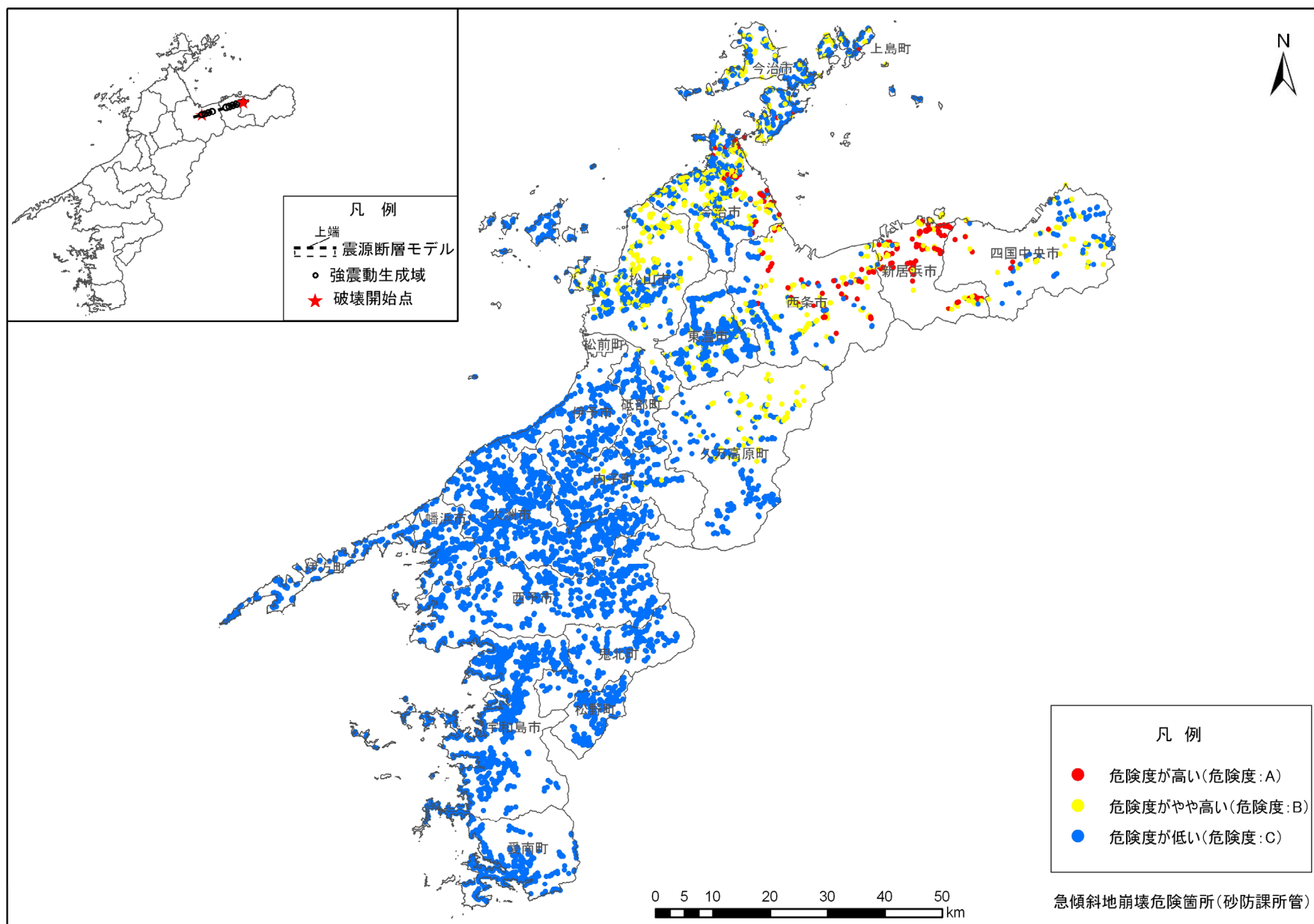


図 2-6-6 (5) ④石鎚山脈北縁の地震の急傾斜地崩壊危険箇所危険度ランク分布 (2 ケース重ね合わせ)

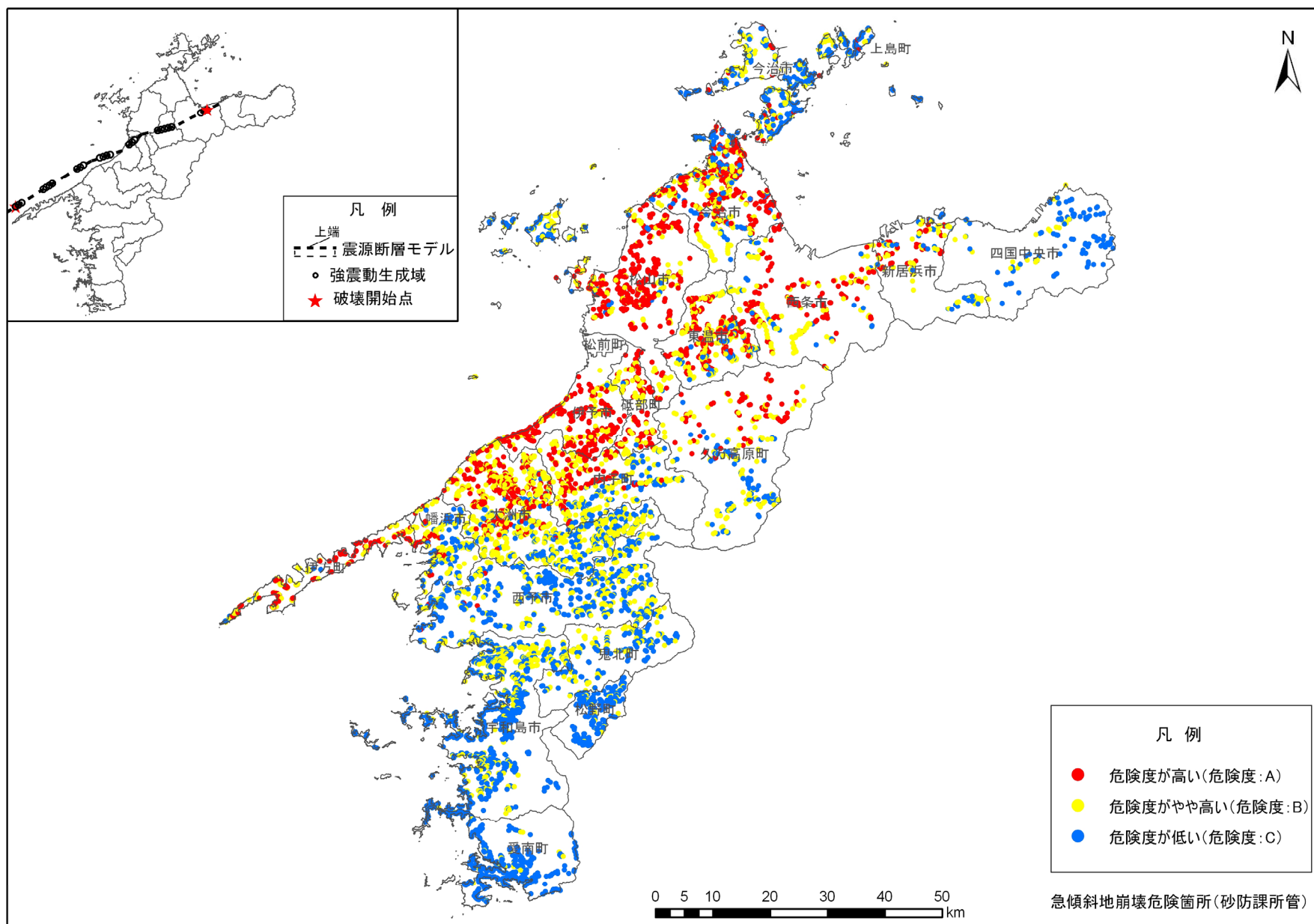


図 2-6-6(6) ⑤石鎚山脈北縁西部－伊予灘の地震の急傾斜地崩壊危険箇所危険度ランク分布 (2 ケース重ね合わせ)

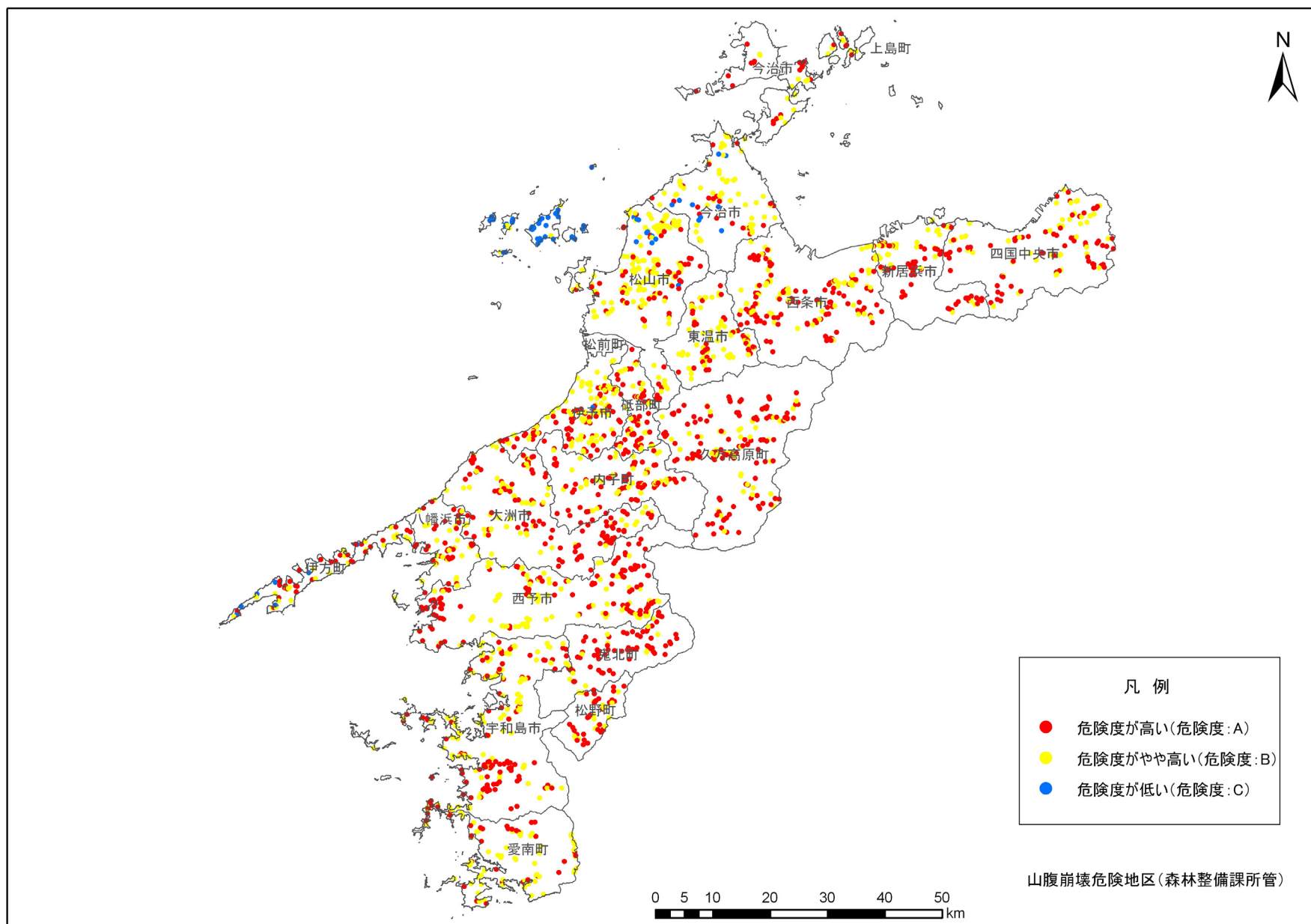


図 2-6-7(1) ①南海トラフ巨大地震の山腹崩壊危険地区危険度ランク分布 (5 ケース重ね合わせ)

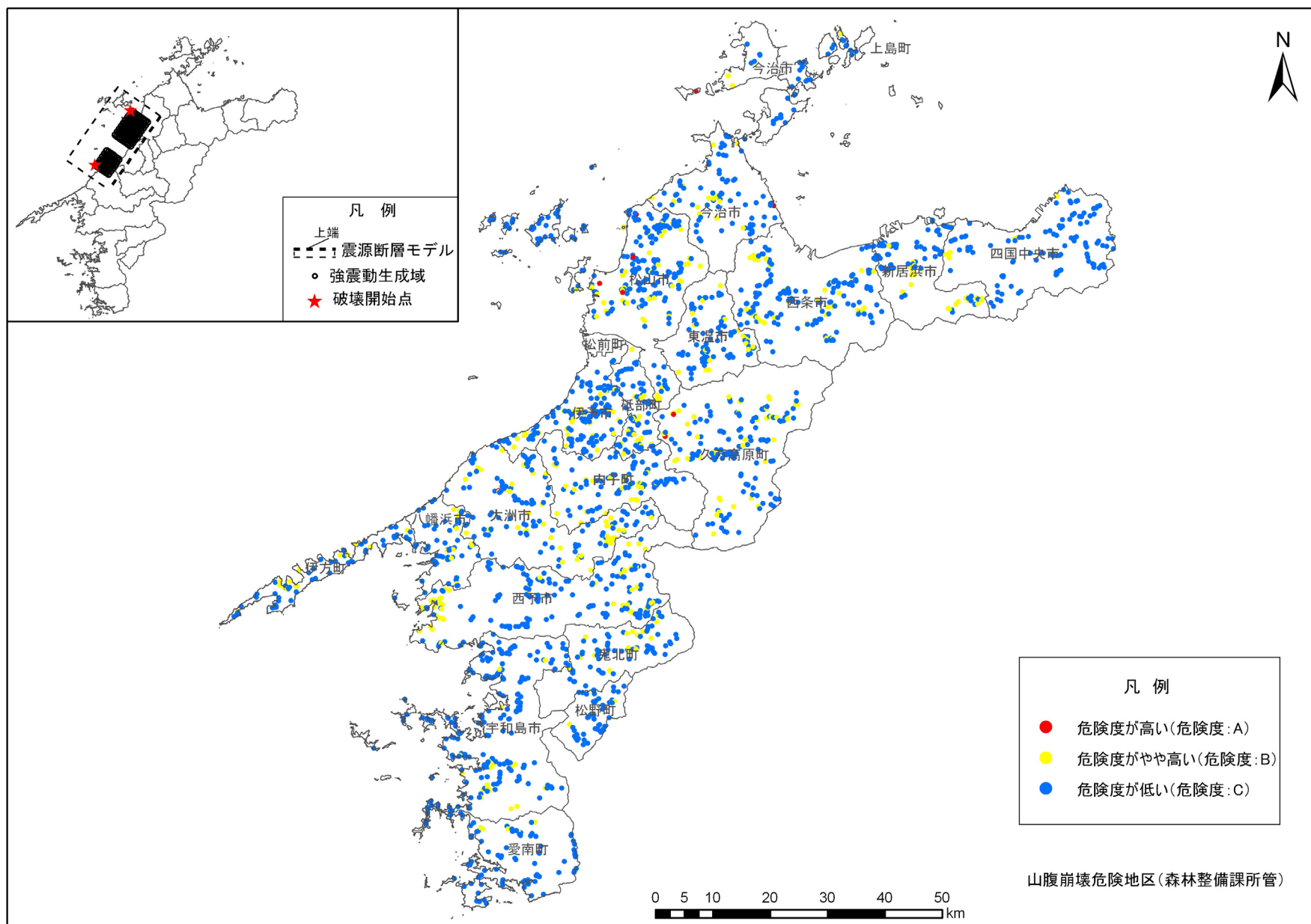


図 2-6-7(2) ②安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（北側）の山腹崩壊危険地区危険度ランク分布（2 ケース重ね合わせ）

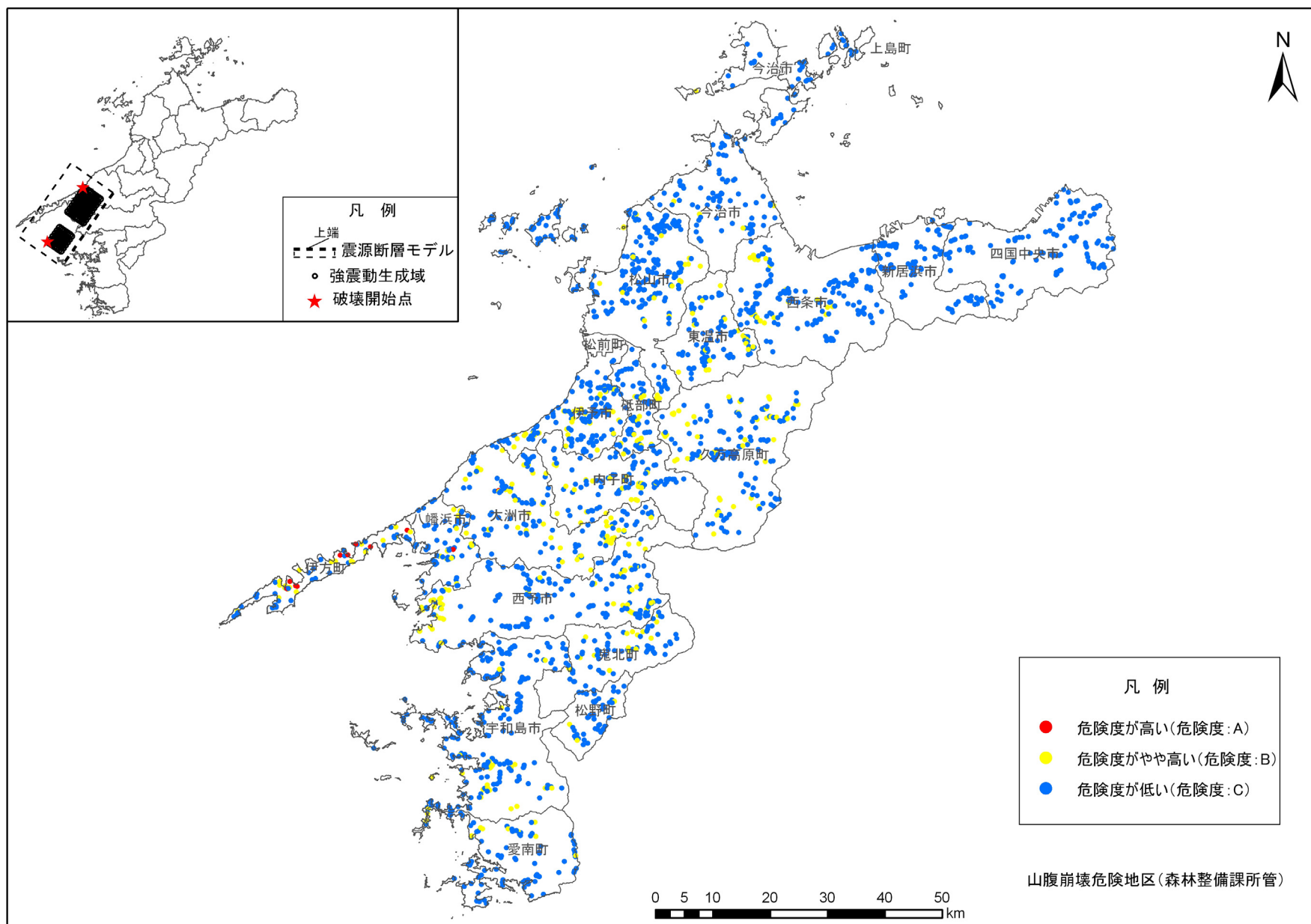


図 2-6-7(3) ②' 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（南側）の山腹崩壊危険地区危険度ランク分布（2 ケース重ね合わせ）

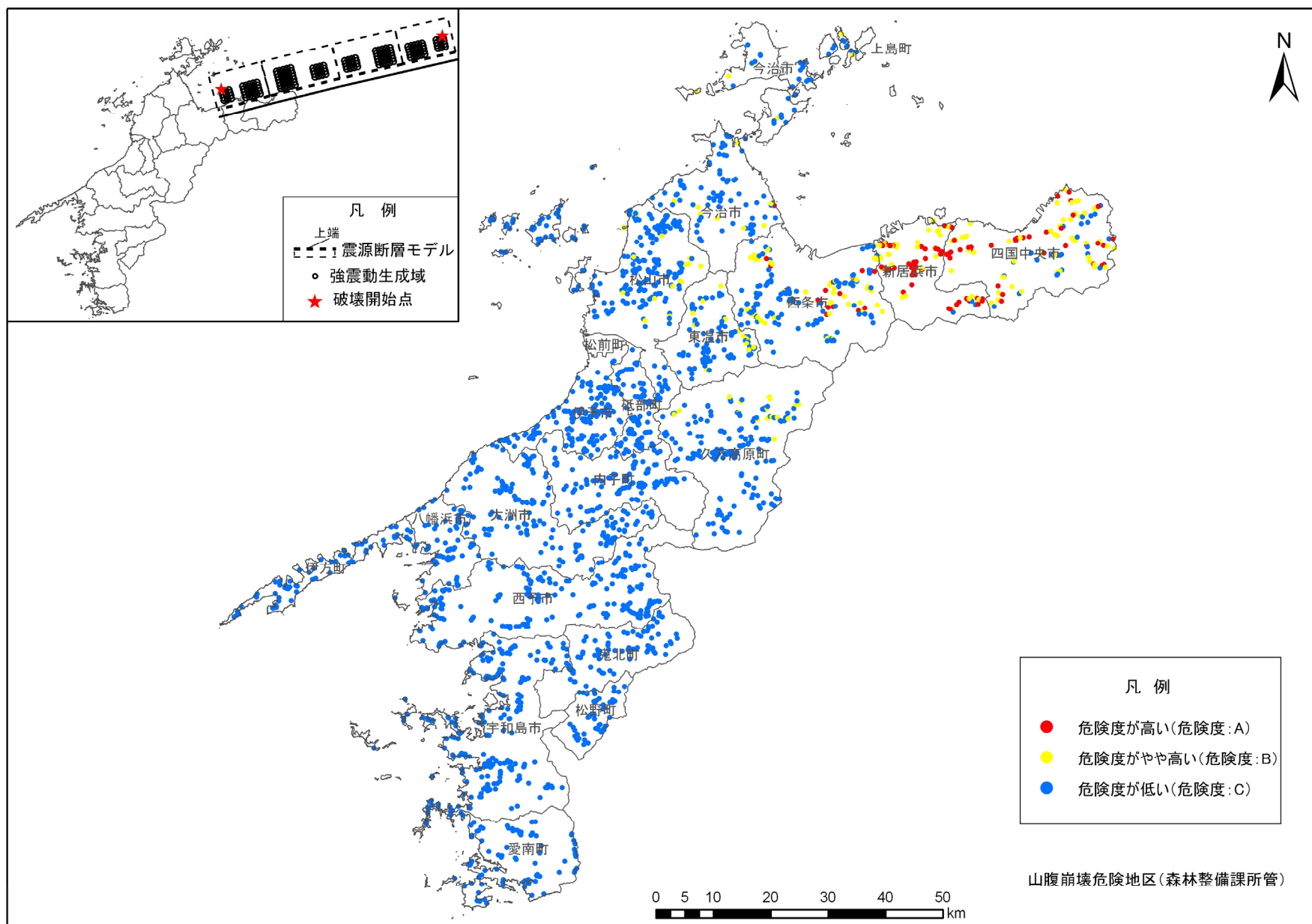


図 2-6-7(4) ③讃岐山脈南縁ー石鎚山脈北縁東部の地震の山腹崩壊危険地区危険度ランク分布 (2 ケース重ね合わせ)

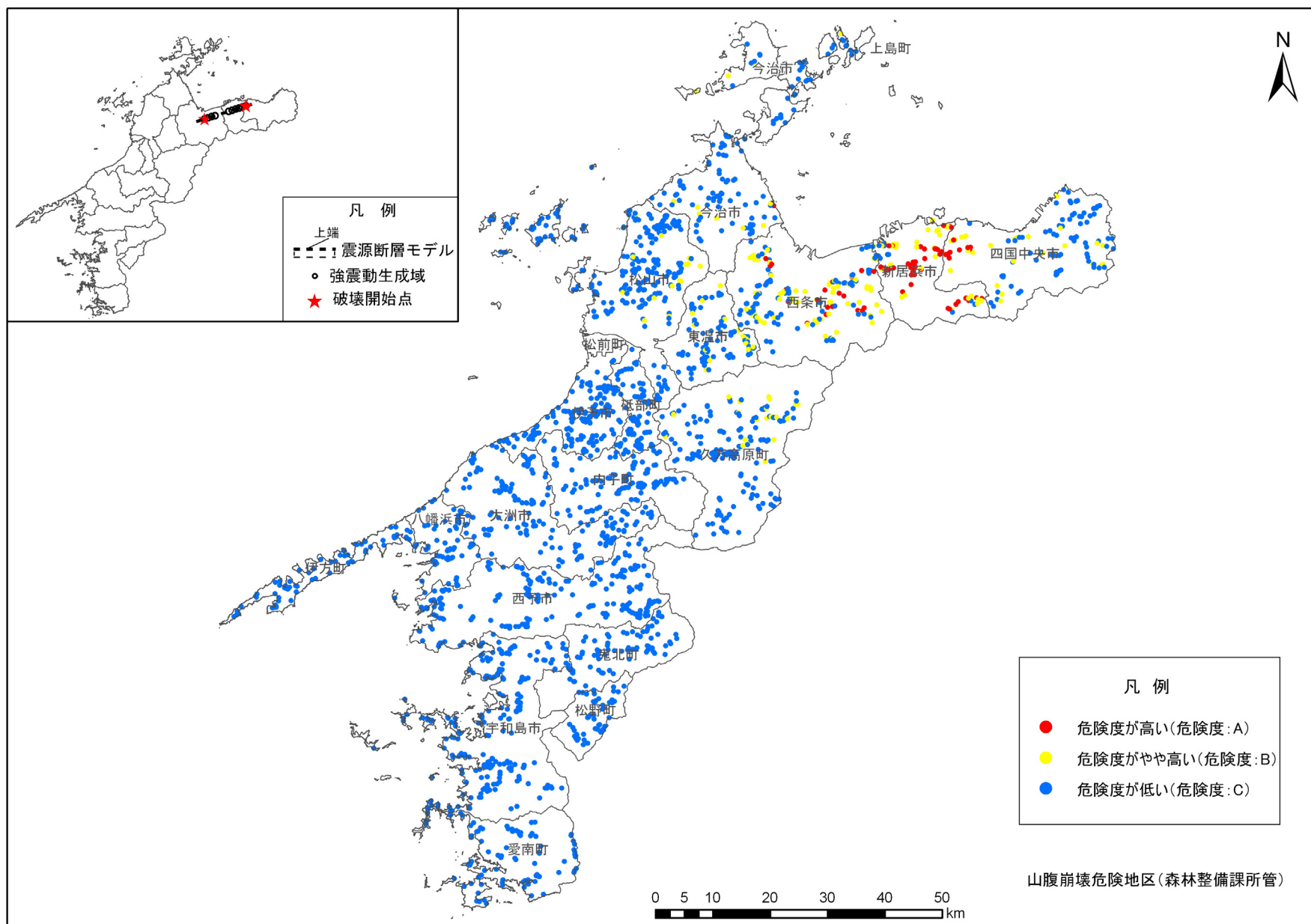


図 2-6-7(5) ④石鎚山脈北縁の地震の山腹崩壊危険地区危険度ランク分布 (2 ケース重ね合わせ)

図 2-6-7(6) ⑤石鎚山脈北縁西部－伊予灘の地震の山腹崩壊危険地区危険度ランク分布（2 ケース重ね合わせ）

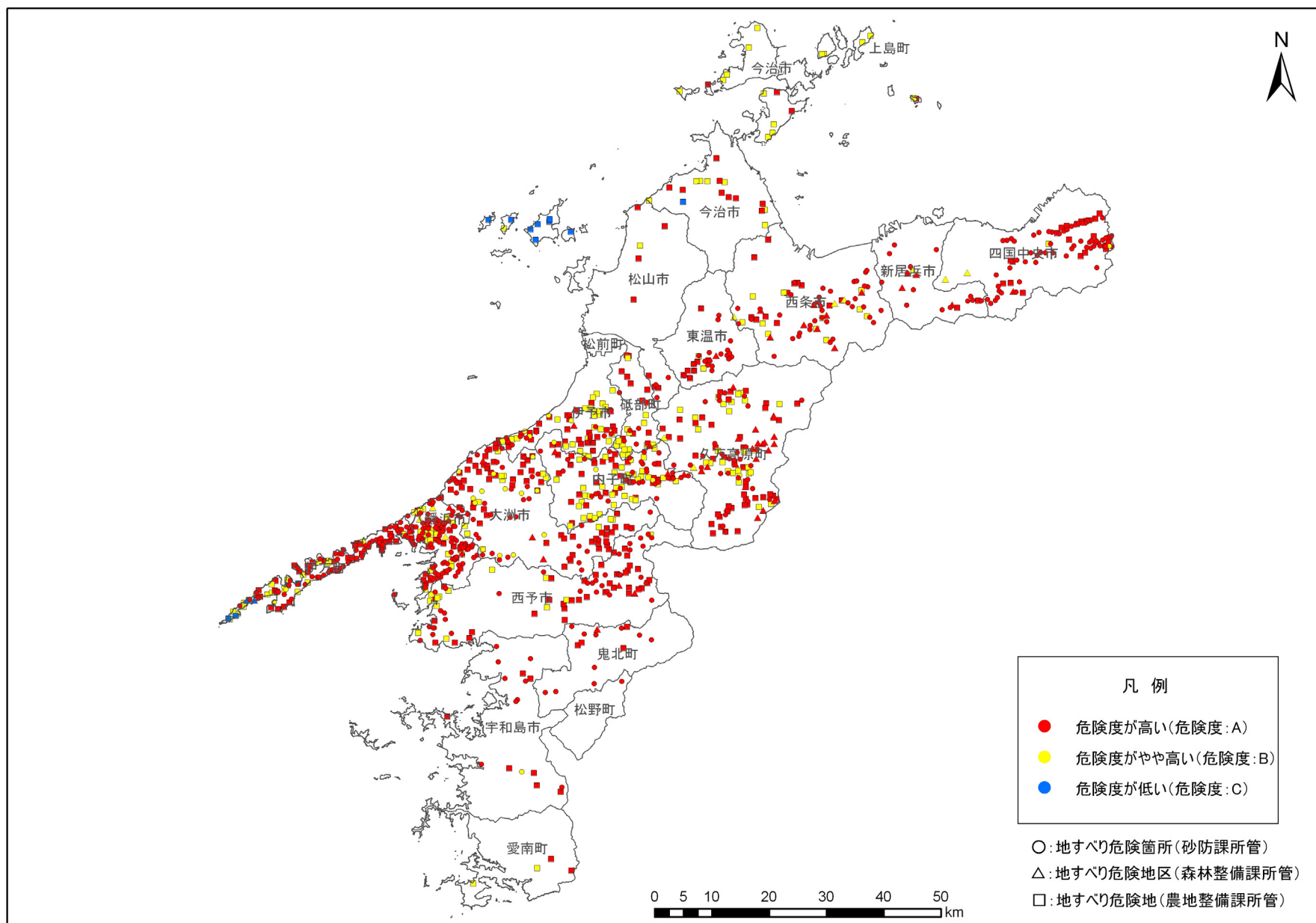


図 2-6-8(1) ①南海トラフ巨大地震の地すべり危険箇所等危険度ランク分布 (5 ケース重ね合わせ)

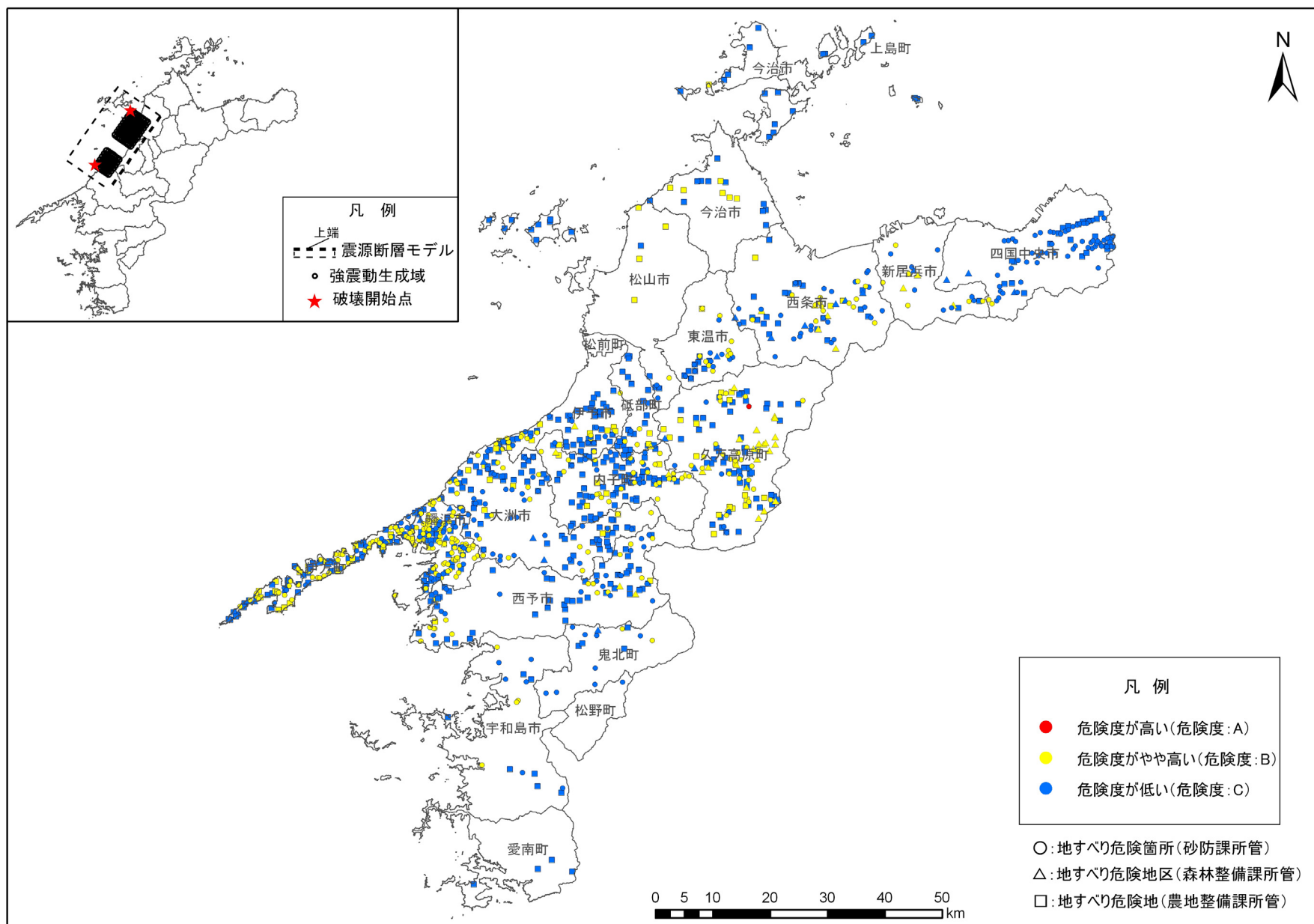


図 2-6-8(2) ②安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震(北側)の地すべり危険箇所等危険度ランク分布(2 ケース重ね合わせ)

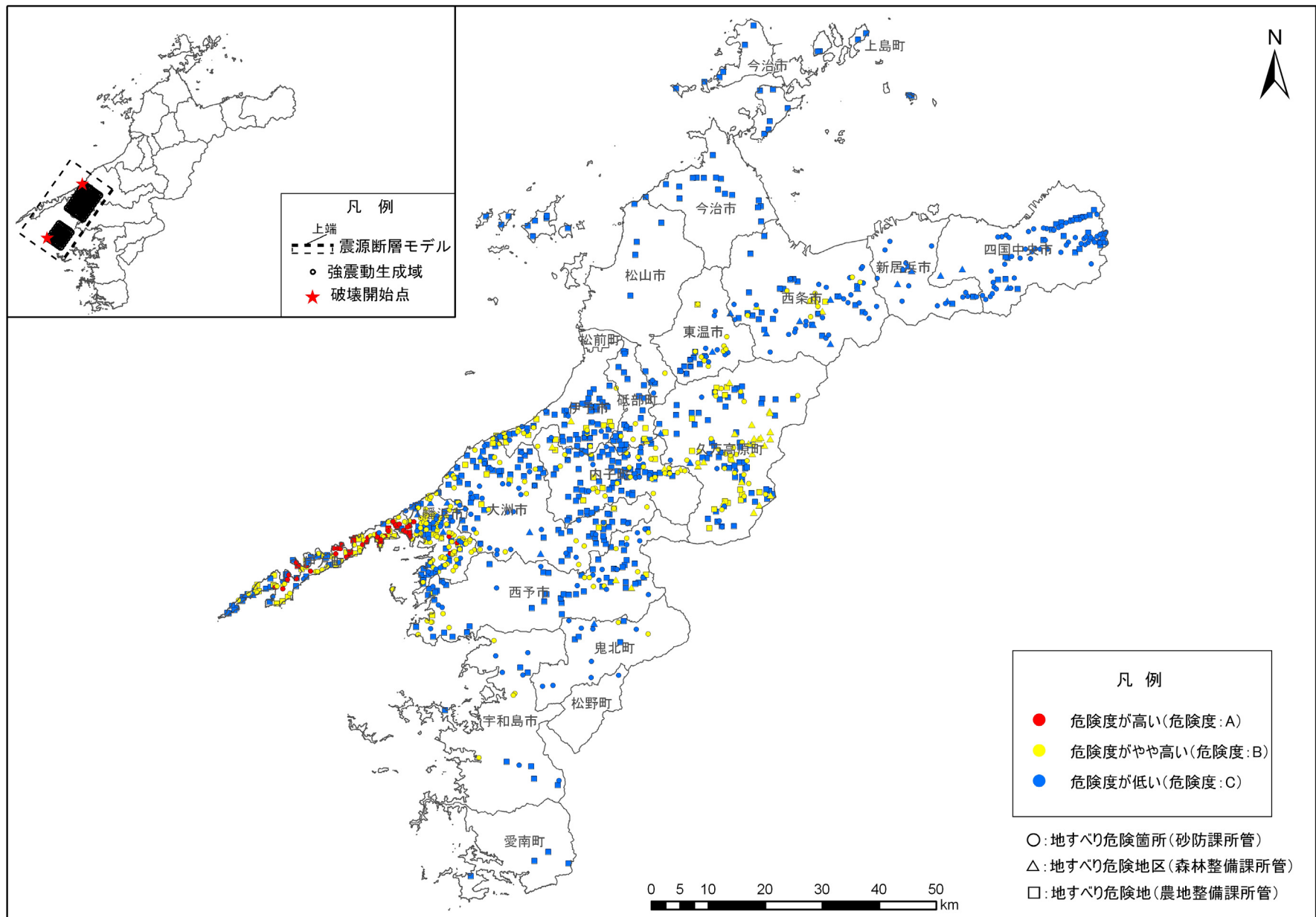


図 2-6-8(3) ②' 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（南側）の地すべり危険箇所等危険度ランク分布（2 ケース重ね合わせ）

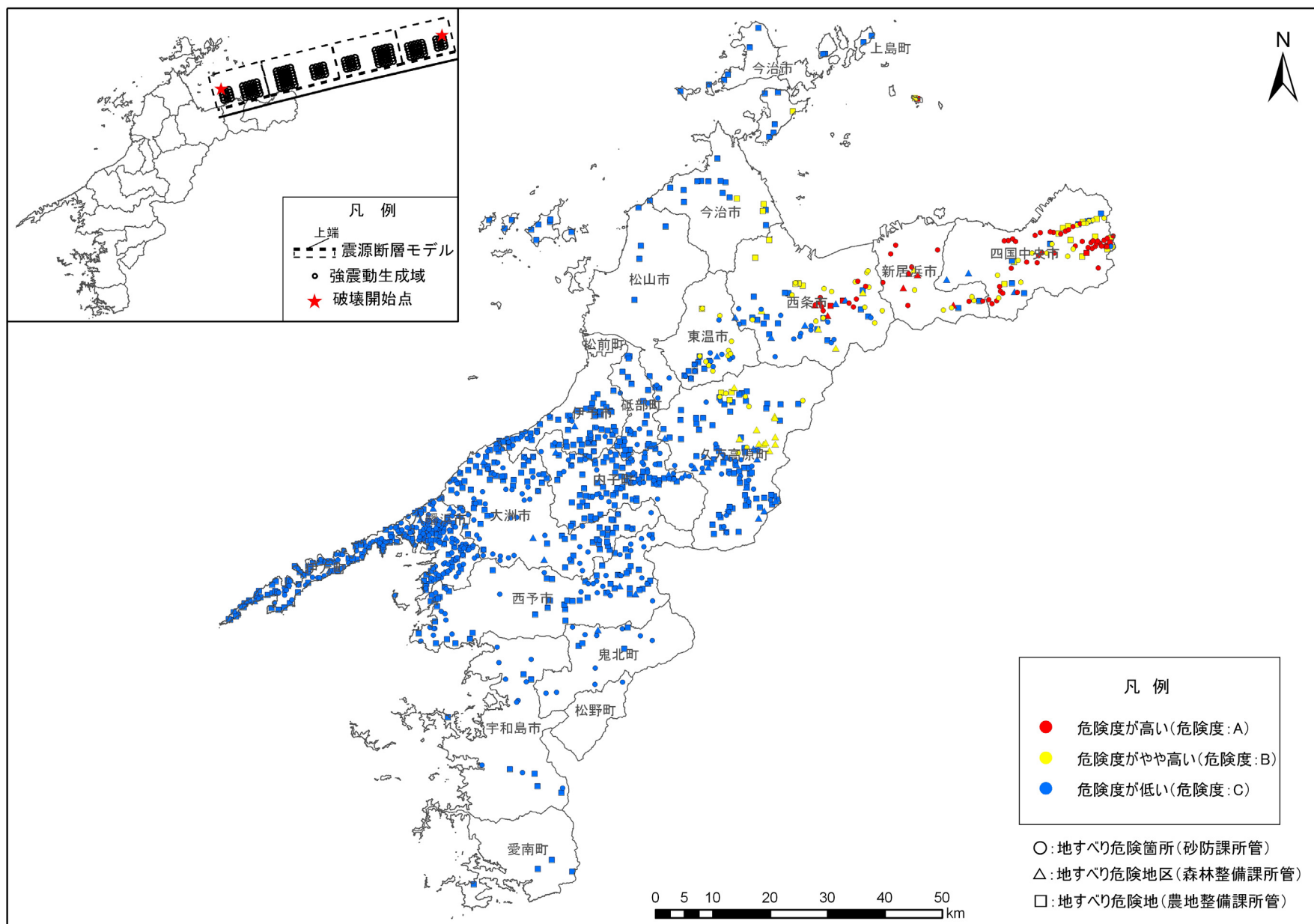


図 2-6-8(4) ③讃岐山脈南縁－石鎚山脈北縁東部の地震の地すべり危険箇所等危険度ランク分布（2 ケース重ね合わせ）

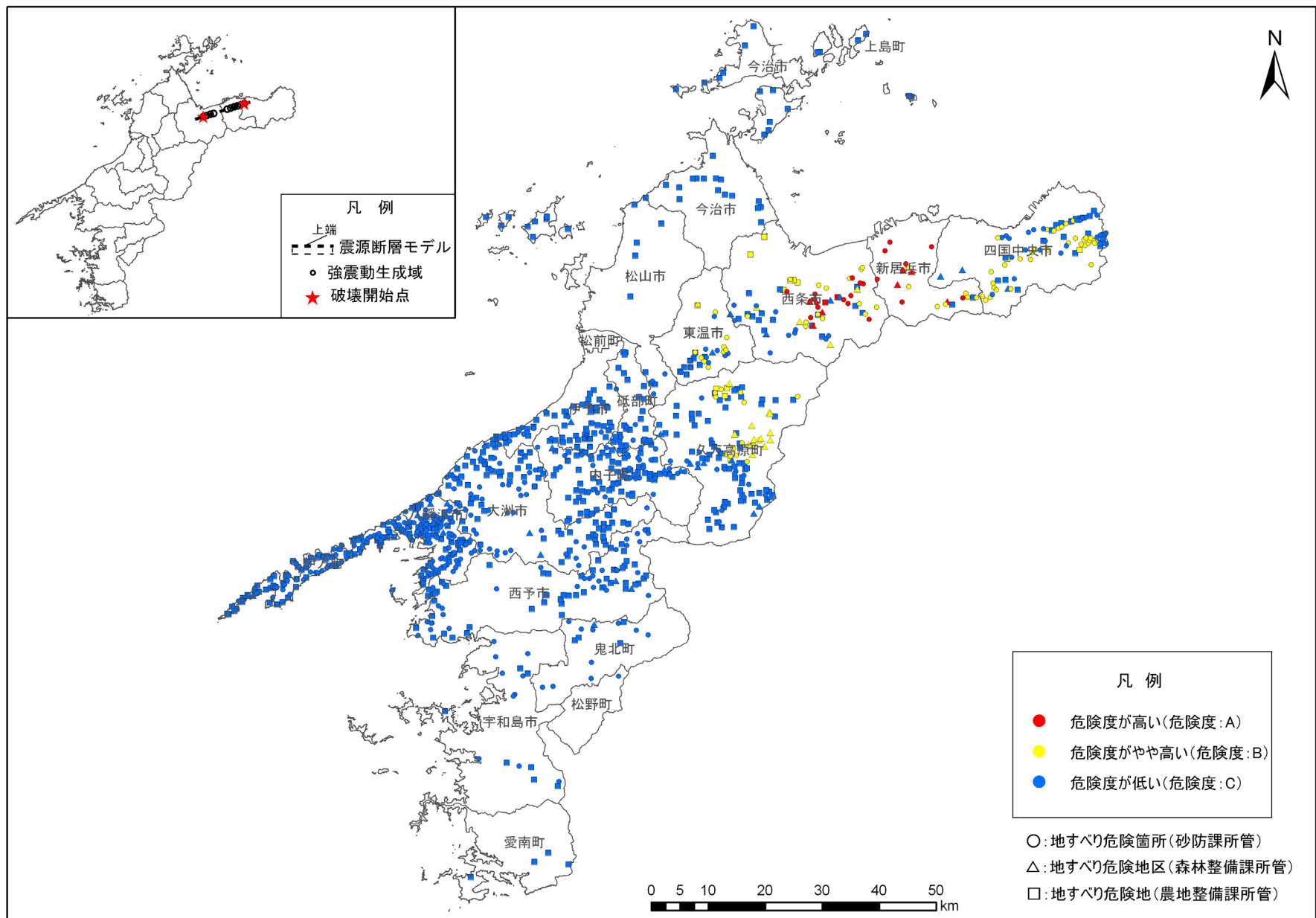


図 2-6-8 (5) ④石鎚山脈北縁の地震の地すべり危険箇所等危険度ランク分布 (2 ケース重ね合わせ)

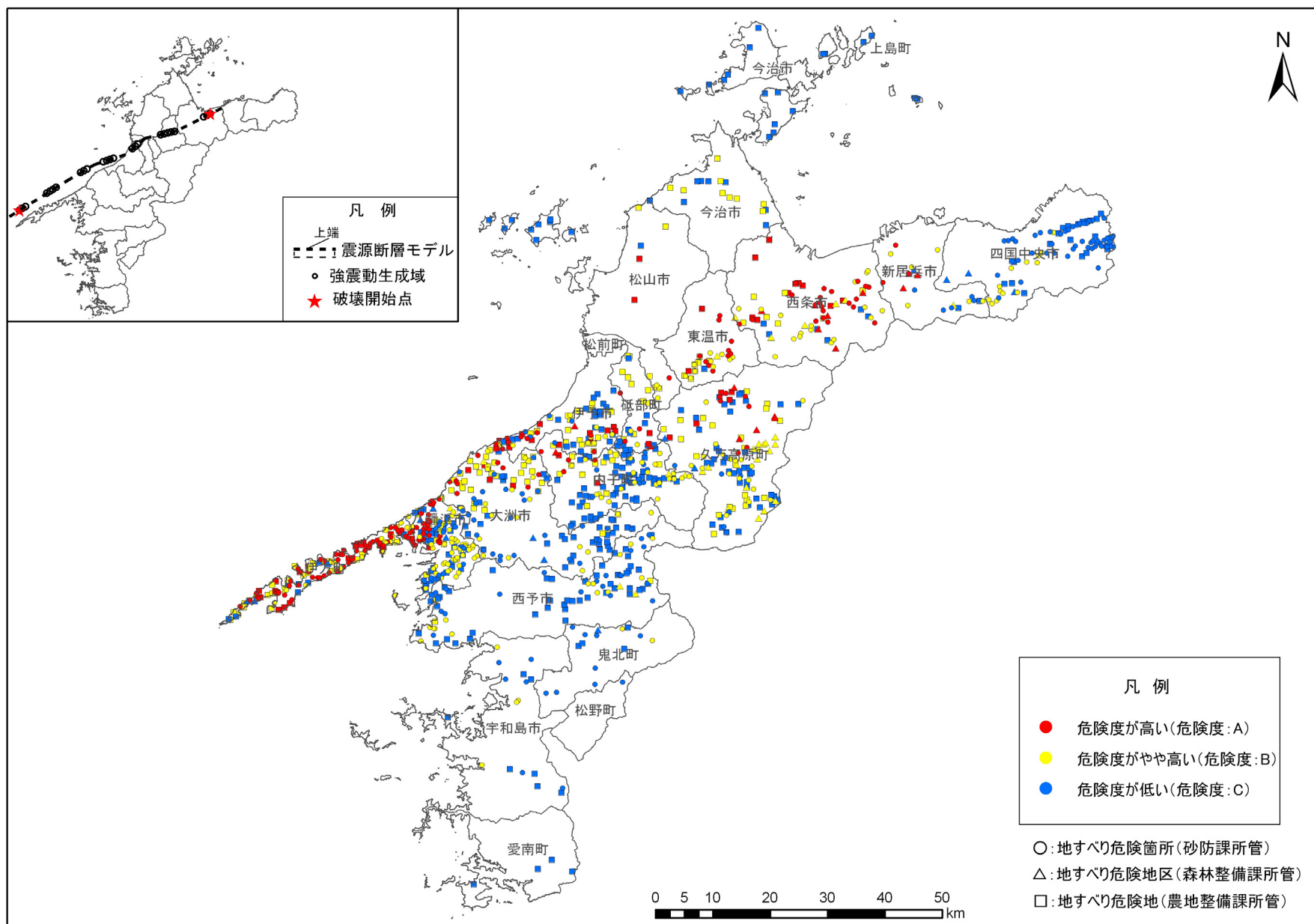


図 2-6-8(6) ⑤石鎚山脈北縁西部－伊予灘の地震の地すべり危険箇所等危険度ランク分布（2 ケース重ね合わせ）

(2) 各ケース

各想定地震における各ケースの土砂災害危険度の想定結果を表 2-6-14～2-6-15、図 2-6-9～2-6-11 に示す。

表 2-6-14 想定地震（ケース毎）における土砂災害危険度ランク数

想定地震		想定ケース等	急傾斜地崩壊危険箇所 （砂防課所管）箇所数			山腹崩壊危険地区（森林整備 課所管）箇所数			地すべり危険箇所（砂防課所 管）箇所数			地すべり危険地区（森林整備 課所管）箇所数			地すべり危険地（農地整備課 所管）箇所数		
			A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C	A	B	C
①南海トラフ巨大地震		基本ケース	3,466	3,346	1,995	398	673	1,191	205	218	83	9	35	17	54	185	332
		陸側ケース	7,095	1,576	136	1,126	970	166	466	40	0	61	12	2	571	211	24
		東側ケース	3,062	3,445	2,300	314	619	1,329	153	252	101	8	34	19	40	190	341
		西側ケース	3,542	3,363	1,902	392	699	1,171	209	207	90	18	25	18	56	198	317
		経験的手法	7,217	1,505	85	1,155	1,020	87	466	40	0	46	13	2	330	220	21
安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート 内地震	②北側	ケース1 （北から破壊）	584	3,359	4,864	8	395	1,859	1	259	246	0	37	24	0	87	484
		ケース2 （南から破壊）	519	3,523	4,765	7	396	1,859	0	256	250	0	37	24	0	83	488
	②'南側	ケース1 （北から破壊）	261	3,636	4,910	11	351	1,900	36	222	248	0	31	30	10	82	479
		ケース2 （南から破壊）	180	3,451	5,176	1	327	1,934	2	240	264	0	29	32	0	70	501
③讃岐山脈南縁－石鎚山脈北縁東部の地震		ケース1 （東から破壊）	263	907	7,637	71	165	2,026	50	36	420	5	6	50	3	16	552
		ケース2 （西から破壊）	414	1,029	7,364	103	203	1,956	62	52	392	6	16	39	6	26	539
④石鎚山脈北縁の地震		ケース1 （東から破壊）	174	1,007	7,626	69	174	2,019	21	70	415	6	18	37	2	8	561
		ケース2 （西から破壊）	189	1,063	7,555	72	188	2,002	21	76	409	7	18	36	2	12	557
⑤石鎚山脈北縁西部－伊予灘の地震		ケース1 （東から破壊）	2,198	3,157	3,452	295	594	1,373	137	214	155	23	31	7	39	147	198
		ケース2 （西から破壊）	1,979	3,311	3,517	224	563	1,475	137	211	158	11	34	16	61	163	347

危険度ランク

A	危険度が高い
B	危険度がやや高い
C	危険度が低い

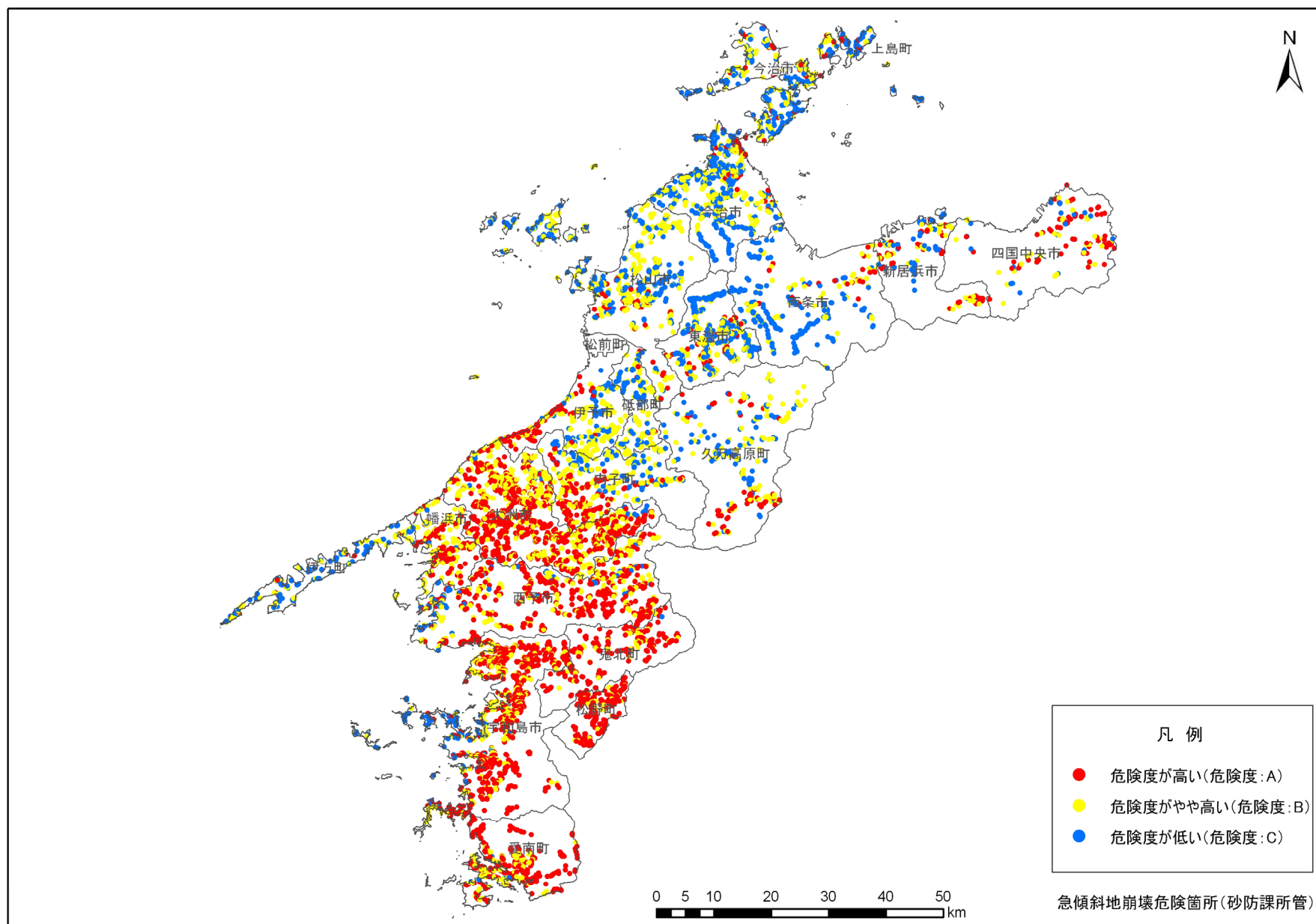


図 2-6-9(1) 南海トラフ巨大地震（基本ケース）の急傾斜地崩壊危険箇所危険度ランク分布

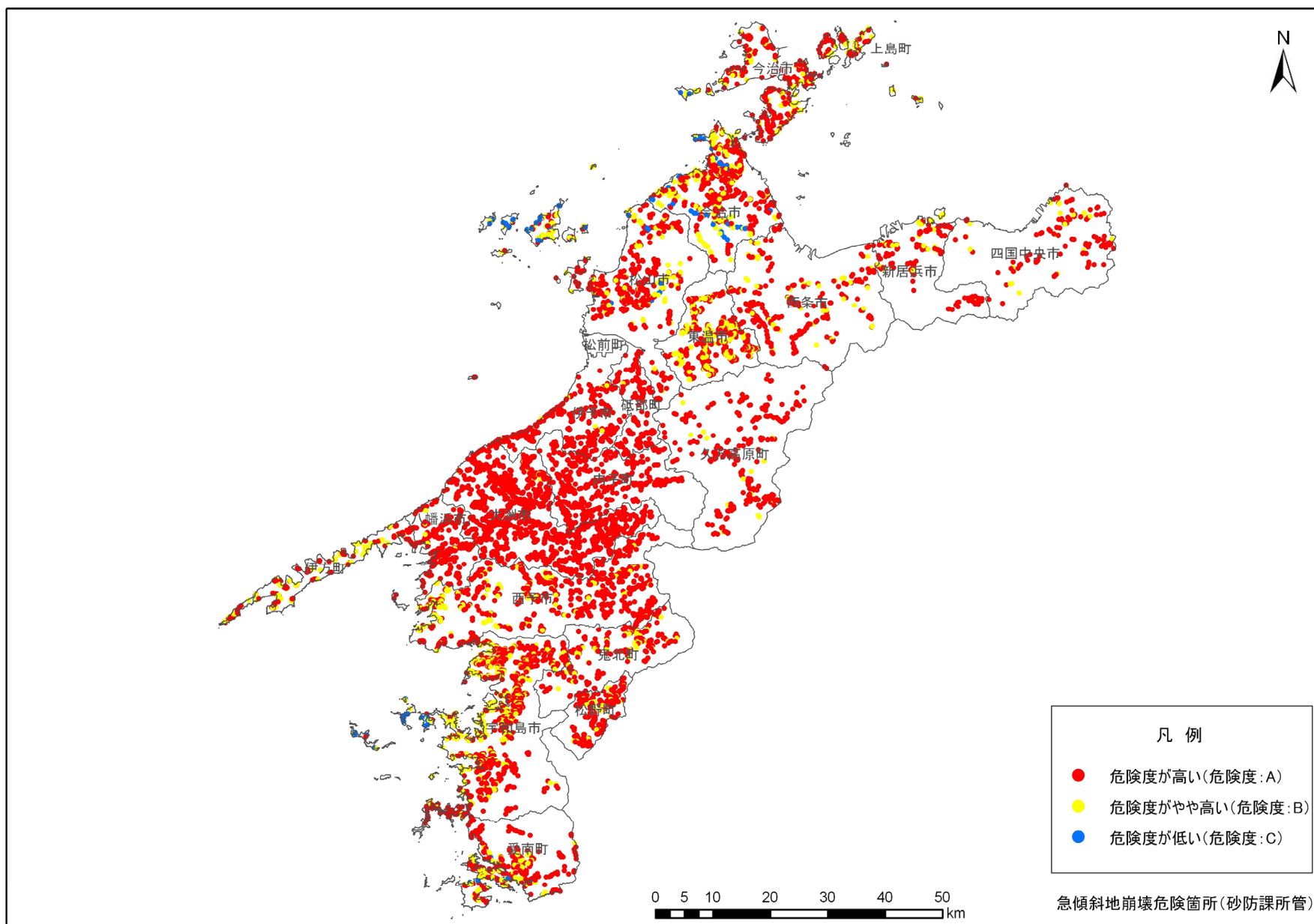


図 2-6-9(2) 南海トラフ巨大地震（陸側ケース）の急傾斜地崩壊危険箇所危険度ランク分布

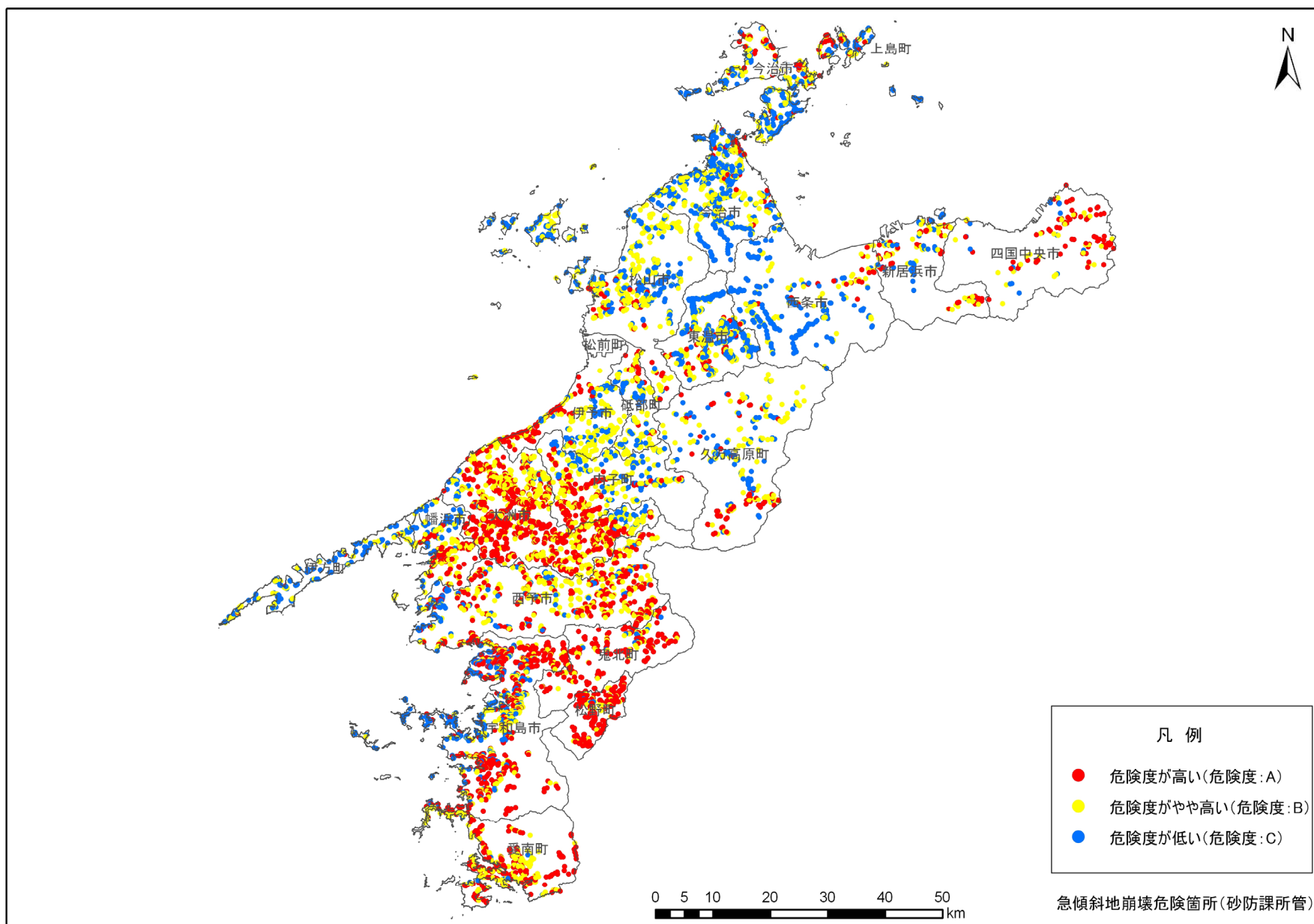


図 2-6-9(3) 南海トラフ巨大地震（東側ケース）の急傾斜地崩壊危険箇所危険度ランク分布

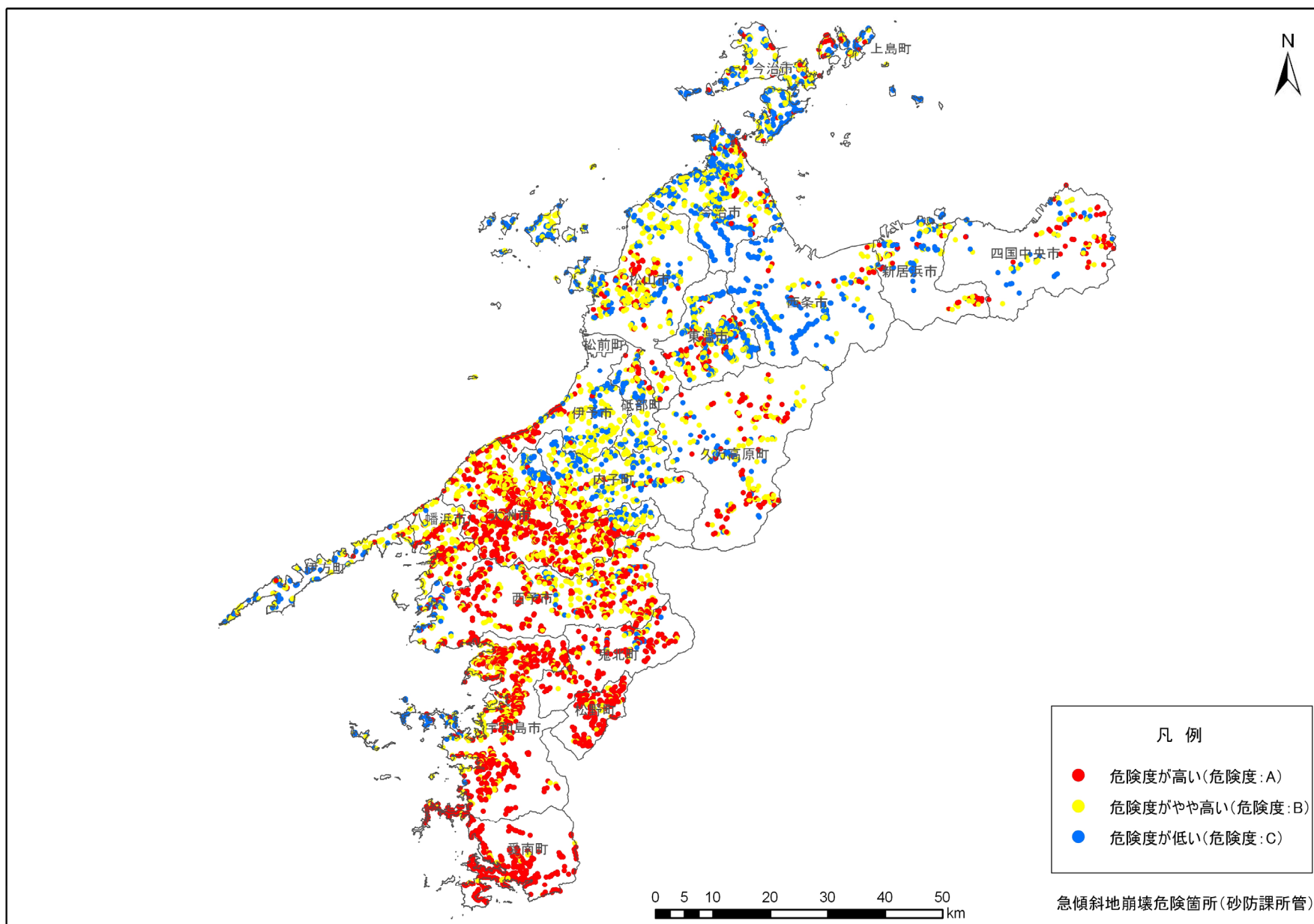


図 2-6-9 (4) 南海トラフ巨大地震（西側ケース）の急傾斜地崩壊危険箇所危険度ランク分布

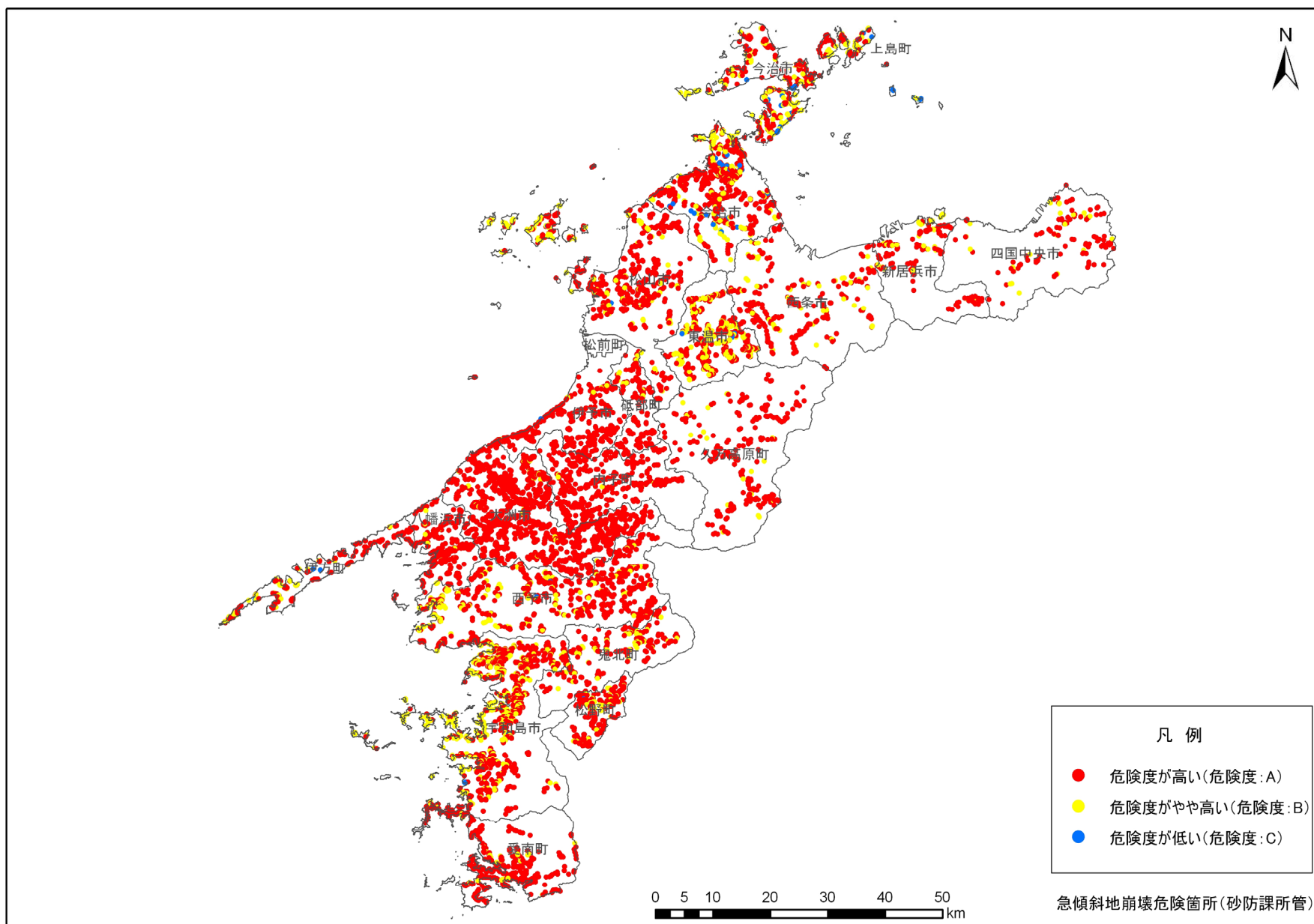


図 2-6-9(5) 南海トラフ巨大地震（経験的手法）の急傾斜地崩壊危険箇所危険度ランク分布

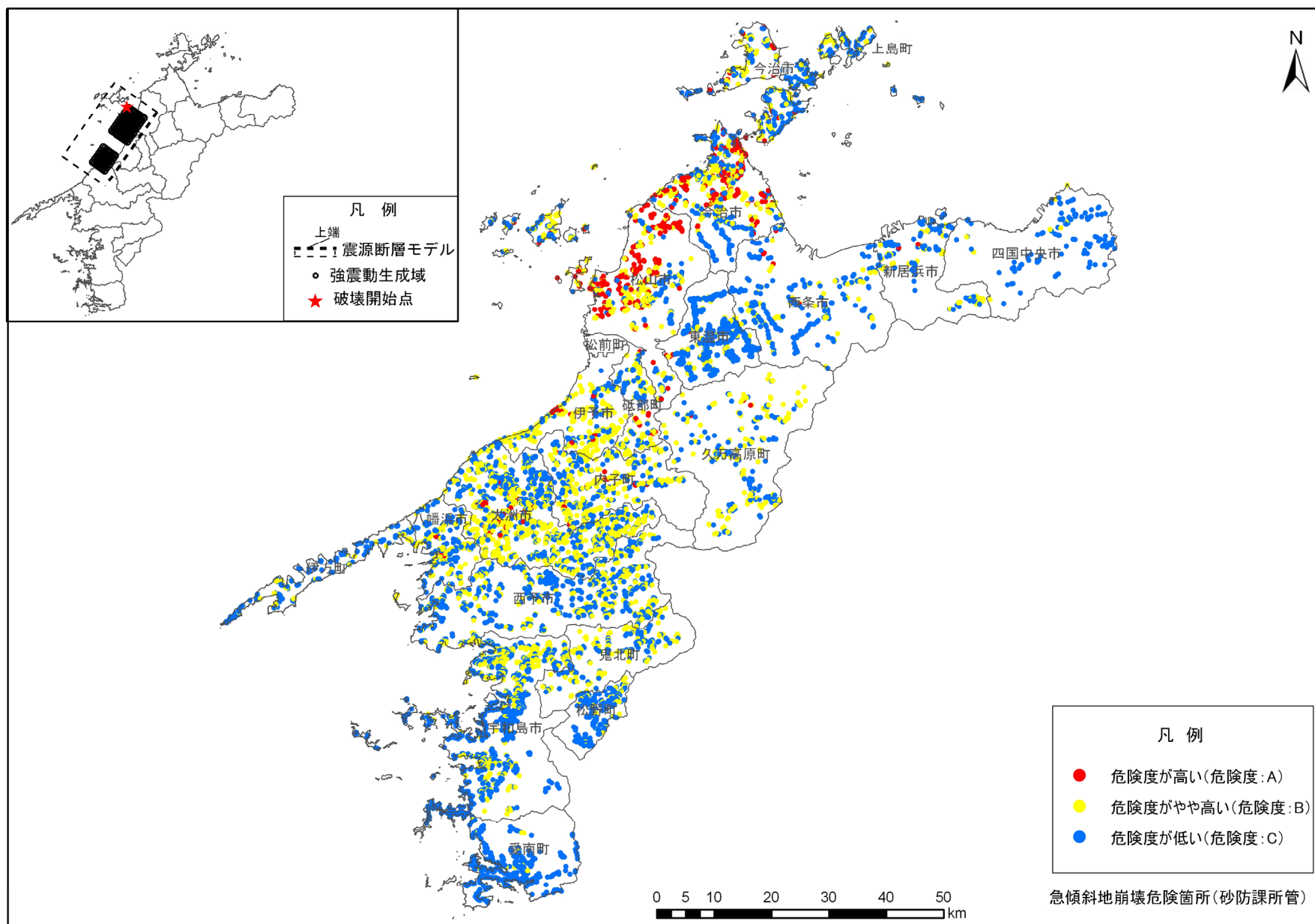


図 2-6-9(6) 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（北側ケース 1）の急傾斜地崩壊危険箇所危険度ランク分布

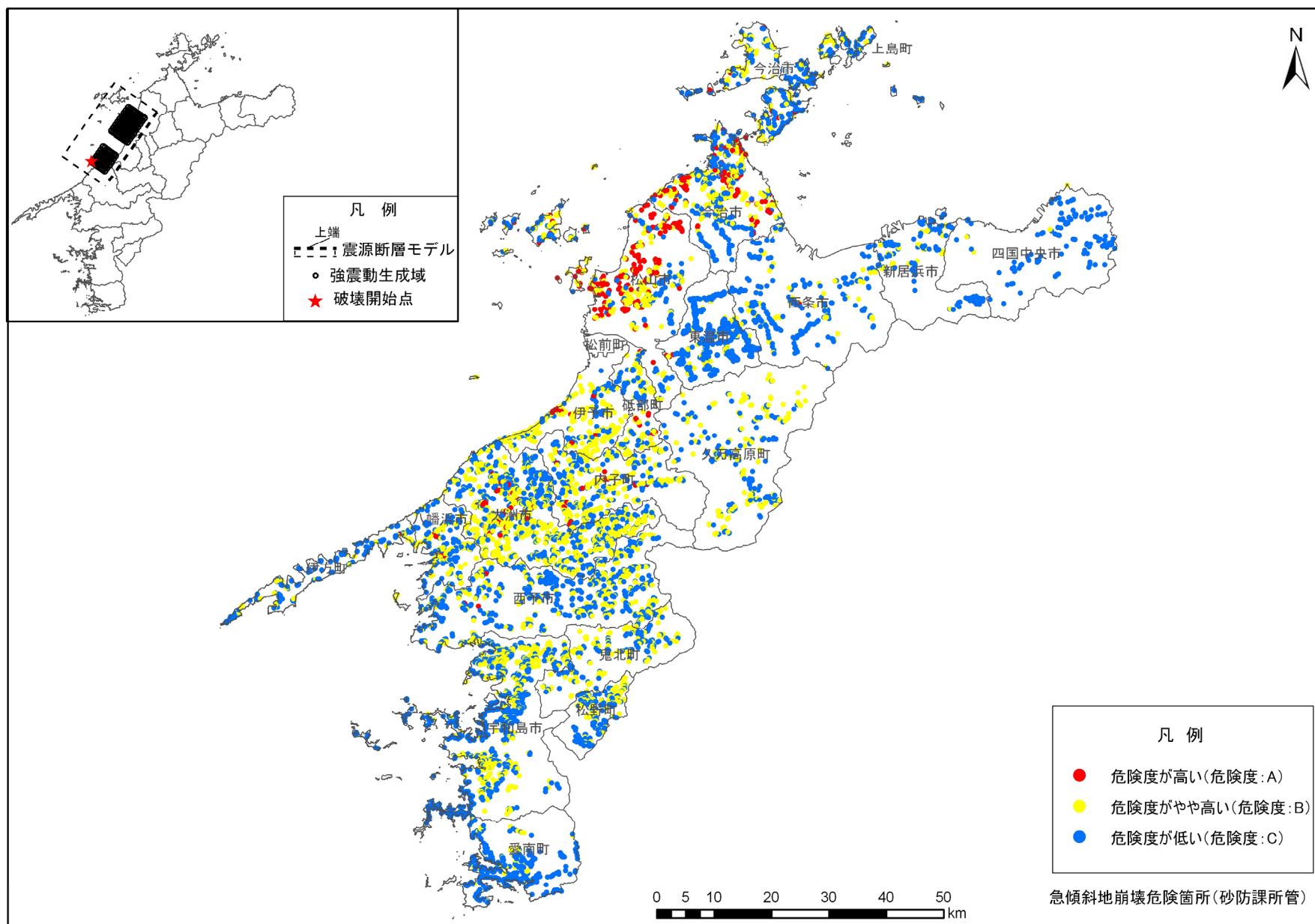


図 2-6-9(7) 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（北側ケース 2）の急傾斜地崩壊危険箇所危険度ランク分布

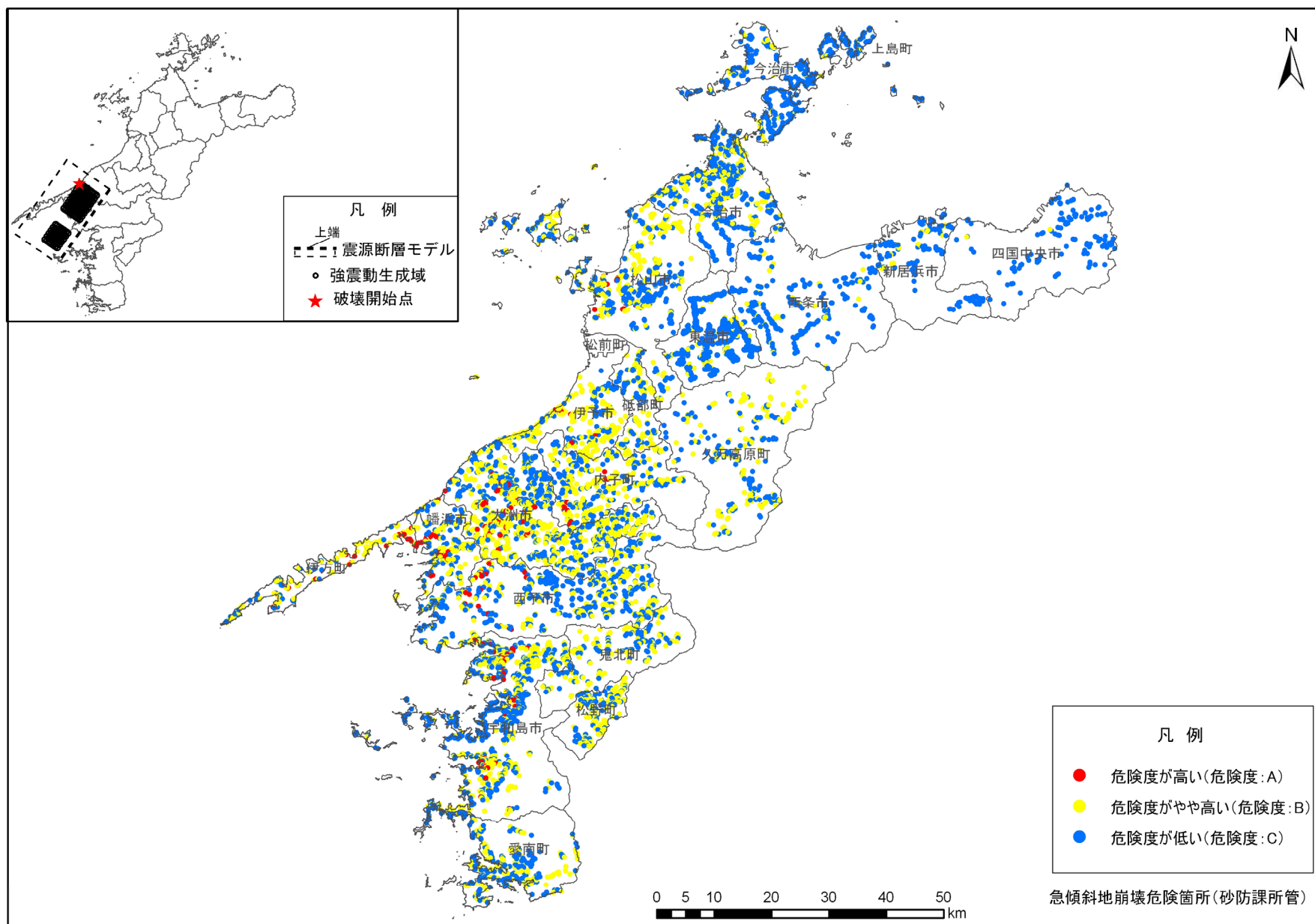


図 2-6-9(8) 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（南側ケース 1）の急傾斜地崩壊危険箇所危険度ランク分布

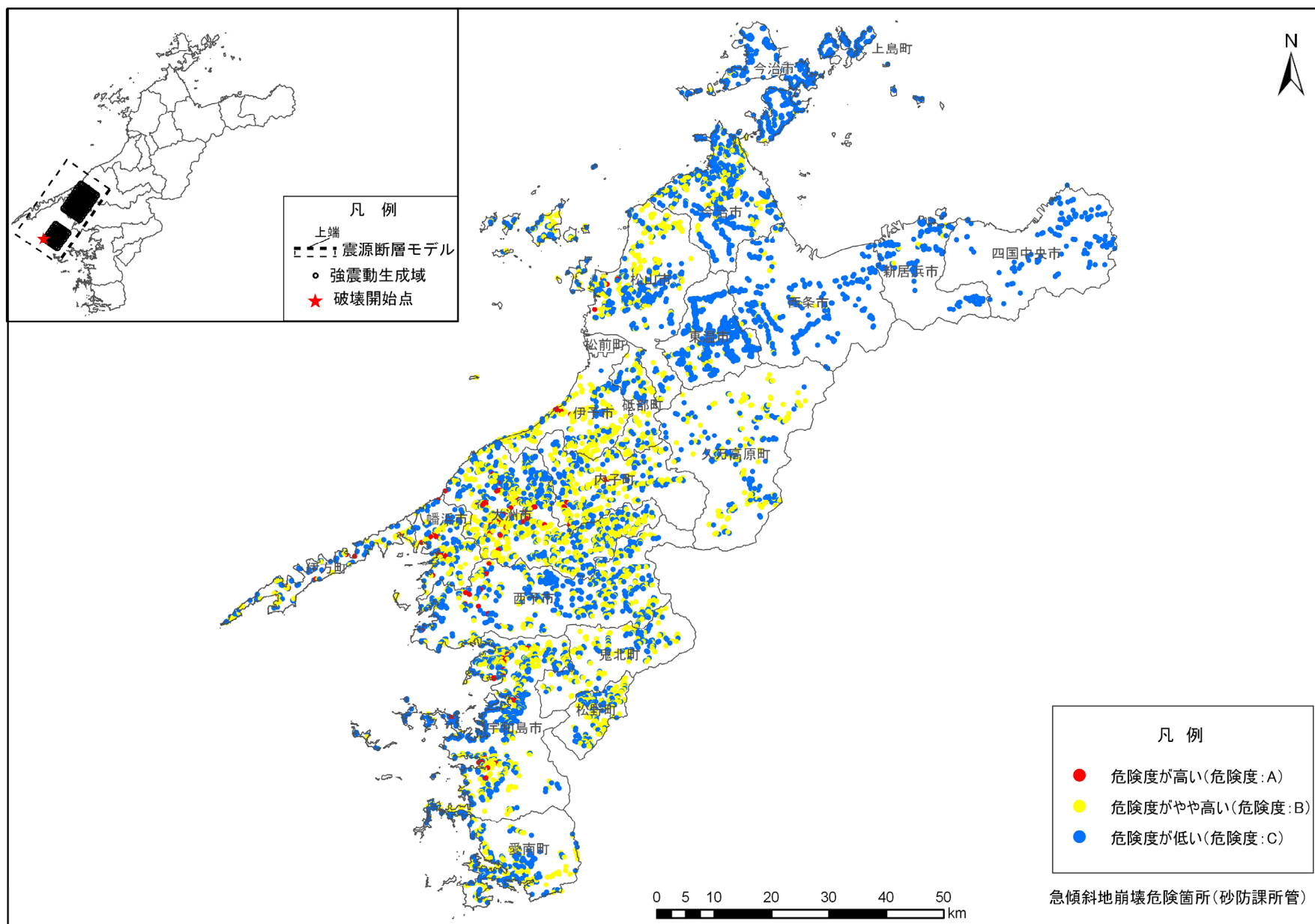


図 2-6-9 (9) 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（南側ケース 2）の急傾斜地崩壊危険箇所危険度ランク分布

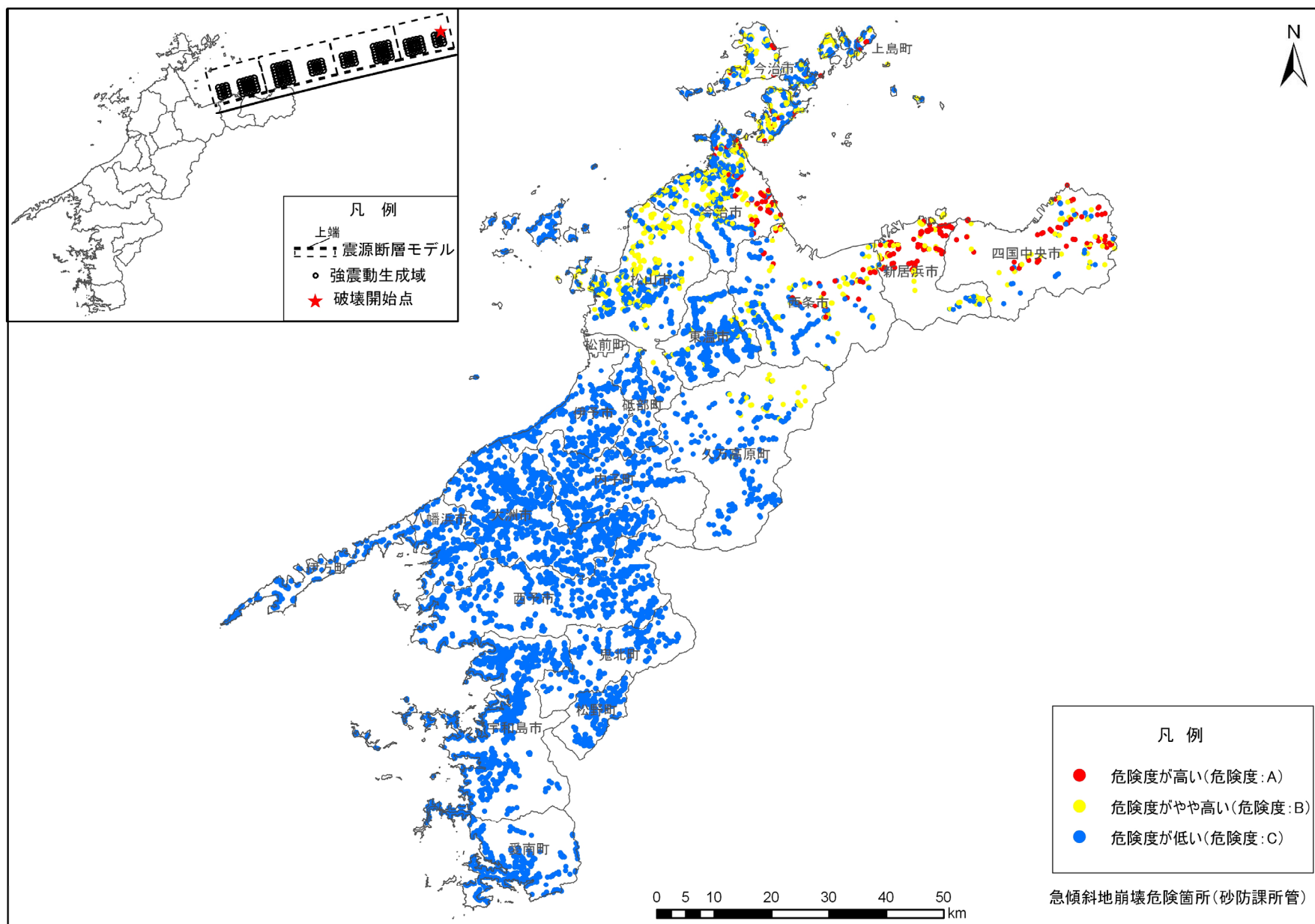


図 2-6-9(10) 讃岐山脈南縁－石鎚山脈北縁東部（ケース 1）の地震の急傾斜地崩壊危険箇所危険度ランク分布

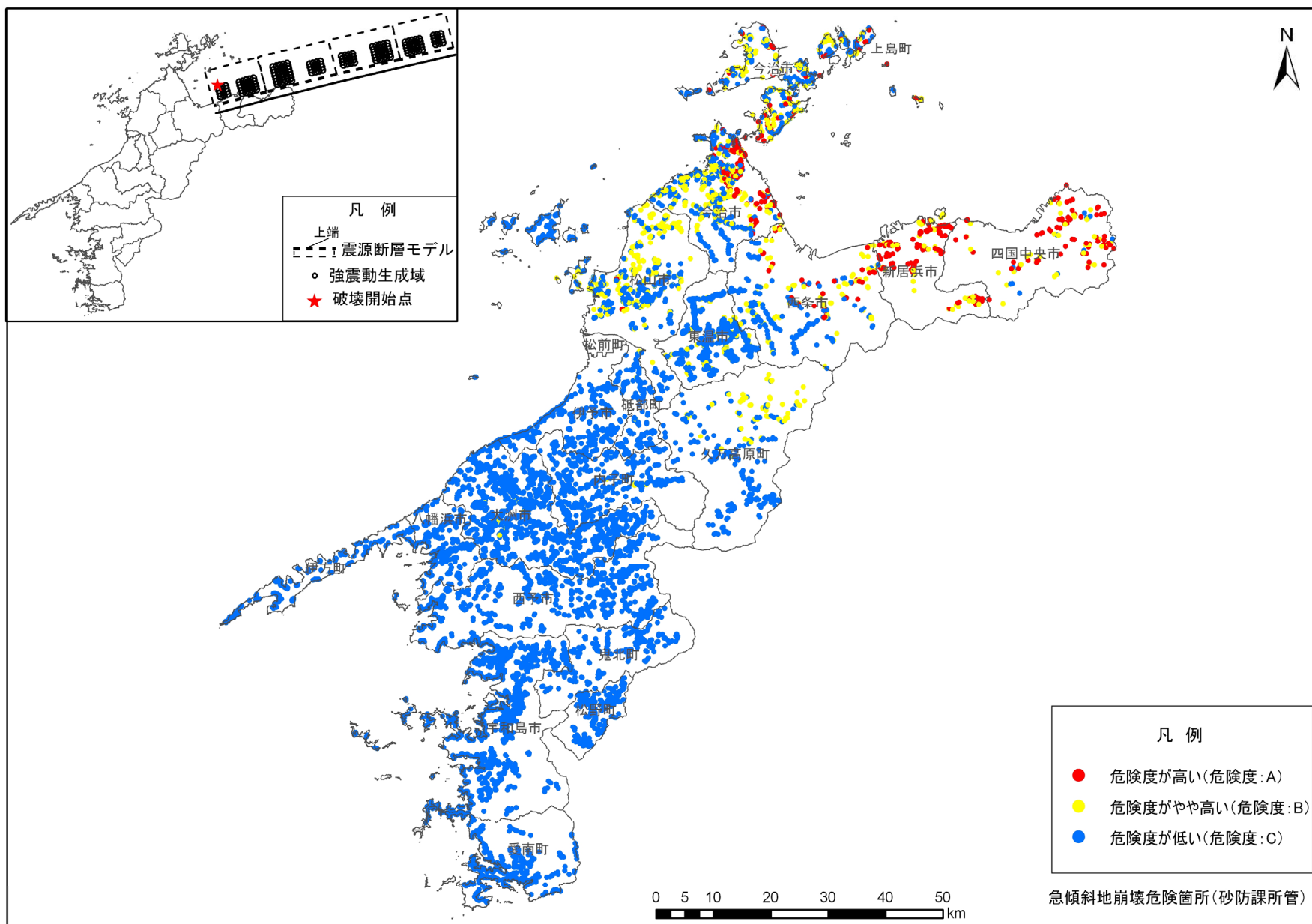


図 2-6-9(11) 讃岐山脈南縁－石鎚山脈北縁東部（ケース 2）の地震の急傾斜地崩壊危険箇所危険度ランク分布

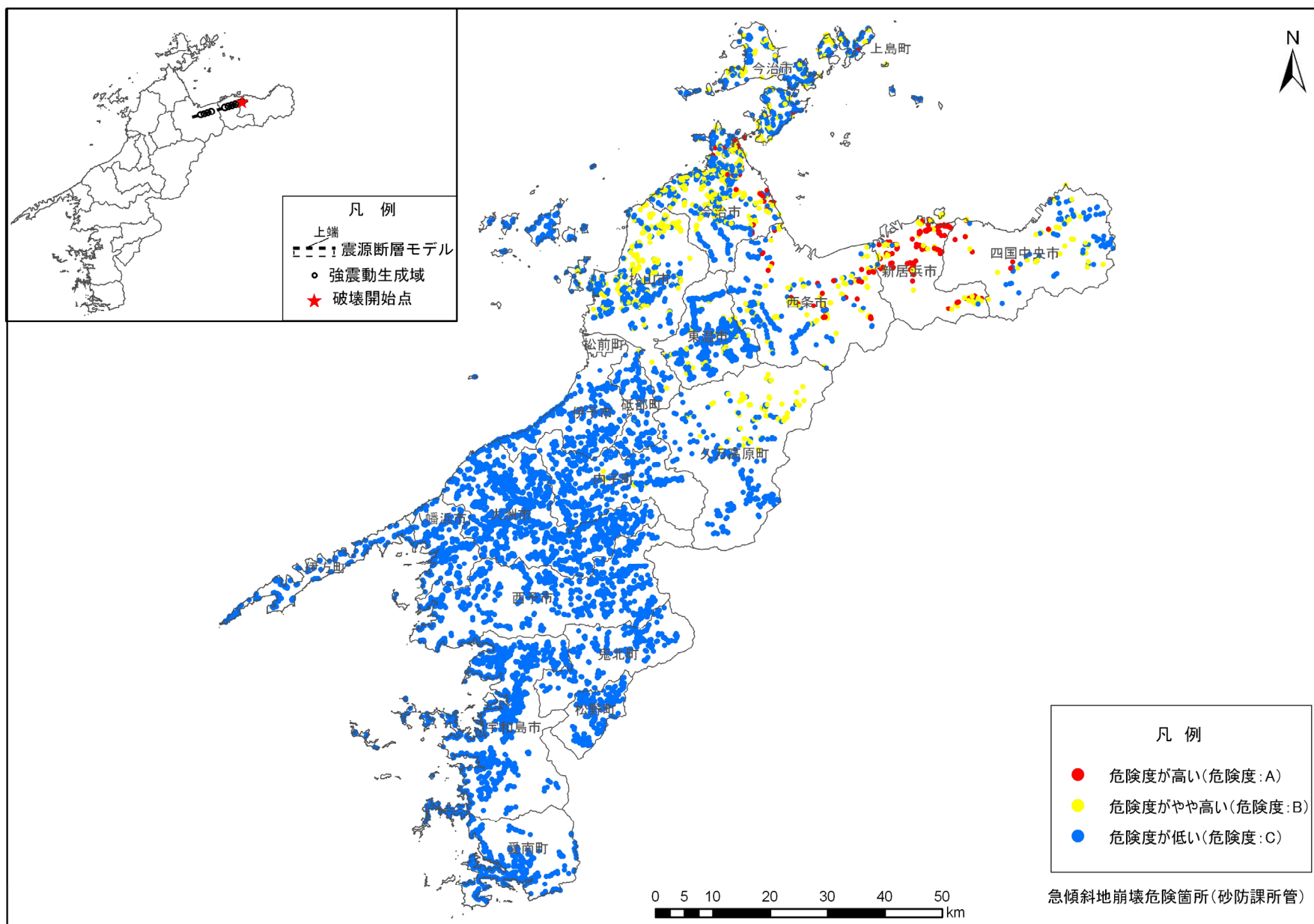


図 2-6-9(12) 石鎚山脈北縁（ケース 1）の地震の急傾斜地崩壊危険箇所危険度ランク分布

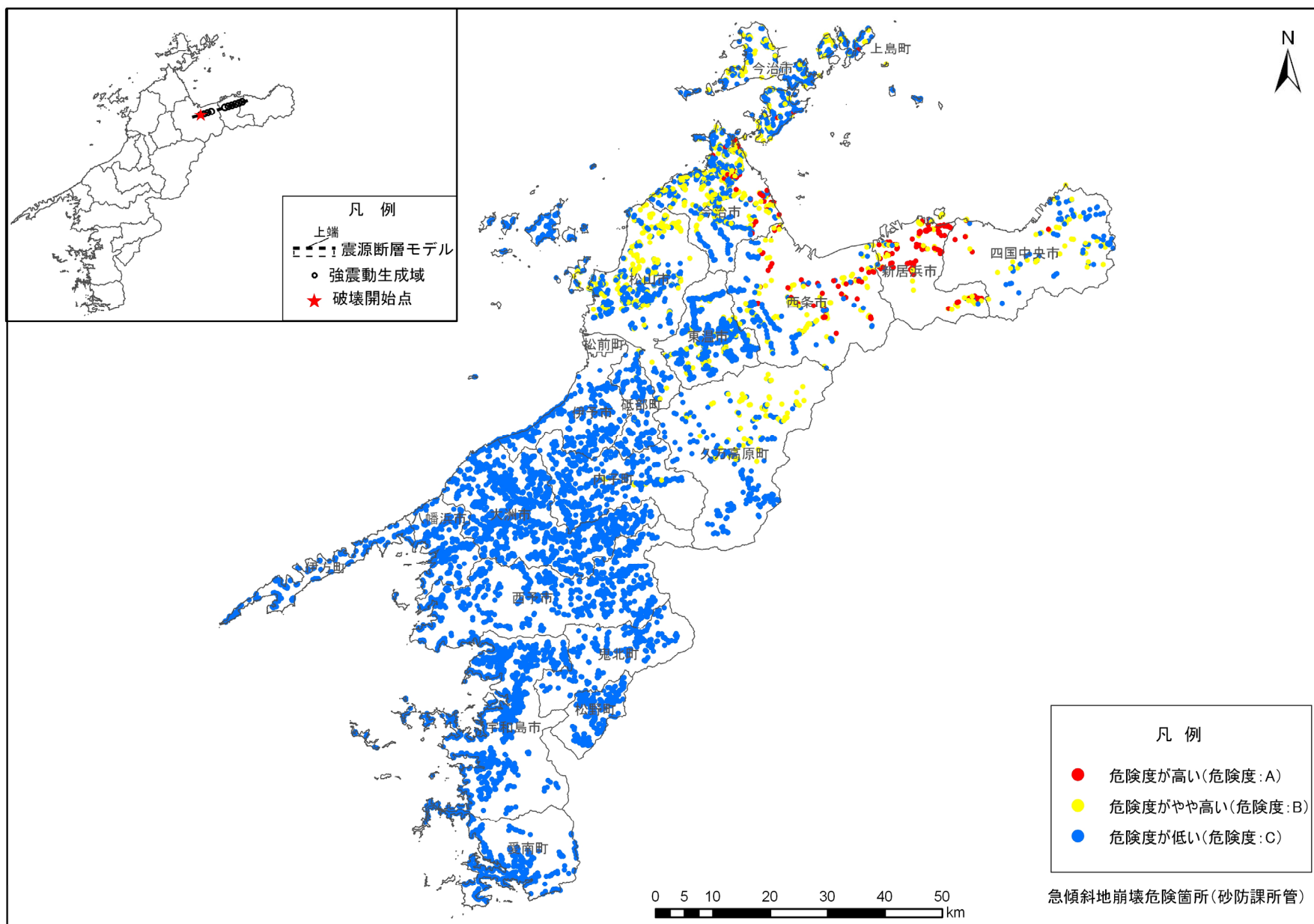


図 2-6-9(13) 石鎚山脈北縁（ケース 2）の地震の急傾斜地崩壊危険箇所危険度ランク分布

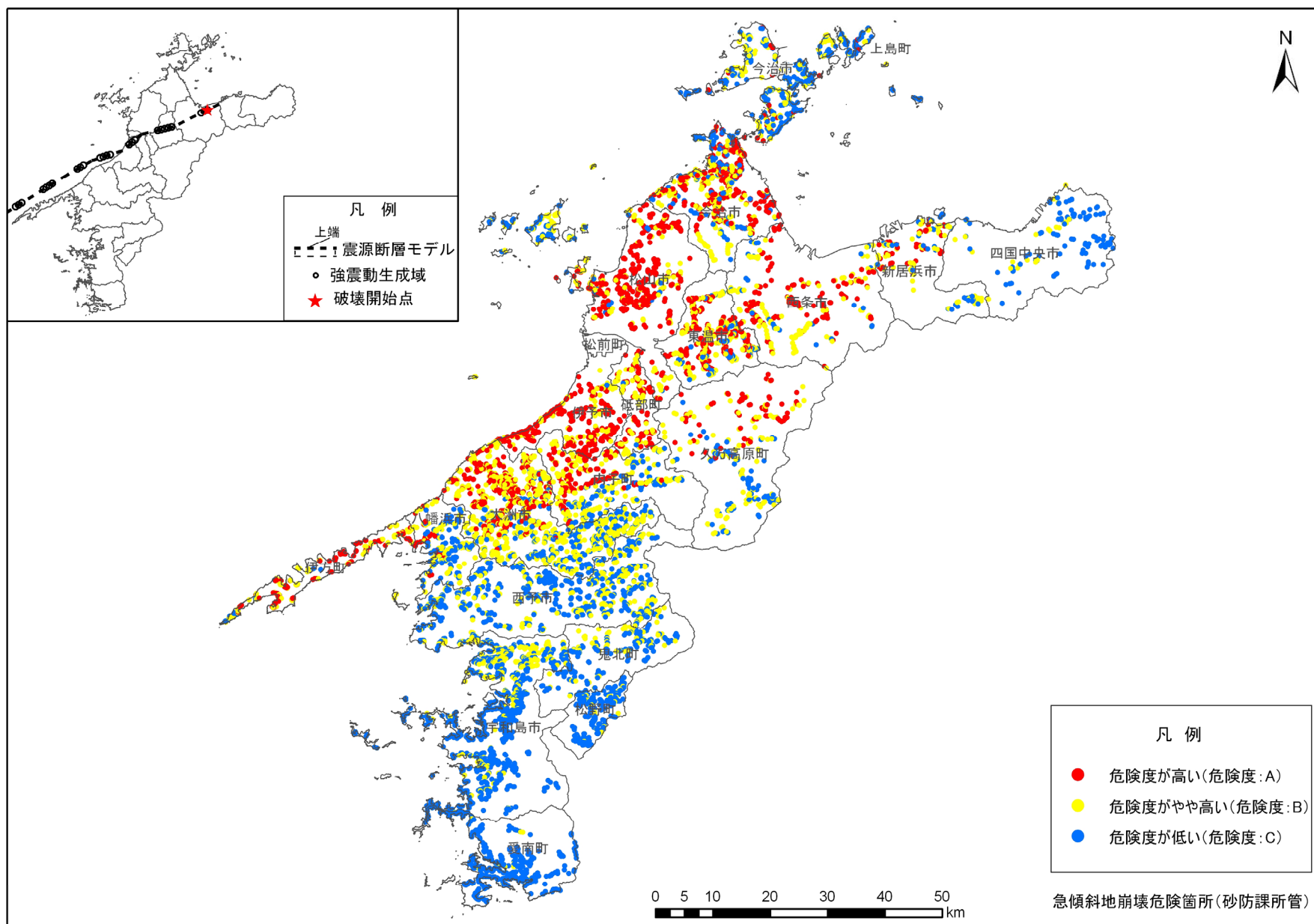


図 2-6-9(14) 石鎚山脈北縁西部－伊予灘（ケース 1）の地震の急傾斜地崩壊危険箇所危険度ランク分布

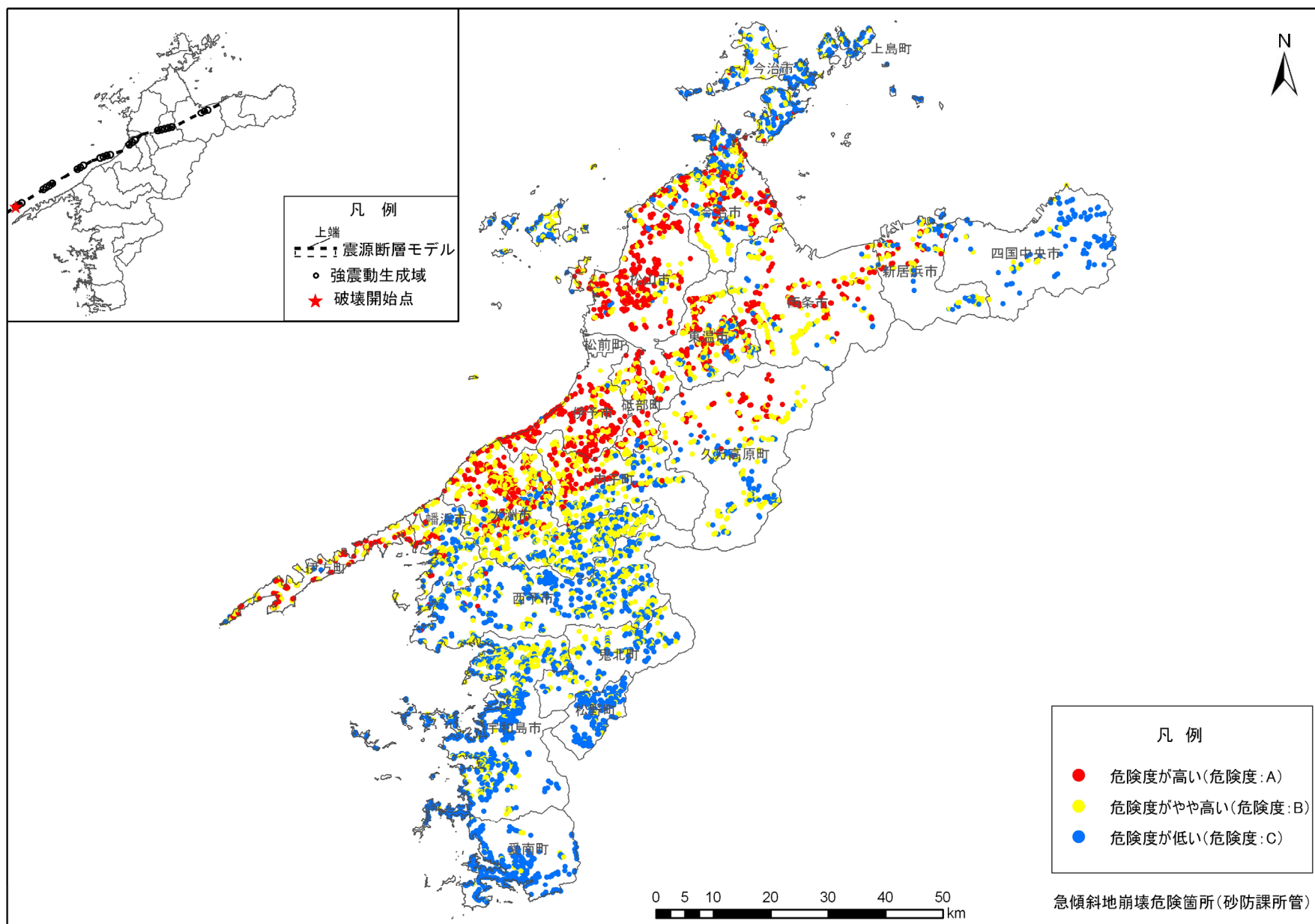


図 2-6-9(15) 石鎚山脈北縁西部－伊予灘（ケース 2）の地震の急傾斜地崩壊危険箇所危険度ランク分布

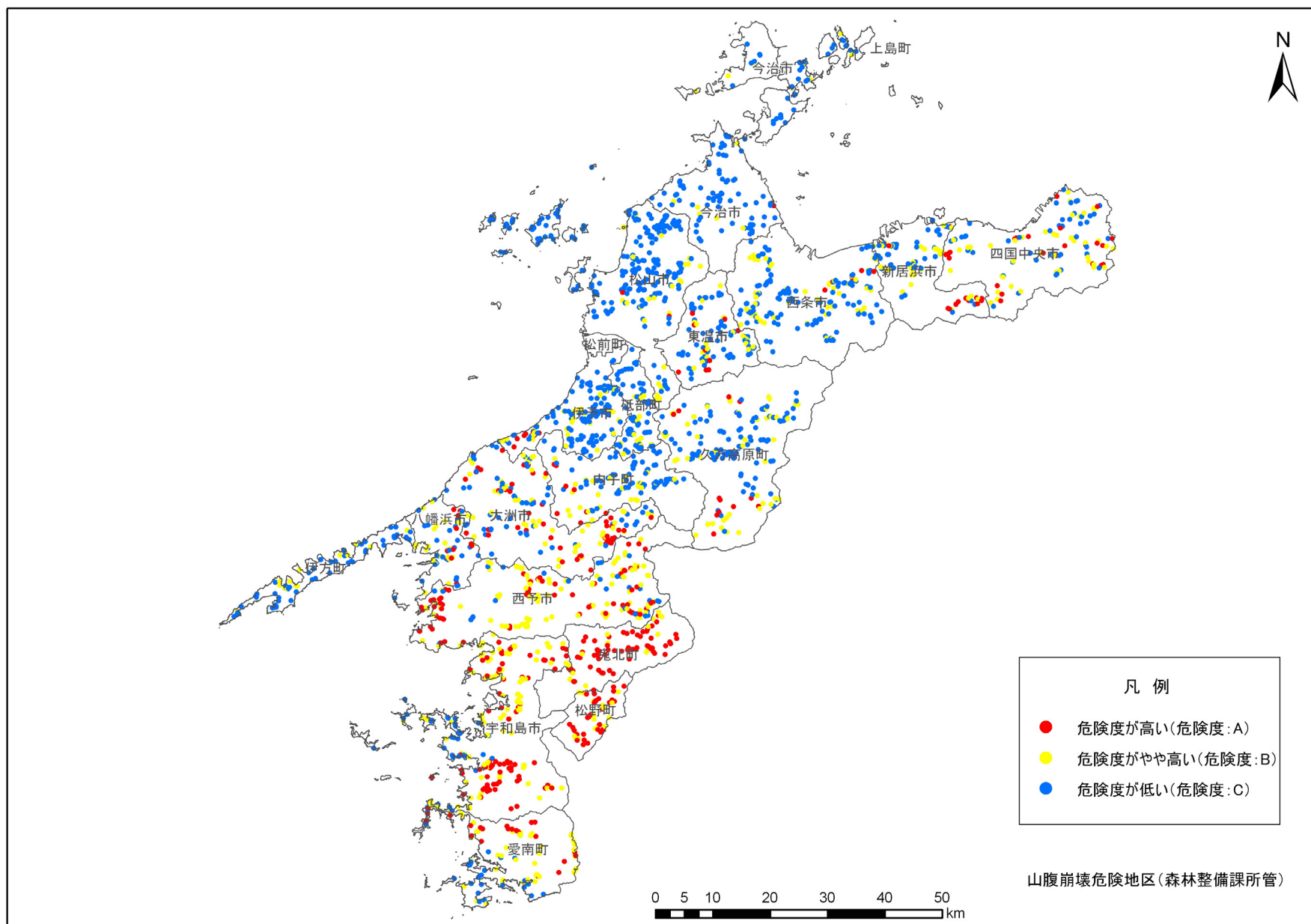


図 2-6-10(1) 南海トラフ巨大地震（基本ケース）の山腹崩壊危険地区危険度ランク分布

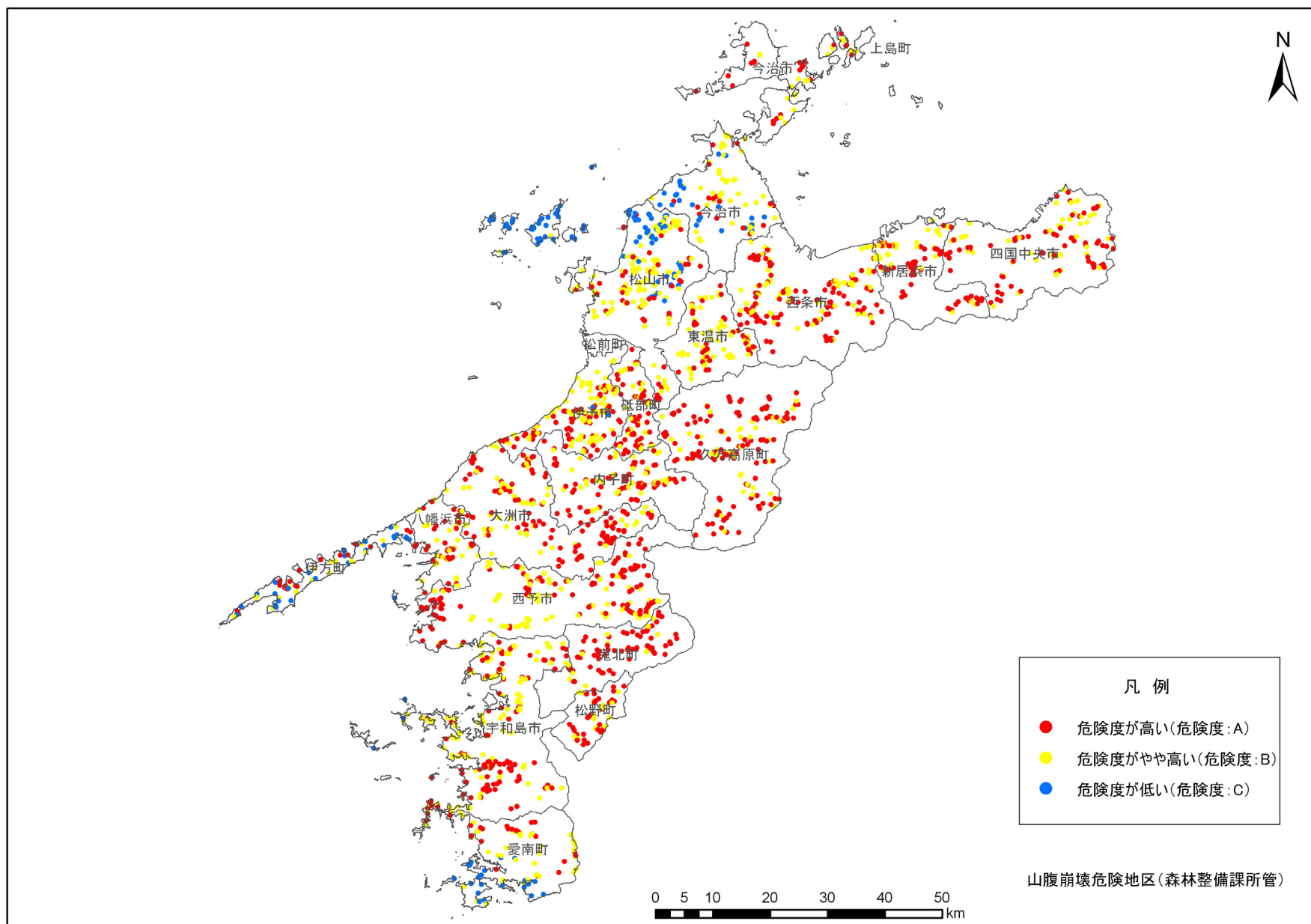


図 2-6-10(2) 南海トラフ巨大地震（陸側ケース）の山腹崩壊危険地区危険度ランク分布

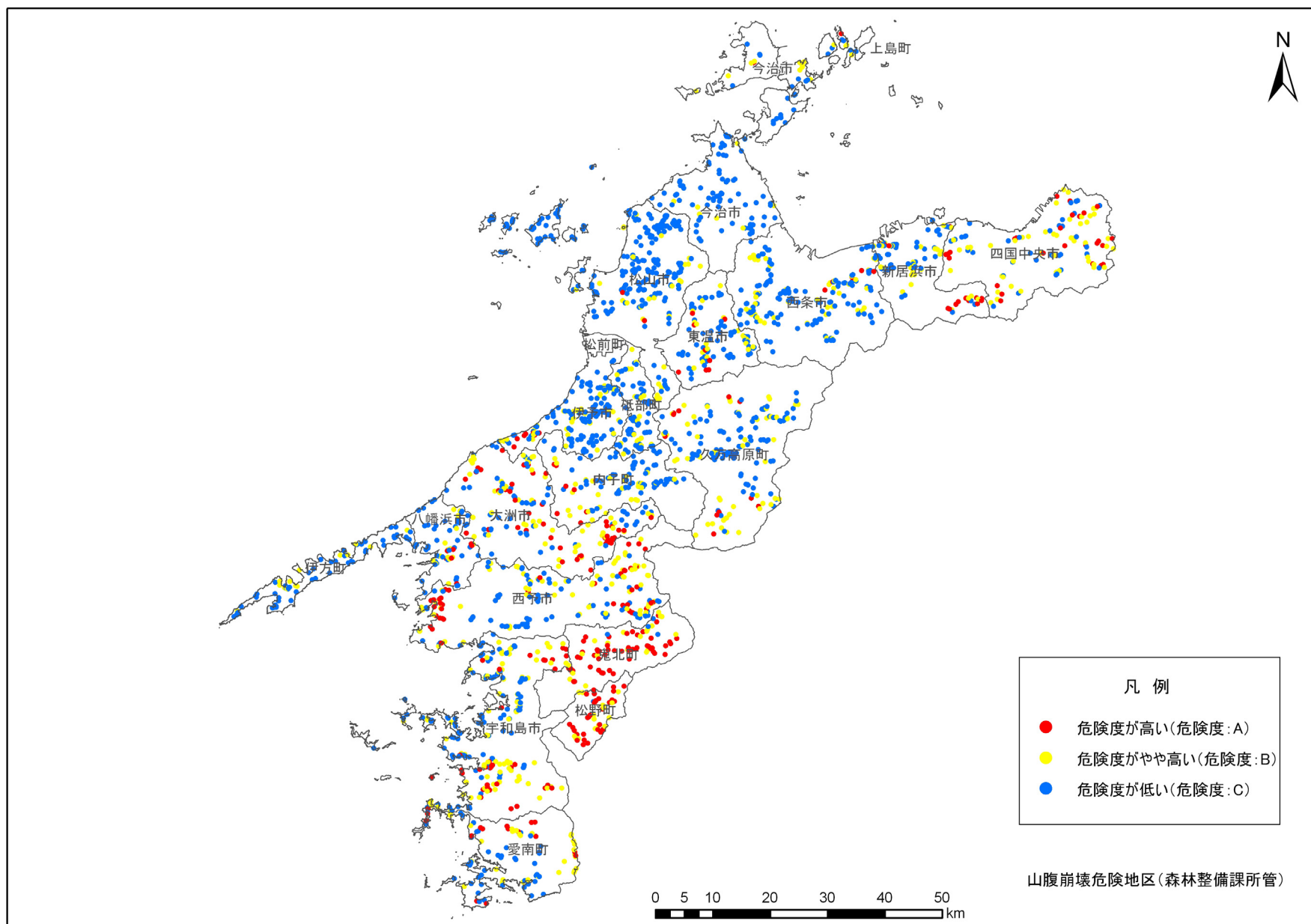


図 2-6-10(3) 南海トラフ巨大地震（東側ケース）の山腹崩壊危険地区危険度ランク分布

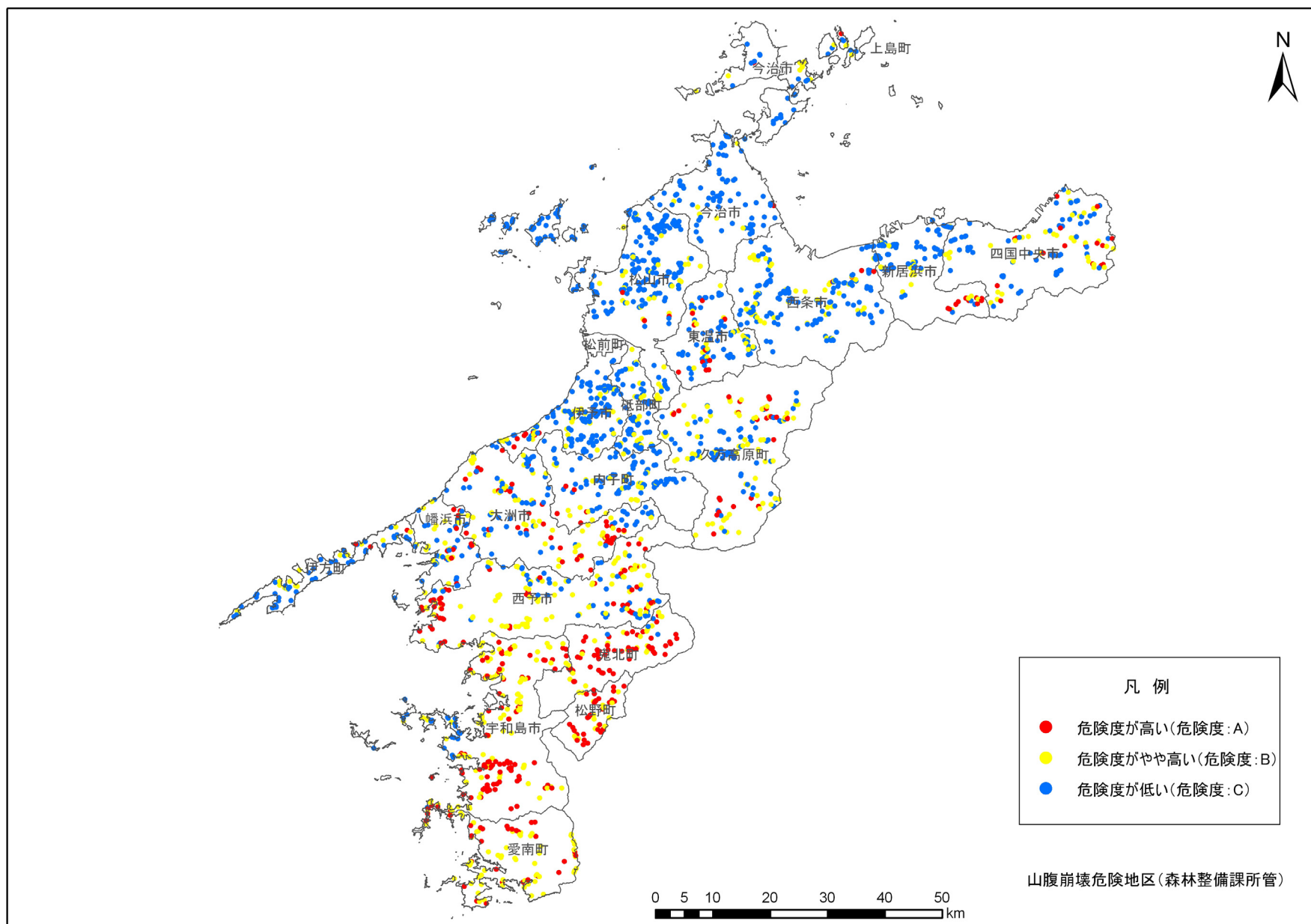


図 2-6-10(4) 南海トラフ巨大地震（西側ケース）の山腹崩壊危険地区危険度ランク分布

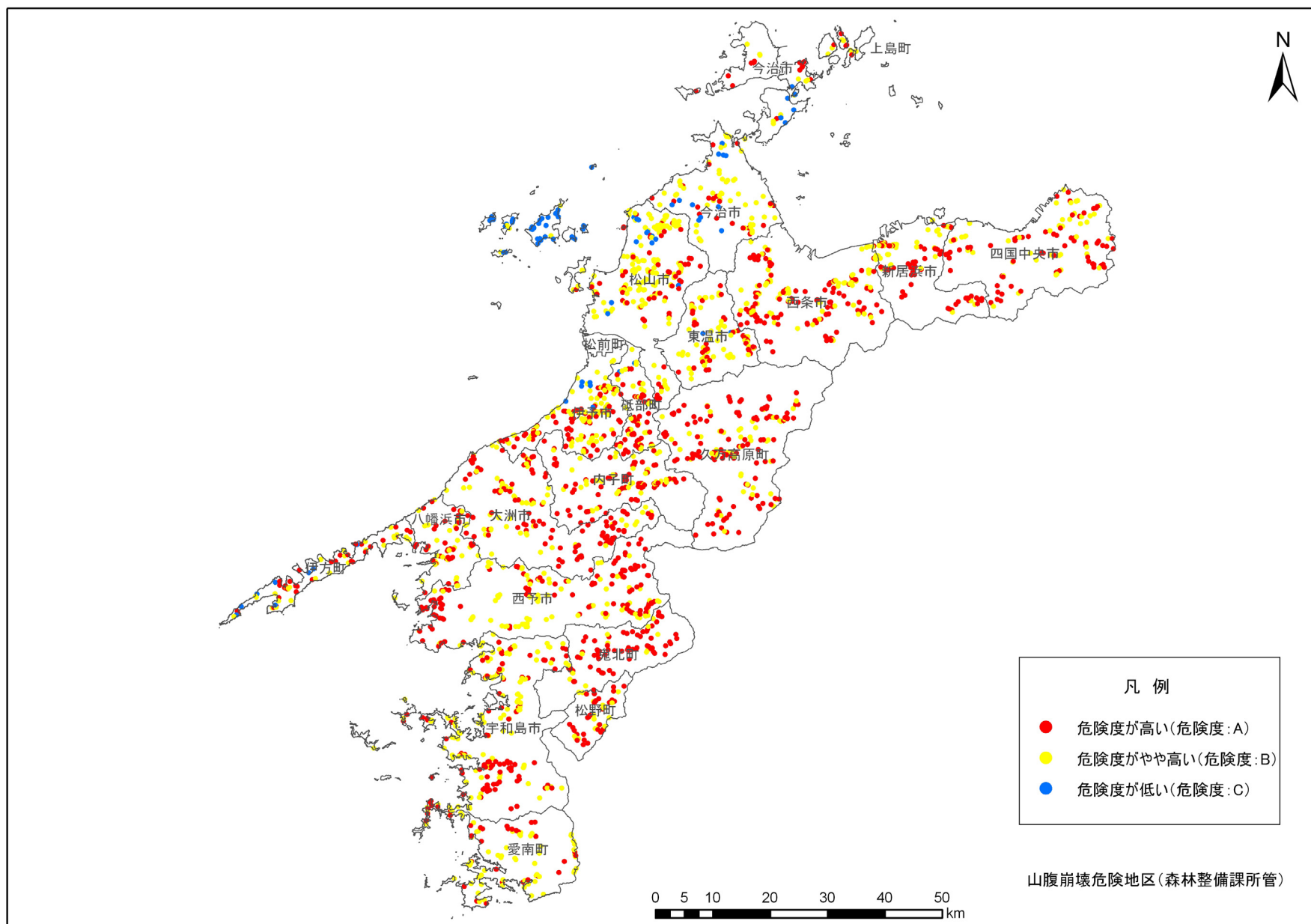


図 2-6-10(5) 南海トラフ巨大地震（経験的手法）の山腹崩壊危険地区危険度ランク分布

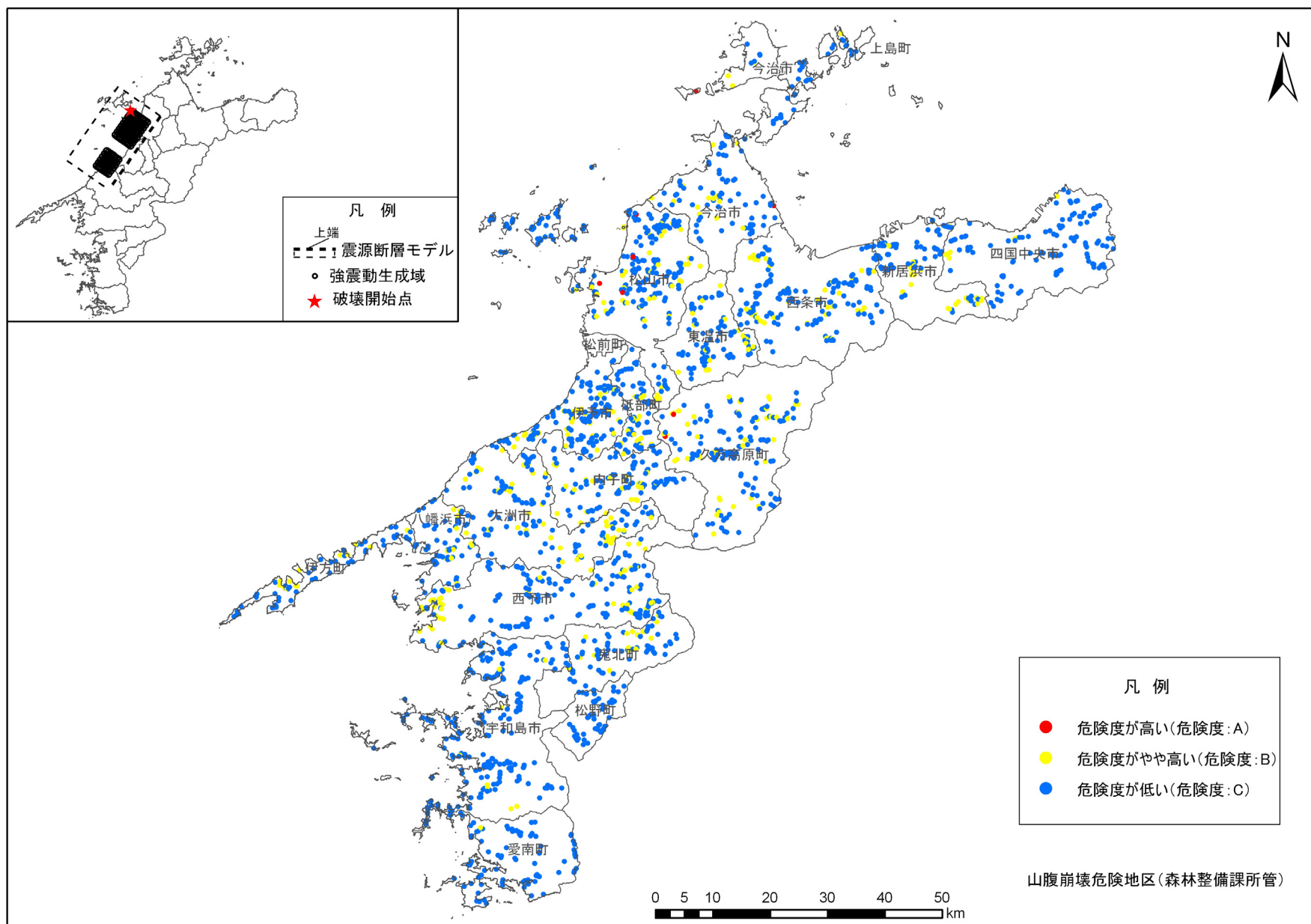


図 2-6-10(6) 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（北側ケース 1）の山腹崩壊危険地区危険度ランク分布

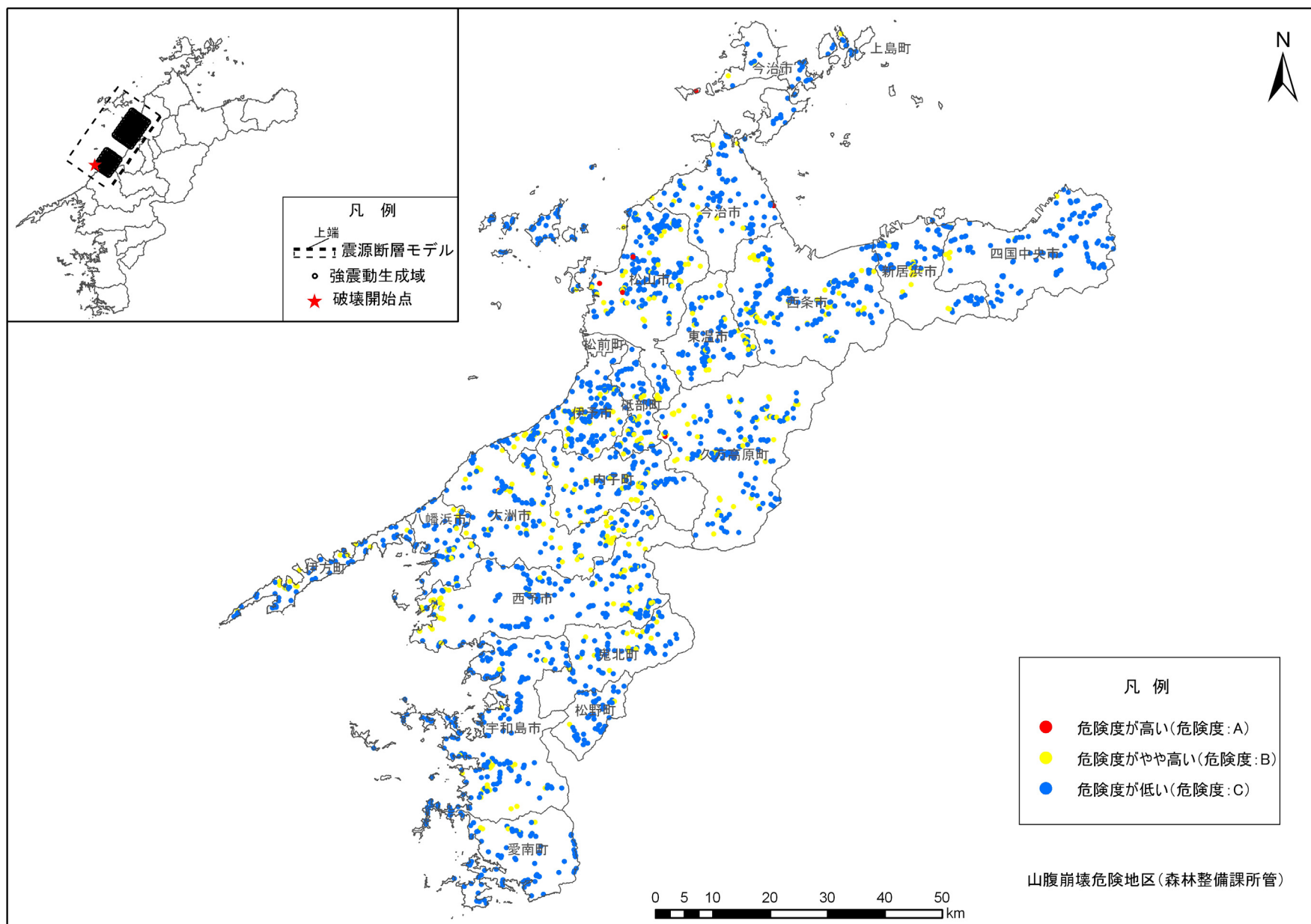


図 2-6-10(7) 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（北側ケース 2）の山腹崩壊危険地区危険度ランク分布

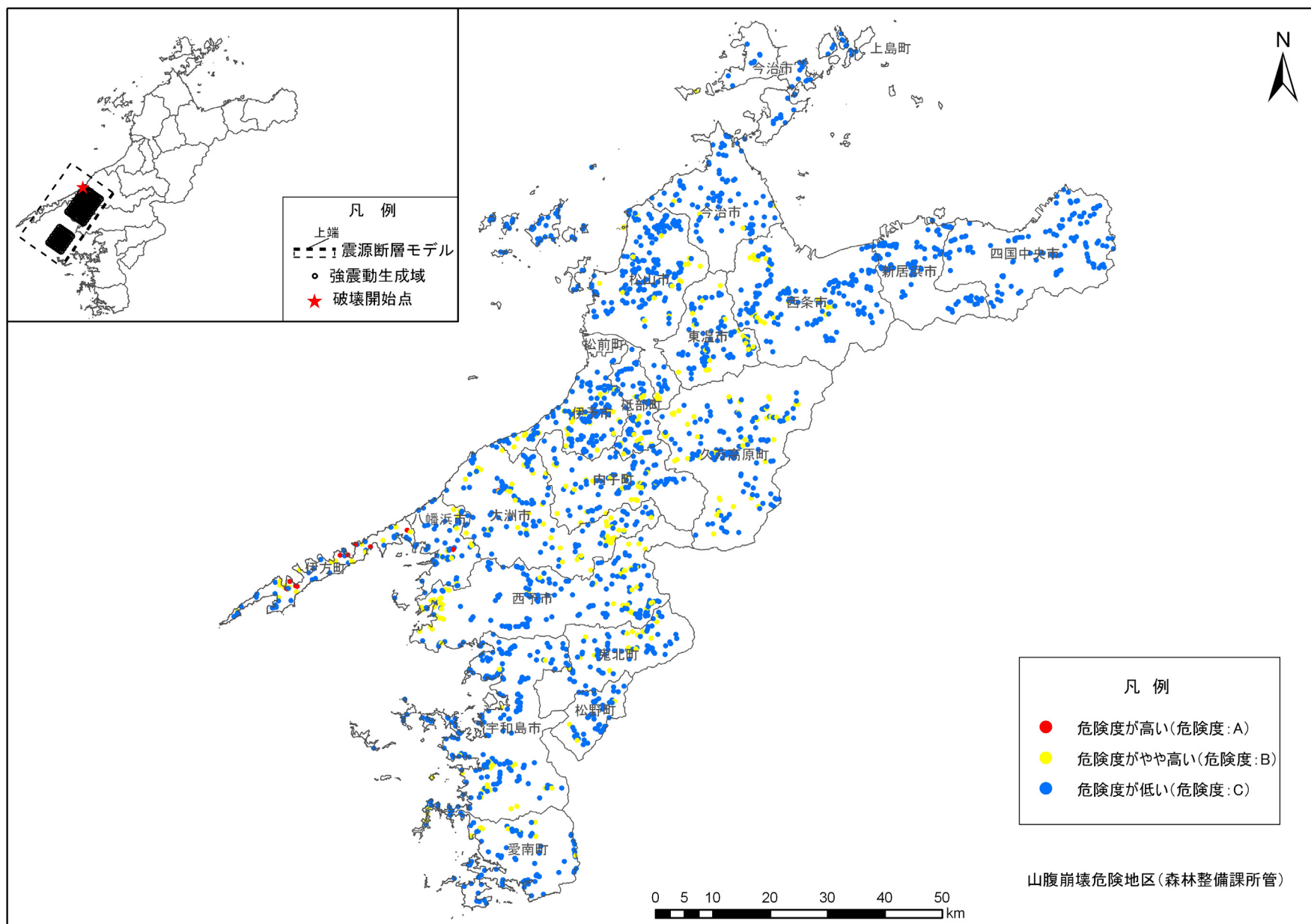


図 2-6-10(8) 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（南側ケース 1）の山腹崩壊危険地区危険度ランク分布

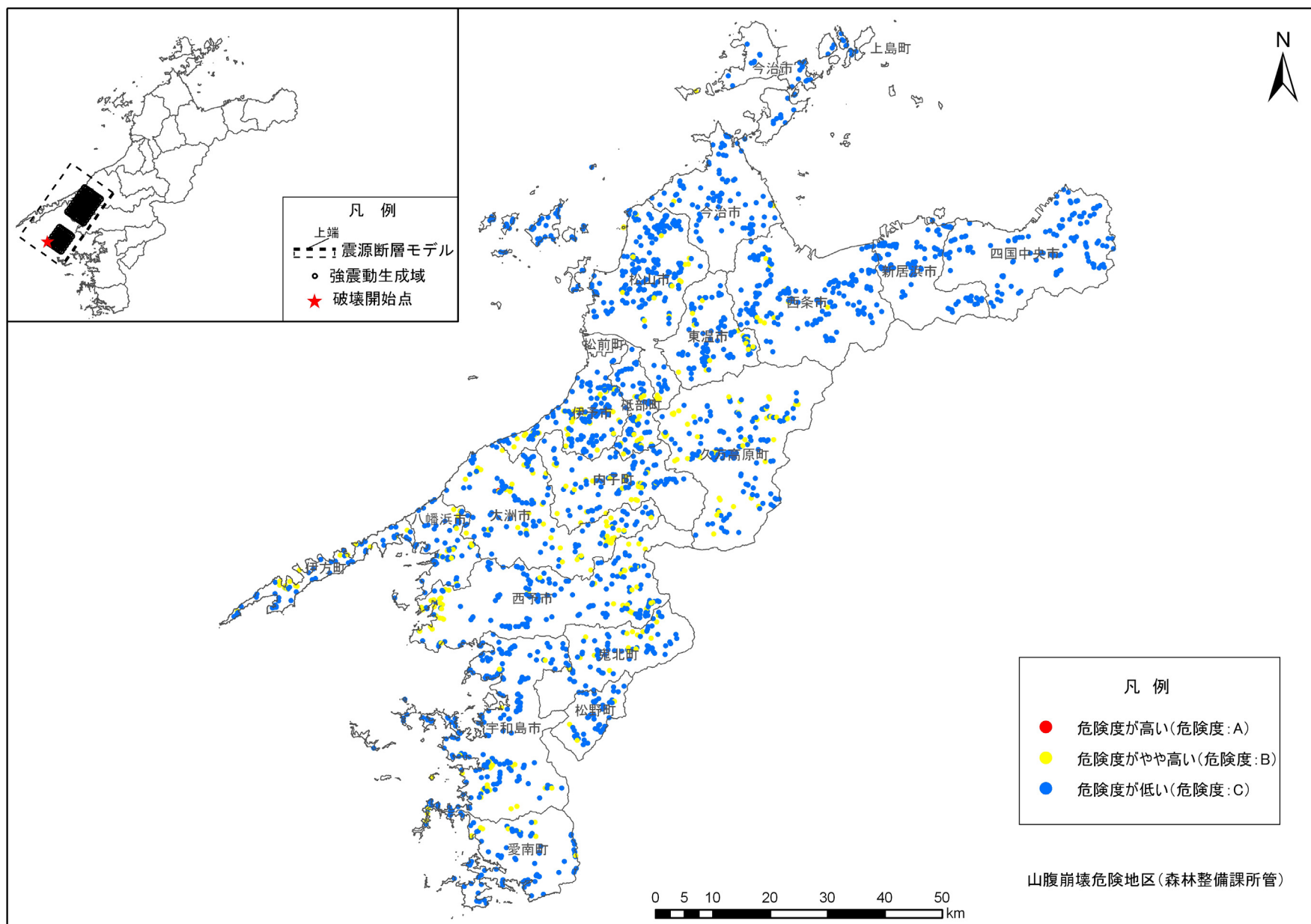


図 2-6-10 (9) 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（南側ケース 2）の山腹崩壊危険地区危険度ランク分布

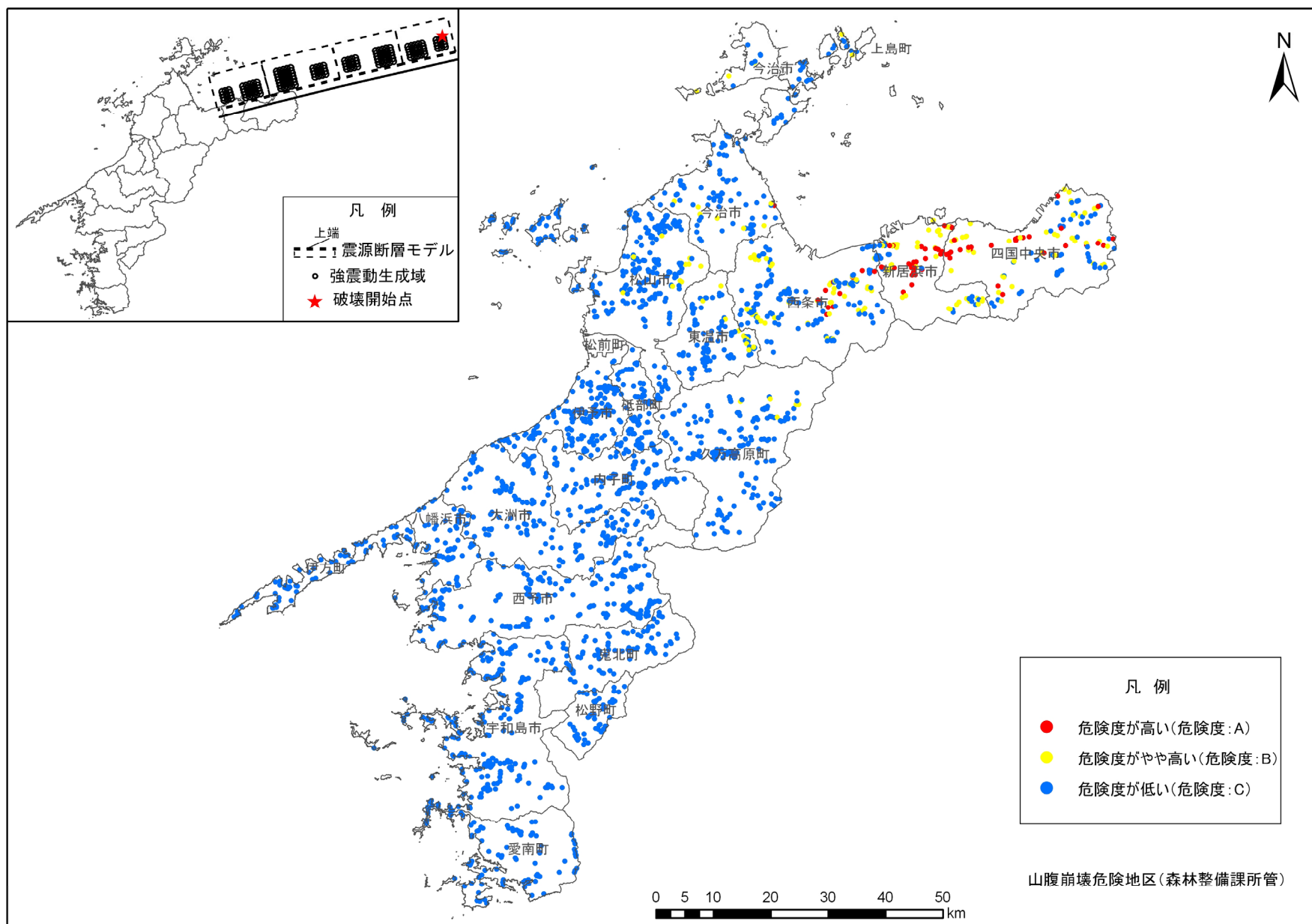


図 2-6-10(10) 讃岐山脈南縁－石鎚山脈北縁東部（ケース 1）の地震の山腹崩壊危険地区危険度ランク分布

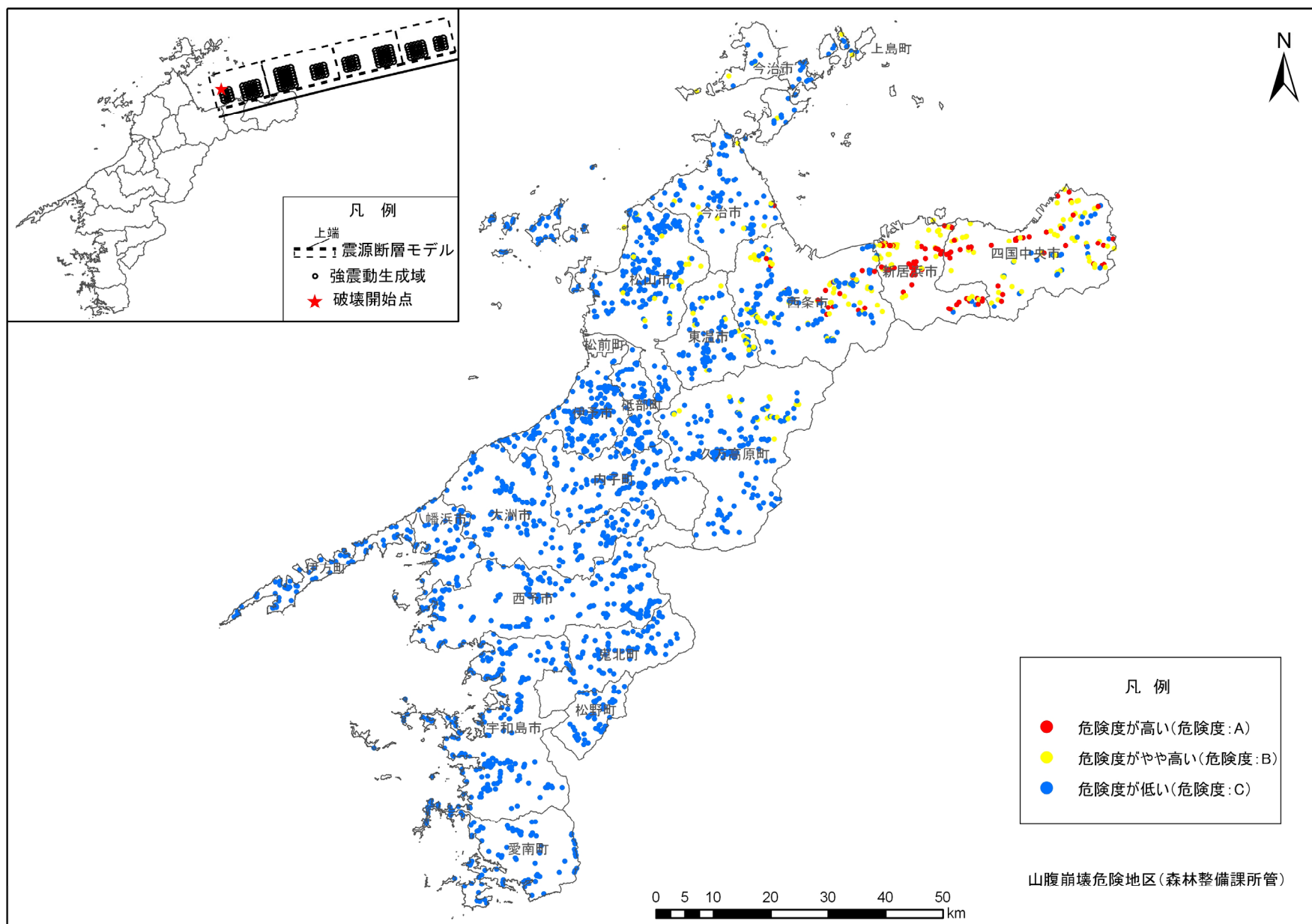


図 2-6-10(11) 讃岐山脈南縁－石鎚山脈北縁東部（ケース 2）の地震の山腹崩壊危険地区危険度ランク分布

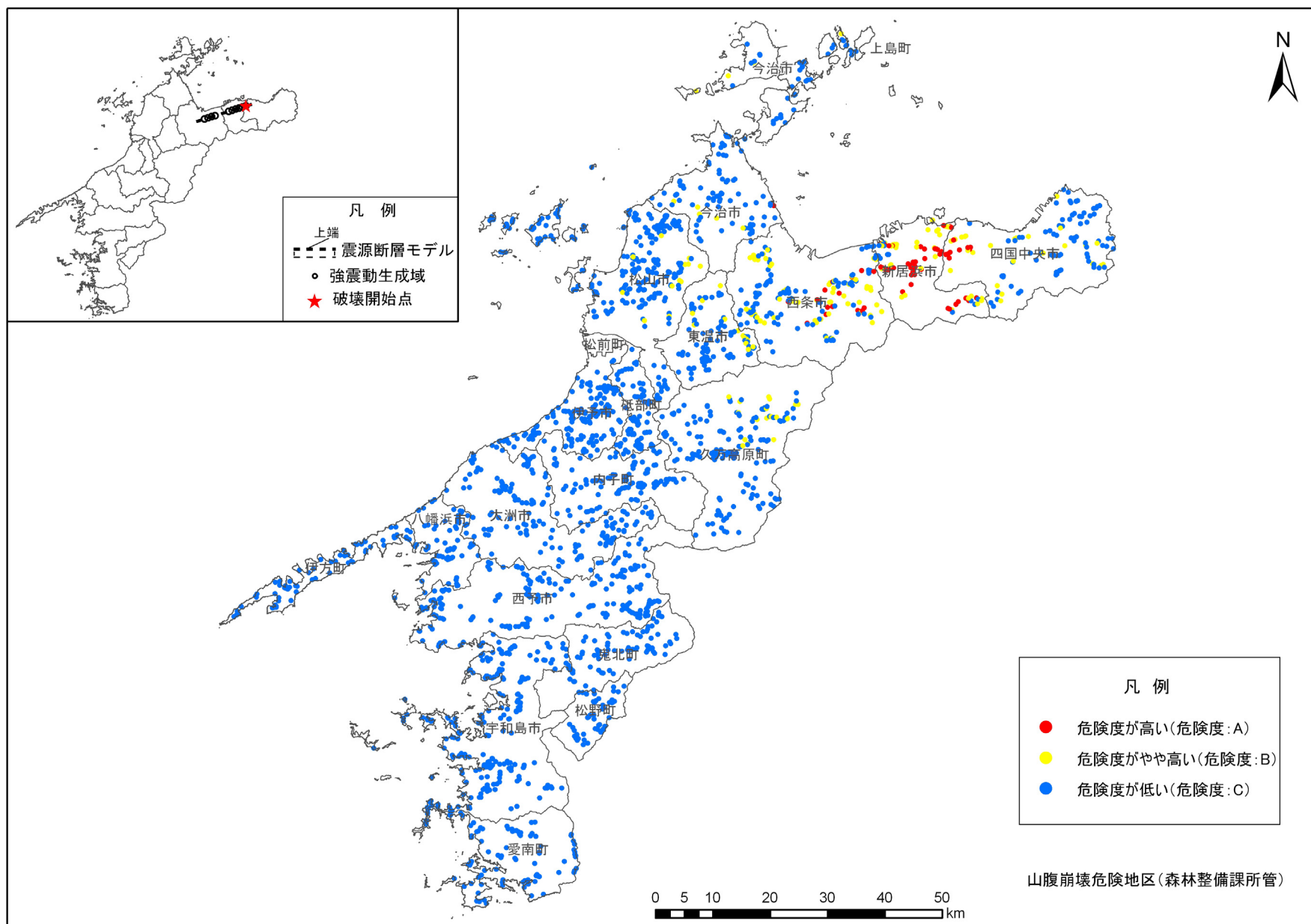


図 2-6-10(12) 石鎚山脈北縁（ケース 1）の地震の山腹崩壊危険地区危険度ランク分布

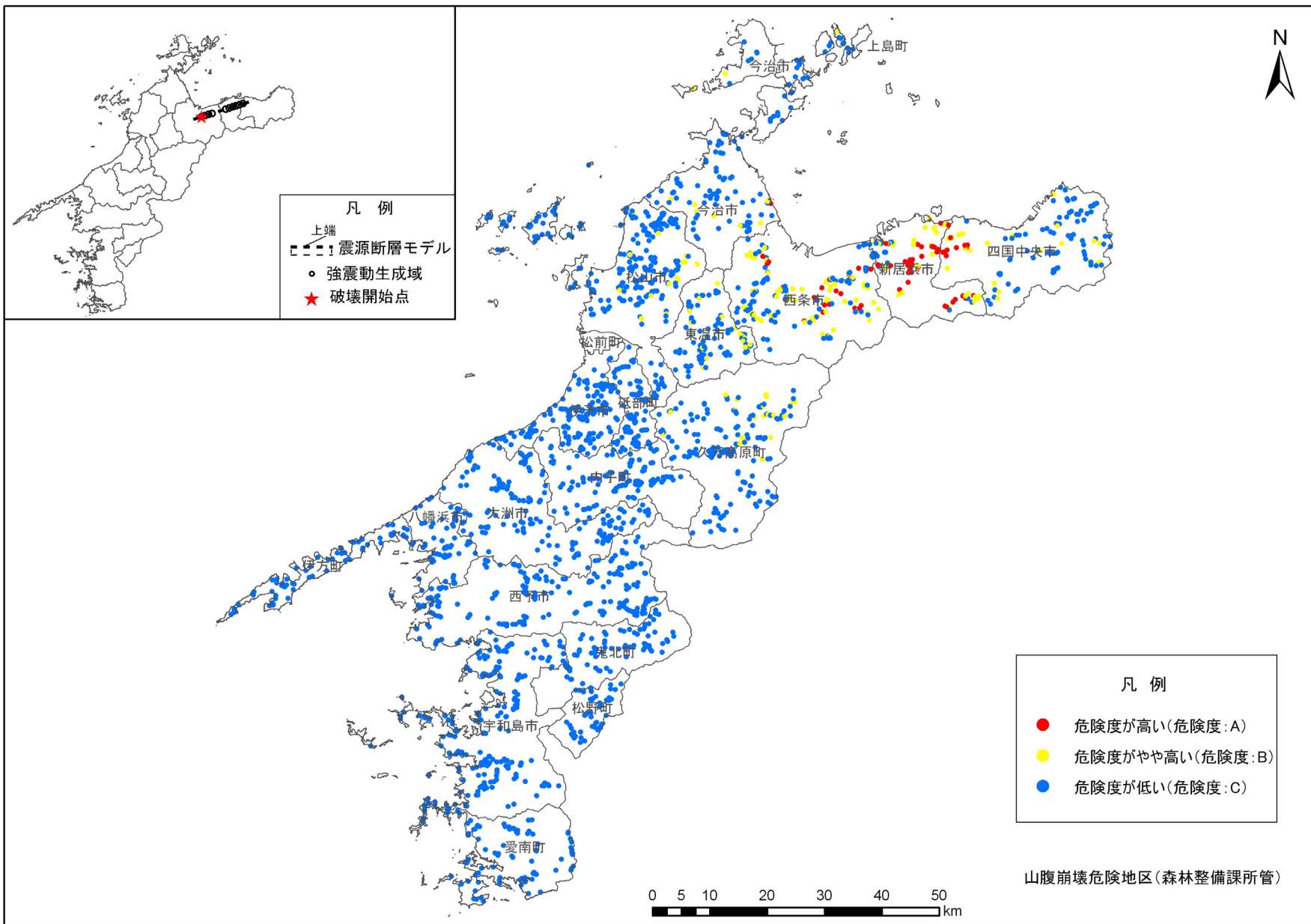


図 2-6-10(13) 石鎚山脈北縁（ケース 2）の地震の山腹崩壊危険地区危険度ランク分布

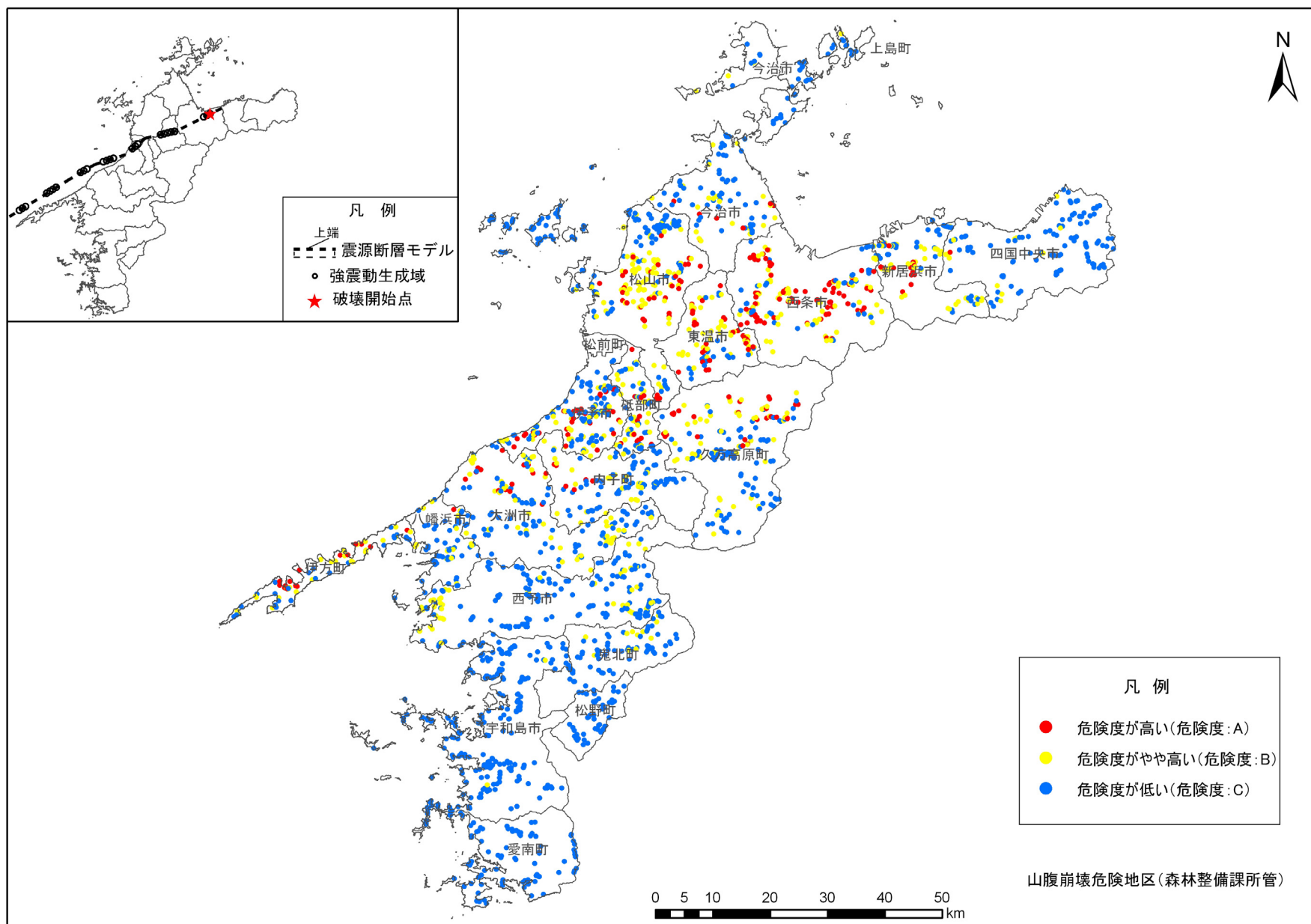


図 2-6-10(14) 石鎚山脈北縁西部－伊予灘（ケース 1）の地震の山腹崩壊危険地区危険度ランク分布

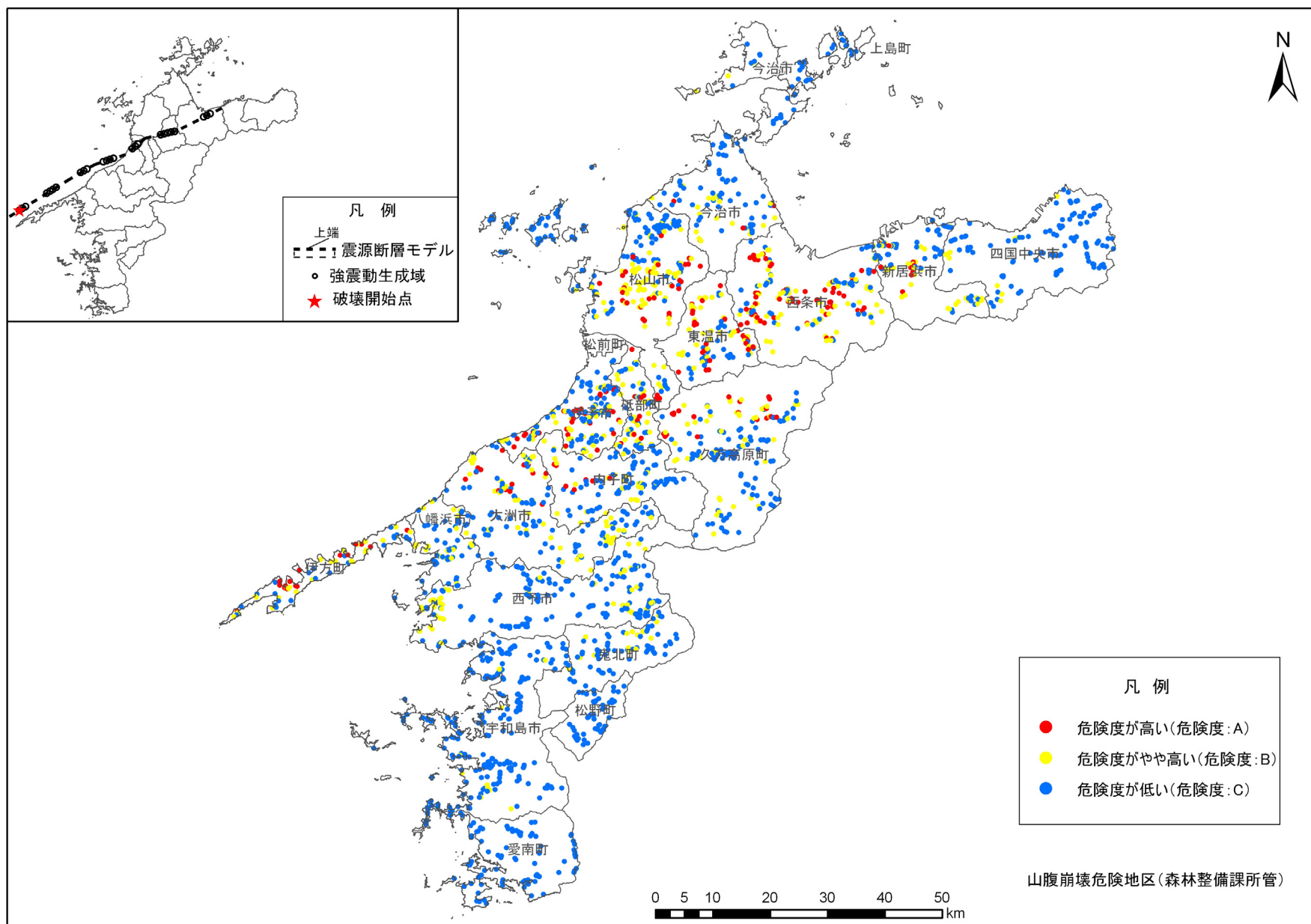


図 2-6-10(15) 石鎚山脈北縁西部ー伊予灘 (ケース 2) の地震の山腹崩壊危険地区危険度ランク分布

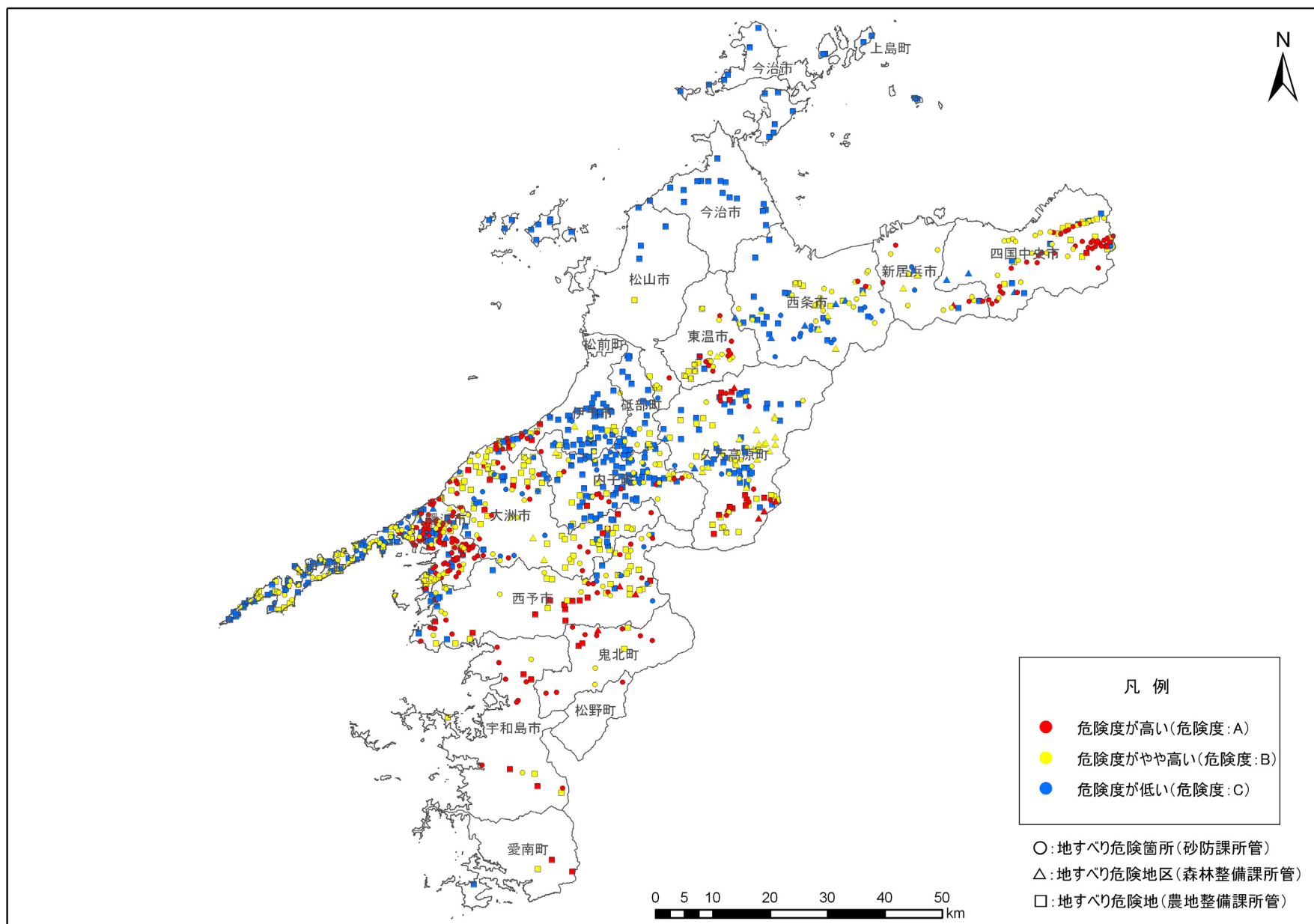


図 2-6-11(1) 南海トラフ巨大地震（基本ケース）の地すべり危険箇所等危険度ランク分布

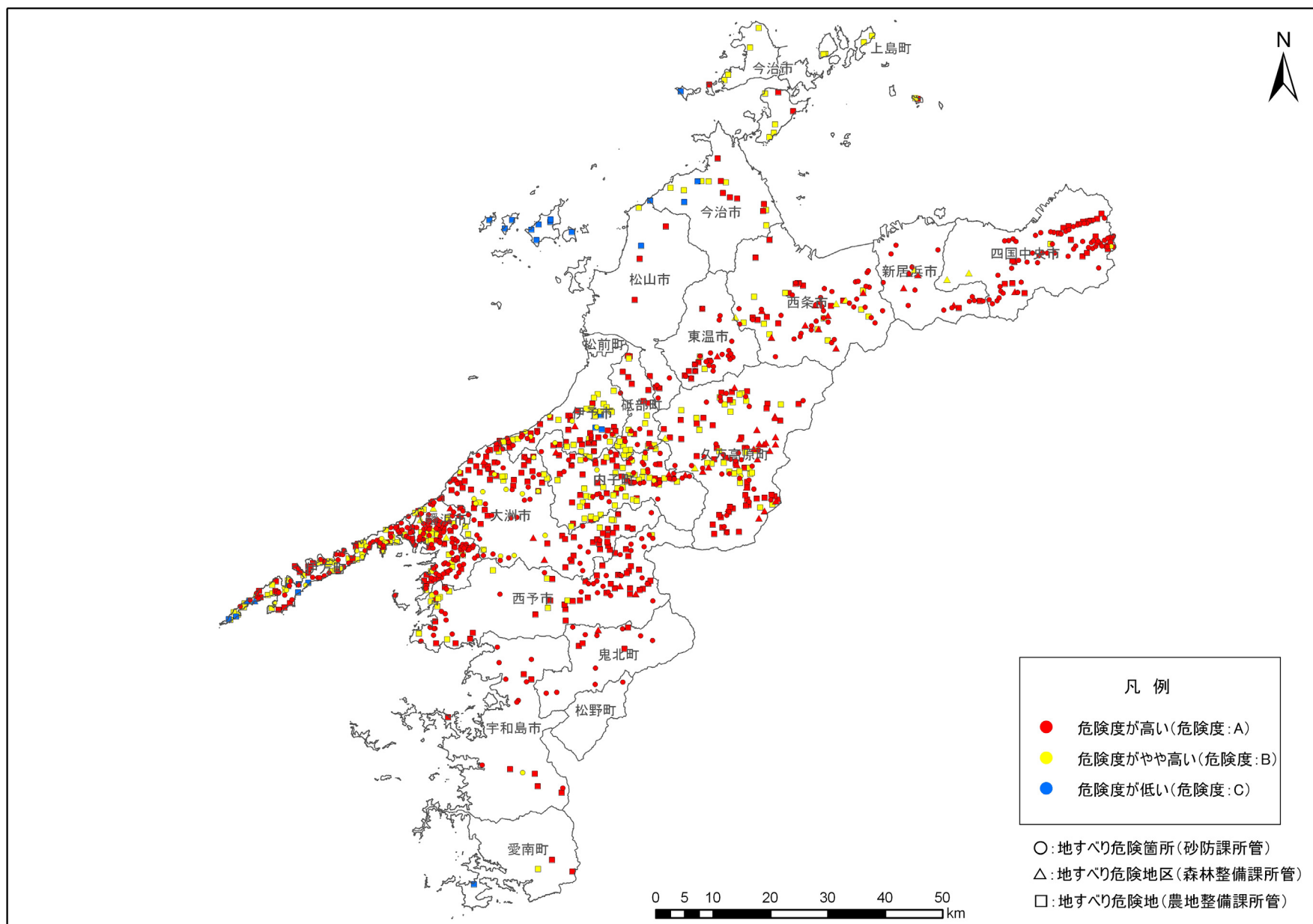


図 2-6-11(2) 南海トラフ巨大地震（陸側ケース）の地すべり危険箇所等危険度ランク分布

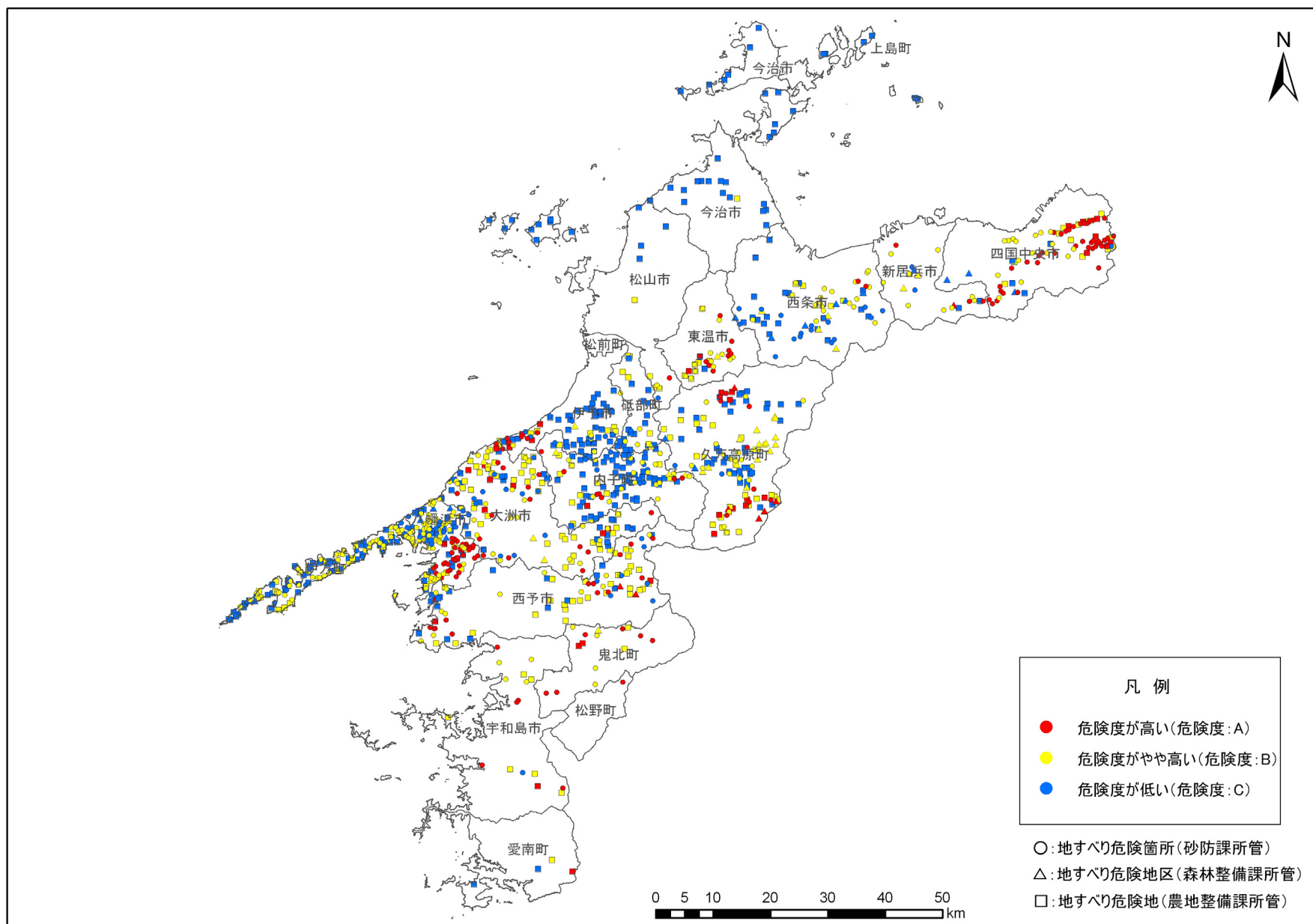


図 2-6-11(3) 南海トラフ巨大地震（東側ケース）の地すべり危険箇所等危険度ランク分布

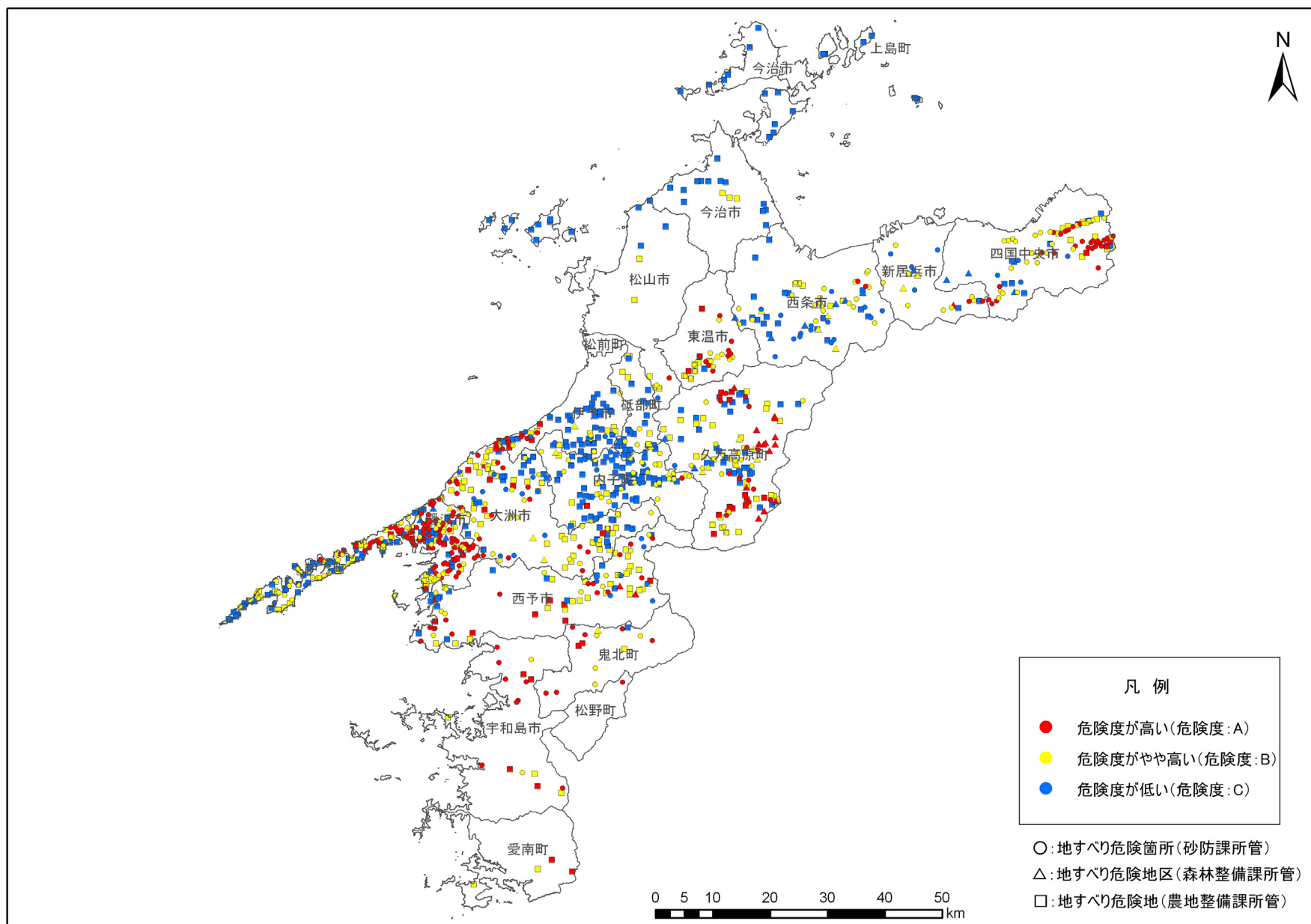


図 2-6-11 (4) 南海トラフ巨大地震（西側ケース）の地すべり危険箇所等危険度ランク分布

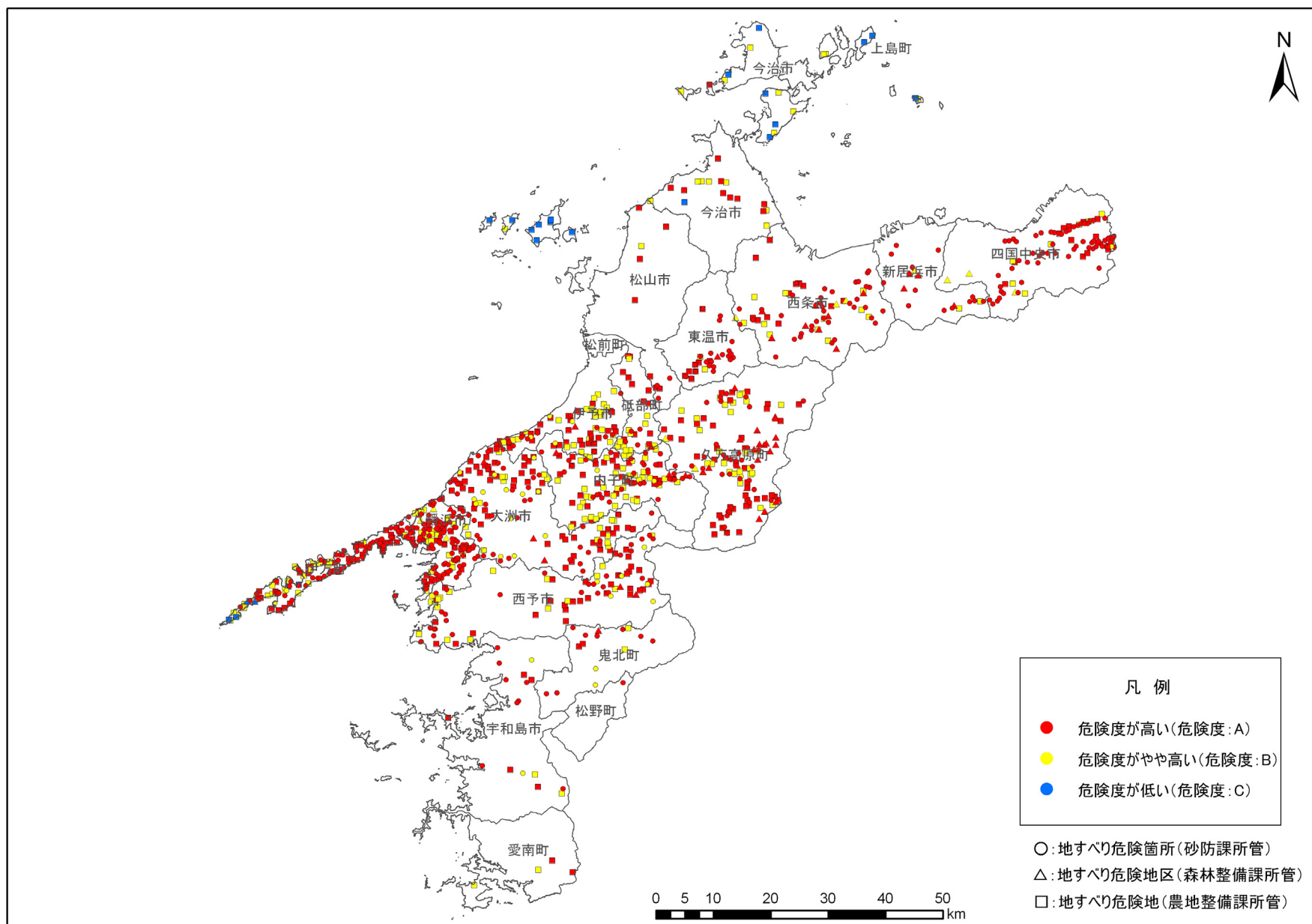


図 2-6-11(5) 南海トラフ巨大地震（経験的手法）の地すべり危険箇所等危険度ランク分布

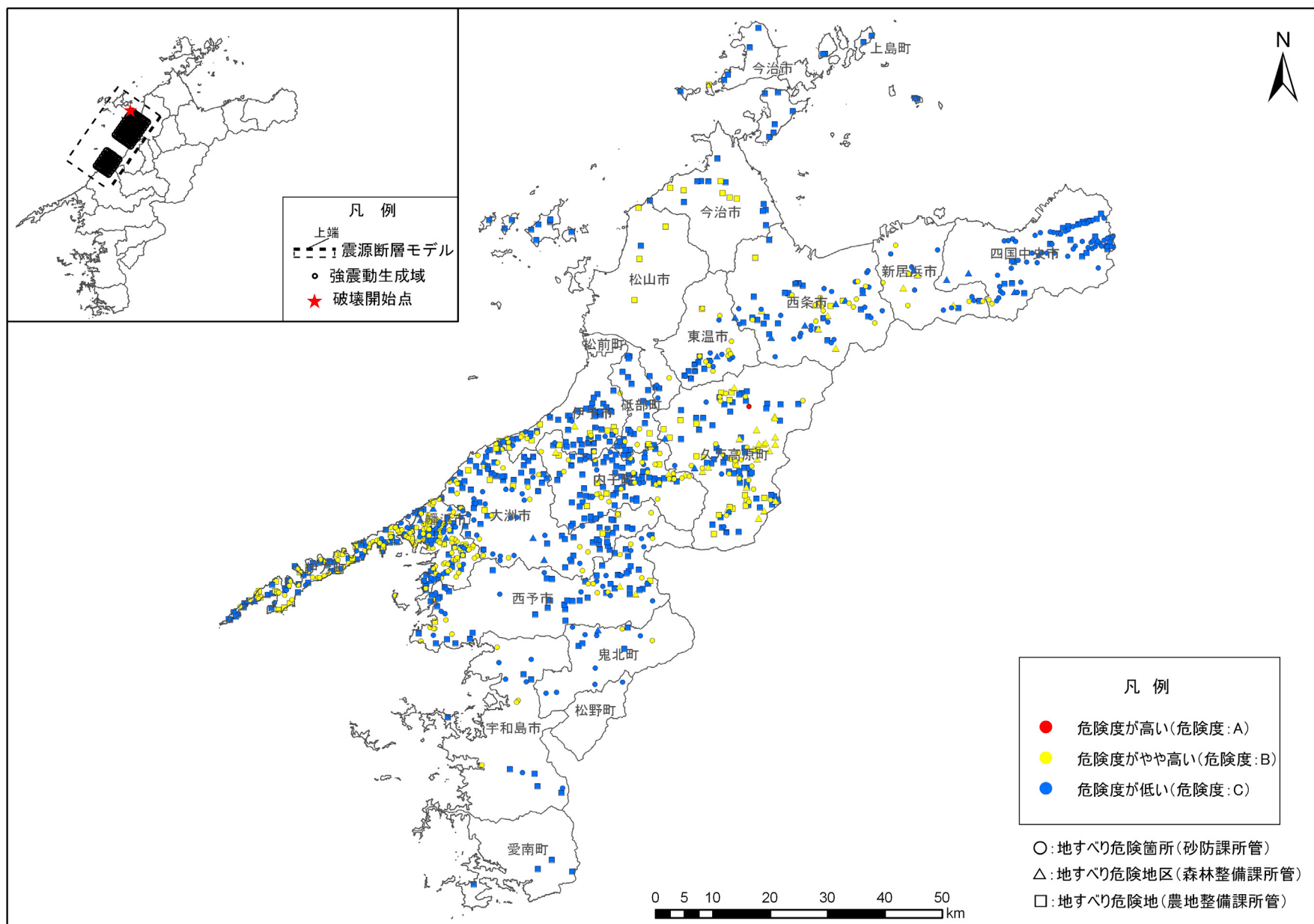


図 2-6-11 (6) 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（北側ケース 1）の地すべり危険箇所等危険度ランク分布

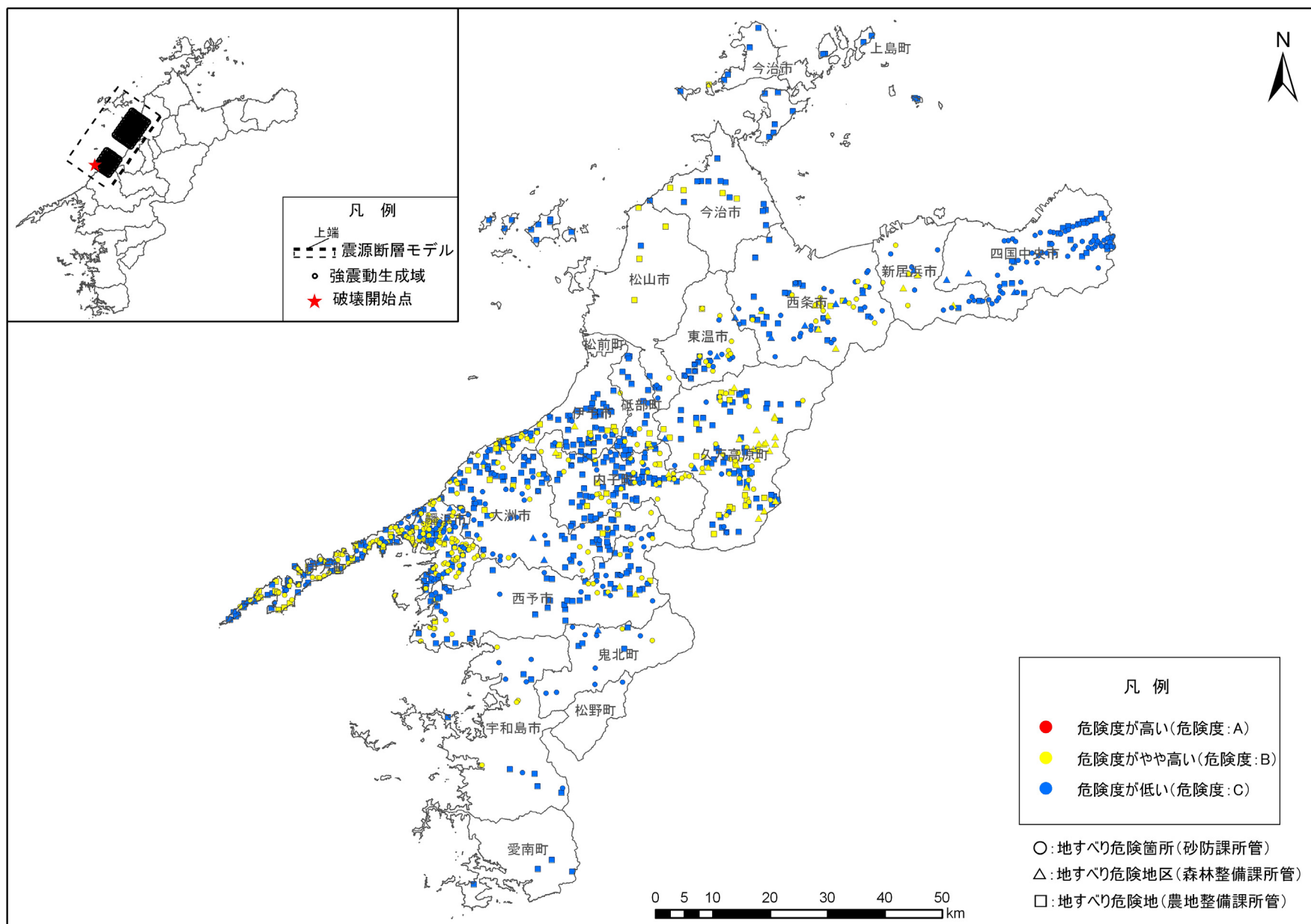


図 2-6-11 (7) 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（北側ケース 2）の地すべり危険箇所等危険度ランク分布

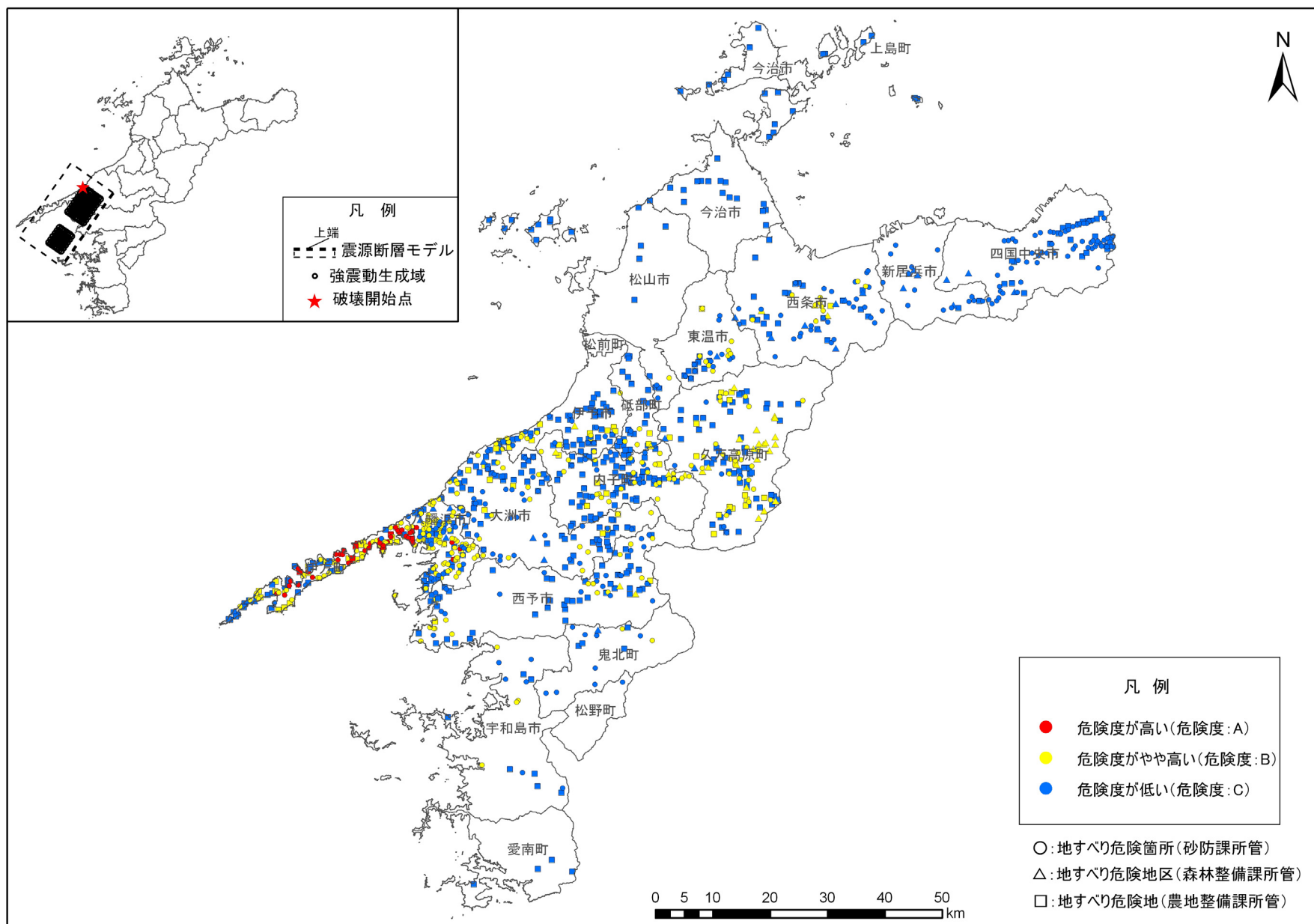


図 2-6-11 (8) 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（南側ケース 1）の地すべり危険箇所等危険度ランク分布

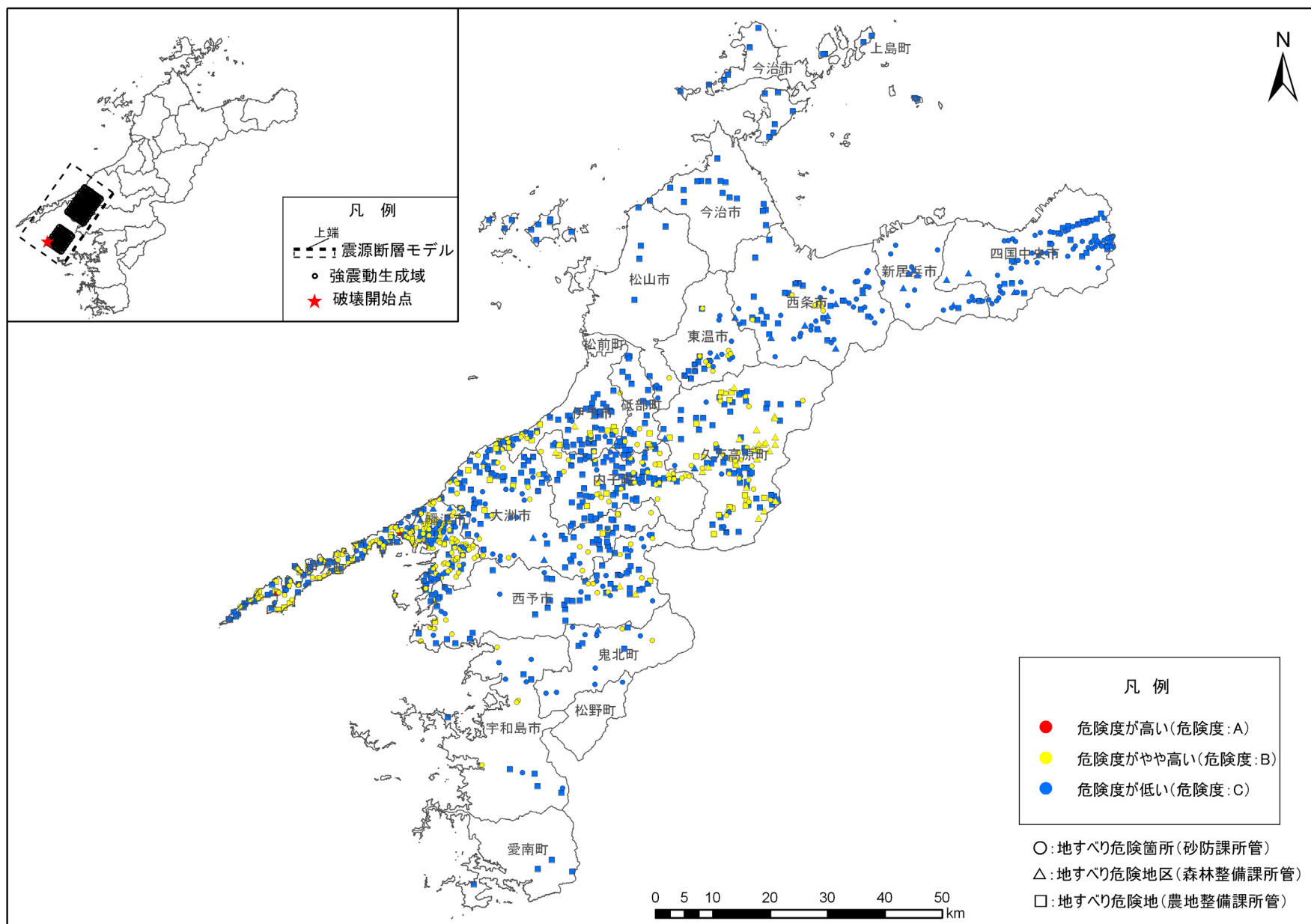


図 2-6-11 (9) 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（南側ケース 2）の地すべり危険箇所等危険度ランク分布

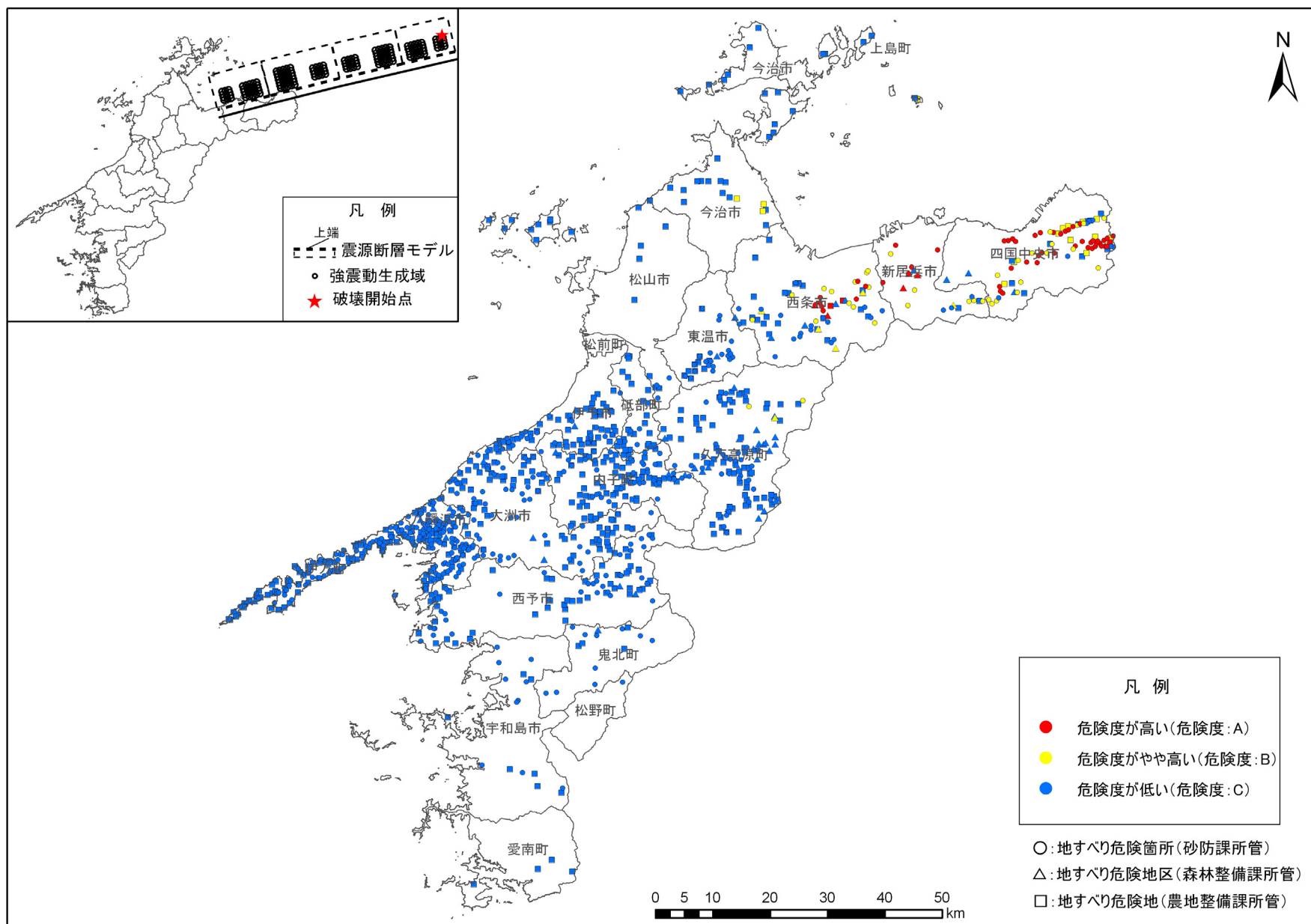


図 2-6-11(10) 讃岐山脈南縁－石鎚山脈北縁東部（ケース 1）の地震の地すべり危険箇所等危険度ランク分布

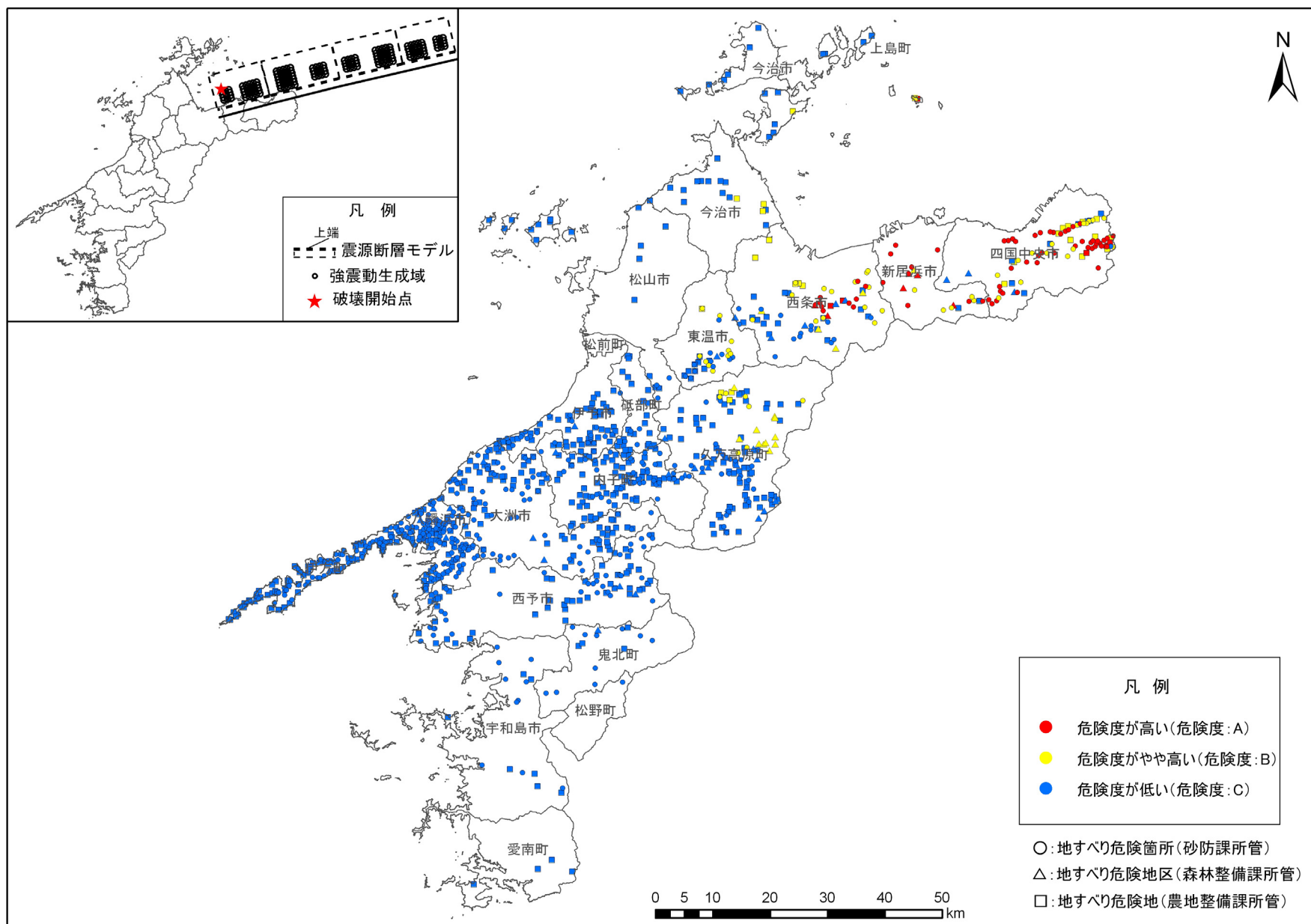


図 2-6-11 (11) 讃岐山脈南縁－石鎚山脈北縁東部（ケース 2）の地震の地すべり危険箇所等危険度ランク分布

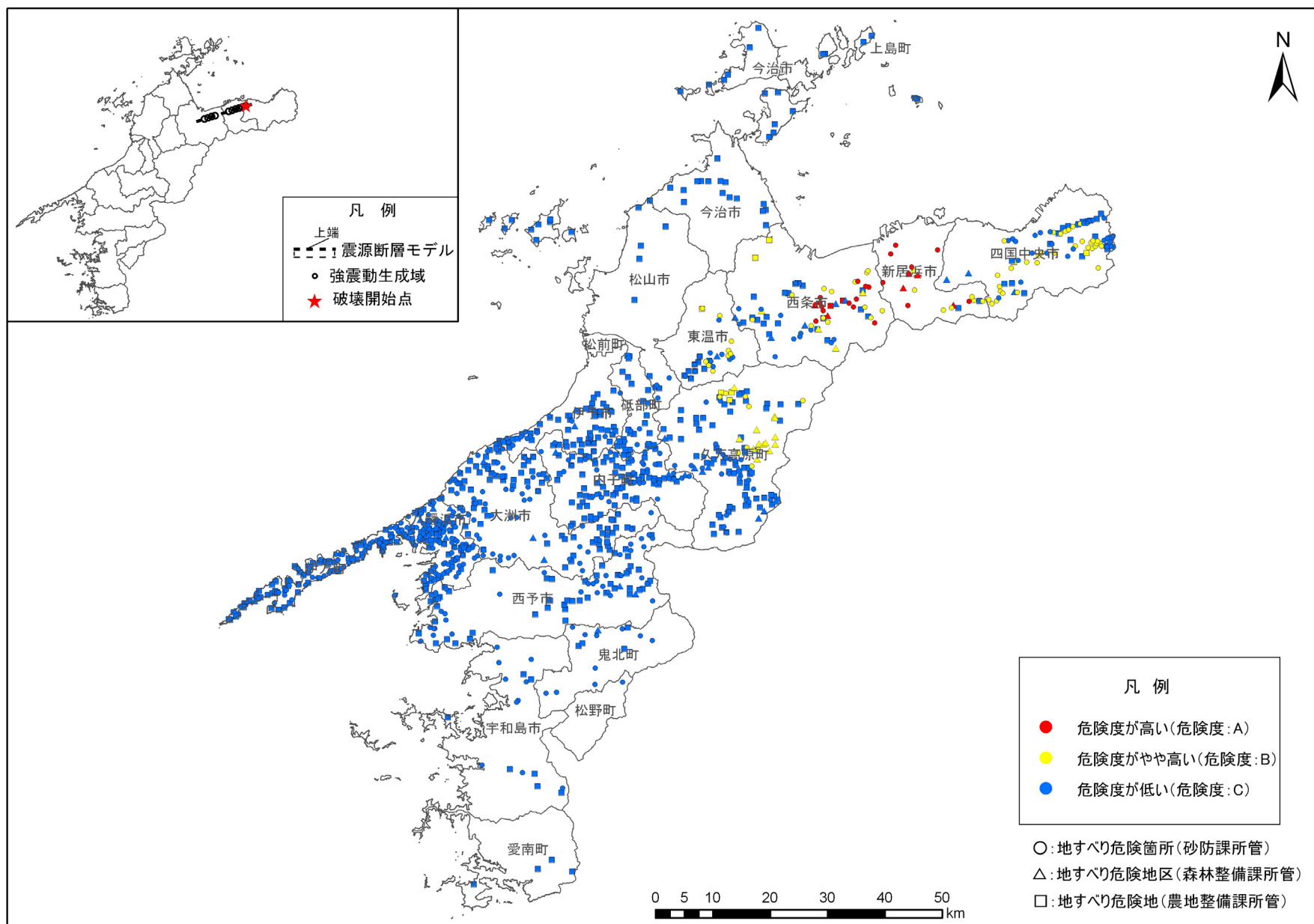


図 2-6-11(12) 石鎚山脈北縁（ケース 1）の山腹崩壊危険地区危険度ランクの地震の地すべり危険箇所等危険度ランク分布

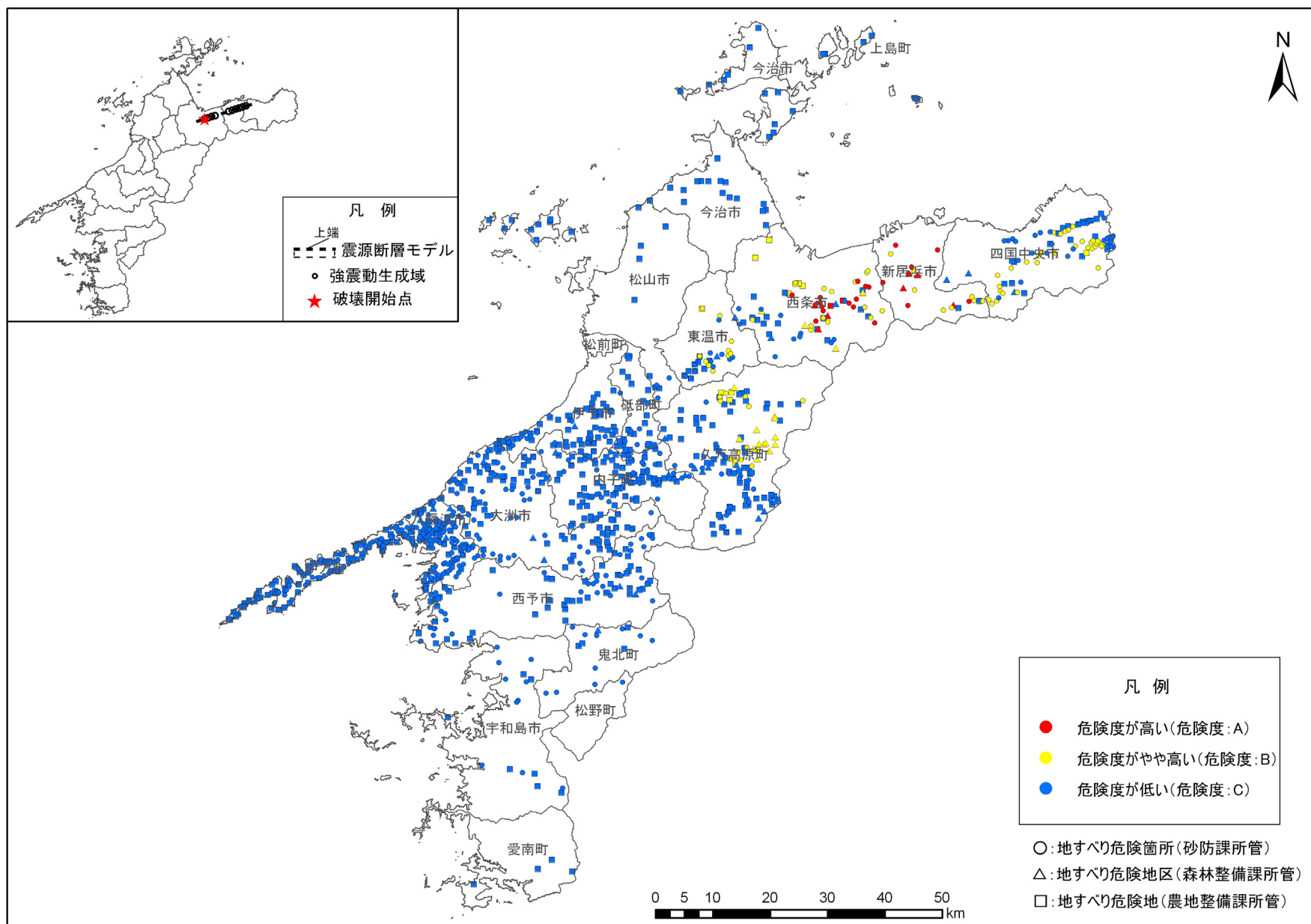


図 2-6-11(13) 石鎚山脈北縁（ケース 2）の地震の地すべり危険箇所等危険度ランク分布

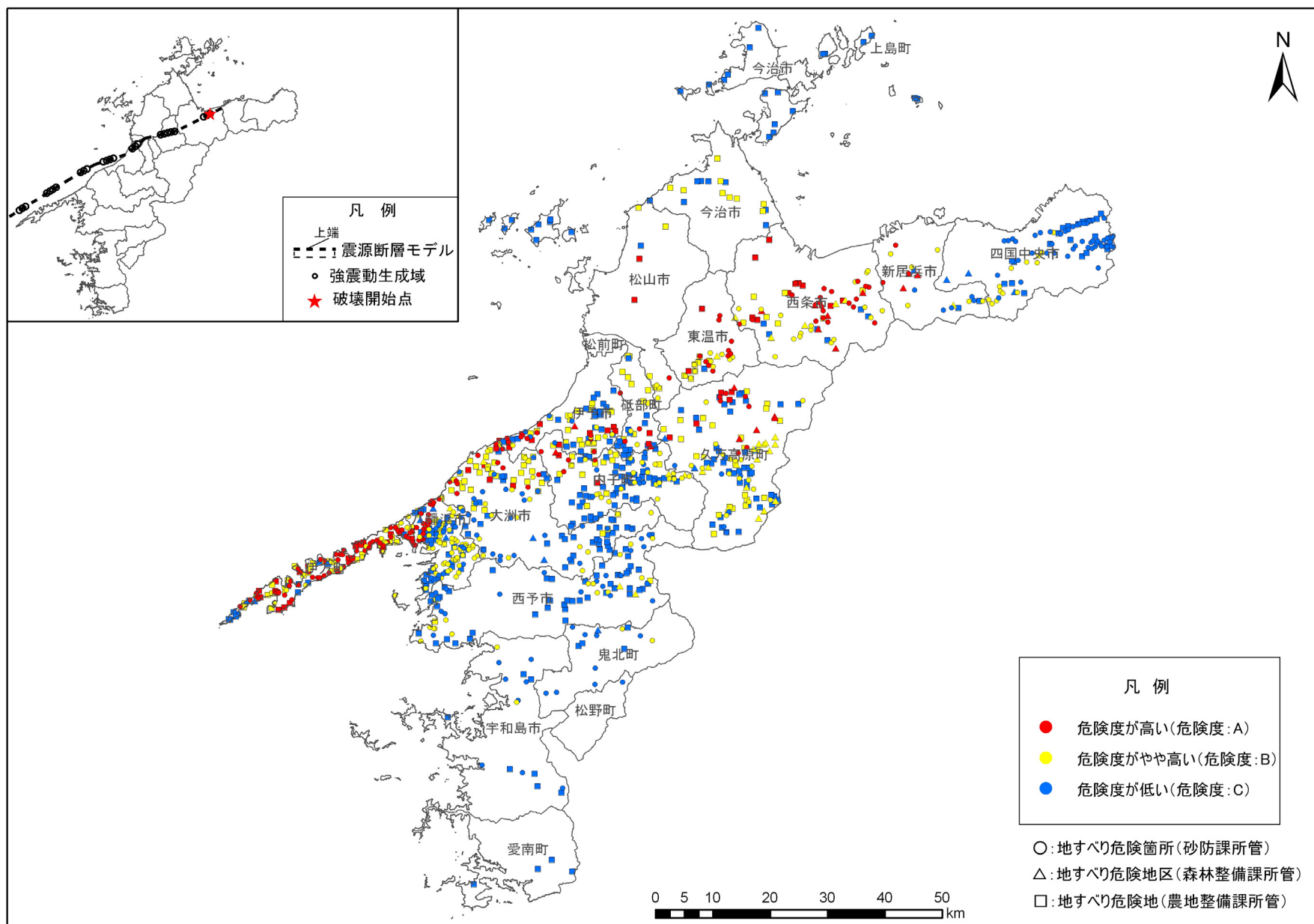


図 2-6-11(14) 石鎚山脈北縁西部－伊予灘（ケース１）の地震の地すべり危険箇所等危険度ランク分布

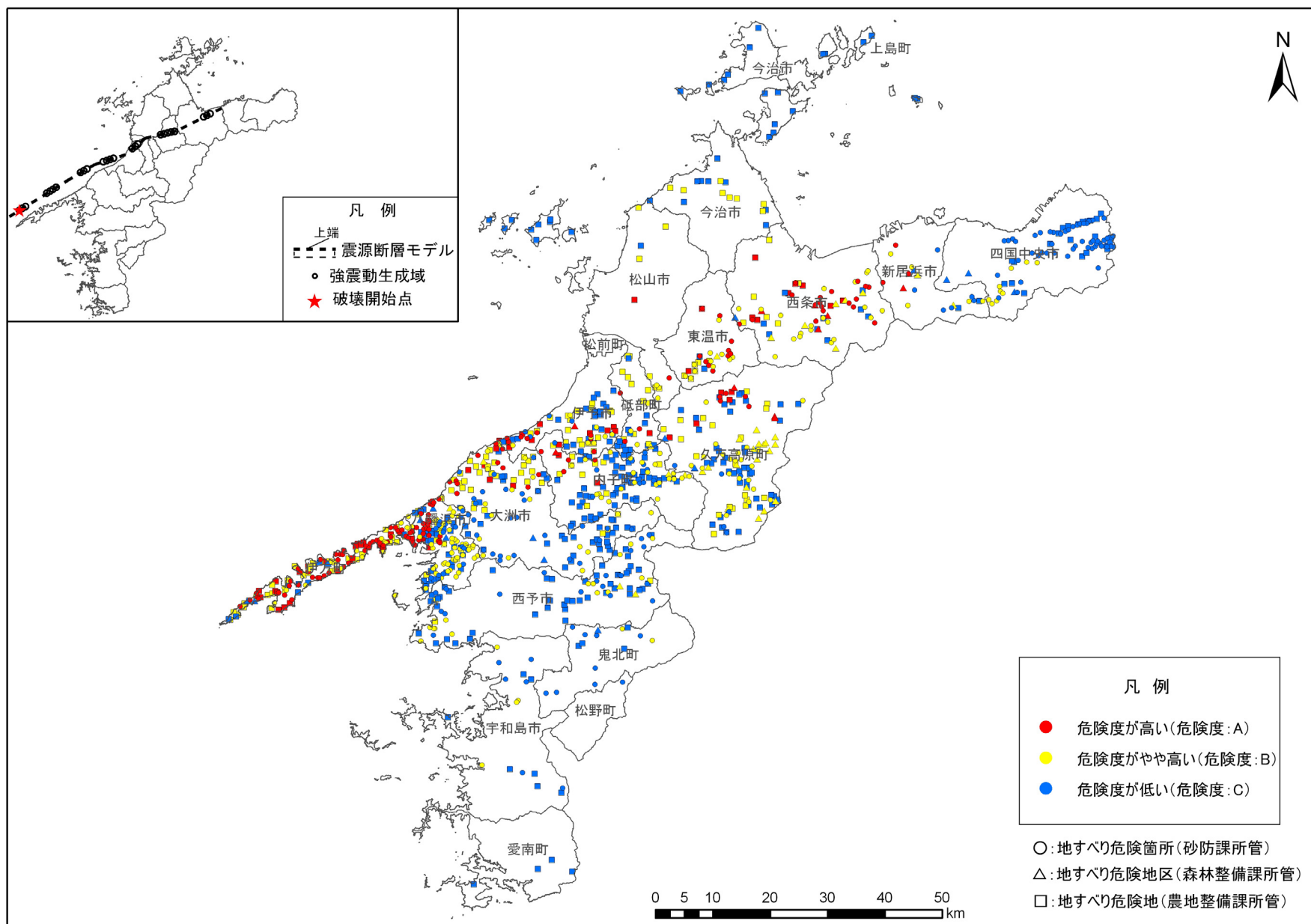


図 2-6-11 (15) 石鎚山脈北縁西部－伊予灘（ケース 2）の地震の地すべり危険箇所等危険度ランク分布

表 2-6-15(1) ①南海トラフ巨大地震（基本ケース）の土砂災害危険度想定結果（市町別）

市町名	急傾斜地崩壊危険箇所 (砂防課所管)				山腹崩壊危険地区 (森林整備課所管)				地すべり危険箇所 (砂防課所管)				地すべり危険地区 (森林整備課所管)				地すべり危険地 (農地整備課所管)			
	箇所数	箇所数			箇所数	箇所数			箇所数	箇所数			箇所数	箇所数			箇所数	箇所数		
		A	B	C		A	B	C		A	B	C		A	B	C		A	B	C
松山市	703	63	361	279	256	2	26	228	4	1	2	1	0	0	0	0	16	0	4	12
今治市	1,048	89	401	558	114	1	12	101	0	0	0	0	0	0	0	0	30	0	0	30
宇和島市	1,116	688	339	89	218	79	104	35	10	8	2	0	0	0	0	0	7	4	3	0
八幡浜市	267	138	121	8	70	11	28	31	100	77	22	1	4	0	1	3	45	6	20	19
新居浜市	160	44	63	53	98	15	35	48	14	4	8	2	5	1	3	1	2	0	0	2
西条市	254	23	71	160	176	7	47	122	38	2	21	15	11	0	6	5	23	0	5	18
大洲市	1,420	810	581	29	152	47	48	57	54	20	21	13	3	0	3	0	73	9	47	17
伊予市	320	98	159	63	154	7	31	116	21	5	5	11	1	0	1	0	52	4	8	40
四国中央市	125	63	41	21	110	22	43	45	60	36	23	1	3	0	0	3	23	3	12	8
西予市	780	462	245	73	192	64	97	31	34	14	15	5	2	2	0	0	49	12	24	13
東温市	594	96	268	230	87	9	19	59	21	9	12	0	1	0	1	0	10	0	8	2
上島町	131	15	32	84	11	0	2	9	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	6
久万高原町	259	58	123	78	163	13	50	100	32	8	21	3	23	5	16	2	71	11	18	42
松前町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
砥部町	161	9	93	59	74	0	15	59	4	0	3	1	1	0	1	0	26	0	2	24
内子町	416	139	187	90	106	8	27	71	39	10	16	13	3	0	3	0	65	1	11	53
伊方町	206	14	85	107	69	0	15	54	64	2	45	17	3	0	0	3	65	0	20	45
松野町	263	235	28	0	45	29	16	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鬼北町	201	159	40	2	76	62	14	0	10	8	2	0	1	1	0	0	4	2	2	0
愛南町	383	263	108	12	91	22	44	25	0	0	0	0	0	0	0	0	4	2	1	1
愛媛県	8,807	3,466	3,346	1,995	2,262	398	673	1,191	506	205	218	83	61	9	35	17	571	54	185	332

表 2-6-15(2) ①南海トラフ巨大地震（陸側ケース）の土砂災害危険度想定結果（市町別）

市町名	急傾斜地崩壊危険箇所 (砂防課所管)				山腹崩壊危険地区 (森林整備課所管)				地すべり危険箇所 (砂防課所管)				地すべり危険地区 (森林整備課所管)				地すべり危険地 (農地整備課所管)			
	箇所数	箇所数			箇所数	箇所数			箇所数	箇所数			箇所数	箇所数			箇所数	箇所数		
		A	B	C		A	B	C		A	B	C		A	B	C		A	B	C
松山市	703	513	150	40	256	43	125	88	4	4	0	0	0	0	0	0	16	6	0	10
今治市	1,048	687	298	63	114	34	57	23	0	0	0	0	0	0	0	0	30	10	16	4
宇和島市	1,116	708	389	19	218	95	120	3	10	9	1	0	0	0	0	0	7	7	0	0
八幡浜市	267	259	8	0	70	38	31	1	100	100	0	0	4	1	3	0	45	26	19	0
新居浜市	160	131	29	0	98	61	37	0	14	14	0	0	5	4	1	0	2	2	0	0
西条市	254	203	51	0	176	102	74	0	38	38	0	0	11	8	3	0	23	12	11	0
大洲市	1,420	1,410	10	0	152	97	55	0	54	41	13	0	3	3	0	0	73	60	13	0
伊予市	320	309	11	0	154	72	79	3	21	16	5	0	1	1	0	0	52	25	24	3
四国中央市	125	102	23	0	110	65	45	0	60	59	1	0	3	1	2	0	23	22	1	0
西予市	780	643	137	0	192	111	81	0	34	34	0	0	2	2	0	0	49	36	13	0
東温市	594	441	153	0	87	34	53	0	21	21	0	0	1	1	0	0	10	8	2	0
上島町	131	70	61	0	11	5	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	1	5	0
久万高原町	259	243	16	0	163	116	47	0	32	31	1	0	23	21	2	0	71	44	27	0
松前町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
砥部町	161	160	1	0	74	49	25	0	4	4	0	0	1	1	0	0	26	12	14	0
内子町	416	415	1	0	106	68	38	0	39	34	5	0	3	3	0	0	65	31	34	0
伊方町	206	120	83	3	69	19	24	26	64	50	14	0	3	0	1	2	65	28	31	6
松野町	263	235	28	0	45	29	16	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鬼北町	201	162	39	0	76	65	11	0	10	10	0	0	1	1	0	0	4	4	0	0
愛南町	383	284	88	11	91	23	46	22	0	0	0	0	0	0	0	0	4	2	1	1
愛媛県	8,807	7,095	1,576	136	2,262	1,126	970	166	506	466	40	0	61	47	12	2	571	336	211	24

表 2-6-15(3) ①南海トラフ巨大地震（東側ケース）の土砂災害危険度想定結果（市町別）

市町名	急傾斜地崩壊危険箇所 (砂防課所管)				山腹崩壊危険地区 (森林整備課所管)				地すべり危険箇所 (砂防課所管)				地すべり危険地区 (森林整備課所管)				地すべり危険地 (農地整備課所管)			
	箇所数	箇所数			箇所数	箇所数			箇所数	箇所数			箇所数	箇所数			箇所数	箇所数		
		A	B	C		A	B	C		A	B	C		A	B	C		A	B	C
松山市	703	64	372	267	256	2	28	226	4	1	2	1	0	0	0	0	16	0	4	12
今治市	1,048	107	412	529	114	1	18	95	0	0	0	0	0	0	0	0	30	0	1	29
宇和島市	1,116	534	283	299	218	36	80	102	10	5	4	1	0	0	0	0	7	1	6	0
八幡浜市	267	99	108	60	70	7	17	46	100	35	52	13	4	0	0	4	45	3	14	28
新居浜市	160	46	70	44	98	15	32	51	14	3	9	2	5	1	3	1	2	0	0	2
西条市	254	20	72	162	176	7	43	126	38	2	19	17	11	0	5	6	23	0	4	19
大洲市	1,420	763	591	66	152	46	49	57	54	16	24	14	3	0	3	0	73	8	42	23
伊予市	320	93	164	63	154	7	32	115	21	5	5	11	1	0	1	0	52	4	8	40
四国中央市	125	72	37	16	110	26	48	36	60	41	18	1	3	0	0	3	23	7	12	4
西予市	780	321	335	124	192	40	69	83	34	13	14	7	2	2	0	0	49	3	29	17
東温市	594	99	258	237	87	8	20	59	21	9	12	0	1	0	1	0	10	1	7	2
上島町	131	28	38	65	11	1	4	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	6
久万高原町	259	61	120	78	163	12	52	99	32	9	20	3	23	5	16	2	71	9	22	40
松前町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
砥部町	161	27	87	47	74	0	20	54	4	0	3	1	1	0	1	0	26	0	6	20
内子町	416	132	192	92	106	8	28	70	39	7	19	13	3	0	3	0	65	1	12	52
伊方町	206	10	77	119	69	0	15	54	64	0	47	17	3	0	0	3	65	0	20	45
松野町	263	228	32	3	45	29	15	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鬼北町	201	148	40	13	76	53	19	4	10	6	4	0	1	0	1	0	4	2	2	0
愛南町	383	210	157	16	91	16	30	45	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	1	2
愛媛県	8,807	3,062	3,445	2,300	2,262	314	619	1,329	506	153	252	101	61	8	34	19	571	40	190	341

表 2-6-15(4) ①南海トラフ巨大地震（西側ケース）の土砂災害危険度想定結果（市町別）

市町名	急傾斜地崩壊危険箇所 (砂防課所管)				山腹崩壊危険地区 (森林整備課所管)				地すべり危険箇所 (砂防課所管)				地すべり危険地区 (森林整備課所管)				地すべり危険地 (農地整備課所管)			
	箇所数	箇所数			箇所数	箇所数			箇所数	箇所数			箇所数	箇所数			箇所数	箇所数		
		A	B	C		A	B	C		A	B	C		A	B	C		A	B	C
松山市	703	120	360	223	256	3	33	220	4	1	2	1	0	0	0	0	16	0	5	11
今治市	1,048	115	422	511	114	2	15	97	0	0	0	0	0	0	0	0	30	0	3	27
宇和島市	1,116	703	364	49	218	89	109	20	10	8	2	0	0	0	0	0	7	4	3	0
八幡浜市	267	138	122	7	70	11	27	32	100	77	23	0	4	0	1	3	45	6	20	19
新居浜市	160	27	60	73	98	11	21	66	14	2	8	4	5	1	3	1	2	0	0	2
西条市	254	20	71	163	176	5	43	128	38	2	20	16	11	0	5	6	23	0	5	18
大洲市	1,420	754	544	122	152	41	45	66	54	18	21	15	3	0	3	0	73	8	40	25
伊予市	320	80	171	69	154	7	31	116	21	5	5	11	1	0	1	0	52	5	7	40
四国中央市	125	47	41	37	110	16	36	58	60	29	26	5	3	0	0	3	23	3	10	10
西予市	780	385	306	89	192	51	90	51	34	15	12	7	2	2	0	0	49	8	26	15
東温市	594	145	259	190	87	10	20	57	21	10	11	0	1	0	1	0	10	2	6	2
上島町	131	28	37	66	11	1	4	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	6
久万高原町	259	95	117	47	163	25	67	71	32	14	16	2	23	15	6	2	71	11	28	32
松前町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
砥部町	161	21	89	51	74	0	20	54	4	0	3	1	1	0	1	0	26	0	6	20
内子町	416	102	202	112	106	5	24	77	39	1	23	15	3	0	3	0	65	1	8	56
伊方町	206	24	106	76	69	3	18	48	64	20	31	13	3	0	0	3	65	4	28	33
松野町	263	235	28	0	45	29	16	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鬼北町	201	147	37	17	76	53	19	4	10	6	4	0	1	0	1	0	4	2	1	1
愛南町	383	356	27	0	91	30	61	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	2	2	0
愛媛県	8,807	3,542	3,363	1,902	2,262	392	699	1,171	506	209	207	90	61	18	25	18	571	56	198	317

表 2-6-15(5) ①南海トラフ巨大地震（経験的手法）の土砂災害危険度想定結果（市町別）

市町名	急傾斜地崩壊危険箇所 (砂防課所管)				山腹崩壊危険地区 (森林整備課所管)				地すべり危険箇所 (砂防課所管)				地すべり危険地区 (森林整備課所管)				地すべり危険地 (農地整備課所管)			
	箇所数	箇所数			箇所数	箇所数			箇所数	箇所数			箇所数	箇所数			箇所数	箇所数		
		A	B	C		A	B	C		A	B	C		A	B	C		A	B	C
松山市	703	591	110	2	256	56	150	50	4	4	0	0	0	0	0	0	16	6	2	8
今治市	1,048	708	286	54	114	34	62	18	0	0	0	0	0	0	0	0	30	11	13	6
宇和島市	1,116	703	410	3	218	97	121	0	10	8	2	0	0	0	0	0	7	5	2	0
八幡浜市	267	259	8	0	70	38	32	0	100	100	0	0	4	1	3	0	45	26	19	0
新居浜市	160	131	29	0	98	61	37	0	14	14	0	0	5	4	1	0	2	0	2	0
西条市	254	202	52	0	176	102	74	0	38	38	0	0	11	8	3	0	23	12	11	0
大洲市	1,420	1,393	27	0	152	97	55	0	54	40	14	0	3	3	0	0	73	56	17	0
伊予市	320	311	8	1	154	72	75	7	21	17	4	0	1	1	0	0	52	27	25	0
四国中央市	125	101	24	0	110	65	45	0	60	59	1	0	3	0	3	0	23	15	8	0
西予市	780	634	144	2	192	111	81	0	34	28	6	0	2	2	0	0	49	32	17	0
東温市	594	420	166	8	87	34	51	2	21	21	0	0	1	1	0	0	10	8	2	0
上島町	131	64	57	10	11	5	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	3	3
久万高原町	259	239	20	0	163	114	49	0	32	31	1	0	23	21	2	0	71	44	27	0
松前町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
砥部町	161	151	10	0	74	45	27	2	4	4	0	0	1	1	0	0	26	12	14	0
内子町	416	409	7	0	106	68	38	0	39	34	5	0	3	3	0	0	65	31	34	0
伊方町	206	159	43	4	69	32	29	8	64	59	5	0	3	0	1	2	65	41	20	4
松野町	263	229	33	1	45	29	16	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鬼北町	201	160	41	0	76	65	11	0	10	8	2	0	1	1	0	0	4	2	2	0
愛南町	383	353	30	0	91	30	61	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	2	2	0
愛媛県	8,807	7,217	1,505	85	2,262	1,155	1,020	87	506	466	40	0	61	46	13	2	571	330	220	21

表 2-6-15(6) ②安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（北側ケース1）の土砂災害危険度想定結果（市町別）

市町名	急傾斜地崩壊危険箇所 (砂防課所管)				山腹崩壊危険地区 (森林整備課所管)				地すべり危険箇所 (砂防課所管)				地すべり危険地区 (森林整備課所管)				地すべり危険地 (農地整備課所管)			
	箇所数	箇所数			箇所数	箇所数			箇所数	箇所数			箇所数	箇所数			箇所数	箇所数		
		A	B	C		A	B	C		A	B	C		A	B	C		A	B	C
松山市	703	251	299	153	256	4	40	212	4	0	1	3	0	0	0	0	16	0	3	13
今治市	1,048	197	359	492	114	2	17	95	0	0	0	0	0	0	0	0	30	0	8	22
宇和島市	1,116	0	361	755	218	0	9	209	10	0	4	6	0	0	0	0	7	0	0	7
八幡浜市	267	7	125	135	70	0	11	59	100	0	78	22	4	0	0	4	45	0	6	39
新居浜市	160	2	46	112	98	0	23	75	14	0	6	8	5	0	4	1	2	0	0	2
西条市	254	5	61	188	176	0	35	141	38	0	14	24	11	0	5	6	23	0	3	20
大洲市	1,420	54	763	603	152	0	46	106	54	0	21	33	3	0	0	3	73	0	9	64
伊予市	320	27	206	87	154	0	31	123	21	0	9	12	1	0	1	0	52	0	9	43
四国中央市	125	0	8	117	110	0	7	103	60	0	2	58	3	0	0	3	23	0	0	23
西予市	780	0	276	504	192	0	44	148	34	0	14	20	2	0	2	0	49	0	3	46
東温市	594	5	137	452	87	0	18	69	21	0	10	11	1	0	0	1	10	0	1	9
上島町	131	0	31	100	11	0	1	10	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	6
久万高原町	259	3	132	124	163	2	42	119	32	1	24	7	23	0	21	2	71	0	17	54
松前町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
砥部町	161	13	90	58	74	0	17	57	4	0	3	1	1	0	1	0	26	0	2	24
内子町	416	20	228	168	106	0	24	82	39	0	24	15	3	0	3	0	65	0	6	59
伊方町	206	0	62	144	69	0	14	55	64	0	47	17	3	0	0	3	65	0	20	45
松野町	263	0	56	207	45	0	0	45	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
鬼北町	201	0	102	99	76	0	15	61	10	0	2	8	1	0	0	1	4	0	0	4
愛南町	383	0	17	366	91	0	1	90	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	4
愛媛県	8,807	584	3,359	4,864	2,262	8	395	1,859	506	1	259	246	61	0	37	24	571	0	87	484

表 2-6-15(7) ②安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（北側ケース 2）の土砂災害危険度想定結果（市町別）

市町名	急傾斜地崩壊危険箇所 (砂防課所管)				山腹崩壊危険地区 (森林整備課所管)				地すべり危険箇所 (砂防課所管)				地すべり危険地区 (森林整備課所管)				地すべり危険地 (農地整備課所管)			
	箇所数	箇所数			箇所数	箇所数			箇所数	箇所数			箇所数	箇所数			箇所数	箇所数		
		A	B	C		A	B	C		A	B	C		A	B	C		A	B	C
松山市	703	246	298	159	256	3	40	213	4	0	1	3	0	0	0	0	16	0	3	13
今治市	1,048	134	362	552	114	2	12	100	0	0	0	0	0	0	0	0	30	0	6	24
宇和島市	1,116	1	434	681	218	0	20	198	10	0	4	6	0	0	0	0	7	0	0	7
八幡浜市	267	8	126	133	70	0	11	59	100	0	78	22	4	0	0	4	45	0	6	39
新居浜市	160	0	34	126	98	0	14	84	14	0	4	10	5	0	4	1	2	0	0	2
西条市	254	1	61	192	176	0	34	142	38	0	14	24	11	0	5	6	23	0	2	21
大洲市	1,420	62	766	592	152	1	45	106	54	0	21	33	3	0	0	3	73	0	9	64
伊予市	320	20	212	88	154	0	30	124	21	0	9	12	1	0	1	0	52	0	9	43
四国中央市	125	0	4	121	110	0	6	104	60	0	0	60	3	0	0	3	23	0	0	23
西予市	780	3	280	497	192	0	44	148	34	0	14	20	2	0	2	0	49	0	3	46
東温市	594	4	133	457	87	0	18	69	21	0	10	11	1	0	0	1	10	0	1	9
上島町	131	0	31	100	11	0	1	10	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	6
久万高原町	259	0	129	130	163	1	43	119	32	0	25	7	23	0	21	2	71	0	16	55
松前町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
砥部町	161	13	90	58	74	0	17	57	4	0	3	1	1	0	1	0	26	0	2	24
内子町	416	25	225	166	106	0	24	82	39	0	24	15	3	0	3	0	65	0	6	59
伊方町	206	2	66	138	69	0	15	54	64	0	47	17	3	0	0	3	65	0	20	45
松野町	263	0	118	145	45	0	2	43	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
鬼北町	201	0	103	98	76	0	15	61	10	0	2	8	1	0	0	1	4	0	0	4
愛南町	383	0	51	332	91	0	5	86	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	4
愛媛県	8,807	519	3,523	4,765	2,262	7	396	1,859	506	0	256	250	61	0	37	24	571	0	83	488

表 2-6-15(8) ②' 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（南側ケース 1）の土砂災害危険度想定結果（市町別）

市町名	急傾斜地崩壊危険箇所 (砂防課所管)				山腹崩壊危険地区 (森林整備課所管)				地すべり危険箇所 (砂防課所管)				地すべり危険地区 (森林整備課所管)				地すべり危険地 (農地整備課所管)			
	箇所数	箇所数			箇所数	箇所数			箇所数	箇所数			箇所数	箇所数			箇所数	箇所数		
		A	B	C		A	B	C		A	B	C		A	B	C		A	B	C
松山市	703	17	331	355	256	0	21	235	4	0	1	3	0	0	0	0	16	0	0	16
今治市	1,048	0	295	753	114	0	6	108	0	0	0	0	0	0	0	0	30	0	0	30
宇和島市	1,116	54	428	634	218	0	22	196	10	0	4	6	0	0	0	0	7	0	0	7
八幡浜市	267	34	125	108	70	1	11	58	100	5	74	21	4	0	0	4	45	1	7	37
新居浜市	160	0	17	143	98	0	0	98	14	0	0	14	5	0	0	5	2	0	0	2
西条市	254	0	33	221	176	0	20	156	38	0	10	28	11	0	3	8	23	0	1	22
大洲市	1,420	79	752	589	152	1	46	105	54	0	21	33	3	0	0	3	73	0	9	64
伊予市	320	8	218	94	154	0	30	124	21	0	9	12	1	0	1	0	52	0	9	43
四国中央市	125	0	2	123	110	0	0	110	60	0	0	60	3	0	0	3	23	0	0	23
西予市	780	20	280	480	192	0	44	148	34	0	14	20	2	0	2	0	49	0	3	46
東温市	594	0	128	466	87	0	18	69	21	0	9	12	1	0	0	1	10	0	1	9
上島町	131	0	8	123	11	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	6
久万高原町	259	0	128	131	163	0	44	119	32	0	25	7	23	0	21	2	71	0	15	56
松前町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
砥部町	161	0	99	62	74	0	15	59	4	0	3	1	1	0	1	0	26	0	2	24
内子町	416	14	235	167	106	0	24	82	39	0	24	15	3	0	3	0	65	0	6	59
伊方町	206	34	121	51	69	9	21	39	64	31	26	7	3	0	0	3	65	9	29	27
松野町	263	0	158	105	45	0	3	42	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
鬼北町	201	0	104	97	76	0	15	61	10	0	2	8	1	0	0	1	4	0	0	4
愛南町	383	1	174	208	91	0	11	80	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	4
愛媛県	8,807	261	3,636	4,910	2,262	11	351	1,900	506	36	222	248	61	0	31	30	571	10	82	479

表 2-6-15(9) ②' 安芸灘～伊予灘～豊後水道のプレート内地震（南側ケース 2）の土砂災害危険度想定結果（市町別）

市町名	急傾斜地崩壊危険箇所 (砂防課所管)				山腹崩壊危険地区 (森林整備課所管)				地すべり危険箇所 (砂防課所管)				地すべり危険地区 (森林整備課所管)				地すべり危険地 (農地整備課所管)			
	箇所数	箇所数			箇所数	箇所数			箇所数	箇所数			箇所数	箇所数			箇所数	箇所数		
		A	B	C		A	B	C		A	B	C		A	B	C		A	B	C
松山市	703	8	322	373	256	0	19	237	4	0	1	3	0	0	0	0	16	0	0	16
今治市	1,048	0	208	840	114	0	3	111	0	0	0	0	0	0	0	0	30	0	0	30
宇和島市	1,116	36	442	638	218	0	22	196	10	0	4	6	0	0	0	0	7	0	0	7
八幡浜市	267	20	126	121	70	0	12	58	100	0	78	22	4	0	0	4	45	0	6	39
新居浜市	160	0	7	153	98	0	0	98	14	0	0	14	5	0	0	5	2	0	0	2
西条市	254	0	21	233	176	0	10	166	38	0	6	32	11	0	1	10	23	0	0	23
大洲市	1,420	69	756	595	152	1	45	106	54	0	21	33	3	0	0	3	73	0	9	64
伊予市	320	7	220	93	154	0	30	124	21	0	9	12	1	0	1	0	52	0	9	43
四国中央市	125	0	0	125	110	0	0	110	60	0	0	60	3	0	0	3	23	0	0	23
西予市	780	10	283	487	192	0	44	148	34	0	14	20	2	0	2	0	49	0	3	46
東温市	594	0	89	505	87	0	13	74	21	0	8	13	1	0	0	1	10	0	0	10
上島町	131	0	0	131	11	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	6
久万高原町	259	0	125	134	163	0	44	119	32	0	25	7	23	0	21	2	71	0	15	56
松前町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
砥部町	161	0	97	64	74	0	15	59	4	0	3	1	1	0	1	0	26	0	2	24
内子町	416	11	235	170	106	0	24	82	39	0	24	15	3	0	3	0	65	0	6	59
伊方町	206	18	86	102	69	0	17	52	64	2	45	17	3	0	0	3	65	0	20	45
松野町	263	0	156	107	45	0	3	42	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
鬼北町	201	0	104	97	76	0	15	61	10	0	2	8	1	0	0	1	4	0	0	4
愛南町	383	1	174	208	91	0	11	80	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	4
愛媛県	8,807	180	3,451	5,176	2,262	1	327	1,934	506	2	240	264	61	0	29	32	571	0	70	501

表 2-6-15(10) ③讃岐山脈南縁－石鎚山脈北縁東部（ケース 1）の地震の土砂災害危険度想定結果（市町別）

市町名	急傾斜地崩壊危険箇所 (砂防課所管)				山腹崩壊危険地区 (森林整備課所管)				地すべり危険箇所 (砂防課所管)				地すべり危険地区 (森林整備課所管)				地すべり危険地 (農地整備課所管)			
	箇所数	箇所数			箇所数	箇所数			箇所数	箇所数			箇所数	箇所数			箇所数	箇所数		
		A	B	C		A	B	C		A	B	C		A	B	C		A	B	C
松山市	703	0	240	463	256	0	10	246	4	0	0	4	0	0	0	0	16	0	0	16
今治市	1,048	85	375	588	114	1	11	102	0	0	0	0	0	0	0	0	30	0	3	27
宇和島市	1,116	0	0	1,116	218	0	0	218	10	0	0	10	0	0	0	0	7	0	0	7
八幡浜市	267	0	0	267	70	0	0	70	100	0	0	100	4	0	0	4	45	0	0	45
新居浜市	160	89	55	16	98	34	44	20	14	5	6	3	5	3	1	1	2	0	0	2
西条市	254	25	72	157	176	10	43	123	38	8	12	18	11	2	4	5	23	2	0	21
大洲市	1,420	0	0	1,420	152	0	0	152	54	0	0	54	3	0	0	3	73	0	0	73
伊予市	320	0	0	320	154	0	0	154	21	0	0	21	1	0	0	1	52	0	0	52
四国中央市	125	55	44	26	110	26	39	45	60	37	16	7	3	0	0	3	23	1	12	10
西予市	780	0	0	780	192	0	0	192	34	0	0	34	2	0	0	2	49	0	0	49
東温市	594	0	56	538	87	0	11	76	21	0	0	21	1	0	0	1	10	0	0	10
上島町	131	9	37	85	11	0	2	9	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	1	5
久万高原町	259	0	26	233	163	0	5	158	32	0	2	30	23	0	1	22	71	0	0	71
松前町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
砥部町	161	0	2	159	74	0	0	74	4	0	0	4	1	0	0	1	26	0	0	26
内子町	416	0	0	416	106	0	0	106	39	0	0	39	3	0	0	3	65	0	0	65
伊方町	206	0	0	206	69	0	0	69	64	0	0	64	3	0	0	3	65	0	0	65
松野町	263	0	0	263	45	0	0	45	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
鬼北町	201	0	0	201	76	0	0	76	10	0	0	10	1	0	0	1	4	0	0	4
愛南町	383	0	0	383	91	0	0	91	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	4
愛媛県	8,807	263	907	7,637	2,262	71	165	2,026	506	50	36	420	61	5	6	50	571	3	16	552

表 2-6-15(11) ③讃岐山脈南縁－石鎚山脈北縁東部（ケース 2）の地震の土砂災害危険度想定結果（市町別）

市町名	急傾斜地崩壊危険箇所 (砂防課所管)				山腹崩壊危険地区 (森林整備課所管)				地すべり危険箇所 (砂防課所管)				地すべり危険地区 (森林整備課所管)				地すべり危険地 (農地整備課所管)			
	箇所数	箇所数			箇所数	箇所数			箇所数	箇所数			箇所数	箇所数			箇所数	箇所数		
		A	B	C		A	B	C		A	B	C		A	B	C		A	B	C
松山市	703	5	253	445	256	0	16	240	4	0	0	4	0	0	0	0	16	0	0	16
今治市	1,048	176	373	499	114	1	13	100	0	0	0	0	0	0	0	0	30	0	4	26
宇和島市	1,116	0	0	1,116	218	0	0	218	10	0	0	10	0	0	0	0	7	0	0	7
八幡浜市	267	0	0	267	70	0	0	70	100	0	0	100	4	0	0	4	45	0	0	45
新居浜市	160	113	45	2	98	53	41	4	14	9	5	0	5	4	1	0	2	0	0	2
西条市	254	30	78	146	176	15	49	112	38	10	14	14	11	2	4	5	23	2	5	16
大洲市	1,420	0	15	1,405	152	0	0	152	54	0	0	54	3	0	0	3	73	0	0	73
伊予市	320	0	1	319	154	0	0	154	21	0	0	21	1	0	0	1	52	0	0	52
四国中央市	125	72	40	13	110	34	51	25	60	43	16	1	3	0	0	3	23	3	12	8
西予市	780	0	0	780	192	0	0	192	34	0	0	34	2	0	0	2	49	0	0	49
東温市	594	0	118	476	87	0	14	73	21	0	10	11	1	0	0	1	10	0	1	9
上島町	131	18	38	75	11	0	2	9	0	0	0	0	0	0	0	0	6	1	1	4
久万高原町	259	0	57	202	163	0	17	146	32	0	7	25	23	0	11	12	71	0	3	68
松前町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
砥部町	161	0	4	157	74	0	0	74	4	0	0	4	1	0	0	1	26	0	0	26
内子町	416	0	7	409	106	0	0	106	39	0	0	39	3	0	0	3	65	0	0	65
伊方町	206	0	0	206	69	0	0	69	64	0	0	64	3	0	0	3	65	0	0	65
松野町	263	0	0	263	45	0	0	45	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
鬼北町	201	0	0	201	76	0	0	76	10	0	0	10	1	0	0	1	4	0	0	4
愛南町	383	0	0	383	91	0	0	91	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	4
愛媛県	8,807	414	1,029	7,364	2,262	103	203	1,956	506	62	52	392	61	6	16	39	571	6	26	539

表 2-6-15(12) ④石鎚山脈北縁（ケース 1）の地震の土砂災害危険度想定結果（市町別）

市町名	急傾斜地崩壊危険箇所 (砂防課所管)				山腹崩壊危険地区 (森林整備課所管)				地すべり危険箇所 (砂防課所管)				地すべり危険地区 (森林整備課所管)				地すべり危険地 (農地整備課所管)			
	箇所数	箇所数			箇所数	箇所数			箇所数	箇所数			箇所数	箇所数			箇所数	箇所数		
		A	B	C		A	B	C		A	B	C		A	B	C		A	B	C
松山市	703	0	237	466	256	0	12	244	4	0	0	4	0	0	0	0	16	0	0	16
今治市	1,048	39	372	637	114	1	9	104	0	0	0	0	0	0	0	0	30	0	0	30
宇和島市	1,116	0	0	1,116	218	0	0	218	10	0	0	10	0	0	0	0	7	0	0	7
八幡浜市	267	0	0	267	70	0	0	70	100	0	0	100	4	0	0	4	45	0	0	45
新居浜市	160	97	56	7	98	44	40	14	14	8	6	0	5	4	1	0	2	0	0	2
西条市	254	30	85	139	176	15	56	105	38	13	13	12	11	2	4	5	23	2	2	19
大洲市	1,420	0	0	1,420	152	0	0	152	54	0	0	54	3	0	0	3	73	0	0	73
伊予市	320	0	1	319	154	0	0	154	21	0	0	21	1	0	0	1	52	0	0	52
四国中央市	125	7	42	76	110	9	25	76	60	0	33	27	3	0	0	3	23	0	2	21
西予市	780	0	0	780	192	0	0	192	34	0	0	34	2	0	0	2	49	0	0	49
東温市	594	0	113	481	87	0	13	74	21	0	9	12	1	0	0	1	10	0	1	9
上島町	131	1	30	100	11	0	1	10	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	6
久万高原町	259	0	61	198	163	0	18	145	32	0	9	23	23	0	13	10	71	0	3	68
松前町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
砥部町	161	0	2	159	74	0	0	74	4	0	0	4	1	0	0	1	26	0	0	26
内子町	416	0	8	408	106	0	0	106	39	0	0	39	3	0	0	3	65	0	0	65
伊方町	206	0	0	206	69	0	0	69	64	0	0	64	3	0	0	3	65	0	0	65
松野町	263	0	0	263	45	0	0	45	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
鬼北町	201	0	0	201	76	0	0	76	10	0	0	10	1	0	0	1	4	0	0	4
愛南町	383	0	0	383	91	0	0	91	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	4
愛媛県	8,807	174	1,007	7,626	2,262	69	174	2,019	506	21	70	415	61	6	18	37	571	2	8	561

表 2-6-15(13) ④石鎚山脈北縁（ケース 2）の地震の土砂災害危険度想定結果（市町別）

市町名	急傾斜地崩壊危険箇所 (砂防課所管)				山腹崩壊危険地区 (森林整備課所管)				地すべり危険箇所 (砂防課所管)				地すべり危険地区 (森林整備課所管)				地すべり危険地 (農地整備課所管)			
	箇所数	箇所数			箇所数	箇所数			箇所数	箇所数			箇所数	箇所数			箇所数	箇所数		
		A	B	C		A	B	C		A	B	C		A	B	C		A	B	C
松山市	703	0	247	456	256	0	14	242	4	0	0	4	0	0	0	0	16	0	0	16
今治市	1,048	43	383	622	114	1	11	102	0	0	0	0	0	0	0	0	30	0	0	30
宇和島市	1,116	0	0	1,116	218	0	0	218	10	0	0	10	0	0	0	0	7	0	0	7
八幡浜市	267	0	0	267	70	0	0	70	100	0	0	100	4	0	0	4	45	0	0	45
新居浜市	160	98	53	9	98	41	40	17	14	7	7	0	5	4	1	0	2	0	0	2
西条市	254	42	93	119	176	21	61	94	38	14	14	10	11	3	4	4	23	2	6	15
大洲市	1,420	0	0	1,420	152	0	0	152	54	0	0	54	3	0	0	3	73	0	0	73
伊予市	320	0	0	320	154	0	0	154	21	0	0	21	1	0	0	1	52	0	0	52
四国中央市	125	5	47	73	110	9	24	77	60	0	32	28	3	0	0	3	23	0	1	22
西予市	780	0	0	780	192	0	0	192	34	0	0	34	2	0	0	2	49	0	0	49
東温市	594	0	129	465	87	0	16	71	21	0	10	11	1	0	0	1	10	0	1	9
上島町	131	1	30	100	11	0	1	10	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	6
久万高原町	259	0	69	190	163	0	21	142	32	0	13	19	23	0	13	10	71	0	4	67
松前町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
砥部町	161	0	3	158	74	0	0	74	4	0	0	4	1	0	0	1	26	0	0	26
内子町	416	0	9	407	106	0	0	106	39	0	0	39	3	0	0	3	65	0	0	65
伊方町	206	0	0	206	69	0	0	69	64	0	0	64	3	0	0	3	65	0	0	65
松野町	263	0	0	263	45	0	0	45	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
鬼北町	201	0	0	201	76	0	0	76	10	0	0	10	1	0	0	1	4	0	0	4
愛南町	383	0	0	383	91	0	0	91	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	4
愛媛県	8,807	189	1,063	7,555	2,262	72	188	2,002	506	21	76	409	61	7	18	36	571	2	12	557

表 2-6-15(14) ⑤石鎚山脈北縁西部－伊予灘（ケース 1）の地震の土砂災害危険度想定結果（市町別）

市町名	急傾斜地崩壊危険箇所 (砂防課所管)				山腹崩壊危険地区 (森林整備課所管)				地すべり危険箇所 (砂防課所管)				地すべり危険地区 (森林整備課所管)				地すべり危険地 (農地整備課所管)			
	箇所数	箇所数			箇所数	箇所数			箇所数	箇所数			箇所数	箇所数			箇所数	箇所数		
		A	B	C		A	B	C		A	B	C		A	B	C		A	B	C
松山市	703	417	207	79	256	33	95	128	4	1	3	0	0	0	0	0	16	2	4	10
今治市	1,048	314	350	384	114	7	23	84	0	0	0	0	0	0	0	0	30	0	10	20
宇和島市	1,116	0	284	832	218	0	2	216	10	0	2	8	0	0	0	0	7	0	0	7
八幡浜市	267	32	122	113	70	1	14	55	100	20	61	19	4	0	1	3	45	2	7	36
新居浜市	160	42	79	39	98	14	44	40	14	3	6	5	5	3	1	1	2	0	0	2
西条市	254	120	107	27	176	71	64	41	38	21	17	0	11	6	5	0	23	10	7	6
大洲市	1,420	318	814	288	152	15	49	88	54	11	18	25	3	0	1	2	73	5	34	34
伊予市	320	236	82	2	154	30	45	79	21	9	8	4	1	1	0	0	52	9	19	24
四国中央市	125	0	26	99	110	1	12	97	60	0	13	47	3	0	0	3	23	0	0	23
西予市	780	0	274	506	192	0	44	148	34	0	14	20	2	0	2	0	49	0	3	46
東温市	594	333	207	54	87	27	39	21	21	11	10	0	1	0	1	0	10	2	7	1
上島町	131	4	29	98	11	0	1	10	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	6
久万高原町	259	66	107	86	163	26	51	86	32	7	19	6	23	5	16	2	71	5	21	45
松前町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
砥部町	161	88	71	2	74	14	31	29	4	2	2	0	1	1	0	0	26	2	10	14
内子町	416	121	198	97	106	7	26	73	39	4	23	12	3	1	2	0	65	3	12	50
伊方町	206	107	86	13	69	16	28	25	64	48	16	0	3	0	0	3	65	23	31	11
松野町	263	0	30	233	45	0	0	45	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
鬼北町	201	0	65	136	76	0	11	65	10	0	2	8	1	0	0	1	4	0	0	4
愛南町	383	0	19	364	91	0	0	91	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	4
愛媛県	8,807	2,198	3,157	3,452	2,262	262	579	1,421	506	137	214	155	61	17	29	15	571	63	165	343

表 2-6-15(15) ⑤石鎚山脈北縁西部－伊予灘（ケース 2）の地震の土砂災害危険度想定結果（市町別）

市町名	急傾斜地崩壊危険箇所 (砂防課所管)				山腹崩壊危険地区 (森林整備課所管)				地すべり危険箇所 (砂防課所管)				地すべり危険地区 (森林整備課所管)				地すべり危険地 (農地整備課所管)			
	箇所数	箇所数			箇所数	箇所数			箇所数	箇所数			箇所数	箇所数			箇所数	箇所数		
		A	B	C		A	B	C		A	B	C		A	B	C		A	B	C
松山市	703	403	222	78	256	31	83	142	4	1	3	0	0	0	0	0	16	1	5	10
今治市	1,048	222	356	470	114	4	21	89	0	0	0	0	0	0	0	0	30	0	9	21
宇和島市	1,116	0	355	761	218	0	11	207	10	0	4	6	0	0	0	0	7	0	0	7
八幡浜市	267	42	128	97	70	0	18	52	100	26	56	18	4	0	1	3	45	3	9	33
新居浜市	160	31	68	61	98	10	37	51	14	3	5	6	5	2	2	1	2	0	0	2
西条市	254	105	122	27	176	55	66	55	38	18	20	0	11	4	6	1	23	8	6	9
大洲市	1,420	303	795	322	152	15	50	87	54	11	17	26	3	0	1	2	73	5	33	35
伊予市	320	235	82	3	154	30	45	79	21	9	8	4	1	1	0	0	52	9	19	24
四国中央市	125	0	15	110	110	0	10	100	60	0	9	51	3	0	0	3	23	0	0	23
西予市	780	6	278	496	192	0	44	148	34	0	14	20	2	0	2	0	49	0	3	46
東温市	594	284	237	73	87	24	34	29	21	10	11	0	1	0	1	0	10	2	6	2
上島町	131	0	25	106	11	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	6
久万高原町	259	45	120	94	163	19	45	99	32	5	21	6	23	3	18	2	71	5	19	47
松前町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
砥部町	161	82	73	6	74	11	33	30	4	2	2	0	1	0	1	0	26	1	11	14
内子町	416	108	207	101	106	8	23	75	39	4	23	12	3	1	2	0	65	3	10	52
伊方町	206	113	85	8	69	17	29	23	64	48	16	0	3	0	0	3	65	24	33	8
松野町	263	0	33	230	45	0	0	45	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
鬼北町	201	0	79	122	76	0	14	62	10	0	2	8	1	0	0	1	4	0	0	4
愛南町	383	0	31	352	91	0	0	91	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	4
愛媛県	8,807	1,979	3,311	3,517	2,262	224	563	1,475	506	137	211	158	61	11	34	16	571	61	163	347